オキカラーページプリンタ

C9150dn

ユーザーズマニュアル

○このマニュアルには、プリンタを安全に使用していただくための注意事項が書かれています。プリンタをご使用になる前に、必ず本マニュアルをお読みください。

○本マニュアルをプリンタのそばに置いて、ご使用ください。

安全にお使いいただくために

本製品を安全に使用していただくために、ご使用前に必ずユーザーズマニュアル(本書)をお読みください。

安全上の注意表示

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

一般的な注意

⚠警告	
	プリンタ内部の安全スイッチに触れないでください。 高電圧が発生し感電のおそれがあります。また、ギヤが回転するのでケガのおそれがあります。
	プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。 プリンタ内部には高温になる部分があるので火災のおそれがあります。
	カバーが異常に熱くなったり、煙が出たり、変なにおいがしたり、異常な音がする場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	水などの液体がプリンタ内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	クリップなどの異物をプリンタ内部に落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて異物を取り出してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	ユーザーズマニュアルに指示している以外の操作や分解は行わないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。

⚠警告

	プリンタを落下させたり、カバーを傷つけた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	電源コード、プリンタケーブル、アース線は、ユーザーズマニュアルで指示されている以外の接続は行わないでください。 火災のおそれがあります。
	通気口に物を差し込まないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	水の入ったコップなどをプリンタの上にのせないでください。 感電、火災のおそれがあります。
	プリンタのカバーを開けたときは、定着器ユニットに触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジを火の中に投じないでください。粉じん爆発によりやけどのおそれがあります。
	UPS（無停電電源）を使用した場合の動作は保証していません。無停電電源は使用しないでください。 火災のおそれがあります。

⚠注意

	電源投入時および印刷中は、用紙の排出部に近づかないでください。 ケガをするおそれがあります。

本書の見方

表　記

本書では、次のように表記している場合があります。

- Microsoft® Windows® Server 2003 operating system 日本語版 → Windows Server 2003
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版 → WindowsXP
- Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版 → WindowsMe
- Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版 → Windows98
- Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版 → Windows95
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows2000
- Microsoft® Windows NT® operating system Version4.0 日本語版 → WindowsNT4.0
- Windows Server 2003、WindowsXP、WindowsMe、Windows98、Windows95、Windows2000、WindowsNT4.0の総称→Windows

マーク

プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。
誤った操作をしないため、必ずお読みください。

プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。
お読みになることをお勧めします。

諸注意

紙幣、有価証券などの印刷について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。
関連法律　　刑法　第148条、第149条、第162条
　　　　　　通貨及証券模造取締法　第1条、第2条　等

電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

高調波規制について

この装置は、「高調波ガイドライン適合品」です。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

エネルギースターについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

商標について

Microsoft、Windows、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
平成明朝体、平成角ゴシック体は、(財)日本規格協会　文字フォント開発・普及センターと使用契約を締結して使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。
その他各社名、製品名は各社の登録商標または商品名です。

本書について

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。
4. 本書の内容に関して、運用上の影響につきましては3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルの版権について

使用許諾契約

以下に記載されているものは、お客様がプリンタのパッケージ内の製品をご使用になる前に同意して頂いたソフトウェア使用許諾契約書の内容です。

お客様へのお願い

プリンタのパッケージ内の製品をご使用になる前に、この本契約書を必ずお読み下さい。
お客様がこのパッケージ内の製品をご使用された場合には、本契約に同意いただいたものとみなします。
もし、本契約書の条項を承認いただけない場合には、速やかにお客様が購入された販売店に返却して下さい。

株式会社沖データ（以下「沖データ」といいます）は、お客様に対し下記条項に基づきこのパッケージに収納されているソフトウェア（ただし、Adobe Readerは除くものとし、以下「本ソフトウェア」といいます）を非独占的に使用する権利を許諾します。沖データは本ソフトウェアをお客様に使用許諾する権利を有しております。

1. 使用範囲
お客様は、本ソフトウェアに対応する沖データプリンタを所有する場合に限り、当該プリンタに直接またはネットワークを通じて接続される複数のコンピュータにプログラムをインストールして、本ソフトウェアを使用することができます。また、お客様は、バックアップの目的として本ソフトウェアを一部複製することができます。

2. 財産権および義務
(1)本ソフトウェアおよびその複製物の著作権、版権、所有権は沖データまたは沖データのサプライヤーにあります。本ソフトウェアの構成、編成、コードは沖データの業務上の重要な機密事項及び機密情報にあたります。本ソフトウェアは米国及び日本国の著作権法ならびに国際条約及びその使用される国において適用される法律の保護を受けており、書籍その他の著作物と同じに扱われなければなりません。
(2)第1条に定めた複製を除いて、本ソフトウェアの一部または全部の複製、貸与、レンタル、リース、譲渡、使用許諾することはできません。
(3)お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。
(4)お客様には本契約で認められた権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も付与されません。

3. 期間
(1)お客様への本ソフトウェアの使用許諾は、本契約が解除されるまで有効です。
(2)お客様は、本ソフトウェアおよびその複製物を全て破棄および消去することにより、本契約を解除することができます。
(3)お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様に対してライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびその複製物の全てを破棄および消去し、本ソフトウェアの使用を中止するものとします。

4. 保証
(1)沖データは、本ソフトウェアに関して、以下のことを含む一切の保証をするものではありません。
・本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
・本ソフトウェアに瑕疵がないこと。
・第三者の権利を侵害していないこと。
・特定の目的に適合していること。
(2)本ソフトウェアは、予告なく改良、変更することがあります。

5. 責任の限定
沖データは、本ソフトウェアによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、沖データがたとえそのような損害の発生の可能性について知らされていたとしても、また、それらの損害についての請求が不法行為(過失を含むがこれに限定されない)に基づくものであれ、その他の如何なる法律上の根拠に基づくものであれ、お客様に対して一切責任を負わないものとします。また、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアに関連して生じた、第三者からなされるいかなる請求についても、沖データはお客様に対して一切責任を負担しないものとします。

6. 契約の有効性
   本契約の一部が無効で法的拘束力がないとされた場合には、本契約の他の部分の有効性には影響を与えず、他の部分は有効かつ法的拘束力をもつものとします。

7. 輸出管理
   本ソフトウェアは、日本国の輸出管理法、その他の関連法令・規則で禁止されている国へは輸出されないものとし、またかかる法令・規則で禁止されている態様で使用されないものとします。 お客様は、適切な日本政府の輸出許可を得ずに本ソフトウェアや本ソフトウェアから作られた製品を輸出、再輸出しないことに同意します。もし、お客様がこの条項に違反された場合、自動的にこの契約は解除されるものとします。

8. 完全な合意
   お客様は、本契約を読んでこれを理解したこと、および本契約がお客様に対する本件ソフトウェアのライセンスについて沖データとお客様との間の事前の口頭、書面またはその他の通信手段による一切の合意に優先するお客様と沖データとの間の完全かつ唯一の合意であることを確認します。また本契約に基づくお客様の義務は、本契約に基づいてライセンスされる権利の保有者すべてに対する義務を構成するものとします。

なお、本ソフトウェアには、個別に使用許諾契約を有するものが含まれている場合がありますが、個別の使用許諾契約に同意された場合には、そのソフトウェアに関してはそれぞれの個別の使用許諾契約が優先されるものとします。

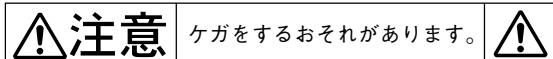
※Adobe Reader の使用について
Adobe Readerは沖データがアドビシステムズ社との契約に基づきお客様に配布するものです。お客様はAdobe Readerに含まれているエンドユーザー使用許諾契約書に同意することにより、アドビシステムズ社からAdobe Readerの使用を許諾されることになります。

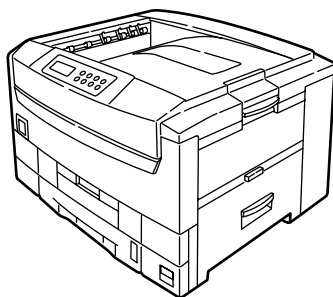
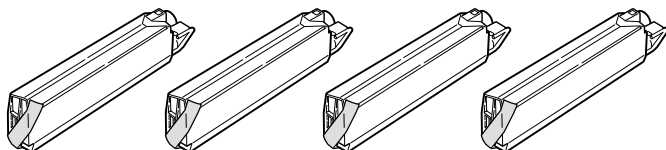
目　次

1 プリンタを設置します

製品の確認

製品が揃っていることを確認してください。

 ケガをするおそれがあります。

このプリンタは重量が約78Kgありますので、3人以上で持ち上げてください。

□ プリンタ(本体)

□ トナーカートリッジ(シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック各1個ずつ)

□ プリンタソフトウェアCD-ROM
□ LEDレンズクリーナ
□ 黒いビニール袋(4枚)
□ 電源コード
□ 保証書・ご愛用者登録カード
□ ユーザーズマニュアル(本書)
□ ペーパーサイズプレート
□ クイックガイド
□ クイックガイド専用袋
□ イーサネットケーブル用コア

・プリンタケーブルは添付されていません。お使いのコンピュータに合わせて別途用意してください。
・イメージドラムカートリッジはプリンタ内部にセットされています。
・梱包箱、緩衝材はプリンタを輸送するときに使います。捨てずに保管してください。

設置条件

動作環境

- 次の温度、湿度を満足する場所に設置してください。

  周囲温度　　：　10〜32°C
  周囲湿度　　：　20〜80%RH(相対湿度)
  最大湿球温度　：　25℃
- 結露しないように注意してください。
- 周囲湿度が30%以下の場所に設置する場合は、加湿器または静電気防止マットなどを使用してください。

設置に関する注意

⚠警告

- 高温や火気の近くには設置しないでください。
- 化学反応を起こすような場所(実験室など)には設置しないでください。
- アルコール、シンナーなどの引火性溶液の近くには設置しないでください。
- 小さなお子さまの手の届く所には設置しないでください。
- 不安定な場所(ぐらついた台や傾いた所など)には設置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所には設置しないでください。
- 潮風、腐食性ガスの環境には設置しないでください。
- 振動が多い場所には設置しないでください。

⚠注意

- プリンタの通気口をふさぐような場所には設置しないでください。
- 毛足の長いジュータンやカーペットの上には直接設置しないでください。
- 密室などの通気性、換気性の悪い場所には設置しないでください。
- 強い磁界やノイズの発生源から離して設置してください。
- モニタやテレビから離して設置してください。
- プリンタを移動するときは、プリンタの両側を持ってください。
- このプリンタは重量が約78kgありますので、3人以上で持ち上げてください。

設置スペース

- プリンタの足が乗る大きさの平らな机の上に置いてください。
- プリンタの周りに十分なスペースを取ってください。

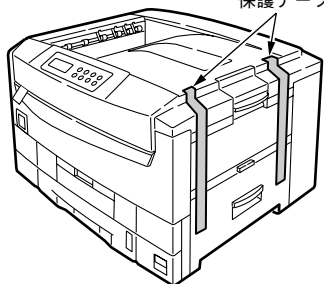
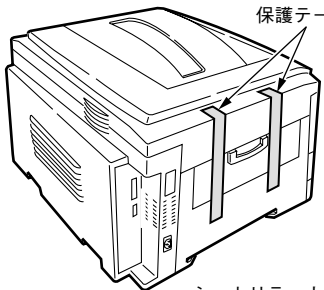
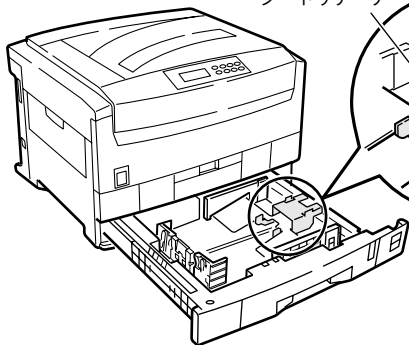
平面図

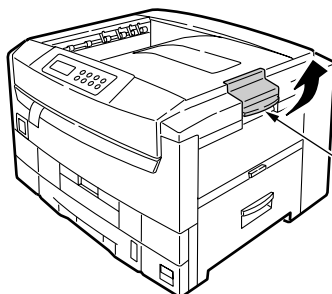
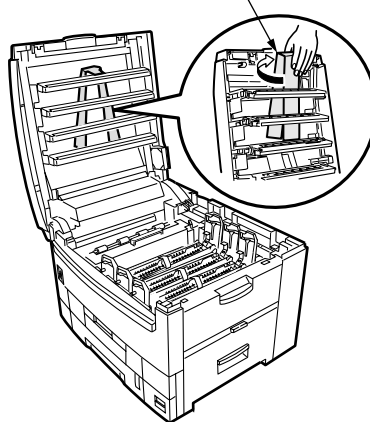
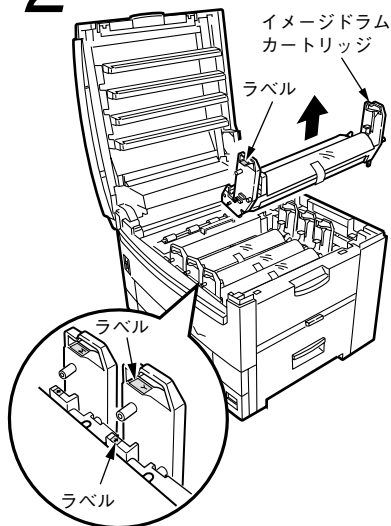
側面図

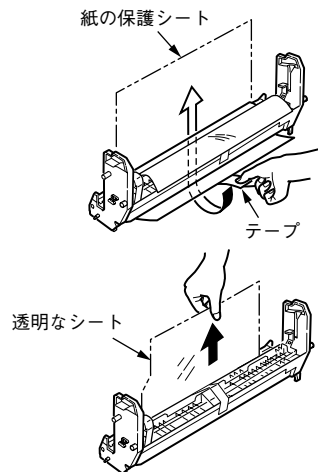
プリンタ各部の名前

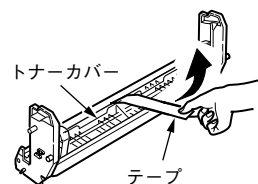
操作パネル
トップカバー
「OPEN」レバー
マルチパーパストレイ
給紙ローラーカバー
手差しガイド
電源スイッチ
用紙サポータ
用紙カセット
マルチパーパストレイ
（手差し）
用紙残量表示
サイドカバー
LEDヘッド（4個）
排出ローラ
定着器ユニット
イメージドラムカートリッジ
(C シアン（青色）)
イメージドラムカートリッジ
(M マゼンタ（赤色）)
安全スイッチ
イメージドラムカートリッジ
(Y イエロー（黄色）)
イメージドラムカートリッジ
(K ブラック（黒色）)
ジャム解除ボタン
フェイスアップスタッカ
<インタフェース部>
USBインタフェースコネクタ
STATUSランプ（橙）
LINK 10Mランプ（緑）
LINK 100Mランプ（緑）
ネットワークインタフェースコネクタ
(100/10BASE)
プッシュスイッチ
パラレルインタフェースコネクタ
通気口
電源コネクタ
インタフェース部

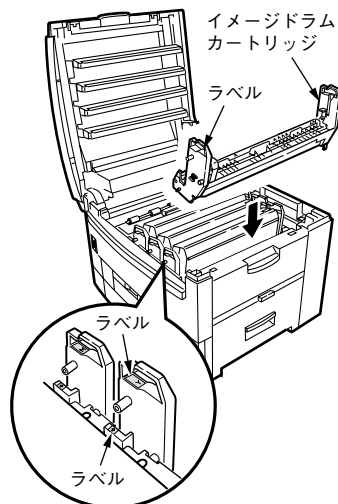
付属品を取り付けます

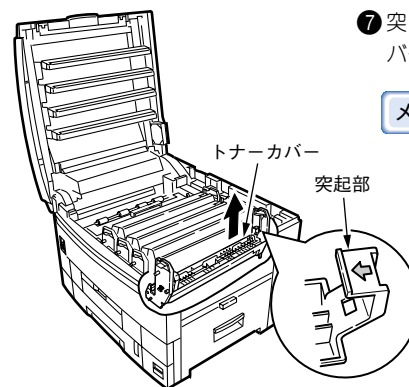
1 保護具を取り外します。

❶プリンタ右側面の保護テープ（2ヶ所）をはがします。

❷プリンタ左側面の保護テープ（2ヶ所）をはがします。

❸用紙カセットを引き出し、用紙カセット内プレートのシートリテーナ（オレンジ色）を取り外します。

❹「OPEN」レバーを押し上げ、トップカバーを開きます。

❺LEDストッパー（オレンジ色）を引き出します。

2 イメージドラムカートリッジをセットします。

❶イメージドラムカートリッジ（4個）を静かに取り出します。

- トナーの飛散に注意して作業してください。
- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは、直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも5分間以上は放置しないでください。

❷紙の保護テープをとめているテープをはがし、イメージドラムカートリッジから紙の保護シートを矢印の方向に引き抜きます。

❸透明なシート矢印の方向に引き抜きます。

❹トナーカバー（オレンジ色）を固定しているテープをはがします。

まだトナーカバーははずさないでください。

❺イメージドラムカートリッジのラベルの色とプリンタのラベルの色を合わせます。

❻イメージドラムカートリッジ（4個）を静かに戻します。

❼突起部を内側に押しながらトナーカバーを取り外します。

メモ　トナーカバーは不燃物として処理してください。

3 トナーカートリッジをセットします。

❶トナーカートリッジ（4個）を包装袋から取り出します。

❷縦と横に数回振ります。

❸トナーカートリッジのレバーがロックされていることを確認してから、トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりはがします。

❹レバーのストッパー（オレンジ色）を外します。突起部を矢印方向に押すと外れます。

注 トナーカートリッジを裏返した状態で荷重をかけないでください。レバーが動き、トナーがこぼれる場合があります。

❺トナーカートリッジのラベルの色とイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っていることを確認します。

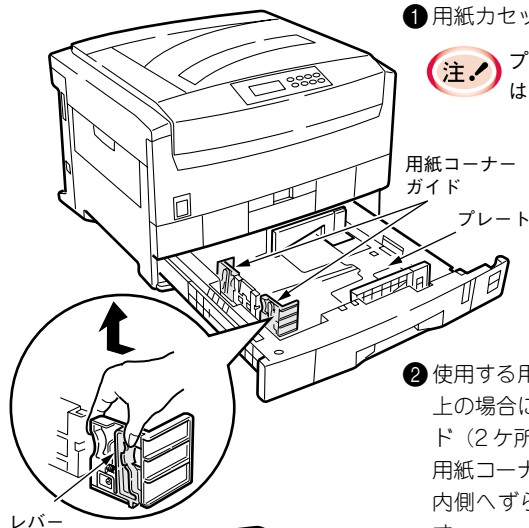
❻テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジの穴をイメージドラムカートリッジのポストに差し込みます。

❼トナーカートリッジの突起をイメージドラムカートリッジの溝に合わせしっかり押し込みます。

❽トナーカートリッジのレバーを矢印の方向に止まるまで回します。

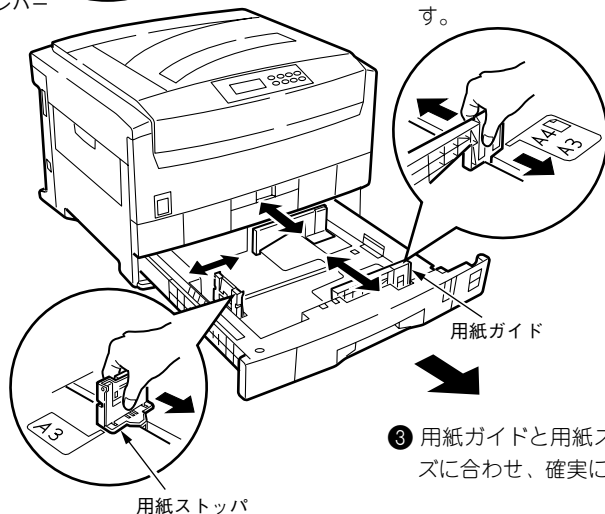
❾トップカバーを閉じます。

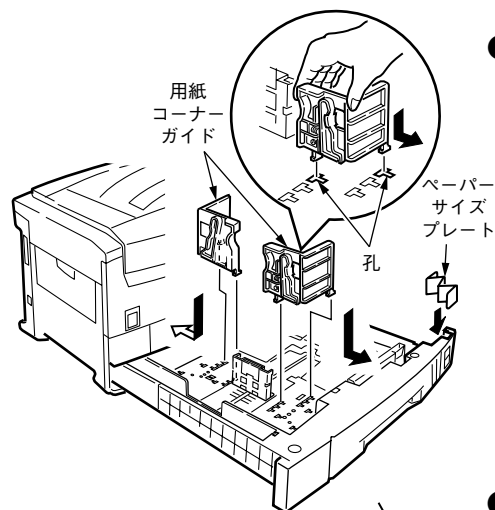
- トナーカートリッジを無理に押し込まないでください。きちんと入らずレバーが回らないときは、トナーカートリッジとイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っているか確認してください。ラベルの色が一致しないとトナーカートリッジは取り付けられないようになっています。
- トナーカートリッジがきちんと固定されていないと、印刷品質が低下することがあります。
- トナーカートリッジを取り付けた後に、操作パネルの[トナーヲ　イレテクダサイ]の表示がいつまでも消えないときは、上記の手順に従ってトナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。
- [トナーセンサエラー]が表示された場合、トナーカートリッジが正しくセットされていない可能性があります。トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。

4 用紙カセットに用紙をセットします。

❶ 用紙カセットを引き出します。

注 プレートについているコルクは、はがさないでください。

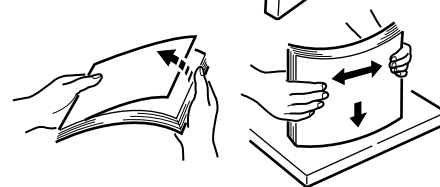
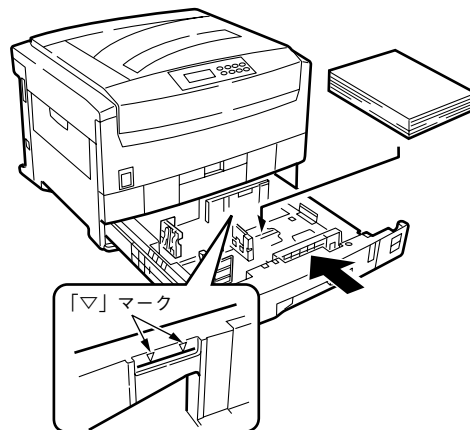
用紙コーナーガイド
プレート
レバー

❷ 使用する用紙サイズがB4やリーガル以上の場合には、一旦、用紙コーナーガイド（2ケ所）を取り外します。
用紙コーナーガイドのレバーをつまみ、内側へずらし、上へ上げて取り外します。

用紙ガイド
用紙ストッパ

❸ 用紙ガイドと用紙ストッパを用紙サイズに合わせ、確実に固定します。

❹ 使用する用紙サイズがB4、A3、A3ワイド、リーガル、タブロイド、タブロイドエクストラの場合には用紙コーナーガイド（2ケ所）を取り付けます。
用紙コーナーガイドを用紙サイズの位置に合わせて差し込み、押し付けながらパチンと音がするまで矢印方向に動かします。

注 A3 ノビの場合には、用紙コーナーガイドは使用しません。

❺ ペーパーサイズプレートをセットします。

❻ 用紙をよくさばき、上下左右をそろえます。

❼ 印刷面を下に向けて、用紙をセットします。

注
- 用紙は用紙カセットの右側によせて置きます。
- 用紙ガイドの「▽」マークを越えないようにセットします。（連量70kg紙で550枚）

❽ 用紙カセットをプリンタに戻します。

電源を入れます

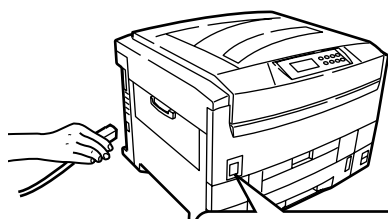
電源の条件

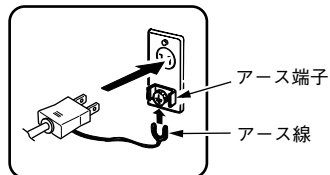
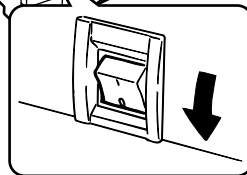
- 以下の条件を守ってください。
  交流（AC）　：100V±10%
  電源周波数 ：50Hzまたは60Hz±2Hz
- 電源が不安定な場合は、電圧調整器などを使用してください。
- 本プリンタの最大消費電力は1,600Wです。電源容量に十分余裕があることを確認してください。
- UPS（無停電電源）を使用した場合の動作は保証していません。無停電電源は使用しないでください。

⚠警告　火災や感電のおそれがあります。

- 電源コード、アース線の取り付け、取り外しは必ず電源スイッチをOFFにしてから行ってください。
- アース線は必ず専用のアース端子に接続してください。水道管、ガス管、電話線のアース、避雷針などには絶対に接続しないでください。
- 電源コードの抜き差しは必ず電源プラグを持って行ってください。
- 電源プラグは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- 電源コードは踏まれない場所に設置し、電源コードの上には物を置かないでください。
- 電源コードをたばねたり、結んだりして使用しないでください。
- 破損した電源コードを使用しないでください。
- たこ足配線はしないでください。
- 本プリンタと他の電気製品を同じコンセントに接続しないでください。特に、空調機、複写機、シュレッダなどと同時に接続すると、電気的ノイズによってプリンタが誤動作することがあります。やむを得ず同じコンセントに接続するときは、市販のノイズフィルタかノイズカットトランスを使用してください。
- 添付の電源コードのみで使用してください。
- 延長コードは使用しないでください。やむを得ず使用する場合は、定格16A以上のものを使用してください。
- 延長コードを使用すると、AC電圧降下により、プリンタが正常に動作しない場合があります。
- 印刷中に電源を切ったり電源プラグを抜かないでください。
- 連休や旅行で長時間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。

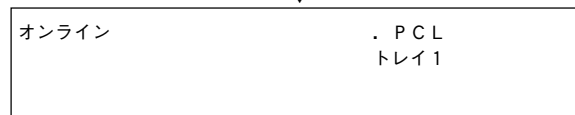
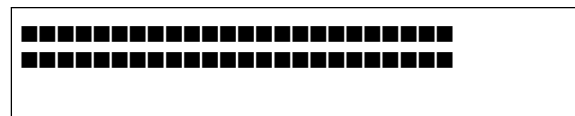
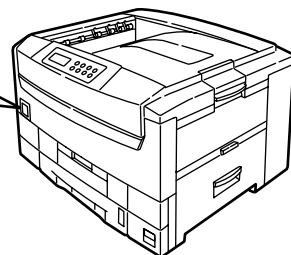
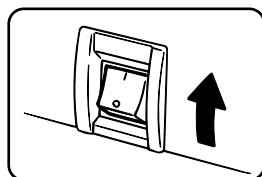
1 電源コードを接続します。

注 電源スイッチがOFF（○）になっていることを確認してください。

❶電源コードをプリンタに差し込みます。

❷アース線をコンセントのアース端子に接続した後、電源プラグをコンセントに差し込みます。

⚠警告	感電のおそれがあります。	

必ずアース線を接続してください。

2 電源スイッチのON（｜）を押します。

操作パネルに次のように表示され、完全に起動すると[オンライン]表示になります。

電源を切ります

- 印刷終了後、5秒以上待ってから電源を切ってください。
- 印刷中は電源を切らないでください。

内蔵ハードディスク(オプション)を取り付けていない場合は、そのまま電源を切ってください。

内蔵ハードディスク(オプション)を取り付けている場合は、いきなり電源を切らずに下記の手順で電源を切ります。

- いきなり電源を切ると、内蔵ハードディスクに損傷を与え、使用不能になることがあります。
- [シャットダウン　メニュー]はオプションの内蔵ハードディスク装着時のみ表示されます。

❶ (0) を数回押し、[シャットダウン　メニュー]を表示します。

❷ (3) を押し、[シャットダウン　スタート／ジッコウ]を表示します。

❸ (3) を押します。

[シャットダウン]と表示され、シャットダウン処理が開始されます。

❹ [デンゲンヲ　オフシテクダサイ／シャットダウン　カンリョウ]が表示されたら、電源スイッチのOFF(O)を押します。

メニューマップ印刷をします

メニューマップとネットワーク設定情報(Network Information)が印刷されます。プリンタのメニューの設定値を知りたい時や、プリンタが正常に動作するかを確認したい時に実行します。

❶ トレイにA4用紙をセットします。

❷ (0) を数回押し、[インフォメーション　メニュー]を表示します。

❸ (1) または (5) を押し、[メニューマップ　インサツ／ジッコウ]を表示します。

❹ (3) を押します。

メニューマップ印刷が開始されます。

（サンプル）

MenuMap　C9150dn

Printer Serial Number:N31063C 06 409B 1001540 プリンタ管理番号:
CU version:D4.09 [I00.95 S2.4.5m B02.00 PPC750CXe 500MHz 00083214 00020020 F34 J0]
PU version:D0.11.08 [PI02.09 L000.08.13 DU01.73.41 T202.00.06 T302.00.06 T402.00.06 T502.00.06]
PCL Program version:02.13 [04.18 X01.11 P F]
Total Memory Size:320 MB　トレイ1:A4 横送り　DIMM Slot A:CU Program ROM
Flash Memory:4 MB [F34]　トレイ2:A4 横送り　DIMM Slot B:Font DIMM [PCL:04.02]
HDD:10.06 GB [F34]　トレイ3:A4 横送り
JP1 P0E0　トレイ4:A4 横送り
C:0 M:0 Y:0 K:0　トレイ5:A4 横送り

印刷ジョブメニュー
　パスワード入力

インフォメーションメニュー
　メニューマップ印刷
　ファイルリスト印刷
　PCLフォント印刷
　DEMO1
　エラーログ印刷

シャットダウン メニュー
　シャットダウン スタート

印刷メニュー

項目	設定
コピー枚数	1
両面印刷	オン
綴じ方	横綴じ
出力ビン	フェイスダウン
ジョブオフセット	オン
給紙トレイ	トレイ1
自動トレイ切り替え	オン
トレイ選択順序	下方向
MPトレイの使い方	用紙違いの時
用紙チェック	有効
OHP 検出	有効
解像度	600DPI
トナーセーブモード	オフ
モノクロ印刷速度	自動
印刷方向	縦
1ページ行数	64 行
編集サイズ	カセット用紙サイズ

メディアメニュー

項目	設定
トレイ1用紙サイズ	カセット用紙サイズ
トレイ1用紙タイプ	普通紙
トレイ1用紙厚	自動
トレイ2用紙タイプ	普通紙
トレイ2用紙厚	自動
トレイ3用紙タイプ	普通紙
トレイ3用紙厚	自動
トレイ4用紙タイプ	普通紙
トレイ4用紙厚	自動
トレイ5用紙タイプ	普通紙
トレイ5用紙厚	自動
MPトレイ用紙サイズ	A5
MPトレイ用紙タイプ	普通紙
MPトレイ用紙厚	自動
用紙サイズ設定単位	ミリメートル
カスタム用紙幅	210 ミリメートル
カスタム用紙長さ	297 ミリメートル

カラーメニュー

項目	設定
自動濃度補正モード	自動
濃度補正	
カラー調整	
シアン HIGHLIGHT	0
シアン MID-TONE	0
シアン DARK	0
マゼンタ HIGHLIGHT	0
マゼンタ MID-TONE	0
マゼンタ DARK	0
イエロー HIGHLIGHT	0
イエロー MID-TONE	0
イエロー DARK	0
ブラック HIGHLIGHT	0
ブラック MID-TONE	0
ブラック DARK	0
シアン濃度	0
マゼンタ濃度	0
イエロー濃度	0
ブラック濃度	0
自動色ずれ補正	
シアン位置ずれ微調整	0
マゼンタ位置ずれ微調整	0
イエロー位置ずれ微調整	0
UCR	少ない
CMY100%濃度	無効

システム構成メニュー

項目	設定
パワーセーブ移行時間	60 分
アラーム解除	オン
エラー自動解除	オフ
マニュアルタイムアウト	60 秒
タイムアウト印刷	40 秒
トナー不足印刷継続	継続
ジャムリカバー	オン
言語	日本語

PCL エミュレーション

項目	設定
使用フォント	DIMM0 フォント
フォントNo.	C001
フォントサイズ	12.00 ポイント
シンボルセット	WIN3.1J
A4印字幅	78 桁
白紙ページ除外	オフ
CR 動作	CR のみ
LF 動作	LF のみ
印刷領域	ノーマル
イメージ黒選択	混合黒
ペン幅補正	オン

セントロ メニュー

項目	設定
セントロ	有効
双方向セントロ	有効
ECP	有効
ACK幅	狭い
ACK/BUSYタイミング	ACK IN BUSY
I-PRIME	無効

USBメニュー

項目	設定
USB	有効
ソフトリセット	無効

クイックガイドの収納

クイックガイド専用袋をプリンタに貼り付け、クイックガイドをしまいます。

1 クイックガイド専用袋を裏側にして、両面テープ（2ヶ所）をはがします。

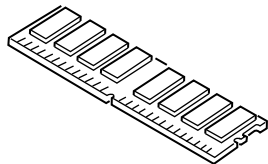
2 クイックガイド専用袋をプリンタに貼り付けます。

注 プリンタの通気口を塞がないように貼り付けてください。

オプション品について

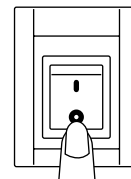
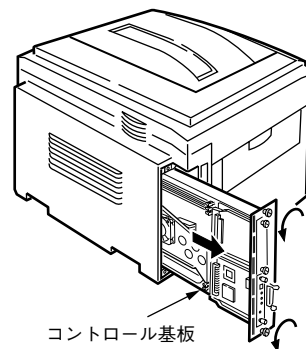
増設メモリ

プリンタのメモリ容量を増やすボードです。複雑なデータでメモリ不足のエラーがでるときに追加します。

ML64MB増設メモリ
ML128MB増設メモリ
ML256MB増設メモリ
ML512MB増設メモリ

標準メモリ	空きスロット	最大メモリ
64MB	2	1024MB

- 最大メモリにするには、標準メモリを取り外す必要があります。
- 「きれい」(600×1200dpi)で印刷する場合、64MB以上のメモリを追加(合計128MB以上)する必要があります。また、A3用紙に両面印刷する場合も、64MB以上のメモリを追加(合計128MB以上)することをお勧めします。
- 必ず沖データ純正品を使用してください。沖データ純正品以外を使用した場合、動作の保証はできません。
- メモリ用スロットは全部で3スロットあります。

1 プリンタの電源をOFFにし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

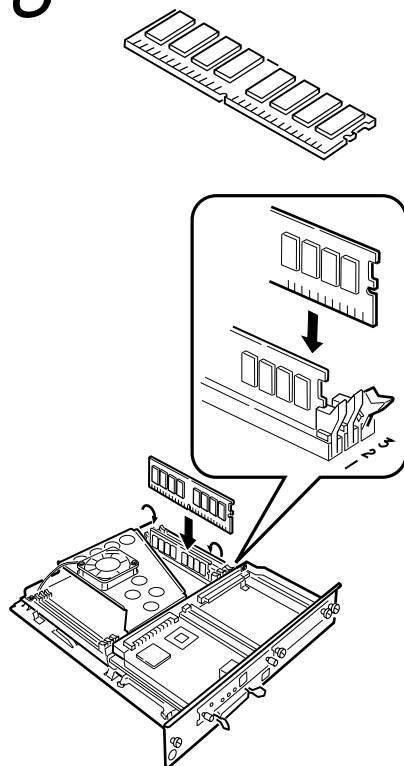
注 電源をONのまま取り付けると、プリンタまたは増設メモリが故障するおそれがあります。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(24ページ)をご覧ください。

2 コントロール基板を引き出します。

❶ ネジ(2ケ所)をゆるめます。

❷ コントロール基板を引き出します。

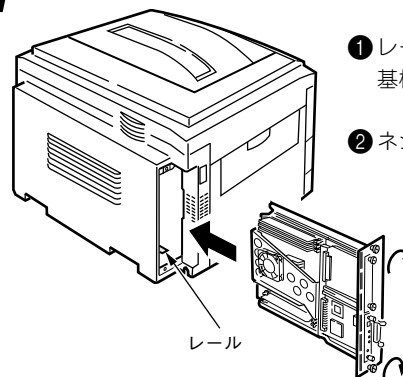
❸ コントロール基板を平らなテーブルの上に置きます。

注 電子部品やコネクタ端子部はさわらないでください。

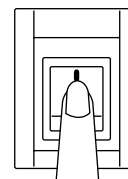
3 メモリを取り付けます。

❶ メモリを袋から取り出す前に、袋を金属部に接触させて静電気を除去します。

❷ 空きスロットにメモリを差し込みます。

❸ 左右のロックレバーで確実に固定されていることを確認します。

4 コントロール基板を戻します。

❶ レールに合わせて確実にコントロール基板を戻します。

❷ ネジ（2 ケ所）で固定します。

5 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源を ON にします。

6 メニューマップ印刷を行い、増設メモリが正しく取り付けられていることを確認します。

MenuMap

Printer Serial Number:N31063C 06 4
CU version:D4.09 [100.95 S2.4.5m E
PU version:D0.11.08 [P102.09 L000.
PCL Program version:02.13 [04.18 X
Total Memory Size:320 MB
Flash Memory:4 MB [F34]
HDD:10.06 GB [F34]
JP1 POEO
C:0 M:0 Y:0 K:0

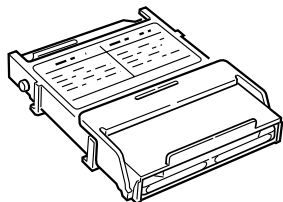
❶ メニューマップ印刷をします。

詳しくは「メニューマップ印刷をします」（25 ページ）をご覧ください。

❷「Total Memory Size」に表示される総メモリ量を確認します。

内蔵ハードディスク

プリンタに追加する内蔵ハードディスクです。確認印刷、認証印刷、印刷ジョブの保存、バッファ印刷をするときに使用します。

ハードディスクを装着した場合は、シャットダウンメニューを実行して電源を切ってください。いきなり電源を切ると、ハードディスクに損傷を与え、使用不能になることがあります。

メモ　ハードディスクは、「PCL」および2つの「キョウツウ」パーティションに分割されており、出荷時またはハードディスク初期化時には各パーティションのサイズは下記のように割り当てられます。

PCL	20%
キョウツウ	50%
キョウツウ	30%

1 プリンタの電源をOFFにし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

電源をONのまま取り付けると、プリンタが故障するおそれがあります。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」(24ページ)をご覧ください。

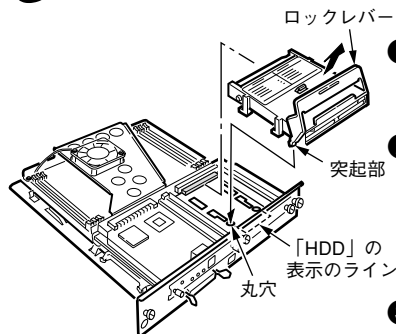
2 コントロール基板を引き出します。

❶ネジ（2ケ所）をゆるめます。

❷コントロール基板を引き出します。

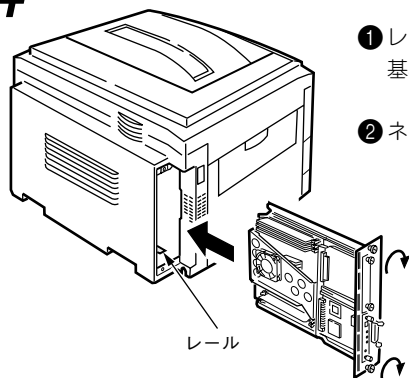
❸コントロール基板を平らなテーブルの上に置きます。

注　電子部品やコネクタ端子部はさわらないでください。

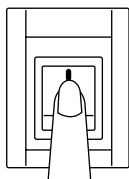
3 内蔵ハードディスクを取り付けます。

❶内蔵ハードディスクのロックレバーを引き起こして持ちます。

❷コントロール基板上の「HDD」の表示のラインに合わせて内蔵ハードディスクをセットし、ロックレバーの突起部をコントロール基板の丸穴に入れます。

❸ロックレバーをカチッと音がするまで倒します。

4 コントロール基板を戻します。

❶ レールに合わせて確実にコントロール基板を戻します。

❷ ネジ（2 ケ所）で固定します。

5 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源を ON にします。

6 メニューマップ印刷を行い、内蔵ハードディスクが正しく取り付けられていることを確認します。

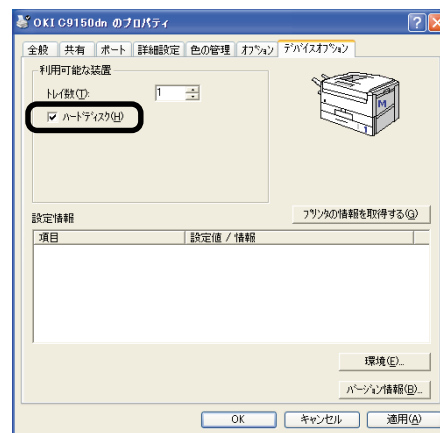
MenuMap

Printer Serial Number:N31063C 06 4
CU version:D4.09 [100.95 S2.4.5m E
PU version:D0.11.08 [P102.09 L000.
PCL Program version:02.13 [04.18 X
Total Memory Size:320 MB
Flash Memory:4 MB [F34]
HDD:10.06 GB [F34]
JPT PUE0
C:0 M:0 Y:0 K:0

❶ メニューマップ印刷をします。

詳しくは「メニューマップ印刷をします」（25 ページ）をご覧ください。

❷「HDD」に内蔵ハードディスクの容量が表示されていることを確認します。

7 プリンタドライバで［ハードディスク］を設定します。

注 WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。

（WindowsXPの画面）

❶［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（Windows XP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。Windows Server2003では［スタート］-［設定］-［プリンタとFAX］を選択します。）

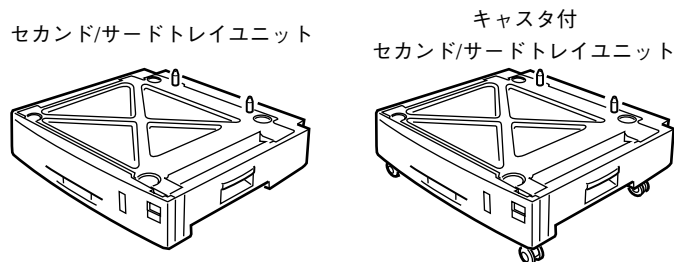
❷［OKI C9150dn］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸［デバイスオプション］タブの［利用可能な装置］の［ハードディスク］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

メモ TCP/IPでネットワーク接続をしている場合、［プリンタの情報を取得する］をクリックすると、自動的に設定されます。

セカンド/サードトレイユニット

プリンタにセットできる用紙量を増やすトレイで、2段まで増設できます。連量70kg紙の場合550枚セットでき、標準の用紙カセット、マルチパーパストレイと合わせて1,750枚を連続して印刷できるようになります。

セカンド/サードトレイユニット2段を大容量トレイユニットと併用することはできません。

セカンド/サードトレイユニット

キャスタ付
セカンド/サードトレイユニット

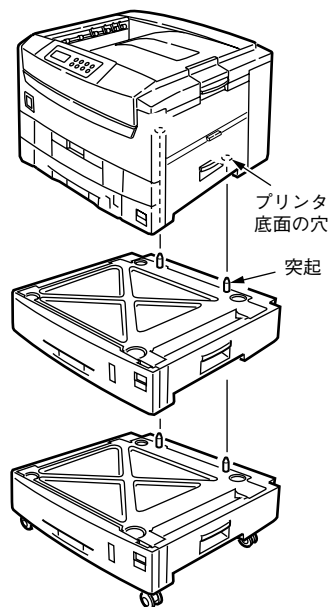
1 プリンタの電源をOFFにし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

電源をONのまま取り付けると、プリンタが故障するおそれがあります。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」(24ページ)をご覧ください。

2 プリンタをセカンドトレイユニットに載せます。

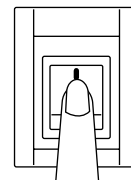
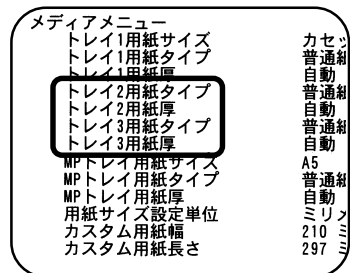
⚠注意　ケガをするおそれがあります。

プリンタは約78kgあります。3人以上で持ち上げてください。

❶プリンタ底面の穴とセカンド/サードトレイユニットの突起を合わせます。

❷プリンタをセカンド/サードトレイユニットの上に静かに載せます。

取り外しは取り付けの逆の手順で行います。

メモ　2段増設する場合は、下段になるセカンド/サードトレイユニットの上に、上段になるセカンド/サードトレイユニットを静かに載せ、その上にプリンタを載せます。
左図ではプリンタにセカンド/サードトレイユニットとキャスタ付セカンド/サードトレイユニットを組み合わせる場合を示しています。

3 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源をONにします。

4 メニューマップ印刷を行い、セカンド/サードトレイユニットが正しく取り付けられていることを確認します。

❶ メニューマップ印刷をします。

詳しくは「メニューマップ印刷をします」（25ページ）をご覧ください。

❷「メディアメニュー」に「トレイ2」または「トレイ3」が表示されていることを確認します。

5 プリンタドライバでトレイの数を設定します。

WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。

（WindowsXPの画面）

❶［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（Windows XPでは［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。Windows Server2003では［スタート］-［設定］-［プリンタとFAX］を選択します。）

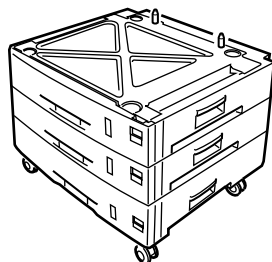
❷［OKI C9150dn］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

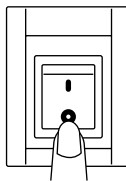
❸［デバイスオプション］タブの［利用可能な装置］の［トレイ数］で現在のトレイの総数を入力し、［OK］をクリックします。

TCP/IPでネットワーク接続をしている場合、［プリンタの情報を取得する］をクリックすると、自動的に設定されます。

大容量トレイユニット

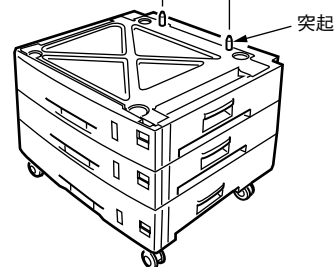
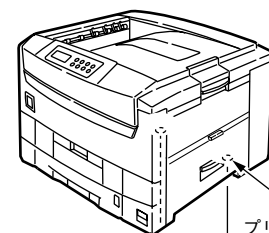
プリンタにセットできる用紙量を増やすトレイです。大容量トレイユニットには3段の用紙カセットがあります。連量70kg紙の場合、各トレイに550枚セットでき、標準の用紙カセット、マルチパーパストレイと合わせて2,300枚を連続して印刷できるようになります。また、セカンド/サードトレイユニット1段とも併用できます。この場合2,850枚を連続して印刷できます。

 セカンド/サードトレイユニット2段と併用することはできません。

1 プリンタの電源をOFFにし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

 電源をONのまま取り付けると、プリンタが故障するおそれがあります。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(24ページ)をご覧ください。

2 プリンタを大容量トレイユニットに載せます。

注意 ケガをするおそれがあります。

プリンタは約78kgあります。3人以上で持ち上げてください。

❶プリンタ底面の穴と大容量トレイユニットの突起を合わせます。

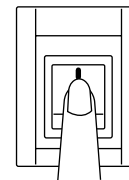
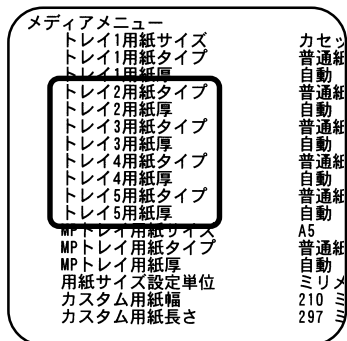
❷プリンタを大容量トレイユニットの上に静かに載せます。

取り外しは取り付けの逆の手順で行います。

メモ 大容量トレイユニットとセカンド/サードトレイユニットを取り付ける場合は、大容量トレイユニットの上にセカンド/サードユニットを静かに載せ、その上にプリンタを載せます。

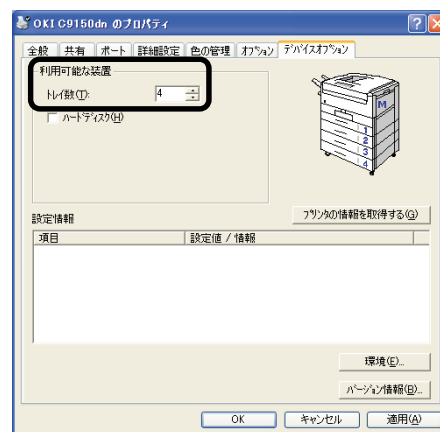
3 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源をONにします。

1

オプション品について

4 メニューマップ印刷を行い、大容量トレイユニットが正しく取り付けられていることを確認します。

❶ メニューマップ印刷をします。

詳しくは「メニューマップ印刷をします」（25 ページ）をご覧ください。

❷「メディアメニュー」に「トレイ2」「トレイ3」「トレイ4」が表示されていることを確認します。

5 プリンタドライバで追加トレイの数を設定します。

WindowsXP/2000/NT4.0はコンピュータの管理者の権限が必要です。

（WindowsXPの画面）

❶［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（Windows XP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。Windows Server2003では［スタート］-［設定］-［プリンタとFAX］を選択します。）

❷［OKI C9150dn］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸［デバイスオプション］タブの［利用可能な装置］の［トレイ数］で現在のトレイの総数を入力し、［OK］をクリックします。

TCP/IPでネットワーク接続をしている場合、［プリンタの情報を取得する］をクリックすると、自動的に設定されます。

2 ネットワーク接続でWindowsにセットアップします

動作環境

プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

- Windows Server 2003
  Windows Server 2003日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT互換で、Ethernet対応のネットワークインタフェースを搭載している機種
  ただし、32ビット版のみの対応です。

- WindowsXP
  WindowsXP日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT互換機、PC98-NX（PC-9821を除く）で、Ethernet対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

- WindowsMe/98/95
  WindowsMe/98/95日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT互換機、PC98-NX、PC-9821で、Ethernet対応のネットワークインタフェースを搭載している機種
  Internet Explorer 4.0以上がインストールされていること

- Windows2000
  Windows2000日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT互換機、PC98-NX、PC-9821で、Ethernet対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

- WindowsNT4.0
  WindowsNT4.0日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT互換機、PC98-NX、PC-9821で、Ethernet対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

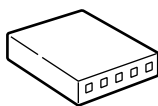
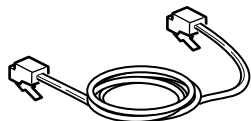
・日本語以外のOSには対応していません。
・MS-DOSおよびWindowsのコマンドプロンプト/DOSプロンプトでは動作しません。
・Windows3.1/NT3.51では動作しません。
・WindowsNT4.0は、ARC 互換RISCベースのプロセッサ（MIPS®シリーズ、Alpha、PowerPC™など）のシステムには対応していません。

メモ　イーサネットケーブルには、プリンタ付属のイーサネットケーブル用コアを取り付けて使用してください。

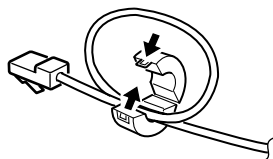
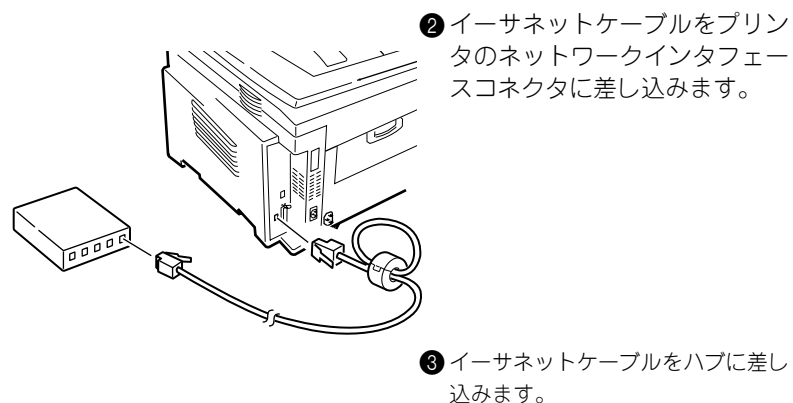
ケーブルを接続します

1 イーサネットケーブルとハブを準備します。

プリンタにイーサネットケーブルとハブは添付されていません。イーサネットケーブル（カテゴリ5、ツイストペアケーブル、ストレート）とハブを別途用意してください。

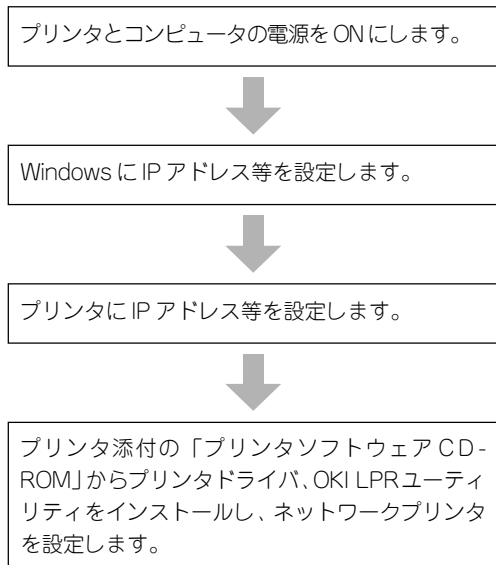
〈イーサネットケーブル〉　〈ハブ〉

2 プリンタとコンピュータの電源を OFF にします。

メモ　プリンタの電源の切り方は「電源を切ります」（24ページ）をご覧ください。

3 プリンタをネットワークに接続します。

❶プリンタ添付のイーサネットケーブル用コアを、イーサネットケーブルのプリンタに差し込むコネクタの口から約3cmの所に左図のように1重の輪を作って取り付けます。

❷イーサネットケーブルをプリンタのネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。

❸イーサネットケーブルをハブに差し込みます。

4 WindowsXP/2000/Server2003 をお使いの方は、「WindowsXP/2000/Server2003 にセットアップします」（38 ページ）へ進みます。

WindowsMe/98/95/NT4.0 をお使いの方は、「WindowsMe/98/95/NT4.0 にセットアップします」（45 ページ）へ進みます。

WindowsXP/2000/Server2003にセットアップします

セットアップの流れ

プリンタとコンピュータの電源を ON にします。

Windows に IP アドレス等を設定します。

プリンタに IP アドレス等を設定します。

プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」からプリンタドライバ、OKI LPRユーティリティをインストールし、ネットワークプリンタを設定します。

セットアップします

ネットワーク上でプリンタを使用する場合、コンピュータとプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。ネットワーク上にDHCPサーバ、BOOTPサーバ、もしくはRARPサーバがない場合、手動でコンピュータやプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。
また、社内ネットワーク管理者や、プロバイダやルータメーカより決められた固有のIPアドレスを設定するように指示された場合も、手動でコンピュータやプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。
現在のプリンタに設定されているIPアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されていますので、確認してください。ネットワークの設定情報(Network Information)については、「メニューマップ印刷をします」(25ページ)をご覧ください。

- IPアドレスの設定を間違えると、ネットワークがダウンしたりInternetに接続できなくなることがあります。社内のネットワーク管理者や、Internet接続しているプロバイダに、プリンタに設定できるIPアドレス等を確認してください。
- ネットワーク上に存在するサーバ(DHCPなど)は、ご使用のネットワーク環境によって異なります。社内のネットワーク管理者や、Internet接続しているプロバイダやルータメーカーに確認してください。
- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

メモ
・プリンタはネットワークPlug&Playに対応しています。接続しているコンピュータがすべてWindowsXP/2000/Server2003の場合や、接続しているルータがネットワークPlug&Playに対応している場合は、ネットワーク上にサーバが存在しなくても自動的にIPアドレスを設定します。コンピュータとプリンタにIPアドレスを手動で設定する必要はありませんので、「手順4　プリンタドライバをインストールします」(41ページ)からセットアップしてください。
・コンピュータ1台とプリンタ1台を接続するような小規模ネットワークでは、次のように設定してください(「RFC1918」による)。

コンピュータ

IPアドレス	: 192.168.0.1～254のいずれか
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 0.0.0.0(使用しません)
DNS	: 使用しません

プリンタ

IPアドレス	: 192.168.0.1～254のいずれか(コンピュータと異なるもの)
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 0.0.0.0
DHCP/BOOTPを使用する	: チェックしない
RARPを使用する	: チェックしない
サーバを使用しないアドレス解決	: チェックしない
LAN	: SMALL

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

Windows	: WindowsXP Home Edition
プリンタ	: C9150dn
IPアドレス	: 192.168.0.3(コンピュータ) 192.168.0.2(プリンタ)
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	: 192.168.0.1

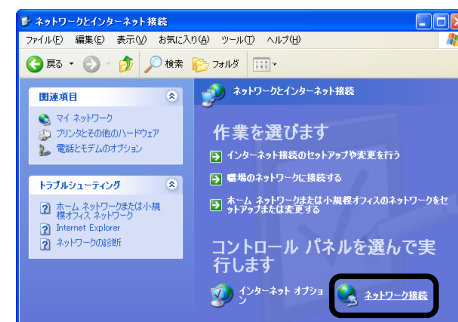
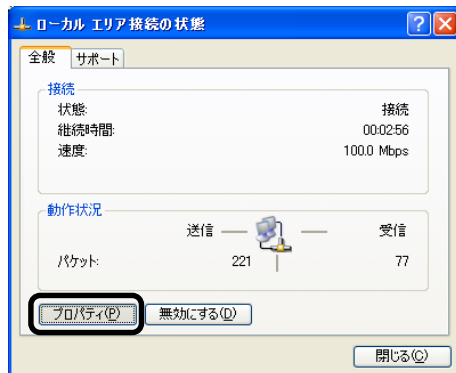
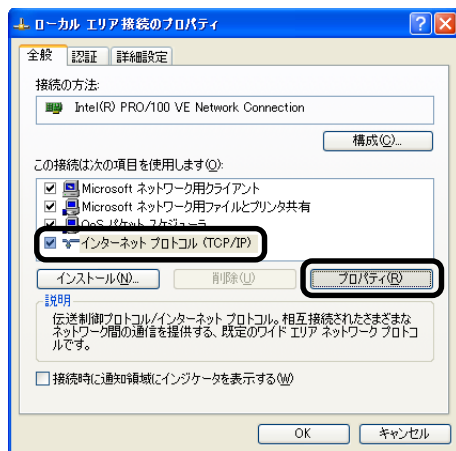
1 プリンタとコンピュータの電源をONにします。

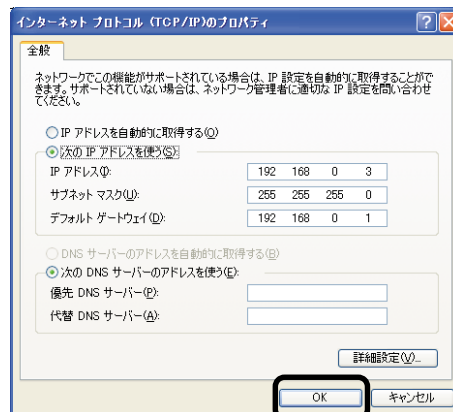
2 WindowsにIPアドレス等を設定します。

すでにWindowsにIPアドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順3「プリンタにIPアドレス等を設定します」(41ページ)へ進みます。

❶Windowsを起動します。

❷WindowsXPの場合、[スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[ネットワークとインターネット接続]をクリックします。
[コントロールパネルを選んで実行します]の[ネットワーク接続]をクリックします。

Windows2000/Server2003の場合、[スタート]-[設定]-[ネットワーク接続]をクリックします。

❸［ローカルエリア接続］をダブルクリックし、［プロパティ］をクリックします。

❹［インターネットプロトコル（TCP/IP）］を選択し、［プロパティ］をクリックします。

❺IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバを入力し、［OK］をクリックします。

メモ

- DHCPサーバからIPアドレスを自動取得する場合は、「IPアドレスを自動的に取得する」を選択し、IPアドレスは入力しません。
- デフォルトゲートウェイやDNSサーバを使用しない場合は、入力しません。

❻［ローカルエリア接続］を閉じます。

3 プリンタにIPアドレス等を設定します。

注 すでにプリンタにIPアドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順4「プリンタドライバをインストールします」へ進みます。

❶プリンタの電源をONにします。

❶ (0) を数回押し、[NETWORK　MENU]を表示します。

❷ (1) または (5) を押し、[TCP/IP/ENABLE　＊]を表示します。

[TCP/IP/DISABLE　＊]と表示されている場合は、(2) または (6)を押して[TCP/IP/ENABLE]を表示し、(3) を押して値の右側に[＊]を付けます。

❸ (1) または (5) を押し、[IP　ADDRESS]を表示します。

❹ (2) または (6) を押し、IPアドレスの1桁目の値にします。

❺ (3) を押し、値の右端に[＊]を付けます。

❻ (1) を押し、IPアドレスの2桁目の値にカーソルを移動します。

以後、❸〜❺を繰り返し、[SUBNET　MASK](サブネットマスク)、[GATEWAY　ADDRESS](ゲートウェイアドレス)を設定します。

❼ (4) を押し、[オンライン]にします。(電源を入れなおす必要はありません。)

注 プリンタが設定した情報を保存します。最低30秒程度は電源を切らないでください。

4 プリンタドライバをインストールします。

❶プリンタの電源がONで、Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

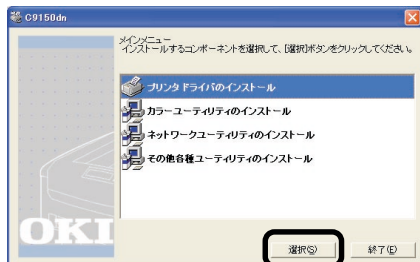
❷[スタート]-[マイコンピュータ]を選択します。

❸[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[OKICOLOR]CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

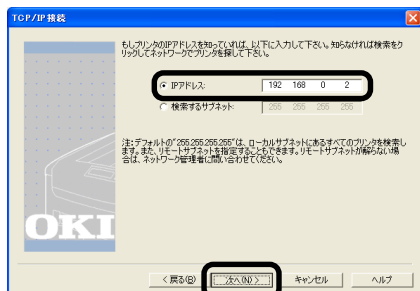
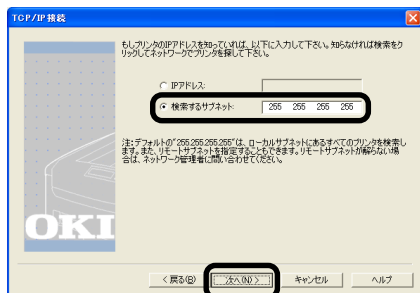
❹[SETUP]アイコンをダブルクリックします。

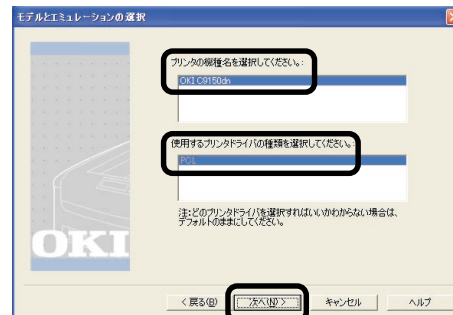
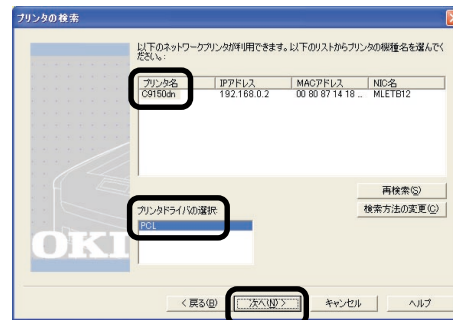
セットアッププログラムが起動します。

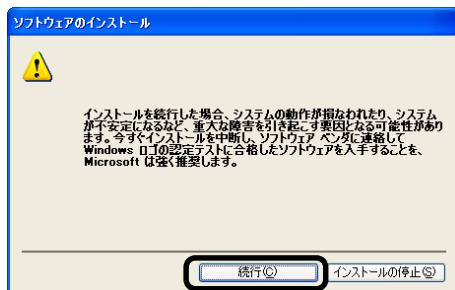
❺「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❻ [プリンタドライバのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❼ [ネットワークプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

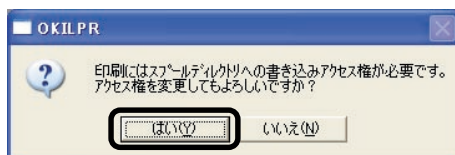
❽ [TCP/IPプロトコル]を選択し、[次へ]をクリックします。

❾ 手順3(41ページ)で設定したプリンタのIPアドレスを入力し、[次へ]をクリックします。

プリンタのIPアドレスが自動取得の場合や、IPアドレスがわからない場合は、[検索するサブネット]を選択し、[次へ]をクリックします。

WindowsXP Service Pack 2をお使いの方で、検索ができない場合は、「困ったときには」の「WindowsXP Service Pack 2に関する制限事項」(340ページ)を参照してください。

❿ 手順❾でプリンタのIPアドレスを入力した場合、プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、[次へ]をクリックします。

手順❾で[検索するサブネット]を選択した場合、検索されたプリンタリスト画面が表示されるので、プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、[次へ]をクリックします。

⓫ プリンタ名を入力し、[通常使うプリンタに設定する]にチェックを付け、[次へ]をクリックします。

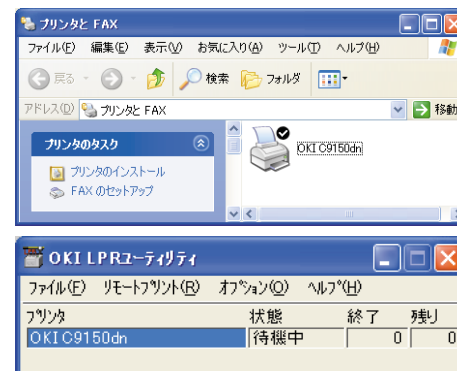
⓬ 共有するか確認の画面が表示されるので、[共有しない]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓭ [続行]をクリックします。

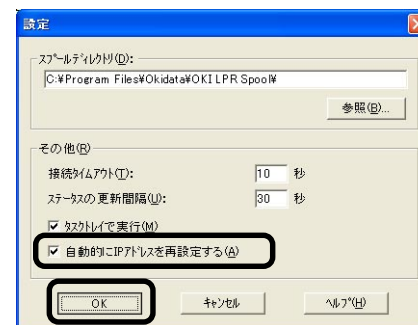
プリンタドライバとOKI LPRユーティリティとNetwork Extensionがインストールされます。

⓮ コンピュータのファイルシステムがNTFSの場合は、アクセス権を変更する画面が表示されますので[はい]をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら?
☞ ⓱へ進みます。

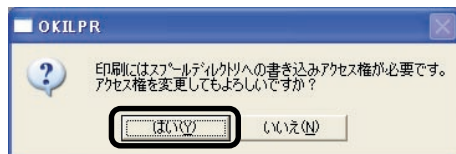
⓯ [完了]をクリックします。

⓰ [終了]をクリックします。

[プリンタ]または[プリンタとFAX]フォルダにプリンタアイコンが表示され、OKI LPRユーティリティにプリンタ名が追加されると、セットアップは終了です。

メモ プリンタの IP アドレスを自動取得している場合は、OKI LPR ユーティリティ「オプション」メニューの［設定］を選択し、[自動的に IP アドレスを再設定する］にチェックを付け、[OK］をクリックします。

2

☞ ⓮からの続き

⓱ [完了]をクリックし、コンピュータを再起動します。

⓲ 再起動後、アクセス権を変更する画面が表示される場合は、[はい]をクリックします。

OKILPR

印刷にはスプールディレクトリへの書き込みアクセス権が必要です。
アクセス権を変更してもよろしいですか？

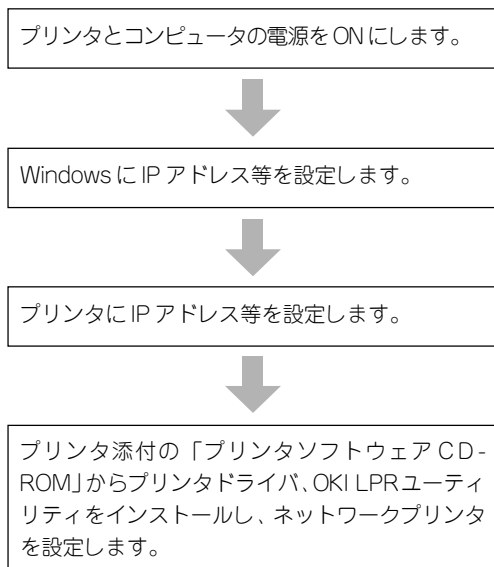
はい(Y)　いいえ(N)

[プリンタ]または[プリンタとFAX]フォルダにプリンタアイコンが表示され、OKI LPRユーティリティにプリンタ名が追加されると、セットアップは終了です。

メモ　プリンタの IP アドレスを自動取得している場合は、OKI LPR ユーティリティ「オプション」メニューの［設定］を選択し、[自動的に IP アドレスを再設定する］にチェックを付け、[OK］をクリックします。

5　5 章「印刷します」(95 ページ）へ進みます。

WindowsMe/98/95/NT4.0にセットアップします

セットアップの流れ

プリンタとコンピュータの電源をONにします。

WindowsにIPアドレス等を設定します。

プリンタにIPアドレス等を設定します。

プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」からプリンタドライバ、OKI LPRユーティリティをインストールし、ネットワークプリンタを設定します。

セットアップします

ネットワーク上でプリンタを使用する場合、コンピュータとプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。ネットワーク上にDHCPサーバ、BOOTPサーバ、もしくはRARPサーバがない場合、手動でコンピュータやプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。
また、社内ネットワーク管理者や、プロバイダやルータメーカより決められた固有のIPアドレスを設定するように指示された場合も、手動でコンピュータやプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。
現在のプリンタに設定されているIPアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されていますので、確認してください。ネットワークの設定情報(Network Information)については、「メニューマップ印刷をします」(25ページ)をご覧ください。

- IPアドレスの設定を間違えると、ネットワークがダウンしたりInternetに接続できなくなることがあります。社内のネットワーク管理者や、Internet接続しているプロバイダに、プリンタに設定できるIPアドレス等を確認してください。
- ネットワーク上に存在するサーバは、ご使用のネットワーク環境によって異なります。社内のネットワーク管理者や、Internet接続しているプロバイダやルータメーカーに確認してください。
- WindowsNT4.0にセットアップするには、コンピュータの管理者の権限が必要です。

メモ コンピュータ1台とプリンタ1台を接続するような小規模ネットワークでは、次のように設定してください(「RFC1918」による)。

コンピュータ

IPアドレス	: 192.168.0.1～254のいずれか
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 0.0.0.0(使用しません)
DNS	: 使用しません

プリンタ

IPアドレス	: 192.168.0.1～254のいずれか（コンピュータと異なるもの）
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 0.0.0.0
DHCP/BOOTPを使用する	: チェックしない
RARPを使用する	: チェックしない
サーバを使用しないアドレス解決	: チェックしない
LAN	: SMALL

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

Windows	: Windows98
プリンタ	: C9150dn
IPアドレス	: 192.168.0.3(コンピュータ) 192.168.0.2(プリンタ)
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	: 192.168.0.1

1 プリンタとコンピュータの電源を ON にします。

2 WindowsMe/98/95/NT4.0 に IP アドレス等を設定します。

- すでにWindowsにIPアドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順3「プリンタにIPアドレス等を設定します」(47ページ)へ進みます。
- WindowsNT4.0のIPアドレス等の設定方法は、[スタート]-[ヘルプ]を参照してください。

❶ Windowsを起動します。

❷ [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]を選択します。

❸ [ネットワーク]をダブルクリックします。

[現在のネットワークコンポーネント]に[TCP/IP→***(***はアダプタ名)]が表示されている場合は?
☞ ❼へ進みます。
WindowsMeで[ネットワーク]が表示されていない場合は？
☞ [すべてのコントロールパネルのオプションを表示する]をクリックします。
WindowsNT4.0で[ネットワーク]が表示されていない場合は？
☞ ❺へ進みます。

❹「ネットワークの設定」タブの[追加]をクリックします。

❺ [プロトコル]を選択し、[追加]をクリックします。

❻ [Microsoft]を選択して[TCP/IP]を選択し、[OK]をクリックします。

☞ ❸からの続き

❼ [TCP/IP→***](***はアダプタ名)を選択し、[プロパティ]をクリックします。

❽ [IPアドレス]タブでIPアドレス、サブネットマスク、[ゲートウェイ]タブでゲートウェイ、[DNS設定]タブでDNSを入力し、[OK]をクリックします。

メモ DHCPサーバからIPアドレスを自動取得する場合は、「IPアドレスを自動的に取得」を選択し、IPアドレスは入力しません。

❾ Windowsを再起動します。

3 プリンタにIPアドレス等を設定します。

注 すでにプリンタにIPアドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順4「プリンタドライバをインストールします」(48ページ)へ進みます。

❶ プリンタの電源をONにします。

❶ ⓪ を数回押し、[NETWORK　MENU]を表示します。

❷ ① または ⑤ を押し、[TCP/IP/ENABLE　＊]を表示します。

[TCP/IP/DISABLE　＊]と表示されている場合は、② または ⑥ を押して[TCP/IP/ENABLE]を表示し、③ を押して値の右側に[＊]を付けます。

❸ ① または ⑤ を押し、[IP　ADDRESS]を表示します。

❹ ② または ⑥ を押し、IPアドレスの1桁目の値にします。

❺ ③ を押し、値の右端に[＊]を付けます。

❻ ① を押し、IPアドレスの2桁目の値にカーソルを移動します。

以後、❸～❺を繰り返し、[SUBNET　MASK](サブネットマスク)、[GATEWAY　ADDRESS](ゲートウェイアドレス)を設定します。

❼ ④ を押し、[オンライン]にします。(電源を入れなおす必要はありません。)

注 プリンタが設定した情報を保存します。最低30秒程度は電源を切らないでください。

2

WindowsMe/98/95/NT4.0 にセットアップします

4 プリンタドライバをインストールします。

❶プリンタの電源がONで、Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷マイコンピュータを開きます。

❸[OKICOLOR]CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

❹[SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❺「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❻[プリンタドライバのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❼[ネットワークプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

❽[TCP/IPプロトコル]を選択し、[次へ]をクリックします。

❾プリンタのIPアドレスを入力し、[次へ]をクリックします。

プリンタのIPアドレスがわからない場合は、[検索するサブネット]を選択し、[次へ]をクリックします。

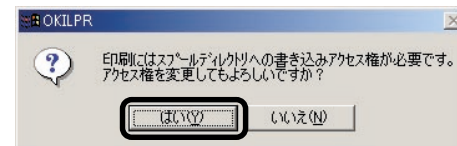
❿手順❾でプリンタのIPアドレスを入力した場合、プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、[次へ]をクリックします。

手順❾で[検索するサブネット]を選択した場合、検索されたプリンタリスト画面が表示されるので、プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、[次へ]をクリックします。

⓫ プリンタ名を入力し、[通常使うプリンタに設定する]にチェックを付け、[次へ]をクリックします。

WindowsNT4.0の場合は共有するか確認する画面が表示されるので、[共有しない]を選択し、[次へ]をクリックします。

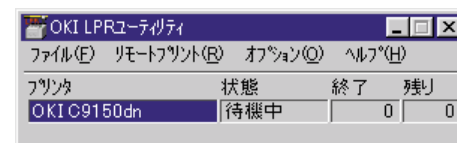
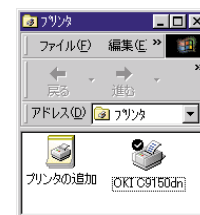
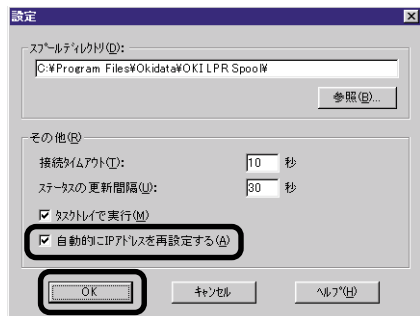
プリンタドライバとOKI LPRユーティリティとNetwork Extensionがインストールされます。

WindowsNT4.0でコンピュータのファイルシステムがNTFSの場合は、アクセス権を変更する画面が表示されるので[はい]をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら?

☞ ⓮へ進みます。

⓬ [完了]をクリックします。

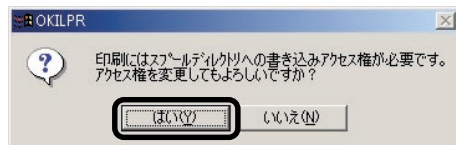
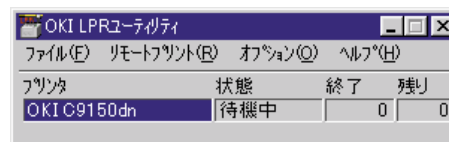
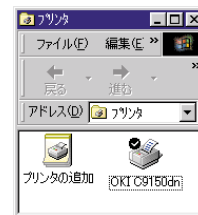
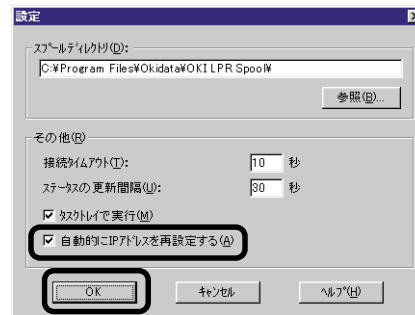
⓭ [終了]をクリックします。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが表示され、OKI LPRユーティリティにプリンタ名が追加されます。

メモ プリンタの IP アドレスを自動取得している場合は、OKI LPR ユーティリティ「オプション」メニューの［設定］を選択し、［自動的に IP アドレスを再設定する］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

セットアップは終了です。

☞ ⓫からの続き

⓮［再起動する］にチェックを付け、［完了］をクリックします。

Windowsが再起動されます。

WindowsNT4.0でコンピュータのファイルシステムがNTFSの場合は、アクセス権を変更する画面が表示されるので［はい］をクリックします。

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが表示され、OKI LPRユーティリティにプリンタ名が追加されます。

メモ プリンタの IP アドレスを自動取得している場合は、OKI LPR ユーティリティ「オプション」メニューの［設定］を選択し、［自動的に IP アドレスを再設定する］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

セットアップは終了です。

5 5 章「印刷します」（95 ページ）へ進みます。

プリンタドライバを削除するには

・WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。
・Windowsが起動されている場合は再起動してください。

❶［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXPでは［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。Windows Server2003では［スタート］-［設定］-［プリンタとFAX］を選択します。）

❷［OKI C9150dn］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［削除］を選択します。

❸以降、画面の指示に従います。

WindowsXP/2000/Server2003の場合は、❹、❺の作業を行ってください。

❹「プリンタ」フォルダ（WindowsXP/Server2003では「プリンタとＦＡＸ」フォルダ）の［ファイル］-［サーバーのプロパティ］を選択します。

❺［ドライバ］タブで、該当する機種名を選択し、［削除］をクリックします。

プリンタドライバと一緒にインストールされるOKI LPRユーティリティとNetwork Extensionは、プリンタドライバの削除をしても削除されません。
OKI LPRユーティリティとNetwork Extensionを削除する場合は、「Windowsソフトウェア」の「OKI LPRユーティリティ」、「Network Extension」をご覧ください。

プリンタドライバをアップデートするには

・WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。
・Windowsが起動されている場合は再起動してください。

❶ コンピュータとプリンタを接続し、プリンタの電源をONにします。

❷ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。(WindowsXPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリックします。Windows Server2003では[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。)

❸ [OKI C9150dn]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❹ [全般]タブの[テストページの印刷]をクリックします。(Windows Me/98/95の場合、[全般]タブの[印字テスト]をクリックします。)

❺ 確認画面が表示されたら、[OK]をクリックします。

テストページが印刷されます。

❻ プリンタの電源をOFFにします。

電源の切り方は「電源を切ります」(24ページ)をご覧ください。

❼ [OKI C9150dn]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[削除]を選択します。

❽ 以降、画面の指示に従います。

WindowsXP/2000/Server2003の場合は、❾～❿の作業を行ってください。

❾「プリンタ」フォルダ(Windows XP/Server2003では「プリンタとFAX」フォルダ)の[ファイル]-[サーバーのプロパティ]を選択します。

❿ [ドライバ]タブで、該当する機種名を選択し、[削除]をクリックします。

⓫ Windowsを再起動します。

⓬ 新しいプリンタドライバをセットアップします。
詳しくは、3章〜5章をご覧ください。

・必ずプリンタの電源がONになっていることを確認してください。
・WindowsXPでは、プリンタのインストールでセットアップします。

⓭ ❶〜❺の手順でテストページを印刷し、新しいプリンタドライバのバージョンを確認します。

WindowsMe/98/95
［ドライバで使用されるファイル］以下に記載されているバージョン

WindowsXP/2000/Server2003
［このドライバが使う追加ファイル］以下に記載されているバージョン

WindowsNT4.0
［このドライバが使うファイル］以下に記載されているバージョン

テストページ上に記載される［ドライバのバージョン］（Windows Me/98/95の場合、［ドライバ　バージョン］）には固定のバージョン番号が記載されます。この内容はプリンタドライバをアップデートしても更新されません。

3 USB接続でWindowsにセットアップします

動作環境

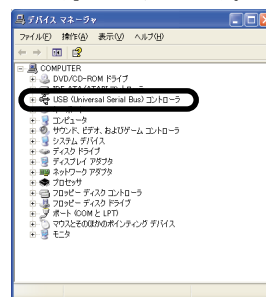
プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

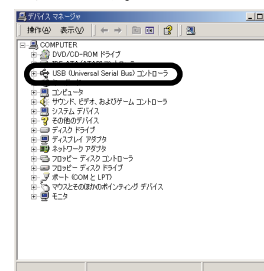
- Windows Server 2003
  Windows Server 2003日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT互換機でUSBインタフェースを搭載している機種
  ただし、32ビット版のみの対応です。
- WindowsXP
  WindowsXP日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT互換機、PC98-NX(PC-9821を除く)でUSBインタフェースを搭載している機種
- WindowsMe/98
  WindowsMe/98日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT互換機、PC98-NX(PC-9821を除く)でUSBインタフェースを搭載している機種
- Windows2000
  Windows2000日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT互換機、PC98-NX(PC-9821を除く)でUSBインタフェースを搭載している機種

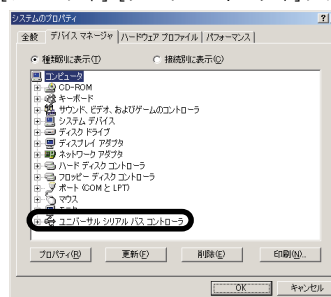
- Windows95/3.1からアップグレードインストールしたWindows Me/98での動作は保証できません。
- 日本語以外のOSには対応していません。
- MS-DOSおよびWindowsのコマンドプロンプト/DOSプロンプトでは動作しません。
- Windows95/3.1/NT4.0/NT3.51では動作しません。
- 印刷中にUSBケーブルを抜き差ししないでください。
- USBケーブルを短時間で抜き差ししないでください。抜き差しする間隔は5秒間以上あけてください。
- 他の全てのUSB機器との同時接続を保証するものではありません。
- 同一機種のプリンタを複数台接続すると、プリンタフォルダに「OKI C9150dn」「OKI C9150dn(コピー2)」「OKI C9150dn(コピー3)」と表示されます。この番号はプリンタを接続する順序や電源をONする順序によって変わります。
- USBハブを使用する場合は、コンピュータと直接接続されたUSBハブに接続してください。

- USBインタフェースケーブルは長さ2m以内のものをお使いください。
- お使いのコンピュータがUSBに対応しているか確認できます。

〈WindowsXP〉

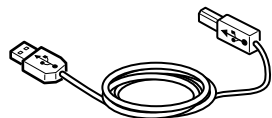
[スタート]-[マイコンピュータ]をマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]-[ハードウェア]タブを開き、[デバイスマネージャ]をクリックします。

〈Windows2000/Server2003〉

[マイコンピュータ]をマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]-[ハードウェア]タブを開き、[デバイスマネージャ]をクリックします。

〈WindowsMe/98〉

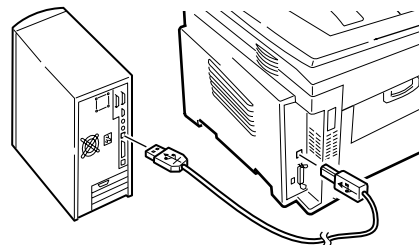
[マイコンピュータ]をマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]-[デバイスマネージャ]タブを開きます。

(WindowsMeの画面)

ケーブルを接続します

1 USBケーブルを準備します。

プリンタのケーブルは添付されていません。USB2.0仕様のケーブルを別途用意してください。

2 プリンタとコンピュータの電源をOFFにします。

メモ
- プリンタの電源の切り方は「電源を切ります」(24ページ)をご覧ください。
- USBケーブルはコンピュータ、プリンタの電源がONの状態でも抜き差しできますが、この後のプリンタドライバ、USBドライバのインストールを確実に行うために、ここではプリンタの電源をOFFにしておきます。

3 USBケーブルを接続します。

❶ USBケーブルをプリンタのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

USBケーブルをネットワークインタフェースコネクタに差し込まないよう注意してください。
故障の原因となります。

❷ USBケーブルをコンピュータのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

4 WindowsXP/Server2003をお使いの方は、「WindowsXP/Server2003にセットアップします」(58ページ)へ進みます。

WindowsMe/98/2000をお使いの方は、「WindowsMe/98/2000にセットアップします」(62ページ)へ進みます。

WindowsXP/Server2003にセットアップします

- WindowsXP/Server2003をお使いの方だけご覧ください。
- コンピュータの管理者の権限が必要です。

- **USBインタフェースで接続する場合、プリンタのインストール、セットアッププログラムでセットアップすると、プリンタとWindowsXP/Server2003を起動するたびに「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。WindowsXP/Server2003で初めてセットアップする場合は、必ずプラグアンドプレイでセットアップしてください。**

以下の説明はWindowsXP Home Editionを例にしています。

プラグアンドプレイでセットアップします

1 コンピュータの電源を ON にし、Windows を起動します。

WindowsXP/Server2003 の CD-ROM ドライブを確認します。

❶ [スタート]-[マイコンピュータ]を選択します。

❷ [リムーバブル記憶域があるデバイス]-[CDドライブ(E:)]のカッコ内に表示されている英文字を確認します。

この場合は、[E]がCD-ROMのドライブです。

2 プリンタドライバをインストールします。

❶ プリンタの電源をONにします。

❷「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面で次の画面が表示されたら、[いいえ、今回は接続しません]を選択し、[次へ]をクリックします。

❸ [一覧または特定の場所からインストールする(詳細)]を選択し、[次へ]をクリックします。

画面が表示されなかったら？
☞ 「WindowsXP/Server2003で「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない場合」(69ページ)へ進みます。

❹「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❺［次の場所で最適のドライバを検索する］を選択し、［リムーバブルメディア(フロッピー、CD-ROMなど)を検索］のチェックを外します。

❻［次の場所を含める］にチェックを付け、次のように入力し、［次へ］をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。
E:¥WIN2KXP¥PCL¥JPN

❼「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、［続行］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

「ディスクの挿入」画面が表示されたら？
☞ ⓫へ進みます。

❽［完了］をクリックします。

❾［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

❿「コントロールパネルを選んで実行します」の［プリンタとFAX］をクリックします。(Windows Server2003の場合、［スタート］-［設定］-［プリンタとFAX］を選択します。)

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

☞ ❼からの続き

⓫「ディスクの挿入」画面が表示されたら、「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットし、［OK］をクリックします。

⓬ [製造元のファイルのコピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。 E:¥WIN2KXP¥PCL¥JPN

ファイルのコピーが開始されます。

⓭ [完了]をクリックします。

⓮ [スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタとその他のハードウェア]をクリックします。

⓯「コントロールパネルを選んで実行します」の[プリンタとFAX]をクリックします。（Windows Server2003の場合、[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。）

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

プリンタのインストールでセットアップします

❶ コンピュータの電源をONにし、[スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタとその他のハードウェア]をクリックします。

❷ [コントロールパネルを選んで実行します]の[プリンタとFAX]をクリックします。（Windows Server2003の場合、[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。）

❸ [プリンタのタスク]-[プリンタのインストール]をクリックします。（Windows Server2003の場合、[プリンタの追加]をダブルクリックします。）

❹「プリンタの追加ウィザード」画面で、[次へ]をクリックします。

❺ [このコンピュータに接続されているローカルプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

注 [プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする]のチェックは外してください。

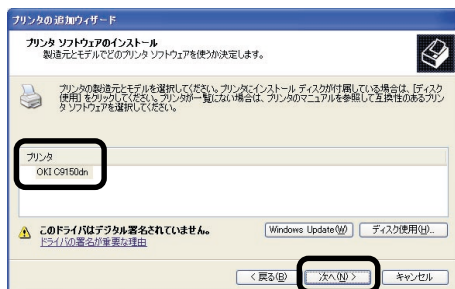
❻「次のポートを使用」画面で[USBxxx]（xxxはポートの番号）を選択し、[次へ]をクリックします。

❼ [ディスク使用]をクリックします。

❽「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❾ [製造元のファイルのコピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

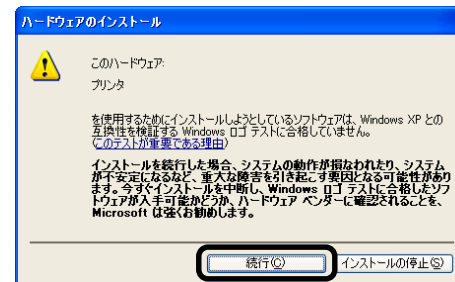
ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。
E:¥WIN2KXP¥PCL¥JPN

❿ プリンタ名を選択し、[次へ]をクリックします。

⓫ プリンタ名を確認し、通常使うプリンタで[はい]を選択し、[次へ]をクリックします。

メモ 「プリンタ共有」画面が表示されたら、[このプリンタを共有しない]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓬ [テストページを印刷しますか?]で[いいえ]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓭ [完了]をクリックします。

⓮「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、[続行]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

[プリンタとFAX]フォルダにプリンタアイコンが表示されます。

セットアップは完了です。

WindowsMe/98/2000にセットアップします

Windows2000ではコンピュータの管理者の権限が必要です。

1 コンピュータの電源をONにし、Windowsを起動します。

注 プリンタの電源がONになっていると、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示さます。その場合には、[キャンセル]をクリックし、プリンタの電源をOFFにしてから次に進んでください。

2 セットアッププログラムを起動します。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をコンピュータにセットします。

❷[マイコンピュータ]を開きます。

❸[OKICOLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

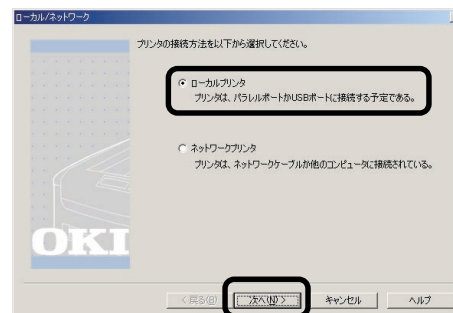
❹[SETUP]アイコンをダブルクリックします。

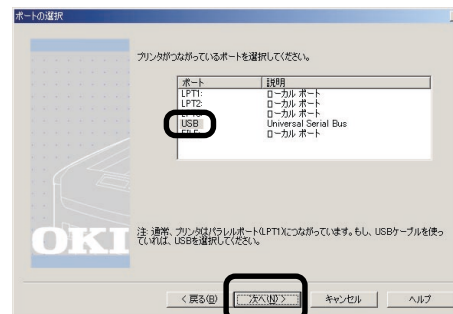
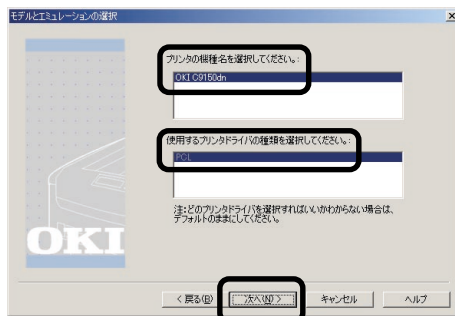
セットアッププログラムが起動します。

3 プリンタドライバをインストールします。

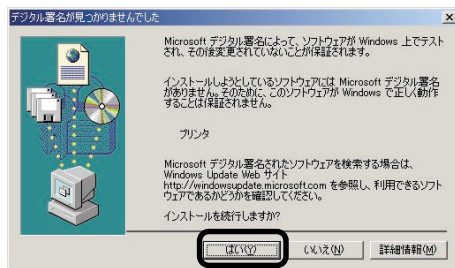
❶「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❷[プリンタドライバのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❸[ローカルプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

ネットワークで接続する場合は、「2　ネットワーク接続でWindowsにセットアップします」(35ページ)をご覧ください。

❹ポートで[USB]を選択し、[次へ]をクリックします。

❺プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、[次へ]をクリックします。

WindowsMe/98の場合は、ファイルのコピーが行われます。

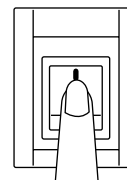
WindowsMe/98の場合
☞「手順4　USBドライバをインストールします」へ進みます。

❻Windows2000で「デジタル署名が見つかりませんでした」画面が表示されたら、[はい]をクリックします。

ファイルのコピーが行われます。

☞「手順4　USBドライバをインストールします」へ進みます。

4 USB ドライバをインストールします。

❶「ケーブル接続」の画面が表示されたら、[完了]をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら？
☞ ❸に進みます。

❷プリンタの電源をONにします。

USBドライバのインストール方法は、システムによって異なります。

Windows2000の場合
☞ 64ページに進みます。

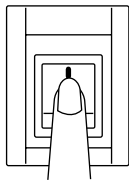
WindowsMeの場合
☞ 65ページに進みます。

Windows98の場合
☞ 66ページに進みます。

☞ ❶からの続き

❸[再起動する]にチェックを付け、[完了]をクリックします。

Windowsが再起動されます。

❹ Windowsが完全に起動したら、プリンタの電源をONにします。

USBドライバのインストール方法は、システムによって異なります。

Windows2000の場合

☞ 右の「Windows2000の場合」に進みます。

WindowsMeの場合

☞ 65ページに進みます。

Windows98の場合

☞ 66ページに進みます。

Windows2000の場合

❶ システム標準のUSBドライバが自動的にインストールされます。1〜2分かかることがあります。

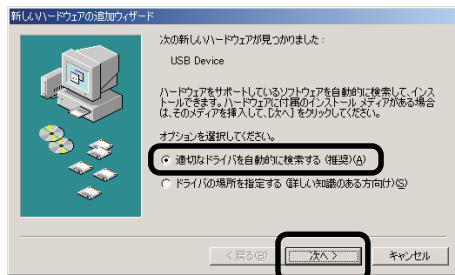
❷ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

WindowsMeの場合

「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。以下の手順に従ってUSBドライバをインストールします。

新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されない場合は「セットアップがうまくいかないとき」の「WindowsMeで「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」(71ページ)をご覧ください。

❶[適切なドライバを自動的に検索する(推奨)]を選択し、[次へ]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

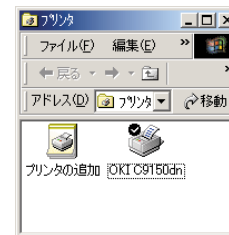
❷[完了]をクリックします。

引き続き、USBケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

「ディスクの挿入」が表示されたら?
☞ ❺へ進みます。

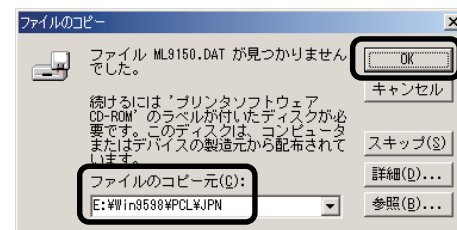
❸「C9150dn」画面が表示されている場合は、[終了]をクリックします。

❹[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

☞ ❷からの続き

❺[ファイルのコピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。
E:¥WIN9598¥PCL¥JPN

ファイルのコピーが開始されます。

❻ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

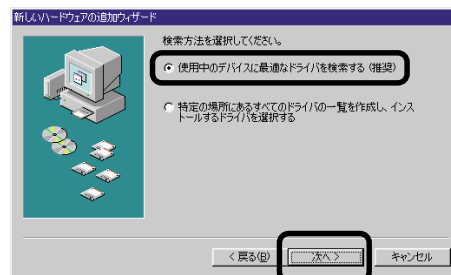
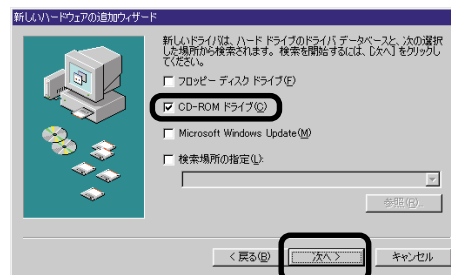
セットアップは完了です。

Windows98の場合

「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。以下の手順に従ってUSBドライバをインストールします。

新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されない場合は「セットアップがうまくいかないとき」の「Windows98で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」(73ページ)をご覧ください。

❶「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。

❷ [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]を選択し、[次へ]をクリックします。

❸ [CD-ROMドライブ]にチェックを付け、[次へ]をクリックします。

❹［次へ］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

❺［完了］をクリックします。

引き続きUSBケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

「ディスクの挿入」が表示されたら？
☞ ❽へ進みます。

❻「C9150dn」画面が表示されている場合は、［終了］をクリックします。

❼［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

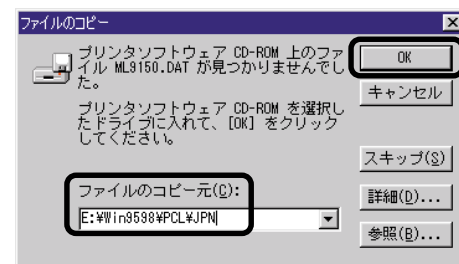
プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

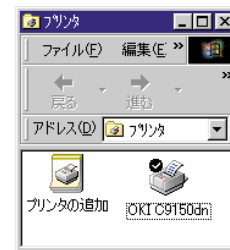
セットアップは完了です。

☞ ❺からの続き

❽「ディスクの挿入」画面が表示されたら、「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットし、［OK］をクリックします。

❾［ファイルのコピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。
E:¥WIN9598¥PCL¥JPN

❿［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

セットアップがうまくいかないとき

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが作成されない場合
(WindowsMe/98/2000、USBインタフェース)

プリンタドライバが正しくセットアップされていません。以下の手順に従ってセットアップを行います。

❶ セットアッププログラムを起動します。

❷ 画面の指示に従ってセットアップし、「ケーブルの接続」画面が表示されたら、USBケーブルの接続を確認し、電源をONにします。

「コンピュータの再起動」画面が表示された場合は、Windowsを再起動した後、USBケーブルの接続を確認し、プリンタの電源をONにします。

❸ 以降、画面の指示に従ってセットアップします。

詳細は、「WindowsMe/98/2000にセットアップします」(62ページ)をご覧ください。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが作成されているが、印刷できない場合

プリンタドライバの印刷先のポートが正しく設定されていません。以下の手順に従って設定を確認します。

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ](WindowsXPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]、Windows Server2003では[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX])を選択します。

❷ プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして[プロパティ]を選択します。

❸ [詳細]タブの[印刷先のポート](WindowsXP/2000/Server2003では、[ポート]タブの[印刷するポート])で、接続先のポートを下記の設定にします。

WindowsXP/2000/Server2003…USBケーブルで接続する場合	[USBxxx]
WindowsMe/98…USBケーブルで接続する場合	[OP1 USBx]

- WindowsXP/2000/Server2003で、[印刷するポート]に[USBxxx]が表示されないときは、プリンタの電源がONになっていることを確認してUSBケーブルを接続し直し、再度❶～❸を行ってください。
- WindowsMe/98で[印刷先のポート]に[OP1 USBx]が表示されないときは、プリンタの電源がOFFになっていることを確認してUSBケーブルを接続し直し、再度セットアップを行ってください。詳細は、「WindowsMe/98/2000にセットアップします」(62ページ)をご覧ください。
- WindowsMe/98でセットアップ中に「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合は、「WindowsMeで「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」(71ページ)、「Windows98で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」(73ページ)をご覧ください。
- WindowsMe/98の場合、ご利用の環境により[USBxxx]と表示される場合もあります。

セットアッププログラムで「プリンタドライバのインストールに失敗しました」のエラーが表示される場合（WindowsMe/98/2000）

WindowsMe/98/2000とUSB接続する場合、プラグアンドプレイでセットアップする必要があります。以下の手順でセットアップを行っているか確認してください。

❶プリンタとコンピュータの電源がOFFになっていることを確認します。

❷USBケーブルを接続します。

❸プリンタの電源をONにします。

❹Windowsを起動します。

❺「新しいハードウェアの追加ウィザード」（Windows2000では「新しいハードウェアの検索ウィザード」）が表示されたら、以降、画面の指示に従ってセットアップします。

詳細は、「プリンタソフトウェアCD-ROM」内の「README.TXT」をご覧ください。

WindowsXP/Server2003で、パソコンを起動するたびに「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示される場合

プリンタドライバをプラグアンドプレイでセットアップしていません。以下の手順に従って、セットアップしてください。

❶プリンタドライバを削除します。

❷「WindowsXP/Server2003にセットアップします」の「プラグアンドプレイでセットアップします」（58ページ）の手順に従ってセットアップします。

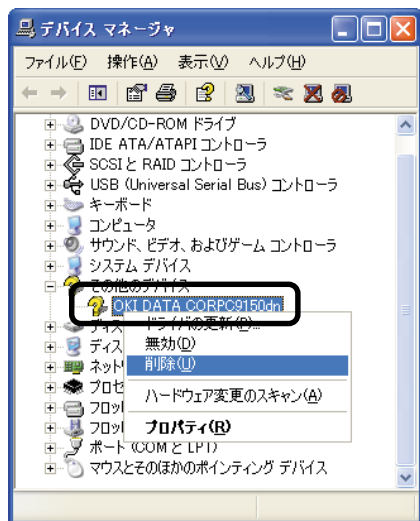
メモ　接続するポートを変えた場合も「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。できるだけ同じポートに接続してください。

WindowsXP/Server2003で「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない場合

プリンタドライバのインストールに失敗しています。下記の手順で途中までインストールしたプリンタドライバを削除してからセットアップし直してください。

❶[スタート]-[マイコンピュータ]をマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❷[ハードウェア]タブの[デバイスマネージャ]をクリックします。

❸[その他のデバイス]の「OKI DATA CORPC9150dn」をマウスの右ボタンでクリックして[削除]を選択します。

[その他のデバイス]が表示されなかったら?

[表示]メニューの[非表示のデバイスの表示]を選択し、[プリンタ]の「OKI DATA CORPC9150dn」をマウスの右ボタンでクリックして[削除]を選択します。

❹「デバイスの削除の確認」画面で[OK]をクリックし、「デバイスマネージャ」を閉じます。

❺「システムのプロパティ」画面で[OK]をクリックします。

❻Windowsを再起動し、「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面から再セットアップします。

☞ 「WindowsXP/Server2003にセットアップします」の「プラグアンドプレイでセットアップします」(58ページ)へ戻ります。

WindowsMeで「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合

プリンタドライバのインストールに失敗しています。下記の手順で途中までインストールしたドライバを引き続きインストールしてください。

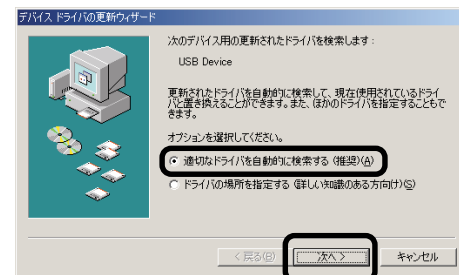
❶［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］を選択します。

❷［システム］をダブルクリックします。

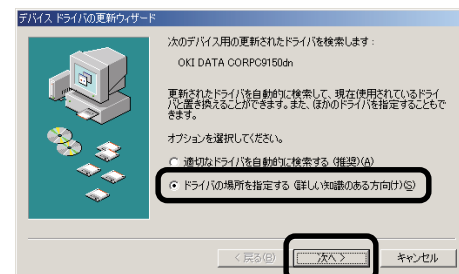
❸［デバイスマネージャ］タブの［その他のデバイス］で［USB Device］を選択し、プロパティをクリックします。

❹［ドライバの再インストール］をクリックします。

❺「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❻「デバイスドライバの更新ウィザード」画面が表示されたら、［適切なドライバを自動的に検索する（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

引き続き、USBケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

❼「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、［ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）］を選択し、［次へ］をクリックします。

❽［使用中のデバイスに最適なプリンタドライバを検索する（推奨）］を選択し、「リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROMなど）」のチェックを外します。

❾ [検索場所の指定]にチェックを付け、次のように入力し、[次へ]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。
E:¥WIN9598¥PCL¥JPN

❿ [次へ]をクリックします。

⓫ 通常のプリンタで[はい]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓬ [印字テストを行いますか？]で[いいえ]を選択し、[完了]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

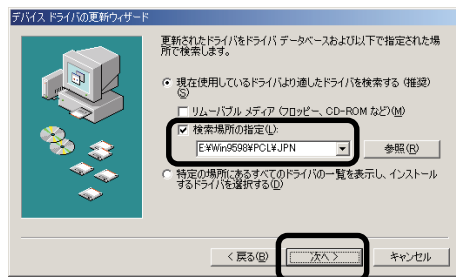
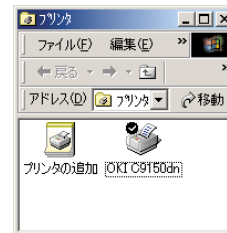
⓭ [完了]をクリックします。

⓮ [完了]をクリックします。

⓯「Oki USB Driverプロパティ」画面で[閉じる]をクリックします。

⓰「システムのプロパティ」画面で[OK]をクリックし、[コントロールパネル]を閉じます。

⓱ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

Windows98で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合

プリンタドライバのインストールに失敗しています。下記の手順で途中までインストールしたドライバを引き続きインストールしてください。

❶ [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]を選択します。

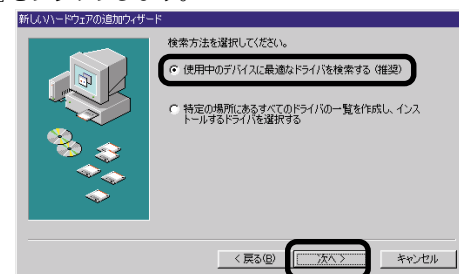
❷ [システム]をダブルクリックします。

❸ [デバイスマネージャ]タブの[その他のデバイス]で[USB Device]を選択し、プロパティをクリックします。

[不明なデバイス]と表示されることがあります。

❹ [ドライバの再インストール]をクリックします。

❺「デバイスドライバの更新ウィザード」画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。

❻ [現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する(推奨)]を選択し、[次へ]をクリックします。

❼「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❽ [CD-ROM ドライブ]にチェックを付け、[次へ]をクリックします。

❾ [次へ]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

❿ [完了]をクリックします。

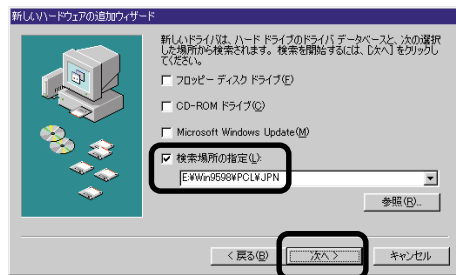
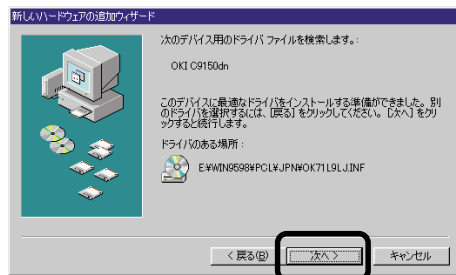
⓫「Oki USB Driverプロパティ」画面で[閉じる]をクリックします。

引き続き、USBケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

⓬「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。

⓭ [使用中のデバイスに最適なプリンタドライバを検索する(推奨)]を選択します。

⓮ [検索場所の指定]にチェックを付け、次のように入力し、[次へ]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。 E:¥WIN9598¥PCL¥JPN

⓯ 最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、[次へ]をクリックします。

⓰ プリンタ名を確認し、通常のプリンタで[はい]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓱ [印字テストを行いますか？]で[いいえ]を選択し、[完了]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

⓲ [完了]をクリックします。

⓳「システムのプロパティ」画面で[OK]をクリックし、[コントロールパネル]を閉じます。

⓴ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

プリンタドライバを削除するには

・WindowsXP/2000/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。
・Windowsが起動されている場合は再起動してください。

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。(WindowsXPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリックします。Windows Server2003では[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。)

❷ [OKI C9150dn]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[削除]を選択します。

❸ 以降、画面の指示に従います。

WindowsXP/2000/Server2003の場合は、❹、❺の作業を行ってください。

❹「プリンタ」フォルダ(WindowsXP/Server2003では「プリンタとFAX」フォルダ)の[ファイル]-[サーバーのプロパティ]を選択します。

❺ [ドライバ]タブで、該当する機種名を選択し、[削除]をクリックします。

プリンタドライバをアップデートするには

- WindowsXP/2000/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windowsが起動されている場合は再起動してください。

❶ コンピュータとプリンタを接続し、プリンタの電源をONにします。

❷ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。(WindowsXPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリックします。Windows Server2003では[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。)

❸ [OKI C9150dn]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❹ [全般]タブの[テストページの印刷]をクリックします(Windows Me/98/95の場合、[全般]タブの[印字テスト]をクリックします。)

❺ 確認画面が表示されたら、[OK]をクリックします。

テストページが印刷されます。

❻ プリンタの電源をOFFにします。

電源の切り方は「電源を切ります」(24ページ)をご覧ください。

❼ [OKI C9150dn]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[削除]を選択します。

❽ 以降、画面の指示に従います。

WindowsXP/2000/Server2003の場合は、❾～❿の作業を行ってください。

❾ 「プリンタ」フォルダ(Windows XP/Server2003では「プリンタとFAX」フォルダ)の[ファイル]-[サーバーのプロパティ]を選択します。

❿ [ドライバ]タブで、該当する機種名を選択し、[削除]をクリックします。

⓫ Windowsを再起動します。

⓬ 新しいプリンタドライバをセットアップします。
詳しくは「WindowsXP/Server2003にセットアップします」(58ページ)、「WindowsMe/98/2000にセットアップします」(62ページ)をご覧ください。

注
・必ずプリンタの電源がONになっていることを確認してください。
・WindowsXPでは、プリンタのインストールでセットアップします。

⓭ ❶〜❺の手順でテストページを印刷し、新しいプリンタドライバのバージョンを確認します。

WindowsMe/98
[ドライバで使用されるファイル]以下に記載されているバージョン

WindowsXP/2000/Server2003
[このドライバが使う追加ファイル]以下に記載されているバージョン

テストページ上に記載される[ドライバのバージョン](WindowsMe/98の場合、[ドライバ　バージョン])には固定のバージョン番号が記載されます。この内容はプリンタドライバをアップデートしても更新されません。

4 パラレル接続でWindowsにセットアップします

4

動作環境

プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

● Windows Server 2003
Windows Server 2003日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機で、双方向パラレルインタフェースを搭載している機種
ただし、32ビット版のみの対応です。

● WindowsXP
WindowsXP日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX(PC-9821を除く)で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

● WindowsMe/98/95
WindowsMe/98/95日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX、PC-9821で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種
Internet Explorer 4.0以上がインストールされていること

● Windows2000
Windows2000日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX、PC-9821で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

● WindowsNT4.0
WindowsNT4.0日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX、PC-9821でパラレルインタフェースを搭載している機種

・日本語以外のOSには対応していません。
・MS-DOSおよびWindowsのコマンドプロンプト/DOSプロンプトでは動作しません。
・Windows3.1/NT3.51では動作しません。
・WindowsNT4.0は、ARC互換RISCベースのプロセッサ(MIPS®シリーズ、Alpha、PowerPC™など)のシステムには対応していません。

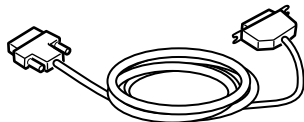
メモ
・コンピュータのパラレルポートのBIOS設定を「ECP」モードにすると、データ転送速度が向上する場合があります。設定方法はコンピュータの製造元にお問い合わせください。
・パラレルケーブルはシールドされたものをお使いください。(最長1.8m)

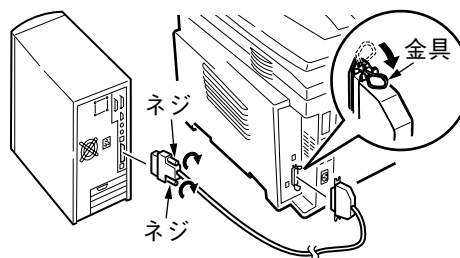
ケーブルを接続します

1 パラレルケーブルを準備します。

プリンタケーブルは添付されていません。IEEEstd1284-1994準拠の双方向パラレルケーブルを別途用意してください。

2 プリンタとコンピュータの電源を OFF にします。

メモ

プリンタの電源の切り方は「電源を切ります」(24ページ) をご覧ください。

3 コンピュータとプリンタを接続します。

❶ パラレルケーブルをプリンタのパラレルインタフェースコネクタに差し込み、金具で固定します。

❷ パラレルケーブルをコンピュータのパラレルインタフェースコネクタに差し込み、ネジで固定します。

4 WindowsXP/Server2003 をお使いの方は、「WindowsXP/Server2003 にセットアップします」(82 ページ) へ進みます。

WindowsMe/98/95/2000/NT4.0 をお使いの方は、「WindowsMe/98/95/2000/NT4.0 にセットアップします」(86 ページ) へ進みます。

WindowsXP/Server2003にセットアップします

- WindowsXP/Server2003をお使いの方だけご覧ください。
- コンピュータの管理者の権限が必要です。
- パラレルインタフェースで接続する場合、プリンタのインストール、セットアッププログラムでセットアップすると、プリンタとWindowsXP/Server2003を起動するたびに「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。WindowsXP/Server2003で初めてセットアップする場合は、必ずプラグアンドプレイでセットアップしてください。

以下の説明はWindowsXP Home Editionを例にしています。

プラグアンドプレイでセットアップします

1 コンピュータの電源を ON にし、Windows を起動します。

WindowsXP/Server2003 の CD-ROM ドライブを確認します。

❶ [スタート]-[マイコンピュータ]を選択します。

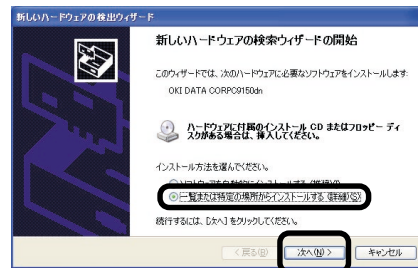
❷ [リムーバブル記憶域があるデバイス]-[CDドライブ(E:)]のカッコ内に表示されている英文字を確認します。

この場合は、[E]がCD-ROMのドライブです。

2 プリンタドライバをインストールします。

❶ プリンタの電源をONにします。

❷「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面で次の画面が表示されたら、[いいえ、今回は接続しません]を選択し、[次へ]をクリックします。

❸ [一覧または特定の場所からインストールする(詳細)]を選択し、[次へ]をクリックします。

画面が表示されなかったら？

☞ 「WindowsXP/Server2003で「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない場合」(89ページ)へ進みます。

❹「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❺ [次の場所で最適のドライバを検索する]を選択し、[リムーバブルメディア(フロッピー、CD-ROMなど)を検索]のチェックを外します。

❻ [次の場所を含める]にチェックを付け、次のように入力し、[次へ]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。 E:¥WIN2KXP¥PCL¥JPN

❼「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、[続行]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

「ディスクの挿入」画面が表示されたら？

☞ ⓫へ進みます。

❽ [完了]をクリックします。

❾ [スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタとその他のハードウェア]をクリックします。

❿「コントロールパネルを選んで実行します」の[プリンタとFAX]をクリックします。(Windows Server2003の場合、[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。)

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

☞ ❼からの続き

⓫「ディスクの挿入」画面が表示されたら、「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットし、[OK]をクリックします。

⓬ [コピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。 E:¥WIN2KXP¥PCL¥JPN

ファイルのコピーが開始されます。

⓭ [完了]をクリックします。

⓮ [スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタとその他のハードウェア]をクリックします。

⓯「コントロールパネルを選んで実行します」の[プリンタとFAX]をクリックします。（Windows Server2003の場合、[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。）

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

プリンタのインストールでセットアップします

❶ コンピュータの電源をONにし、[スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタとその他のハードウェア]をクリックします。

❷ [コントロールパネルを選んで実行します]の[プリンタとFAX]をクリックします。（Windows Server2003の場合、[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。）

❸ [プリンタのタスク]-[プリンタのインストール]をクリックします。（Windows Server2003の場合、[プリンタの追加]をダブルクリックします。）

❹「プリンタの追加ウィザード」画面で、[次へ]をクリックします。

❺ [このコンピュータに接続されているローカルプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

注 [プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする]のチェックは外してください。

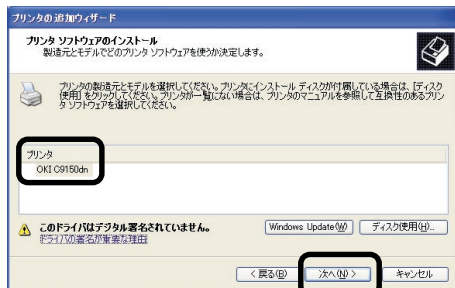
❻「次のポートを使用」画面で[LPT1:（推奨プリンタポート）]を選択し、[次へ]をクリックします。

❼ [ディスク使用]をクリックします。

❽「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❾ [製造元のファイルのコピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

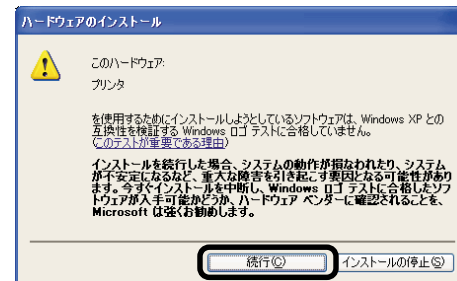
ここではCD-ROMドライブがE:の場合を例にしています。
E:¥WIN2KXP¥PCL¥JPN

❿ プリンタ名を選択し、[次へ]をクリックします。

⓫ プリンタ名を確認し、通常使うプリンタで[はい]を選択し、[次へ]をクリックします。

メモ 「プリンタ共有」画面が表示されたら、[このプリンタを共有しない]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓬ [テストページを印刷しますか?]で[いいえ]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓭ [完了]をクリックします。

⓮「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、[続行]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

[プリンタとFAX]フォルダにプリンタアイコンが表示されます。

セットアップは完了です。

WindowsMe/98/95/2000/NT4.0にセットアップします

・Windows2000/NT4.0ではコンピュータの管理者の権限が必要です。
・Windows95の場合、Internet Explorer4.0以上がインストールされていないと、セットアッププログラムでのセットアップができません。

1 コンピュータの電源を ON にし、Windows を起動します。

プリンタの電源がONになっていると、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。その場合には、［キャンセル］をクリックし、プリンタの電源をOFFにしてから次に進んでください。

2 セットアッププログラムを起動します。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をコンピュータにセットします。

❷［マイコンピュータ］を開きます。

❸［OKICOLOR］アイコンをダブルクリックして開きます。

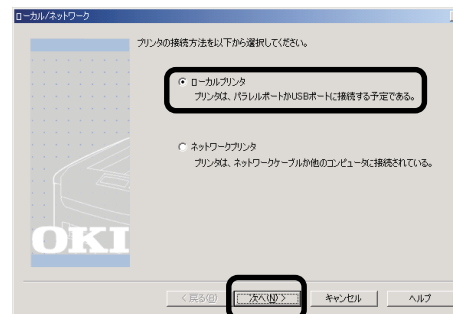
❹［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

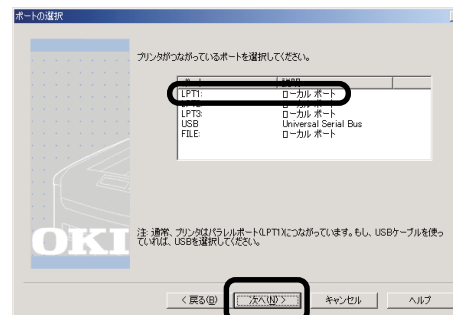
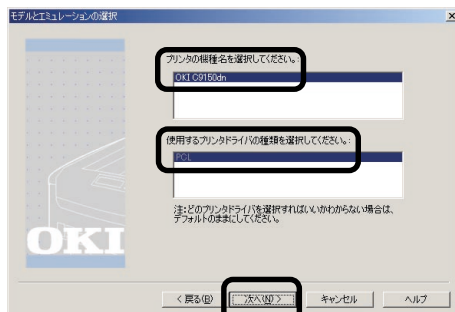
セットアッププログラムが起動します。

3 プリンタドライバをインストールします。

❶「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

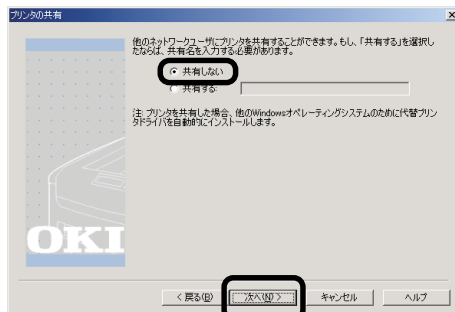
❷［プリンタドライバのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

❸［ローカルプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

ネットワークで接続する場合は、「2　ネットワーク接続でWindowsにセットアップします」（35ページ）をご覧ください。

❹ポートで［LPT1］を選択し、［次へ］をクリックします。

❺プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、[次へ]をクリックします。

❻プリンタ名を入力し、[通常使うプリンタに設定する]にチェックを付け、[次へ]をクリックします。

WindowsMe/98/95では、ファイルのコピーが行われます。

❼Windows2000/NT4.0の場合、「プリンタの共有」画面が表示されたら、[共有しない]を選択し、[次へ]をクリックします。

 WindowsMe/98/95では表示されません。

WindowsNT4.0では、ファイルのコピーが行われます。

❽Windows2000の場合、「デジタル署名が見つかりませんでした」画面が表示されたら、[はい]をクリックします。

 WindowsMe/98/95/NT4.0では表示されません。

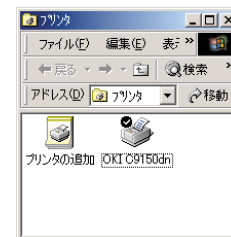
ファイルのコピーが行われます。

❾[完了]をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示された場合
☞ ⓬に進みます。

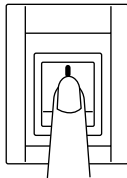
❿[終了]をクリックします。

⓫[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

☞ ❾からの続き

⓬「コンピュータの再起動」画面が表示されたら、[再起動する]を選択し、[完了]をクリックします。

Windowsが再起動されます。

⓭ Windowsが完全に起動したら、プリンタの電源をONにします。

⓮ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが作成されているが、印刷できない場合

プリンタドライバの印刷先のポートが正しく設定されていません。以下の手順に従って設定を確認します。

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ](WindowsXPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]、Windows Server2003では[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX])を選択します。

❷ プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして[プロパティ]を選択します。

❸ [詳細]タブの[印刷先のポート](WindowsXP/2000では、[ポート]タブの[印刷するポート])で、接続先のポートを下記の設定にします。

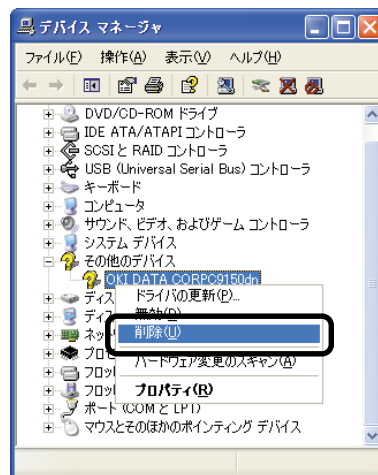
パラレルケーブルで接続する場合 [LPT1]

WindowsXP/Server2003で「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない場合

プリンタドライバのインストールに失敗しています。下記の手順で途中までインストールしたプリンタドライバを削除してからセットアップし直してください。

❶ [スタート]-[マイコンピュータ](Windows Server2003ではデスクトップ上の[マイコンピュータ])をマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❷ [ハードウェア]タブの[デバイスマネージャ]をクリックします。

❸ [その他のデバイス]の「OKI DATA CORPC9150dn」をマウスの右ボタンでクリックして[削除]を選択します。

[その他のデバイス]が表示されなかったら?

[表示]メニューの[非表示のデバイスの表示]を選択し、[プリンタ]の「OKI DATA CORPC9150dn」をマウスの右ボタンでクリックして[削除]を選択します。

❹「デバイスの削除の確認」画面で[OK]をクリックし、「デバイスマネージャ」を閉じます。

❺「システムのプロパティ」画面で[OK]をクリックします。

❻ Windowsを再起動し、「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面から再セットアップします。

☞ 「WindowsXP/Server2003にセットアップします」の「プラグアンドプレイでセットアップします」(82ページ)へ戻ります。

プリンタドライバを削除するには

- WindowsXP/2000/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windowsが起動されている場合は再起動してください。

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。(WindowsXPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリックします。Windows Server2003では[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。)

❷ [OKI C9150dn]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[削除]を選択します。

❸ 以降、画面の指示に従います。

WindowsXP/2000/Server2003の場合は、❹、❺の作業を行ってください。

❹「プリンタ」フォルダ(Windows XP/Server2003では「プリンタとFAX」フォルダ)の[ファイル]-[サーバーのプロパティ]を選択します。

❺ [ドライバ]タブで、該当する機種名を選択し、[削除]をクリックします。

プリンタドライバをアップデートするには

- WindowsXP/2000/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windowsが起動されている場合は再起動してください。

❶ コンピュータとプリンタを接続し、プリンタの電源をONにします。

❷ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。(WindowsXPでは[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリックします。Windows Server2003では[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。)

❸ [OKI C9150dn]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❹ [全般]タブの[テストページの印刷]をクリックします。(Windows Me/98/95の場合、[全般]タブの[印字テスト]をクリックします。)

❺ 確認画面が表示されたら、[OK]をクリックします。

テストページが印刷されます。

❻ プリンタの電源をOFFにします。

電源の切り方は「電源を切ります」(24ページ)をご覧ください。

❼ [OKI C9150dn]アイコンをマウスの右ボタンでクリックして[削除]を選択します。

❽ 以降、画面の指示に従います。

WindowsXP/2000/Server2003の場合は、❾～❿の作業を行ってください。

❾「プリンタ」フォルダ(Windows XP/Server2003では「プリンタとFAX」フォルダ)の[ファイル]-[サーバーのプロパティ]を選択します。

❿ [ドライバ]タブで、該当する機種名を選択し、[削除]をクリックします。

⓫Windowsを再起動します。

⓬新しいプリンタドライバをセットアップします。
詳しくは「WindowsXP/Server2003にセットアップします」(82ページ)、「WindowsMe/98/95/2000/NT4.0にセットアップします」(86ページ)をご覧ください。

- 必ずプリンタの電源がONになっていることを確認してください。
- WindowsXP/Server2003では、プリンタのインストールでセットアップします。

⓭❶～❺の手順でテストページを印刷し、新しいプリンタドライバのバージョンを確認します。

WindowsMe/98/95
　[ドライバで使用されるファイル]以下に記載されているバージョン

WindowsXP/2000/Server2003
　[このドライバが使う追加ファイル]以下に記載されているバージョン

WindowsNT4.0
　[このドライバが使うファイル]以下に記載されているバージョン

注 テストページ上に記載される[ドライバのバージョン](WindowsMe/98/95の場合、[ドライバ　バージョン])には固定のバージョン番号が記載されます。この内容はプリンタドライバをアップデートしても更新されません。

5 印刷します

使用できる用紙

高品質な印刷を行うためには、材質、厚さ、表面の仕上げなどの条件を満足する用紙を使用する必要があります。弊社推奨紙以外で印刷される場合には、印刷品質や用紙の走行性など、事前に十分テストを行い、支障がないことを確認してから使用してください。

用紙の種類、サイズ、厚さについて

用紙の種類、サイズ、厚さによって給紙方法や排出方法に制限があったり、プリンタのメニュー設定の[メディアウェイト]、[メディアタイプ]で設定する内容が異なります。詳しくは「手動で用紙の厚さを設定したい」(194ページ)と「給紙方法と排出方法を決めます」(102 ページ)をご覧ください。

種類	サイズ　単位：mm(インチ)		厚さ
普通紙	A4	210×297	連量55～172kg(64～200g/m2) 両面印刷の場合、 連量70～90kg(81～105g/m2) 使用できる用紙サイズは、「A4、A5、B4、B5、A3、A3ワイド、 タブロイド、タブロイドエクストラ、 レター、リーガル(13インチ)、リーガル(13.5インチ)、リーガル(14インチ)、エグゼクティブ」です。
	A5	148×210	
	A6	105×148	
	B4	257×364	
	B5	182×257	
	A3	297×420	
	A3ノビ	328×453	
	A3ワイド	320×450	
	タブロイド	279.4×431.8(11×17)	
	ﾀﾌﾞﾛｲﾄﾞｴｸｽﾄﾗ	304.8×457.2(12×18)	
	レター	215.9×279.4(8.5×11)	
	リーガル(13ｲﾝﾁ)	215.9×330.2(8.5×13)	
	リーガル(13.5ｲﾝﾁ)	215.9×342.9(8.5×13.5)	
	リーガル(14ｲﾝﾁ)	215.9×355.6(8.5×14)	
	エグゼクティブ	184.2×266.7(7.25×10.5)	
	カスタム	幅　76.2～328 長さ127～1200	連量55～172kg(64～200g/m2) ただし長尺用紙は連量110kg(128g/m2)
はがき	はがき	100×148	官製はがき
	往復はがき	148×200	
封筒	封筒1(長形3号)	120×235	85g/m2の紙を使用したもので、フラップ部がきちんと折れているもの
	封筒2(長形4号)	90×205	
	封筒3(洋形4号)	105×235	
	封筒4(A4サイズ)	210×297	
	Com-9	98.4×225.4(3.875×8.875)	24lbの紙を使用したもので、フラップ部がきちんと折れているもの
	Com-10	104.8×241.3(4.125×9.5)	
	DL	110×220(4.33×8.66)	
	C5	162×229(6.38×9.02)	
	C4	229×324(9.02×12.76)	
	Monarch	98.4×190.5(3.875×7.5)	
ラベル紙	A4	210×297	0.13～0.2mm
	レター	215.9×279.4(8.5×11)	
OHPシート	A4	210×297	0.1～0.12mm
	レター	215.9×279.4(8.5×11)	
部分印刷用紙	―	―	連量55～172kg(64～200g/m2)
カラー用紙	―	―	連量55～172kg(64～200g/m2)

普通紙

次の条件に合った用紙を使用してください。

- 推奨紙： エクセレントホワイト A4（OKIカラーページプリンタ用紙）
  （型名：PPR-CA4NA）
  両面印刷の場合はエクセレントホワイト A4（厚口）
  （型名：PPR-CA4DA）
- 用紙の厚さが連量55～172kg（64～200g/m²）の用紙
- 電子写真プリンタ用紙（トナーを用いるプリンタで使用する用紙です）
- 電子写真コピー用紙（トナーを用いる一般の複写機などで使用する用紙です）
  カラー電子写真プリンタ用紙、カラー電子写真コピー紙を推奨します。
- 電子写真プリンタ再生紙（トナーを用いるプリンタで使用する再生紙です）
  推奨再生紙　銘柄名 ： Green 100（富士ゼロックス製）
  再生紙では、用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄いことがあります。再生紙には、印刷品質を低下させる添加物が含まれているものもあります。必ず電子写真プリンタ再生紙であることを確認の上、使用してください。

以下の用紙は使用しないでください。

- 表面が平滑（すべすべ）すぎる用紙、粗い（ザラ紙、繊維質）用紙、表と裏の粗さが大きく異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙、紙粉が多い用紙
- 横目の用紙
- 濡れている（湿っている）用紙
- 静電気で貼り付いている用紙
- 表面に、絹目加工（シボ）、浮き出し加工（エンボス）、コーティング加工をした用紙（コート紙）
- 表面に、のり・薬品などで特殊加工、耐熱性（210度）のない特殊加工をした用紙
- バインダ用の穴、ミシン目、切り込み、穴がある用紙
- 用紙カット面に、凹凸、つぶれ、バリなどがある用紙
- 四角い形状でない用紙、裁断角度が直角でない用紙
- シワ、反り、角の折れ曲がり、波打ち、折り目、破れなどがある用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープ、留め金などがついている用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙などの特殊紙
- 熱転写プリンタ用紙、インクジェット用の用紙、湿式PPC用紙、複写紙、和紙など

- ・厚手の用紙は、用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- ・用紙のすき目の方向と用紙送りの方向が一致しないと紙づまりが起こることがあります。
- ・電子写真プリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタ等で一度印刷した用紙は使用しないでください。
- ・用紙の包装紙には表面の向きが表示されています。表面が印刷面となるようにセットしてください。
- ・用紙は湿気防止のため防湿紙に包装されています。開封後は早めに使用してください。

はがき

次の条件に合ったはがきを使用してください。

- 官製はがき、および折っていない官製往復はがき

以下のはがきは使用しないでください。

- インクジェット用官製はがき
- 2mm以上反りがあるはがき
- 切手の貼ってあるはがき
- 写真加工してあるはがき

- ・印刷後は反りが発生することがあります。
- ・用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- ・トナーの定着が低下することがあります。

封筒

次の条件に合った封筒を使用してください。

- クラフト紙、電子写真プリンタ用紙、または乾式PPC用紙で作られた封筒
- 封筒1〜4は坪量85g/m²の紙でフラップ部がきちんと折れている封筒
- Com-9、Com-10、Monarch、C5、C4、DLは、24lbの紙でフラップ部がきちんと折れている封筒

以下の封筒は使用しないでください。

- 厚すぎる封筒やプラスチックでできた封筒
- 内袋のある二重封筒
- とめ金、ボタン、窓のある封筒
- フラップ部に粘着剤、両面テープのついた封筒
- シワや反りのある封筒
- 切手の貼ってある封筒
- 表面に絹目加工(シボ)や浮き出し加工(エンボス)のある封筒

- 印刷後は反りやシワが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- 封筒の貼り合わせ部分(厚さに段差のある部分)のまわり約5mmは印刷品位が低下することがあります。
- フラップ部や折り目がきちんと折れていない封筒は、吸入不良やしわの原因となります。折り目はきちんと折り直してお使いください。
- 封筒に反りがあると、吸入不良の原因となります。反りは修正してからお使いください。
- 必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。

ラベル紙

次の条件に合ったラベル紙を使用してください。

- 推奨紙：LBP-A6XX(コクヨ製)(総厚：147μm)
- 用紙サイズはA4、レターのみ
- 表面紙、粘着剤、台紙が熱で変質しない、電子写真プリンタ用または乾式PPC用のラベル紙
- プリンタの熱定着工程で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙
- 用紙の走行で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙
- 表面紙と台紙を合せた用紙の厚さが0.13〜0.2mmのラベル紙
- 表面紙が台紙全体をおおい、粘着剤がはみ出していないラベル紙

- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- ラベル紙の先端に反りがあると、吸入不良の原因となります。反りは修正してからお使いください。
- 必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。

5

使用できる用紙

OHPシート

次の条件に合ったOHPシートを使用してください。

- 推奨紙 ： MLカラーOHPシート MLOHP01
- 用紙サイズはA4、レターのみ
- 電子写真プリンタ用または乾式PPC用に作られたOHPシート
- プリンタの熱定着工程で、融けたり、変質したり、反りが起きないOHPシート
- 用紙の厚さが0.10～0.12mmのOHPシート

・OHPシートは透明なプラスチックでできているため、印刷品質が低下することがあります。
・印刷後はうねりが発生することがあります。
・用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
・トナーの定着が低下することがあります。
・表面に滑りやすいコーティングをしたOHPシートは滑って吸入できないことがあります。
・推奨紙以外のOHPシートを使用すると、種類によっては定着器ユニットのローラに巻きついたりしてプリンタが故障するおそれがあります。
・OHP装置は透過型を使用してください。反射型では良好な投影が得られないことがあります。

部分印刷用紙

次の条件に合った部分印刷用紙を使用してください。

- 部分印刷に使用したインクが耐熱性で210℃に耐えるもの
（電子写真プリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタ等で印刷した用紙は、耐熱性がありませんので使用できません。）
- 誤ってOHPと判定され印刷速度が低下してしまう場合は、[インサツ メニュー]の[OHPケンシュツ]を[ムコウ]に設定してください。

印刷枠を設ける場合、以下の印刷位置のバラツキを十分考慮に入れて設計してください。
書き出し位置精度：±2mm、用紙の斜行：±1mm/100mm、画像伸縮：±1mm/100mm（連量70kgの場合）

カラー用紙

次の条件に合ったカラー用紙を使用してください。

- 用紙を着色した顔料またはインクが耐熱性で210℃に耐えるもの
- 用紙特性が白色紙と同じで、電子写真プリンタ用の用紙

長尺用紙

次の条件に合った長尺用紙を使用してください。

- 推奨紙：エクセレントホワイト　A4長尺（OKIカラーページプリンタ用紙）（型名：PPR-CT4DA）
- 用紙サイズは297×1200mmまで

以下の用紙は使用しないでください。

- 表面が平滑（すべすべ）すぎる用紙、粗い（ザラ紙、繊維質）用紙、表と裏の粗さが大きく異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙、紙粉が多い用紙
- 横目の用紙
- 濡れている（湿っている）用紙
- 静電気で貼り付いている用紙
- 表面に、絹目加工（シボ）、浮き出し加工（エンボス）、コーティング加工をした用紙（コート紙）
- 表面に、のり・薬品などで特殊加工、耐熱性（210度）のない特殊加工をした用紙
- バインダ用の穴、ミシン目、切り込み、穴がある用紙
- 用紙カット面に、凹凸、つぶれ、バリなどがある用紙
- 四角い形状でない用紙、裁断角度が直角でない用紙
- シワ、反り、角の折れ曲がり、波打ち、折り目、破れなどがある用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープ、留め金などがついている用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙などの特殊紙
- 熱転写プリンタ用紙、インクジェット用の用紙、湿式PPC用紙、複写紙、和紙など

- 厚手の用紙は、用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- 用紙のすき目の方向と用紙送りの方向が一致しないと紙づまりが起こることがあります。
- 電子写真プリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタ等で一度印刷した用紙は使用しないでください。
- 用紙の包装紙には表面の向きが表示されています。表面が印刷面となるようにセットしてください。
- 用紙は湿気防止のため防湿紙に包装されています。開封後は早めに使用してください。

用紙の保管方法

用紙の保管が悪いと、湿気を吸収したり、変色、反りが発生します。このような用紙で印刷すると印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えますので注意が必要です。また実際にお使いになるまで包装紙は開けないでください。

次のような場所に保管してください

- 暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所
- 平らな台の上
- 温度20℃、湿度50%RHの環境

次のような場所はさけてください

- 床の上に直接置く
- 直射日光が当たる場所
- 外壁の内側の近く
- 段差や曲がりのある場所
- 静電気が発生する場所
- 過度の温度上昇と、急激な温度変化のある場所
- 複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば

注 長期間放置した用紙を使用した場合、正常に印刷できないことがあります。

給紙方法と排出方法を決めます

用紙の種類、サイズ、厚さによって給紙方法と排出方法が異なります。次の手順で全ての条件を満足する方法を確認してください。
用紙の仕様については、「使用できる用紙」(96ページ)をご覧ください。

1 用紙の種類、厚さ、サイズから給紙方法と排出方法を確認します。

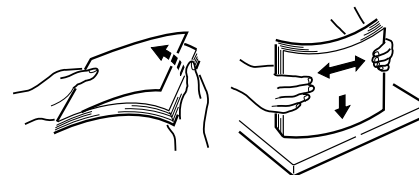
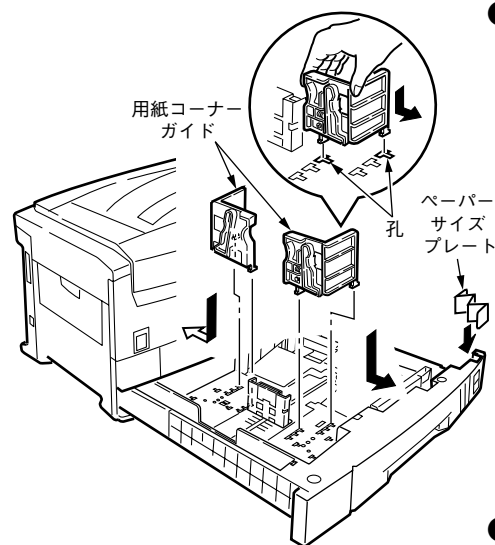
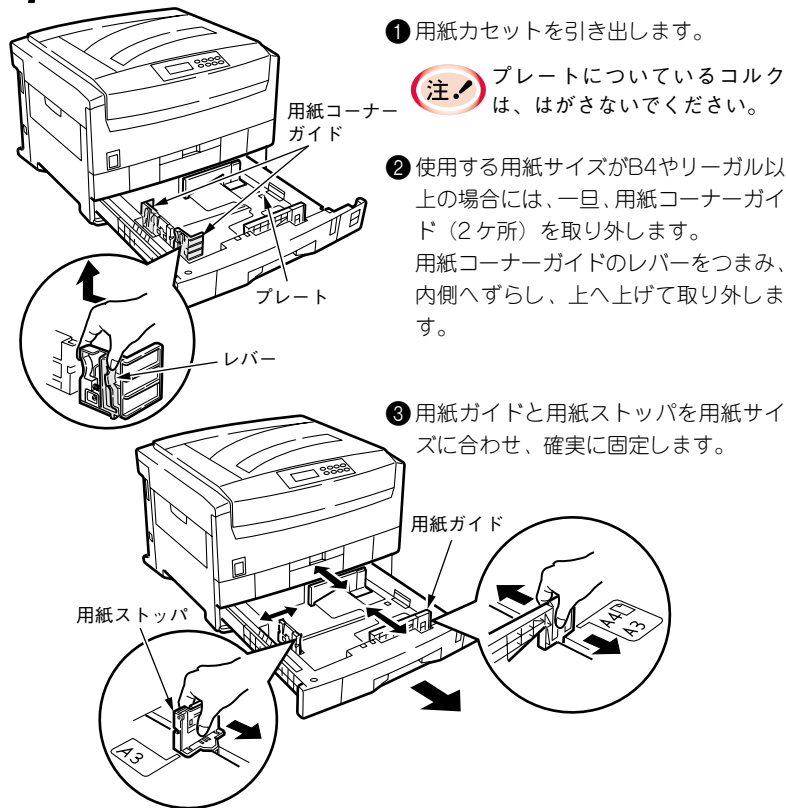
◎：片面、両面印刷とも使用できます
○：片面印刷のみ使用できます
×：使用できません

種類	厚さ	サイズ	給紙方法			排出方法	
			用紙カセット*1		マルチパーパストレイ手差し	フェイスアップ(表排出)	フェイスダウン(裏排出)
			トレイ1	トレイ2〜5*2			
普通紙	連量55〜69kg	A3ノビ, A3, A4*3, A5 B4, B5*3, レター*3 リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ A3ワイド(SRA3), タブロイド タブロイドエクストラ	○	○	○	○	○
		A6	○	×	○	○	×
		カスタム*4	×	×	○	○	×
	連量70〜90kg	A3, A4*3, A5 B4, B5*3, レター*3 リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ A3ワイド(SRA3), タブロイド タブロイドエクストラ	◎	◎	◎	◎	◎
		A3ノビ	○	○	○	○	○
		A6	○	×	○	○	×
		カスタム*4	×	×	○	○	×
	連量91〜151kg	A3ノビ, A3, A4*3, A5 B4, B5*3, レター*3 リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ A3ワイド(SRA3), タブロイド タブロイドエクストラ	○	○	○	○	○
		A6	○	×	○	○	×
		カスタム*4	×	×	○	○	×
	連量152〜172kg	A3ノビ, A3, A4*3, A5 B4, B5*3, レター*3 リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ A3ワイド(SRA3), タブロイド タブロイドエクストラ	○	○	○	○	×
		A6	○	×	○	○	×
		カスタム*4	×	×	○	○	×
はがき*5	—	はがき, 往復はがき	○	×	○	○	×
封筒*5	—	封筒1(長形3号) 封筒2(長形4号) 封筒3(洋形4号) 封筒4(A4サイズ) Com-9, Com-10, DL C5, C4, Monarch	×	×	○	○	×
ラベル紙*6	—	A4, レター	×	×	○	○	×
光沢紙*6*7	—	A4, レター	○	×	○	○	×
OHPシート*6	—	A4, レター	○	×	○	○	×

*1：上から順にトレイ1、トレイ2、トレイ3、トレイ4、トレイ5となります。
*2：トレイ2〜5はオプションです。
*3：縦送りと横送りができます。
*4：カスタムは幅76.2〜328mm、長さ127〜1200mmです。
*5：はがき、封筒の用紙サイズを設定すると印刷速度が遅くなります。
*6：ラベル紙、光沢紙、OHPシートのメディアタイプを設定すると印刷速度が遅くなります。
*7：メディアタイプの[コウタクシ]は、光沢紙など表面に光沢のある印刷媒体に適したモードです。光沢紙は、白地に薄くトナーが付着しやすいため、印刷品質など、事前にテストを行い、支障がないことを確認してから使用してください。

用紙カセットから印刷します

普通紙(A6はトレイ1のみ、カスタムサイズは除く)は用紙カセットから印刷します。はがき、OHPシートも(トレイ1のみ)印刷できます。
トレイ1〜5とも同じ操作になります。

1 用紙カセットに用紙をセットします。

❶ 用紙カセットを引き出します。

注 プレートについているコルクは、はがさないでください。

❷ 使用する用紙サイズがB4やリーガル以上の場合には、一旦、用紙コーナーガイド（2ケ所）を取り外します。
用紙コーナーガイドのレバーをつまみ、内側へずらし、上へ上げて取り外します。

❸ 用紙ガイドと用紙ストッパを用紙サイズに合わせ、確実に固定します。

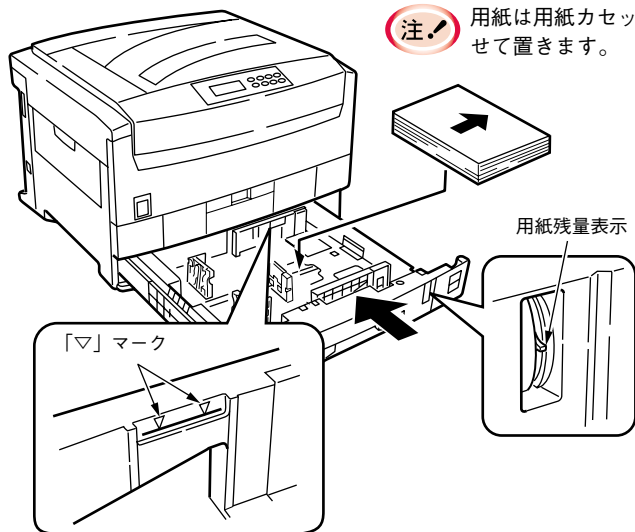
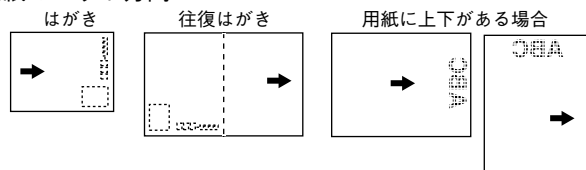
❹ 使用する用紙サイズがB4、A3、A3ワイド、リーガル、タブロイド、タブロイドエクストラの場合には、手順❷で外した用紙コーナーガイド（2ケ所）を取り付けます。用紙コーナーガイドを用紙のサイズに合わせて差し込み押し付けながら、パチンと音がするまで矢印方向に動かします。

A3 ノビの場合には、用紙コーナーガイドは使用しません。

❺ ペーパーサイズプレートをセットします。

❻ 用紙をよくさばき、上下左右をそろえます。

❼印刷面を下に向けて、用紙をセットします。

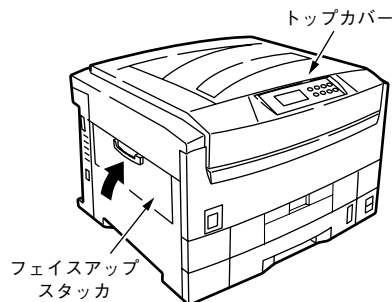
注 用紙は用紙カセットの右側によせて置きます。

（A4、B5、レター横送りの場合）

❽用紙カセットをプリンタに戻します。

- 適切な温度・湿度に保管した用紙を使用してください。湿度によりカールや波打ちが発生した用紙は使用しないでください。
- 用紙ガイドと用紙ストッパは、用紙との間に隙間ができないように調節してください。また、用紙が曲がるほど強く押しつけないでください。
- 用紙ガイドの「▽」マークを越えないようにセットしてください。（連量70kg紙で550枚）
- 用紙は縦送りでセットしてください。（A4、B5、レターは横送りもできます。）
- サイズ、種類、厚さの異なる用紙を一度にまとめてセットしないでください。
- 用紙を追加する場合は、先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
- はがきの反りは吸入不良の原因になります。反りのないものを使用してください。反りは2mm以内に修正してください。
- 用紙カセットを差し込むときはあまり勢いよく押さないでください。
- 印刷中の用紙カセットおよび両面印刷時のトレイ1の用紙カセットは引き出さないでください。
- 他のプリンタ等で一度印刷した用紙で、裏面印刷はしないでください。
- [メディア　メニュー]の[メデイアウェイト]が[ジドウ]でかつ、[メディアタイプ]が[フツウシ]の場合、用紙の厚さはプリンタが自動的に検出するため、通常は設定する必要はありません。[メディアウェイト]と[メディアタイプ]は初期状態では各々[ジドウ]、[フツウシ]に設定されています。OHPシート、ラベル紙、光沢紙など他のメディアタイプを選択する場合や、メディアウェイトを手動で設定する場合は、「手動で用紙の厚さを設定したい」（194ページ）をご覧ください。

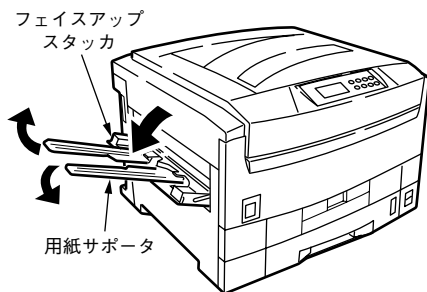
2 用紙の排出先をセットします。

フェイスダウン（印刷面を裏にして排出）の場合

用紙はトップカバー上に排出され、印刷した順に重なります。
連量70kg紙で約500枚をためることができます。

❶プリンタ左側面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

注 フェイスアップスタッカが閉じている場合は、プリンタドライバでの［排出先］の設定に関わらず、フェイスダウンで排出します。

フェイスアップ（印刷面を表にして排出）の場合

用紙はフェイスアップスタッカ上に排出され、印刷した順と逆に重なります。
連量70kg紙で約100枚ためることができます。

❶プリンタ左側面のフェイスアップスタッカを開きます。

❷用紙サポータを開きます。

注
- フェイスアップスタッカを開いた場合は、プリンタドライバで［排出先］を選択してください。
- 印刷中にフェイスアップスタッカを開閉しないでください。紙づまりの原因になります。

メモ 次の用紙サイズを使用する場合は、操作パネルやWebブラウザで用紙カセットの用紙サイズの設定をします。
- A3ノビ*、A3ワイド（SRA3）、タブロイドエクストラ
- 往復はがき／はがき*、A5／A6
- リーガル（14インチ）*、リーガル（13.5インチ）

*: 工場出荷時の設定

ここでは、操作パネルでトレイ1の用紙サイズをA5またはA6用紙に設定する手順を説明します。

❶ 0 を数回押し、[システム　ホセイ　メニュー]を表示します。

❷ 1 または 5 を数回押し、[トレイ1　A5／A6　ヨウシ]を表示します。

❸ 2 または 6 を押し、[A5／A6]を表示します。

❹ 3 を押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❺ 4 を押し、[オンライン]にします。

3 アプリケーションを起動します。

印刷したいファイルを開きます。

4 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］、［排出先］を選択し、印刷します。

- Windowsの［ワードパッド］を使い、トレイ1でA4サイズの普通紙に印刷する場合を例にしています。
- プリンタドライバの［用紙厚］ではプリンタ操作パネルの［メディアウェイト］と同等の設定をすることができます。［用紙厚］の初期値の［プリンタ設定］では、プリンタの操作パネルで設定した値で印刷されますので、通常は設定する必要はありません。
  プリンタドライバで設定を変更する場合は、印刷するたびに設定する必要があります。
- アプリケーションにより、画面や手順が異なる場合があります。正しく印刷できない場合は「プリンタドライバのデフォルトを変更したい」（228ページ）をご覧ください。

- ［給紙方法］で［自動選択］を選択すると、指定した用紙が入っているトレイを自動的に選択します。詳しくは、「トレイを自動的に選択したい」（210ページ）をご覧ください。
- プリンタの操作パネルの［メディア　メニュー］で、あらかじめ各トレイごとに用紙のメディアタイプを設定しておくことにより、プリンタドライバの［給紙方法］で［普通紙］、［レターヘッド］、［OHPシート］、［ラベル紙］、［ボンド紙］、［再生紙］、［厚紙］、［粗い紙］、［光沢紙］を選択すると、その用紙がセットされているトレイを自動的に選択することができます。

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❺［設定］タブの［給紙方法］で［トレイ1］を選択し、［OK］をクリックします。
（Windows2000では、［OK］をクリックする必要はありません。）

フェイスアップスタッカが開いている場合は、［印刷オプション］タブで［排出先］を選択します。

❻「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

5

用紙カセットから印刷します

マルチパーパストレイから印刷します

封筒、ラベル紙はマルチパーパストレイから印刷します。普通紙、はがき、OHPシートも印刷できます。

1 用紙をセットします。

❶ マルチパーパストレイを開き、用紙サポータを開きます。

❷ 手差しガイドを用紙サイズに合わせます。

❸ 用紙の上下左右をそろえます。

❹ 印刷面を上に向けて、用紙を手差しガイドにそってまっすぐ突き当たるまで差し込みます。

用紙のセット方向

- 適切な温度・湿度に保管した用紙を使用してください。湿度によりカールや波打ちが発生した用紙は使用しないでください。
- 手差しガイドは、用紙との間に隙間ができないように調節してください。また、用紙が曲がるほど強く押しつけないでください。
- 複数枚セットする場合は、手差しガイドの[↓]マークを越えないようにセットしてください。(連量70kg紙で100枚)
- 用紙は縦送りでセットしてください。(A4、B5、レターは横送りもできます。)
- サイズ、種類、厚さの異なる用紙を一度にまとめてセットしないでください。
- 用紙を追加する場合は、先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
- はがき、封筒の反りは吸入不良の原因になります。反りのないものを使用してください。反りは2mm以内に修正してください。
- 封筒はフラップ部がふくらまないように強く折り、必ず横送りでセットしてください。
- 封筒の後端部ののり付け部が折れ曲がっているものは、吸入不良になることがあります。折れ曲がりを修正してから使用してください。
- マルチパーパストレイの上に印刷する用紙以外のものを置いたり、上から押したり、無理な力を加えたりしないでください。
- [メディア　メニュー]の[メデイアウェイト]が[ジドウ]でかつ、[メディアタイプ]が[フツウシ]の場合、用紙の厚さはプリンタが自動的に検出するため、通常は設定する必要はありません。[メディアウェイト]と[メディアタイプ]は初期状態では各々[ジドウ]、[フツウシ]に設定されています。OHPシート、ラベル紙、光沢紙など他のメディアタイプを選択する場合や、メディアウェイトを手動で設定する場合は、「手動で用紙の厚さを設定したい」(194ページ)をご覧ください。

はがき、封筒、ラベル紙、OHPシートへの印刷については、「いろいろな用紙に印刷するための設定について」(193ページ)をご覧ください。

2 用紙の排出先をセットします。

フェイスダウン（印刷面を裏にして排出）の場合

用紙はトップカバー上に排出され、印刷した順に重なります。
連量70kg紙で約500枚をためることができます。

❶プリンタ左側面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

フェイスアップスタッカが閉じている場合は、プリンタドライバでの［排出先］の設定に関わらず、フェイスダウンで排出します。

フェイスアップ（印刷面を表にして排出）の場合

用紙はフェイスアップスタッカ上に排出され、印刷した順と逆に重なります。
連量70kg紙で約100枚ためることができます。

❶プリンタ左側面のフェイスアップスタッカを開きます。

❷用紙サポータを開きます。

- フェイスアップスタッカが開いている場合は、プリンタドライバで[排出先]を選択してください。
- 印刷中にフェイスアップスタッカを開閉しないでください。紙づまりの原因になります。
- 連量152kg以上の厚紙、はがき、封筒、ラベル紙、光沢紙、OHPシート、A6サイズ、カスタムサイズは、紙づまりの原因になりますので、必ずフェイスアップで排出してください。

3 操作パネルでマルチパーパストレイの用紙サイズを設定します。

- この手順で行わないと、④「オンライン」スイッチを押すまで給紙されません。
- Webブラウザからも設定できます。

ここでは、A4用紙（縦送り）に設定する手順を説明します。

❶ ⓪を数回押し、［メディア　メニュー］を表示します。

❷ ①または ⑤を数回押し、［MPトレイ　ヨウシサイズ］を表示します。

❸ ②または ⑥を数回押し、［A 4　タテオクリ］を表示します。

❹ ③を押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❺ ④を押し、［オンライン］にします。

4 アプリケーションを起動します。

印刷したいファイルを開きます。

5 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］、［排出先］を選択し、印刷します。

- Windowsの［ワードパッド］を使い、マルチパーパストレイでA4サイズの普通紙に印刷する場合を例にしています。
- プリンタドライバの［用紙厚］ではプリンタの操作パネルの［メディアウェイト］と同等の設定をすることができます。［用紙厚］の初期値の［プリンタ設定］では、プリンタの操作パネルで設定した値で印刷されますので、通常は設定する必要はありません。
  プリンタドライバで設定を変更する場合は、印刷するたびに設定する必要があります。
- アプリケーションにより、画面や手順が異なる場合があります。正しく印刷できない場合は「プリンタドライバのデフォルトを変更したい」（228ページ）をご覧ください。

- ［給紙方法］で［自動選択］を選択すると、指定した用紙が入っているトレイを自動的に選択します。詳しくは、「トレイを自動的に選択したい」（210ページ）をご覧ください。
- プリンタの操作パネルの［メディア　メニュー］で、あらかじめ各トレイごとに用紙のメディアタイプを設定しておくことにより、プリンタドライバの［給紙方法］で［普通紙］、［レターヘッド］、［OHPシート］、［ラベル紙］、［ボンド紙］、［再生紙］、［厚紙］、［粗い紙］、［光沢紙］を選択すると、その用紙がセットされているトレイを自動的に選択することができます。

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❺［設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。
（Windows2000では、［OK］をクリックする必要はありません。）

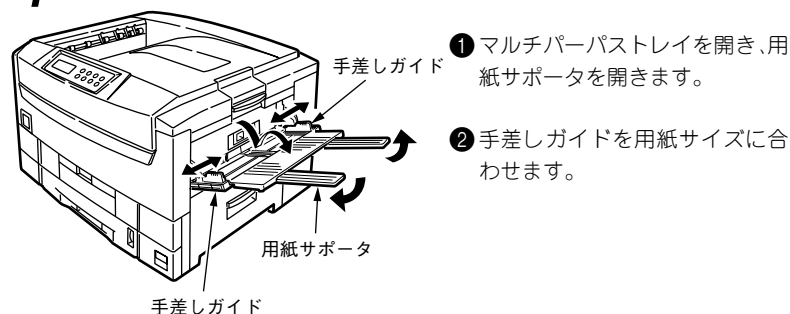
- フェイスアップスタッカが開いている場合は［印刷オプション］タブの［排出先］を選択します。
- A4、B5、レター用紙を縦送りで印刷する場合は、［設定］タブの［オプション］をクリックし、［横送り］のチェックを外します。

❻「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

手差しで1枚ずつ印刷します

マルチパーパストレイで手差し印刷をすることもできます。
コンピュータから印刷を実行した後にプリンタに用紙をセットし、1枚ずつ確認してから ④ スイッチを押して印刷をします。

メモ
- 通常とは違った用紙を少量ずつセットして印刷する場合などに便利です。
- [システム　コウセイ　メニュー]の[マニュアル　タイムアウト]の設定時間を越えると印刷ジョブがキャンセルされますので、印刷ジョブを自動的に消したくない場合は、設定値を[オフ]にしてください。

1 マルチパーパストレイを準備します。

手差しガイド
用紙サポータ
手差しガイド

❶ マルチパーパストレイを開き､用紙サポータを開きます。

❷ 手差しガイドを用紙サイズに合わせます。

2 用紙の排出先をセットします。

フェイスダウン（印刷面を裏にして排出）の場合

用紙はトップカバー上に排出され、印刷した順に重なります。
連量70kg紙で約500枚をためることができます。

❶ プリンタ左側面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

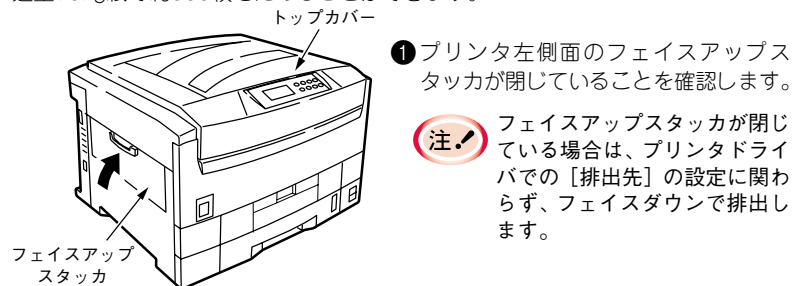
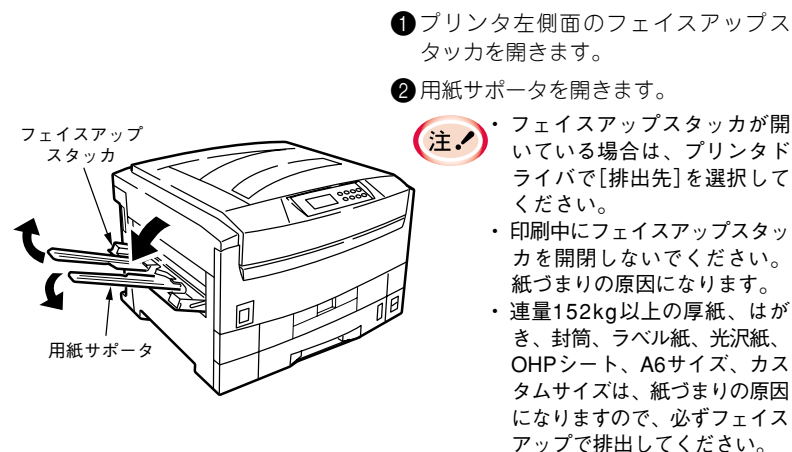
フェイスアップスタッカが閉じている場合は、プリンタドライバでの［排出先］の設定に関わらず、フェイスダウンで排出します。

フェイスアップ（印刷面を表にして排出）の場合

用紙はフェイスアップスタッカ上に排出され、印刷した順と逆に重なります。
連量70kg紙で約100枚ためることができます。

❶ プリンタ左側面のフェイスアップスタッカを開きます。

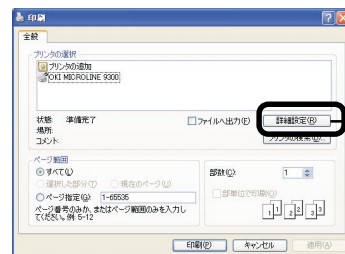
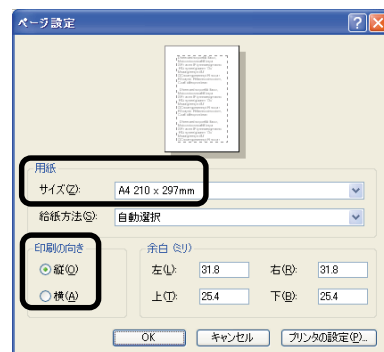
❷ 用紙サポータを開きます。

注
- フェイスアップスタッカが開いている場合は、プリンタドライバで[排出先]を選択してください。
- 印刷中にフェイスアップスタッカを開閉しないでください。紙づまりの原因になります。
- 連量152kg以上の厚紙、はがき、封筒、ラベル紙、光沢紙、OHPシート、A6サイズ、カスタムサイズは、紙づまりの原因になりますので、必ずフェイスアップで排出してください。

3 アプリケーションを起動します。

印刷したいファイルを開きます。

4 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］、［排出先］を選択します。

- Windowsの［ワードパッド］を使い、手差しでA4サイズの普通紙に印刷する場合を例にしています。
- プリンタドライバの［用紙厚］ではプリンタの操作パネルの［メディアウェイト］と同等の設定をすることができます。［用紙厚］の初期値の［プリンタ設定］では、プリンタの操作パネルで設定した値で印刷されますので、通常は設定する必要はありません。
  プリンタドライバで設定を変更する場合は、印刷するたびに設定する必要があります。
- アプリケーションにより、画面や手順が異なる場合があります。
  正しく印刷できない場合は「プリンタドライバのデフォルトを変更したい」（228ページ）をご覧ください。

メモ　プリンタの操作パネルの［メディア　メニュー］で、あらかじめ各トレイごとに用紙のメディアタイプを設定しておくことにより、プリンタドライバの［給紙方法］で［普通紙］、［レターヘッド］、［OHPシート］、［ラベル紙］、［ボンド紙］、［再生紙］、［厚紙］、［粗い紙］、［光沢紙］を選択すると、その用紙がセットされているトレイを自動的に選択することができます。

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［プロパティ］（WindowsXP/Server 2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❺［設定］タブの［オプション］をクリックし、「マルチパーパストレイ設定」の［手差しとして扱う］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

❻［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。
（Windows2000では、［OK］をクリックする必要はありません。）

- フェイスアップスタッカが開いている場合は［印刷オプション］タブの［排出先］を選択します。
- A4、B5、レター用紙を縦送りで印刷する場合は、［オプション］をクリックし、［横送り］のチェックを外します。

❼「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

5 用紙をセットします。

プリンタの操作パネルに「A4ヨコオクリ　ヲ　MP　トレイ　ニイレテ　オンライン　スイッチヲ　オシテクダサイ」と表示されたら、用紙をマルチパーパストレイにセットします。

用紙のセット方向

はがき　往復はがき　封筒1～4　Com-9,Com-10 DL,C4,C5, Monarch　用紙に上下がある場合

（A4、B5、レター横送りの場合）

- 適切な温度・湿度に保管した用紙を使用してください。湿度によりカールや波打ちが発生した用紙は使用しないでください。
- 手差しガイドは、用紙との間に隙間ができないように調節してください。また、用紙が曲がるほど強く押しつけないでください。
- 複数枚セットする場合は、手差しガイドの[↓]マークを越えないようにセットしてください。（連量70kg紙で100枚）
- 用紙は縦送りでセットしてください。（A4、B5、レターは横送りもできます。）
- サイズ、種類、厚さの異なる用紙を一度にまとめてセットしないでください。

- 用紙を追加する場合は、先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
- はがき、封筒の反りは吸入不良の原因になります。反りのないものを使用してください。反りは2mm以内に修正してください。
- 封筒はフラップ部がふくらまないように強く折り、必ず横送りでセットしてください。
- 封筒の後端部ののり付け部が折れ曲がっているものは、吸入不良になることがあります。折れ曲がりを修正してから使用してください。
- マルチパーパストレイの上に印刷する用紙以外のものを置いたり、上から押したり、無理な力を加えたりしないでください。
- [メディア　メニュー]の[メデイアウェイト]が[ジドウ]でかつ、[メディアタイプ]が[フツウシ]の場合、用紙の厚さはプリンタが自動的に検出するため、通常は設定する必要はありません。[メディアウェイト]と[メディアタイプ]は初期状態では各々[ジドウ]、[フツウシ]に設定されています。OHPシート、ラベル紙、光沢紙など他のメディアタイプを選択する場合や、メディアウェイトを手動で設定する場合は、「手動で用紙の厚さを設定したい」（194ページ）をご覧ください。

はがき、封筒、ラベル紙、OHPシートへの印刷については、「いろいろな用紙に印刷するための設定について」（193ページ）をご覧ください。

6 操作パネルで ④「オンライン」スイッチを押します。

印刷が開始されます。

[システム　コウセイ　メニュー]で設定されている[マニュアル　タイムアウト]の時間内に ④ スイッチを押さないと、印刷はキャンセルされます。

6 プリンタの設定項目について

操作パネル

「オンライン」ランプ(緑)

点灯：データを受信できる状態です。(オンライン)
点滅：受信したデータを処理しています。
消灯：データを受信できない状態です。(オフライン)

「点検」ランプ(赤)

点灯：エラーが発生しました。印刷は可能です。
点滅：エラーが発生しました。印刷できません。

表示部

プリンタの状態や、障害が発生したときの内容を表示します。1行24文字で2行に表示します。

⓪「メニュー」スイッチ

スイッチを短く押すとメニューモードになり、表示部にカテゴリを表示します。
メニューモード中に押すと次のカテゴリを表示します。2秒以上押すと前のカテゴリを表示します。

①「設定項目△」スイッチ

メニューモード中に押すと設定項目を一つ進めます。2秒以上押すと早送りします。

②「設定値△」スイッチ

メニューモード中に押すと設定値を一つ進めます。2秒以上押すと早送りします。

③「メニュー選択」スイッチ

メニューモード中に押すと表示中の設定値を保存し、表示部の右端に“＊”を表示します。

④「オンライン」スイッチ

オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。
メニューモード中に押すと［オンライン］に戻ります。［nnn：テサシ　インサツ］、［nnn：ttt　ヨウシガ　チガイマス］、［nnn：ttt　サイズガ　チガイマス］表示中に押すと印刷します。

⑤「設定項目▽」スイッチ

メニューモード中に押すと設定項目を一つ戻します。2秒以上押すと早戻しします。

⑥「設定値▽」スイッチ

メニューモード中に押すと設定値を一つ戻します。2秒以上押すと早戻しします。

⑦「キャンセル」スイッチ

処理中の印刷ジョブを削除します。メニューモード中に押すと、［オンライン］に戻ります。

プリンタのユーザメニュー一覧

ユーザメニューの各カテゴリを設定できます。
一覧で◎と表示される設定値は、プリンタドライバの設定が優先され、プリンタのユーザメニューで設定された値は無効になります。

変更方法

❶ ⓪を押し、設定する「カテゴリ」を表示します。

❷ ①または⑤を押し、設定する「項目」を表示します。

❸ ②または⑥を押し、「設定値」を表示します。

❹ ③を押し、設定値の右側に[＊]を付けます。

メモ　FLASHイニシャライズ、HDDイニシャライズ、パーティション、HDDフォーマットの設定値の変更では「ジッコウシマスカ？」と表示されます。実行してもよいかもう一度ご確認ください。
実行する場合は③を押します。続いて「スグニジッコウシマスカ？」と表示されます。
実行する場合は③を押します。プリンタはシャットダウン処理を行います。[デンゲンヲ　オフシテクダサイ／シャットダウン　カンリョウ]が表示されたら電源をOFF/ONします。各変更が行われます。

❺ ④を押し、[オンライン]にします。

注　「セントロメニュー」、「USBメニュー」、「NETWORK MENU」カテゴリの設定値を変更したときは、電源をOFF/ONしてください。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」(24ページ)をご覧ください。

「設定値」の網かけは初期の値です。
◎：プリンタドライバの設定が優先
○：プリンタの設定が優先またはプリンタで設定が必要
－：プリンタドライバ使用時は無効

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win
	設定項目(上段)	設定値(下段)		
ｲﾝｻﾂ ｼﾞｮﾌﾞ ﾒﾆｭｰ ＊	ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｾｯﾃｲ	****	認証印刷、確認印刷のパスワードを４桁の数字(0～9)で設定します。 ＊：オプションのハードディスク装着時に表示。	○
	ｼﾞｮﾌﾞ ｾﾚｸﾄ	ｼﾞｮﾌﾞ ﾅｼ ｽﾍﾞﾃﾉ ｼﾞｮﾌﾞ (ﾌｧｲﾙ名)	印刷を行うジョブを設定します。 「ジョブナシ」以外は印刷可能なファイルがあるときに表示します。	○
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ ﾒﾆｭｰ　注)	ﾒﾆｭｰﾏｯﾌﾟ ｲﾝｻﾂ	ｼﾞｯｺｳ	メニューリストを印刷します。	－
	ﾌｧｲﾙﾘｽﾄ ｲﾝｻﾂ	ｼﾞｯｺｳ	ファイルリストを印刷します。	－
	PCL ﾌｫﾝﾄｲﾝｻﾂ	ｼﾞｯｺｳ	PCL のフォントリストを印刷します。	－
	DEMO1	ｼﾞｯｺｳ	デモ印刷をします。	－
	ｴﾗｰﾛｸﾞ ｲﾝｻﾂ	ｼﾞｯｺｳ	エラーログを印刷します。	－
ｼｬｯﾄﾀﾞｳﾝ ﾒﾆｭｰ ＊	ｼｬｯﾄﾀﾞｳﾝ ｽﾀｰﾄ	ｼﾞｯｺｳ	ファイルシステム保護のために電源オフシーケンスを行います。 ＊：オプションのハードディスク装着時に表示。	○
ｲﾝｻﾂ ﾒﾆｭｰ	ｺﾋﾟｰﾏｲｽｳ	1 ～ 999	コピー枚数を設定します。	◎
	ﾘｮｳﾒﾝ ｲﾝｻﾂ	ｵﾝ ｵﾌ	両面印刷を指定します。	◎
	ﾄｼﾞｶﾀ ＊	ﾖｺﾄｼﾞ ﾀﾃﾄｼﾞ	両面印刷の綴じ方を指定します。 ＊：[リョウメン　インサツ] が [オン] のときに表示。	◎
	ｼｭﾂﾘｮｸ ﾋﾞﾝ	ﾌｪｲｽ ｱｯﾌﾟ ﾌｪｲｽ ﾀﾞｳﾝ	排出先を設定します。	◎
	ｼﾞｮﾌﾞ ｵﾌｾｯﾄ	ｵﾝ ｵﾌ	ジョブオフセットをするかどうかを設定します。	○

注）プリントジョブアカウンティング(オプション)で[ローカルプリント]が[印刷不可]または[カラー印刷不可]に設定されている場合には印刷できません。

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win
	設定項目(上段)	設定値(下段)		
ｲﾝｻﾂ ﾒﾆｭｰ	ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ	ﾄﾚｲ1 ﾄﾚｲ2　* ﾄﾚｲ3　* ﾄﾚｲ4　* ﾄﾚｲ5　* MP ﾄﾚｲ	給紙トレイを選択します。 *：トレイ2～5は、オプションのセカンド／サードトレイユニットまたは大容量トレイユニット装着時に表示。	◎
	ｼﾞﾄﾞｳ ﾄﾚｲ ｷﾘｶｴ	ｵﾝ ｵﾌ	自動トレイ切替をするかどうか設定します。	◎
	ﾄﾚｲ ｾﾝﾀｸｼﾞｭﾝｼﾞｮ	ｼﾀ ﾎｳｺｳ ｳｴ ﾎｳｺｳ ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ	自動トレイ選択／自動トレイ切り換え時の、選択順序の優先順位を指定します。	○
	MP ﾄﾚｲ ﾉ ﾂｶｲｶﾀ	ﾄﾚｲ ﾄ ｼﾃ ｻｲﾕｳｾﾝ ﾖｳｼﾁｶﾞｲ ﾉ ﾄｷ ｼﾖｳｼﾅｲ	マルチパーパストレイの使い方を設定します。	○
	ﾖｳｼﾁｪｯｸ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	用紙サイズのチェックをするかどうか設定します。	◎
	OHP ｹﾝｼｭﾂ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	OHP 自動検出機能の有効／無効を切り換えます。	○
	ｶｲｿﾞｳﾄﾞ	600 × 1200DPI 600DPI	解像度を選択します。	◎
	ﾄﾅｰｾｰﾌﾞﾓｰﾄﾞ	ｵﾝ ｵﾌ	トナーセーブモードの有効／無効を切り替えます。	◎
	ﾓﾉｸﾛ ｲﾝｻﾂ ｿｸﾄﾞ	ｼﾞﾄﾞｳ ｶﾗｰ ｲﾝｻﾂ ｿｸﾄﾞ ﾌﾂｳ ｲﾝｻﾂ ｿｸﾄﾞ	モノクロ印刷速度を設定します。 ［カラー　インサツ　ソクド］はカラーの印刷速度になります。 ［フツウ　インサツ　ソクド］はモノクロの印刷速度になります。	○
	ｲﾝｻﾂ ﾎｳｺｳ	ﾀﾃ ﾖｺ	印刷方向を設定します。	○
	1ﾍﾟｰｼﾞ ｷﾞｮｳｽｳ	5 ｷﾞｮｳ ～ 60 ｷﾞｮｳ ～ 64 ｷﾞｮｳ ～ 128 ｷﾞｮｳ	1 ページに印刷できる行数を設定します。	－

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win
	設定項目(上段)	設定値(下段)		
ｲﾝｻﾂ ﾒﾆｭｰ	ﾍﾝｼｭｳ ｻｲｽﾞ	ｶｾｯﾄ ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ LETTER ﾀﾃｵｸﾘ LETTER ﾖｺｵｸﾘ EXECUTIVE LEGAL 14 LEGAL 13.5 LEGAL 13 TABLOID EXTRA TABLOID A3 ﾉﾋﾞ A3 ﾜｲﾄﾞ A3 A4 ﾀﾃｵｸﾘ A4 ﾖｺｵｸﾘ A5 A6 B4 B5 ﾀﾃｵｸﾘ B5 ﾖｺｵｸﾘ ｶｽﾀﾑ COM-9 ENVELOPE COM-10 ENVELOPE MONARCH ENVELOPE DL ENVELOPE C5 ENVELOPE C4 ENVELOPE ﾊｶﾞｷ ｵｳﾌｸﾊｶﾞｷ ﾌｳﾄｳ1 ﾌｳﾄｳ2 ﾌｳﾄｳ3 ﾌｳﾄｳ4	コンピュータから用紙サイズを指定しなかった場合の用紙の編集サイズを設定します。［カセット　ヨウシ　サイズ］を選択すると、現在選択されているトレイの用紙サイズを編集サイズとします。	－
ﾒﾃﾞｨｱ ﾒﾆｭｰ	ﾄﾚｲ1 ﾖｳｼｻｲｽﾞ	ｶｾｯﾄ ﾖｳｼｻｲｽﾞ ｶｽﾀﾑ		◎
	ﾄﾚｲ1 ﾒﾃﾞｨｱﾀｲﾌﾟ	ﾌﾂｳｼ ﾚﾀｰﾍｯﾄﾞ OHP ﾎﾞﾝﾄﾞｼ ｻｲｾｲｼ ｱﾂｶﾞﾐ ｱﾗｲｶﾐ ｺｳﾀｸｼ	トレイ 1 の用紙種類を設定します。	◎
	ﾄﾚｲ1 ﾒﾃﾞｨｱｳｪｲﾄ	ｼﾞﾄﾞｳ ｳｽｲｶﾐ ﾌﾂｳｼ ﾔﾔｱﾂｲｶﾐ ｱﾂｲｶﾐ ﾖﾘｱﾂｲｶﾐ ｺﾞｸｱﾂｲｶﾐ	トレイ 1 の用紙厚さを設定します。	◎

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win
	設定項目(上段)	設定値(下段)		
ﾒﾃﾞｨｱ ﾒﾆｭｰ	ﾄﾚｲ2 ﾒﾃﾞｨｱﾀｲﾌﾟ *	ﾌﾂｳｼ ﾚﾀｰﾍｯﾄﾞ ﾎﾞﾝﾄﾞｼ ｻｲｾｲｼ ｱﾂｶﾞﾐ ｱﾗｲｶﾐ ｺｳﾀｸｼ	トレイ２の用紙種類を設定します。 ＊：オプションのセカンド / サードトレイユニットまたは大容量トレイユニット装着時に表示。	◎
	ﾄﾚｲ2 ﾒﾃﾞｨｱｳｪｲﾄ *	ｼﾞﾄﾞｳ ｳｽｲｶﾐ ﾌﾂｳｼ ﾔﾔｱﾂｲｶﾐ ｱﾂｲｶﾐ ﾖﾘｱﾂｲｶﾐ ｺﾞｸｱﾂｲｶﾐ	トレイ２の用紙厚さを設定します。 ＊：オプションのセカンド / サードトレイユニットまたは大容量トレイユニット装着時に表示。	◎
	ﾄﾚｲ3 ﾒﾃﾞｨｱﾀｲﾌﾟ *	ﾌﾂｳｼ ﾚﾀｰﾍｯﾄﾞ ﾎﾞﾝﾄﾞｼ ｻｲｾｲｼ ｱﾂｶﾞﾐ ｱﾗｲｶﾐ ｺｳﾀｸｼ	トレイ３の用紙種類を設定します。 ＊：オプションのセカンド / サードトレイユニットまたは大容量トレイユニット装着時に表示。	◎
	ﾄﾚｲ3 ﾒﾃﾞｨｱｳｪｲﾄ *	ｼﾞﾄﾞｳ ｳｽｲｶﾐ ﾌﾂｳｼ ﾔﾔｱﾂｲｶﾐ ｱﾂｲｶﾐ ﾖﾘｱﾂｲｶﾐ ｺﾞｸｱﾂｲｶﾐ	トレイ３の用紙厚さを設定します。 ＊：オプションのセカンド / サードトレイユニットまたは大容量トレイユニット装着時に表示。	◎
	ﾄﾚｲ4 ﾒﾃﾞｨｱﾀｲﾌﾟ *	ﾌﾂｳｼ ﾚﾀｰﾍｯﾄﾞ ﾎﾞﾝﾄﾞｼ ｻｲｾｲｼ ｱﾂｶﾞﾐ ｱﾗｲｶﾐ ｺｳﾀｸｼ	トレイ４の用紙種類を設定します。 ＊：オプションのセカンド / サードトレイユニットまたは大容量トレイユニット装着時に表示。	◎
	ﾄﾚｲ4 ﾒﾃﾞｨｱｳｪｲﾄ *	ｼﾞﾄﾞｳ ｳｽｲｶﾐ ﾌﾂｳｼ ﾔﾔｱﾂｲｶﾐ ｱﾂｲｶﾐ ﾖﾘｱﾂｲｶﾐ ｺﾞｸｱﾂｲｶﾐ	トレイ４の用紙厚さを設定します。 ＊：オプションのセカンド / サードトレイユニットまたは大容量トレイユニット装着時に表示。	◎

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win
	設定項目(上段)	設定値(下段)		
ﾒﾃﾞｨｱ ﾒﾆｭｰ	ﾄﾚｲ5 ﾒﾃﾞｨｱﾀｲﾌﾟ *	ﾌﾂｳｼ ﾚﾀｰﾍｯﾄﾞ ﾎﾞﾝﾄﾞｼ ｻｲｾｲｼ ｱﾂｶﾞﾐ ｱﾗｲｶﾐ ｺｳﾀｸｼ	トレイ５の用紙種類を設定します。 ＊：オプションの大容量トレイユニット装着時に表示。	◎
	ﾄﾚｲ5 ﾒﾃﾞｨｱｳｪｲﾄ *	ｼﾞﾄﾞｳ ｳｽｲｶﾐ ﾌﾂｳｼ ﾔﾔｱﾂｲｶﾐ ｱﾂｲｶﾐ ﾖﾘｱﾂｲｶﾐ ｺﾞｸｱﾂｲｶﾐ	トレイ５の用紙厚さを設定します。 ＊：オプションの大容量トレイユニット装着時に表示。	◎
	MP ﾄﾚｲ ﾖｳｼｻｲｽﾞ	A3 ﾉﾋﾞ A3 ﾜｲﾄﾞ A3 A4 ﾀﾃｵｸﾘ A4 ﾖｺｵｸﾘ A5 A6 B4 B5 ﾀﾃｵｸﾘ B5 ﾖｺｵｸﾘ LEGAL 14 LEGAL 13.5 LEGAL 13 TABLOID EXTRA TABLOID LETTER ﾀﾃｵｸﾘ LETTER ﾖｺｵｸﾘ EXECUTIVE ｶｽﾀﾑ COM-9 ENVELOPE ﾖｺｵｸﾘ COM-10 ENVELOPE ﾖｺｵｸﾘ MONARCH ENVELOPE ﾖｺｵｸﾘ DL ENVELOPE ﾖｺｵｸﾘ C5 ENVELOPE ﾖｺｵｸﾘ C4 ENVELOPE ﾖｺｵｸﾘ ﾊｶﾞｷ ｵｳﾌｸﾊｶﾞｷ ﾌｳﾄｳ1 ﾖｺｵｸﾘ ﾌｳﾄｳ2 ﾖｺｵｸﾘ ﾌｳﾄｳ3 ﾖｺｵｸﾘ ﾌｳﾄｳ4 ﾖｺｵｸﾘ	マルチパーパストレイの用紙サイズを設定します。	◎

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win
	設定項目(上段)	設定値(下段)		
ﾒﾃﾞｨｱ ﾒﾆｭｰ	MP ﾄﾚｲ ﾒﾃﾞｨｱﾀｲﾌﾟ	ﾌﾂｳｼ ﾚﾀｰﾍｯﾄﾞ OHP ﾗﾍﾞﾙｼ ﾎﾞﾝﾄﾞｼ ｻｲｾｲｼ ｱﾂｶﾞﾐ ｱﾗｲｶﾐ ｺｳﾀｸｼ	マルチパーパストレイの用紙種類を設定します。	◎
	MP ﾄﾚｲ ﾒﾃﾞｨｱｳｴｲﾄ	ｼﾞﾄﾞｳ ｳｽｲｶﾐ ﾌﾂｳｼ ﾔﾔｱﾂｲｶﾐ ｱﾂｲｶﾐ ﾖﾘｱﾂｲｶﾐ ｺﾞｸｱﾂｲｶﾐ	マルチパーパストレイの用紙厚さを設定します。	◎
	ｶｽﾀﾑﾖｳｼ ｻｲｽﾞ	ｲﾝﾁ ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	カスタム用紙を設定するときの単位を設定します。	◎
	ﾖｳｼﾊﾊﾞ ｻｲｽﾞ	76 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ 〜 210 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ 〜 328 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	カスタム用紙の用紙幅を設定します。 「カスタムヨウシ　サイズ」で［インチ］を選択するとインチに換算した値になります。	◎
	ﾖｳｼﾅｶﾞｻ ｻｲｽﾞ	127 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ 〜 297 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ 〜 1200 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	カスタム用紙の用紙長を設定します。 「カスタムヨウシ　サイズ」で［インチ］を選択するとインチに換算した値になります。	◎
ｶﾗｰ ﾒﾆｭｰ	ｼﾞﾄﾞｳ ﾉｳﾄﾞ ﾎｾｲ ﾓｰﾄﾞ	ｼﾞﾄﾞｳ ｼｭﾄﾞｳ	濃度補正と階調補正を自動で行うか設定します。	○
	ﾉｳﾄﾞ ﾎｾｲ	ｼﾞｯｺｳ	実行を選択すると、プリンタは直ちに濃度補正を行います。アイドル状態で実行してください。	○
	ｶﾗｰ ﾁｮｳｾｲ	ﾊﾟﾀｰﾝ ｲﾝｻﾂ	カラー調整パターンを印刷します。 注: プリントジョブアカウンティングで［ローカルプリント］が［印刷不可］または［カラー印刷不可］に設定されている場合には印刷できません。	○
	ｼｱﾝ HIGH-LIGHT	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアンの淡い部分(Highlight)の色の調子を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win
	設定項目(上段)	設定値(下段)		
ｶﾗｰ ﾒﾆｭｰ	ｼｱﾝ MID-TONE	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアンの中間部(Mid-tone)の色の調子を調整します。	○
	ｼｱﾝ DARK	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアンの濃い部分(Dark)の色の調子を調整します。	○
	ﾏｾﾞﾝﾀ HIGHLIGHT	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタの淡い部分(Highlight)の色の調子を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。	○
	ﾏｾﾞﾝﾀ MID-TONE	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタの中間部(Mid-tone)の色の調子を調整します。	○
	ﾏｾﾞﾝﾀ DARK	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタの濃い部分(Dark)の色の調子を調整します。	○
	ｲｴﾛｰ HIGHLIGHT	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエローの淡い部分(Highlight)の色の調子を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。	○
	ｲｴﾛｰ MID-TONE	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエローの中間部(Mid-tone)の色の調子を調整します。	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win
	設定項目(上段)	設定値(下段)		
ｶﾗｰ ﾒﾆｭｰ	ｲｴﾛｰ DARK	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエローの濃い部分(Dark)の色の調子を調整します。	○
	ﾌﾞﾗｯｸ HIGHLIGHT	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	ブラックの淡い部分(Highlight)の色の調子を調整します。 プラスは濃い方向に、マイナスは薄い方向に調整されます。	○
	ﾌﾞﾗｯｸ MID-TONE	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	ブラックの中間部(Mid-tone)の色の調子を調整します。	○
	ﾌﾞﾗｯｸ DARK	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	ブラックの濃い部分(Dark)の色の調子を調整します。	○
	ｼｱﾝ ﾉｳﾄﾞ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアンの濃度を調整します。 通常は使用しないでください。	○
	ﾏｾﾞﾝﾀ ﾉｳﾄﾞ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタの濃度を調整します。 通常は使用しないでください。	○
	ｲｴﾛｰ ﾉｳﾄﾞ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエローの濃度を調整します。 通常は使用しないでください。	○
ｶﾗｰ ﾒﾆｭｰ	ﾌﾞﾗｯｸ ﾉｳﾄﾞ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	ブラックの濃度を調整します。 通常は使用しないでください。	○
	ｼﾞﾄﾞｳ ｲﾛｽﾞﾚ ﾎｾｲ	ｼﾞｯｺｳ	このメニューを実行すると、プリンタは自動色ずれ補正動作を実行します。アイドル状態で実行してください。	○
	ｼｱﾝ ｲﾛｽﾞﾚ ﾋﾞﾁｮｳｾｲ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	シアンの画像位置ズレを微調整します。	○
	ﾏｾﾞﾝﾀ ｲﾛｽﾞﾚ ﾋﾞﾁｮｳｾｲ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	マゼンタの画像位置ズレを微調整します。	○
	ｲｴﾛｰ ｲﾛｽﾞﾚ ﾋﾞﾁｮｳｾｲ	0 +1 +2 +3 -3 -2 -1	イエローの画像位置ズレを微調整します。	○
	UCR	ｽｸﾅｲ ﾌﾂｳ ｵｵｲ	カラー印刷するときの墨版（黒）の量を選択できます。墨版の量を多くすると他の３色のトナー量の節約にもなります。	○
	CMY 100% ﾉｳﾄﾞ	ﾑｺｳ ﾕｳｺｳ	CMY100% 階調値に対する 100% 出力を有効とするかどうかを選択します。	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win
	設定項目(上段)	設定値(下段)		
ｼｽﾃﾑ ｺｳｾｲ ﾒﾆｭｰ	ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ ｲｺｳｼﾞｶﾝ	5 ﾌﾝ 15 ﾌﾝ 30 ﾌﾝ 60 ﾌﾝ 240 ﾌﾝ	省電力モードに入るまでの時間を設定します。	○
	ｱﾗｰﾑ ｶｲｼﾞｮ	ｵﾝ ｼﾞｮﾌﾞ	復旧可能エラー表示の解除タイミングを設定します。 [オン] は「オンライン」スイッチを押すまでエラーを表示します。[ジョブ] は次のジョブを受信するまでエラーを表示します。	○
	ｴﾗｰ ｼﾞﾄﾞｳｶｲｼﾞｮ	ｵﾝ ｵﾌ	メモリオーバフロー発生時、自動的にプリンタを復旧させるかを設定します。	○
	ﾏﾆｭｱﾙ ﾀｲﾑｱｳﾄ	60 ﾋﾞｮｳ 30 ﾋﾞｮｳ ｵﾌ	手差し印刷時の用紙がセットされるのを待つ時間を設定します。	○
	ﾀｲﾑｱｳﾄ ｲﾝｻﾂ	ｵﾌ 5 ﾋﾞｮｳ 〜 40 ﾋﾞｮｳ 〜 300 ﾋﾞｮｳ	データを受信しなくなってから強制印刷するまでの時間を設定します。	○
	ﾄﾅｰﾌｿｸ ｲﾝｻﾂｹｲｿﾞｸ	ｹｲｿﾞｸ ﾁｭｳｼ	[トナー　フソク] が表示されたときに印刷を継続させるかどうか設定します。 チュウシの場合は [***　トナーフソク](*** はトナー色) が表示されるとオフライン状態になります。	○
	ｼﾞｬﾑ ﾘｶﾊﾞｰ	ｵﾝ ｵﾌ	紙づまりの後、つまったページから印刷するかどうか設定します。	○
	ｹﾞﾝｺﾞ	ﾆﾎﾝｺﾞ ｴｲｺﾞ	操作パネルの表示言語を設定します。	○
PCL ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ	ｼﾖｳ ﾌｫﾝﾄ	ﾅｲｿﾞｳ ﾌｫﾝﾄ DIMMOﾌｫﾝﾄ ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ ﾌｫﾝﾄ	使用するフォントの場所を指定します。[ダウンロードフォント] はRAMにフォントがダウンロードされている場合に表示されます。	ー
	ﾌｫﾝﾄ No.	I000 〜 C001 〜	使用するフォントの番号を選択します。	ー
	ﾌｫﾝﾄ ﾋﾟｯﾁ	0.44 CPI 〜 10.00 CPI 〜 99.99 CPI	フォントの幅を設定します。 (単位：character/inch) [フォント No.] で選択されたフォントが固定スペーシングのアウトラインフォントの場合に表示されます。	ー
PCL ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ	ﾌｫﾝﾄ ｻｲｽﾞ	4.00 ﾎﾟｲﾝﾄ 〜 12.00 ﾎﾟｲﾝﾄ 〜 999.75 ﾎﾟｲﾝﾄ	フォントの高さを設定します。(単位：ポイント) [フォント No.] で選択されたフォントが比例スペーシングのアウトラインフォントの場合に表示されます。	ー
	ｼﾝﾎﾞﾙｾｯﾄ	WIN3.1J 〜	シンボルセットを選択します。	ー
	A4 ｲﾝｼﾞ ﾊﾊﾞ	78 ｹﾀ 80 ｹﾀ	A4用紙の自動改行する桁数を設定します。	ー
	ﾊｸｼ ﾍﾟｰｼﾞｼﾞｮｶﾞｲ	ｵﾌ ｵﾝ	空白ページを印刷しないようにするか設定します。	ー
	CR ﾄﾞｳｻ	CR ﾉﾐ CR+LF	CRコード受信時の動作を設定します。	ー
	LF ﾄﾞｳｻ	LF ﾉﾐ LF+CR	LFコード受信時の動作を設定します。	ー
	ｲﾝｻﾂ ﾘｮｳｲｷ	ﾉｰﾏﾙ 1/5 ｲﾝﾁ 1/6 ｲﾝﾁ	用紙の印刷不可能領域を設定します。	ー
	ｲﾒｰｼﾞ ｸﾛ ｾﾝﾀｸ	ｺﾝｺﾞｳ ｸﾛ ﾀﾝｼｮｸ ｸﾛ	イメージデータの黒をCMYK混色で印刷するか、ブラックトナーのみで印刷するか設定します。	◎
	ﾍﾟﾝﾊﾊﾞ ﾎｾｲ	ｵﾝ ｵﾌ	細い線を見えるように補正します。	◎
ｾﾝﾄﾛ ﾒﾆｭｰ	ｾﾝﾄﾛ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	パラレルインタフェースの有効／無効を設定します。	○
	ｿｳﾎｳｺｳ ｾﾝﾄﾛ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	双方向通信の有効／無効を設定します。	○
	ECP	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	ECPモードの有効／無効を設定します。	○
	ACK ﾊﾊﾞ	ｾﾏｲ ﾌﾂｳ ﾋﾛｲ	コンパチ受信時のACK幅を設定します。	○
	ACK/BUSY ﾀｲﾐﾝｸﾞ	ACK IN BUSY ACK WHILE BUSY	コンパチ受信時のBUSY信号とACK信号の出力順序を設定します。	○
	I-PRIME	3 ﾏｲｸﾛﾋﾞｮｳ 50 ﾏｲｸﾛﾋﾞｮｳ ﾑｺｳ	I-PRIME信号の有効時間／無効を設定します。	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win
	設定項目(上段)	設定値(下段)		
USB ﾒﾆｭｰ	USB	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	USB インタフェースの有効／無効を設定します。	○
	ｿﾌﾄ ﾘｾｯﾄ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	ソフトリセットコマンドの有効／無効を設定します。	○
NETWORK MENU	TCP/IP	ENABLE DISABLE	TCP/IP プロトコルの有効 / 無効を設定します。	○
	NETBEUI	ENABLE DISABLE	NetBEUI プロトコルの有効 / 無効を設定します。	○
	NETWARE	ENABLE DISABLE	NetWare プロトコルの有効 / 無効を設定します。	○
	FRAME TYPE	AUTO 802.2 802.3 ETHERNETII SNAP	フレームタイプを設定します。	○
	IP ADDRESS SET	AUTO MANUAL	IP アドレスの設定方法を設定します。 TCP/IP が DISABLE の場合は表示されません。	○
	IP ADDRESS	192.168.100.100	IP アドレスを設定します。 TCP/IP が DISABLE の場合は表示されません。 初期値はネットワーク接続していない場合の値です。	○
	SUBNET MASK	255.255.255.0	サブネットマスクを設定します。 TCP/IP が DISABLE の場合は表示されません。 初期値はネットワーク接続していない場合の値です。	○
	GATEWAY ADDRESS	192.168.100.254	ゲートウェイアドレスを設定します。 TCP/IP が DISABLE の場合は表示されません。 初期値はネットワーク接続していない場合の値です。	○
	INITIALIZE NIC ?	EXECUTE	ネットワークメニューの初期化を行うかを指定します。	○
	WEB/IPP	ENABLE DISABLE	WEB/IPP の有効 / 無効を設定します。	○
	TELNET	ENABLE DISABLE	TELNET の有効 / 無効を設定します。	○
	FTP	ENABLE DISABLE	FTP の有効 / 無効を設定します。	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win
	設定項目(上段)	設定値(下段)		
NETWORK MENU	SNMP	ENABLE DISABLE	SNMP の有効 / 無効を設定します。	○
	LAN	NORMAL SMALL	NORMAL：一般にはこの設定を使用してください。スパニングツリー機能を持つ HUB に接続した場合でも効率よく動作します。ただし、コンピュータが 2,3 台の小さな LAN に接続するとプリンタが起動する時間が長くなるデメリットがあります。 SMALL：コンピュータが 2,3 台の小さな LAN から大型の LAN まで対応しますが、スパニングツリー機能を持つ HUB に接続した場合に効率よく動作できない場合があります。	○
	HUB LINK SETTING	AUTO NEGOTIATE 100BASE-TX FULL 100BASE-TX HALF 10BASE-T FULL 10BASE-T HALF	HUB LINK SETTING を設定します。	○
ﾒﾓﾘ ﾒﾆｭｰ	ｼﾞｭｼﾝ ﾊﾞｯﾌｧ ｻｲｽﾞ	ｼﾞﾄﾞｳ 0.5MB 1MB 2MB 4MB 8MB 16MB 32MB	受信バッファサイズを設定します。装着しているメモリ容量により設定値が異なります。	○
	FLASH ｲﾆｼｬﾗｲｽﾞ	ｼﾞｯｺｳ	FLASH メモリのイニシャライズを行います。	○
DISK ﾒﾝﾃﾅﾝｽ *1：プリントジョブアカウンティングで「HDD/FLASH の初期化を禁止する」に設定している場合は非表示。 *2：オプションのハードディスク装着時に表示。	HDD ｲﾆｼｬﾗｲｽﾞ	ｼﾞｯｺｳ	ハードディスクのパーティション分割を行い、各パーティションをフォーマットします。	○
	ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝｻｲｽﾞ	ｼﾞｯｺｳ	パーティションサイズの変更を行います。	○
	PCL/ｷｮｳﾂｳ/ｷｮｳﾂｳ	nnn%/ mmm% l l l %	変更後のパーティションサイズを割合で指定します。	○
	HDD ﾌｫｰﾏｯﾄ	PCL ｷｮｳﾂｳ ｷｮｳﾂｳ	指定パーティションのフォーマットを行います。	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win
	設定項目(上段)	設定値(下段)		
ｼｽﾃﾑ ﾎｾｲ ﾒﾆｭｰ	X ﾎｾｲ	0.00 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ +0.25 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ +2.00 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ -2.00 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ -0.25 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	全体の印刷位置を0.25mm単位で横方向に補正します。 印刷可能領域を超えたイメージは印刷されません。	○
	Y ﾎｾｲ	0.00 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ +0.25 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ +2.00 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ -2.00 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ -0.25 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	全体の印刷位置を0.25mm単位で縦方向に補正します。 印刷可能領域を超えたイメージは印刷されません。	○
	ﾘｮｳﾒﾝｲﾝｻﾂ X ﾎｾｲ	0.00 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ +0.25 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ +2.00 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ -2.00 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ -0.25 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	両面印刷の裏面全体の印刷位置を0.25mm単位で横方向に補正します。 印刷可能領域を超えたイメージは印刷されません。	○
	ﾘｮｳﾒﾝｲﾝｻﾂ Y ﾎｾｲ	0.00 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ +0.25 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ +2.00 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ -2.00 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ ～ -0.25 ﾐﾘﾒｰﾄﾙ	両面印刷の裏面全体の印刷位置を0.25mm単位で縦方向に補正します。 印刷可能領域を超えたイメージは印刷されません。	○
	ﾄﾚｲ1 A3/ﾋﾞ ﾖｳｼ	A3 ﾉﾋﾞ A3 ﾜｲﾄﾞ TABLOID EXTRA	トレイ1のA3ノビ用紙のサイズを設定します。	○
	ﾄﾚｲ1 ﾘｰｶﾞﾙ14 ﾖｳｼ	LEGAL14 LEGAL13.5	トレイ1のリーガル用紙のサイズを設定します。	○
	ﾄﾚｲ1 A5/A6 ﾖｳｼ	A5/A6 ﾊｶﾞｷ	トレイ1のA5/A6用紙または往復はがき/はがきを設定します。	○
	ﾄﾚｲ2 A3/ﾋﾞ ﾖｳｼ*	A3 ﾉﾋﾞ A3 ﾜｲﾄﾞ TABLOID EXTRA	トレイ2のA3ノビ用紙のサイズを設定します。 *:オプションのセカンド/サードトレイユニットまたは大容量トレイユニット装着時に表示。	○
	ﾄﾚｲ2 ﾘｰｶﾞﾙ14 ﾖｳｼ*	LEGAL14 LEGAL13.5	トレイ2のリーガル用紙のサイズを設定します。 *:オプションのセカンド/サードトレイユニットまたは大容量トレイユニット装着時に表示。	○
	ﾄﾚｲ3 A3/ﾋﾞ ﾖｳｼ*	A3 ﾉﾋﾞ A3 ﾜｲﾄﾞ TABLOID EXTRA	トレイ3のA3ノビ用紙のサイズを設定します。 *:オプションのセカンド/サードトレイユニットまたは大容量トレイユニット装着時に表示。	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win
	設定項目(上段)	設定値(下段)		
ｼｽﾃﾑ ﾎｾｲ ﾒﾆｭｰ	ﾄﾚｲ3 ﾘｰｶﾞﾙ14 ﾖｳｼ*	LEGAL14 LEGAL13.5	トレイ3のリーガル用紙のサイズを設定します。 *:オプションのセカンド/サードトレイユニットまたは大容量トレイユニット装着時に表示。	○
	ﾄﾚｲ4 A3/ﾋﾞ ﾖｳｼ*	A3 ﾉﾋﾞ A3 ﾜｲﾄﾞ TABLOID EXTRA	トレイ4のA3ノビ用紙のサイズを設定します。 *:オプションの大容量トレイユニット装着時に表示。	○
	ﾄﾚｲ4 ﾘｰｶﾞﾙ14 ﾖｳｼ*	LEGAL14 LEGAL13.5	トレイ4のリーガル用紙のサイズを設定します。 *:オプションの大容量トレイユニット装着時に表示。	○
	ﾄﾚｲ5 A3/ﾋﾞ ﾖｳｼ*	A3 ﾉﾋﾞ A3 ﾜｲﾄﾞ TABLOID EXTRA	トレイ5のA3ノビ用紙のサイズを設定します。 *:オプションの大容量トレイユニット装着時に表示。	○
	ﾄﾚｲ5 ﾘｰｶﾞﾙ14 ﾖｳｼ*	LEGAL14 LEGAL13.5	トレイ5のリーガル用紙のサイズを設定します。 *:オプションの大容量トレイユニット装着時に表示。	○
	PCL ﾄﾚｲ2 ID #*	1 ～ 5 ～ 59	PCLコマンドでの給紙先指定コマンドで、トレイ2指定の#を指定します。 *:オプションのセカンド/サードトレイユニットまたは大容量トレイユニット装着時に表示。	○
	PCL ﾄﾚｲ3 ID #*	1 ～ 20 ～ 59	PCLコマンドでの給紙先指定コマンドで、トレイ3指定の#を指定します。 *:オプションのセカンド/サードトレイユニットまたは大容量トレイユニット装着時に表示。	○
	PCL ﾄﾚｲ4 ID #*	1 ～ 21 ～ 59	PCLコマンドでの給紙先指定コマンドで、トレイ4指定の#を指定します。 *:オプションの大容量トレイユニット装着時に表示。	○
	PCL ﾄﾚｲ5 ID #*	1 ～ 22 ～ 59	PCLコマンドでの給紙先指定コマンドで、トレイ5指定の#を指定します。 *:オプションの大容量トレイユニット装着時に表示。	○
	PCL MP ﾄﾚｲ ID #	1 ～ 4 ～ 59	PCLコマンドでの給紙先指定コマンドで、マルチパーパストレイ指定の#を指定します。	○
	DRUM CLEANING	ｵﾌ ｵﾝ	印刷前にイメージドラムのクリーニング動作を行います。画質改善の効果がある場合があります。	◎
	ﾍｷｻ ﾀﾞﾝﾌﾟ	ｼﾞｯｺｳ	16進ダンプで印刷します。16進ダンプの印刷を終了するには、電源をOFFにします。	

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win
	設定項目(上段)	設定値(下段)		
ﾒﾝﾃﾅﾝｽ ﾒﾆｭｰ	EEPROM ﾘｾｯﾄ	ｼﾞｯｺｳ	メニューの設定値を初期化します。	○
	ﾒﾆｭｰ ｾｯﾃｲﾁ ﾎｿﾞﾝ	ｼﾞｯｺｳ	現在のメニュー設定を保存します。	○
	ﾎｿﾞﾝｼﾀ ﾒﾆｭｰ ｾｯﾃｲﾆﾓﾄﾞｽ	ｼﾞｯｺｳ	保存しているメニュー設定に変更します。(保存しているメニュー設定があるときに表示されます。)	○
	ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ ｷﾉｳ	ﾕｳｺｳ ﾑｺｳ	印刷しないとき、省電力状態にするどうか設定します。省電力状態に移行するまでの時間は［システムコウセイメニュー］の［パワーセーブ　イコウジカン］で設定します。	○
	ﾌﾂｳｼ ﾌﾞﾗｯｸ ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	0 +1 +2 -2 -1	湿度差による印字のばらつきを補正します。 かすれる場合に値を変更します。	○
	ﾌﾂｳｼ ｶﾗｰ ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	0 +1 +2 -2 -1	湿度差による印字のばらつきを補正します。 かすれる場合に値を変更します。	○
	OHP ﾌﾞﾗｯｸ ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	0 +1 +2 -2 -1	湿度差による印字のばらつきを補正します。 OHP シートに印刷してかすれる場合に値を変更します。	○
	OHP ｶﾗｰ ｾｯﾃｨﾝｸﾞ	0 +1 +2 -2 -1	湿度差による印字のばらつきを補正します。 OHP シートに印刷してかすれる場合に値を変更します。	○

カテゴリ	操作パネル表示		内　容	Win
	設定項目(上段)	設定値(下段)		
ｼﾞｭﾐｮｳ ﾒﾆｭｰ	ﾄｰﾀﾙ ﾍﾟｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ	nnnnnn	総印刷枚数を表示します。	○
	ﾄﾚｲ1 ﾍﾟｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ	nnnnnn	トレイ 1 の総印刷枚数を表示します。	○
	ﾄﾚｲ2 ﾍﾟｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ*	nnnnnn	トレイ 2 の総印刷枚数を表示します。 *：オプションのセカンド / サードトレイユニットまたは大容量トレイユニット装着時に表示。	○
	ﾄﾚｲ3 ﾍﾟｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ*	nnnnnn	トレイ 3 の総印刷枚数を表示します。 *：オプションのセカンド / サードトレイユニットまたは大容量トレイユニット装着時に表示。	○
	ﾄﾚｲ4 ﾍﾟｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ*	nnnnnn	トレイ 4 の総印刷枚数を表示します。 *：オプションの大容量トレイユニット装着時に表示。	○
	ﾄﾚｲ5 ﾍﾟｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ*	nnnnnn	トレイ 5 の総印刷枚数を表示します。 *：オプションのセカンド / サードトレイユニットと大容量トレイユニット装着時に表示。	○
	MPﾄﾚｲ ﾍﾟｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ	nnnnnn	マルチパーパストレイの総印刷枚数を表示します。	○
	ｶﾗｰ ﾍﾟｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ	nnnnnn	カラーページ印刷を行ったページ数を表示します。	○
	ﾓﾉｸﾛ ﾍﾟｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ	nnnnnn	モノクロページ印刷を行ったページ数を表示します。	○
	ﾌﾞﾗｯｸ ﾄﾞﾗﾑ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ ××%	黒のドラムの残り寿命を表示します。	○
	ｼｱﾝ ﾄﾞﾗﾑ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ ××%	シアンのドラムの残り寿命を表示します。	○
	ﾏｾﾞﾝﾀ ﾄﾞﾗﾑ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ ××%	マゼンタのドラムの残り寿命を表示します。	○
	ｲｴﾛｰ ﾄﾞﾗﾑ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ ××%	イエローのドラムの残り寿命を表示します。	○
	ﾍﾞﾙﾄ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ ××%	ベルトの残り寿命を表示します。	○
	ﾃｲﾁｬｸｷ ﾕﾆｯﾄ	ﾉｺﾘ ××%	定着器の残り寿命を表示します。	○
	ﾌﾞﾗｯｸ ﾄﾅｰ ｻﾞﾝﾘｮｳ	7.5K=xxx%	黒のトナーの残量を表示します。	○
	ｼｱﾝ ﾄﾅｰ ｻﾞﾝﾘｮｳ	7.5K=xxx%	シアンのトナーの残量を表示します。	○
	ﾏｾﾞﾝﾀ ﾄﾅｰ ｻﾞﾝﾘｮｳ	7.5K=xxx%	マゼンタのトナーの残量を表示します。	○
	ｲｴﾛｰ ﾄﾅｰ ｻﾞﾝﾘｮｳ	7.5K=xxx%	イエローのトナーの残量を表示します。	○

現在の設定を確認します

❶ トレイにA4用紙をセットします。

❷ 0 を数回押し、[インフォメーション　メニュー]を表示します。

❸ 1 または 5 を押し、[メニューマップ　インサツ／ジッコウ]を表示します。

❹ 3 を押します。

メニューマップ印刷が開始されます。

プリントジョブアカウンティング(オプション)で[ローカルプリント]が[印刷不可]または[カラー印刷不可]に設定されている場合には、印刷できません。

(サンプル)

MenuMap　　C9150dn

Printer Serial Number:N31063C　06 409B 1001540　プリンタ管理番号:
CU version:D4.09 [I00.95 S2.4.5m B02.00 PPC750CXe 500MHz 00083214 00020020 F34 J0]
PU version:D0.11.08 [PI02.09 L000.08.13 DU01.73.41 T202.00.06 T302.00.06 T402.00.06 T502.00.06]
PCL Program version:02.13 [04.18 X01.11 P F]
Total Memory Size:320 MB　トレイ1:A4 横送り　DIMM Slot A:CU Program ROM
Flash Memory:4 MB [F34]　トレイ2:A4 横送り　DIMM Slot B:Font DIMM [PCL:04.02]
HDD:10.06 GB [F34]　トレイ3:A4 横送り
JP1 P0E0　トレイ4:A4 横送り
C:0 M:0 Y:0 K:0　トレイ5:A4 横送り

項目	設定
印刷ジョブメニュー	
パスワード入力	
インフォメーションメニュー	
メニューマップ印刷	
ファイルリスト印刷	
PCLフォント印刷	
DEMO1	
エラーログ印刷	
シャットダウン メニュー	
シャットダウン スタート	
印刷メニュー	
コピー枚数	1
両面印刷	オン
綴じ方	横綴じ
出力ビン	フェイスダウン
ジョブオフセット	オン
給紙トレイ	トレイ1
自動トレイ切り替え	オン
トレイ選択順序	下方向
MPトレイの使い方	用紙違いの時
用紙チェック	有効
OHP 検出	有効
解像度	600DPI
トナーセーブモード	オフ
モノクロ印刷速度	自動
印刷方向	縦
1ページ行数	64 行
編集サイズ	カセット用紙サイズ
メディアメニュー	
トレイ1用紙サイズ	カセット用紙サイズ
トレイ1用紙タイプ	普通紙
トレイ1用紙厚	自動
トレイ2用紙タイプ	普通紙
トレイ2用紙厚	自動
トレイ3用紙タイプ	普通紙
トレイ3用紙厚	自動
トレイ4用紙タイプ	普通紙
トレイ4用紙厚	自動
トレイ5用紙タイプ	普通紙
トレイ5用紙厚	自動
MPトレイ用紙サイズ	A5
MPトレイ用紙タイプ	普通紙
MPトレイ用紙厚	自動
用紙サイズ設定単位	ミリメートル
カスタム用紙幅	210 ミリメートル
カスタム用紙長さ	297 ミリメートル
カラーメニュー	
自動濃度補正モード	自動
濃度補正	
カラー調整	
シアン HIGHLIGHT	0
シアン MID-TONE	0
シアン DARK	0
マゼンタ HIGHLIGHT	0
マゼンタ MID-TONE	0
マゼンタ DARK	0
イエロー HIGHLIGHT	0
イエロー MID-TONE	0
イエロー DARK	0
ブラック HIGHLIGHT	0
ブラック MID-TONE	0
ブラック DARK	0
シアン濃度	0
マゼンタ濃度	0
イエロー濃度	0
ブラック濃度	0
自動色ずれ補正	
シアン位置ずれ微調整	0
マゼンタ位置ずれ微調整	0
イエロー位置ずれ微調整	0
UCR	少ない
CMY100%濃度	無効
システム構成メニュー	
パワーセーブ移行時間	60 分
アラーム解除	オン
エラー自動解除	オフ
マニュアルタイムアウト	60 秒
タイムアウト印刷	40 秒
トナー不足印刷継続	継続
ジャムリカバー	オン
言語	日本語
PCL エミュレーション	
使用フォント	DIMM0 フォント
フォントNo.	C001
フォントサイズ	12.00 ポイント
シンボルセット	WIN3.1J
A4印字幅	78 桁
白紙ページ除外	オフ
CR 動作	CR のみ
LF 動作	LF のみ
印刷領域	ノーマル
イメージ黒選択	混合黒
ペン幅補正	オン
セントロ メニュー	
セントロ	有効
双方向セントロ	有効
ECP	有効
ACK幅	狭い
ACK/BUSYタイミング	ACK IN BUSY
I-PRIME	無効
USBメニュー	
USB	有効
ソフトリセット	無効

現在のメニュー設定を保存します

プリンタの操作パネルでの設定を保存できます。

❶ (0)を数回押し、[メンテナンス　メニュー]を表示します。

❷ (1)または(5)を押し、[メニュー　セッテイヲ　ホゾン／ジッコウ]を表示します。

❸ (3)を押し、[ジッコウシマスカ？]を表示します。

❹ (3)を押します。

設定値が保存されます。

メモ　現在の設定を、保存されている設定に変更することができます。

❶ (0)を数回押し、[メンテナンス　メニュー]を表示します。

❷ (1)または(5)を押し、[ホゾンシタ　メニュー　セッテイニ　モドス／ジッコウ]を表示します。

❸ (3)を押し、[ジッコウシマスカ？]を表示します。

❹ (3)を押します。

設定値が、保存されている設定に変更されます。

設定値を初期化します

❶ (0)を数回押し、[メンテナンス　メニュー]を表示します。

❷ (1)または(5)を押し、[EEPROM　リセット／ジッコウ]を表示します。

❸ (3)を押します。

「NETWORK MENU」カテゴリの初期化はカテゴリ内の[INITIALIZE]で行ってください。

プリンタの操作パネルでIPアドレスを設定したい

プリンタの操作パネルから、プリンタのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定できます。

IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなど、重大な障害が発生します。ネットワーク管理者と相談の上、IPアドレスを設定してください。

プリンタのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスは、「AdminManager」で設定することもできます。「AdminManager」（142ページ）をご覧ください。

❶ (0)を数回押し、[NETWORK　MENU]を表示します。

❷ (1)または(5)を押し、[TCP/IP/ENABLE　∗]を表示します。

[TCP/IP/DISABLE　∗]と表示されている場合は、(2)または(6)を押して[TCP/IP/ENABLE]を表示し、(3)を押して値の右側に[∗]を付けます。

❸ (1)または(5)を押し、[IP　ADDRESS]を表示します。

❹ (2)または(6)を押し、IPアドレスの1桁目の値にします。

❺ (3)を押し、値の右端に[∗]を付けます。

❻ (1)を押し、IPアドレスの2桁目の値にカーソルを移動します。

以後、❸～❺を繰り返し、[SUBNET　MASK]（サブネットマスク）、[GATEWAY　ADDRESS]（ゲートウェイアドレス）を設定します。

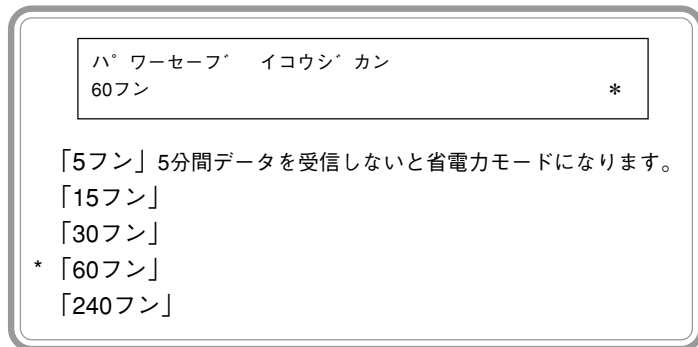
❼ (4)を押し、[オンライン]にします。（電源を入れなおす必要はありません。）

プリンタが設定した情報を保存します。最低30秒程度は電源を切らないでください。

省電力モードに入るまでの時間を変更したい(パワーセーブ)

省電力モードに入るまでの時間を設定できます。
省電力モードに入るまでの時間を長くすると、印刷開始までの時間を短くできる場合があります。

```
ハ゜ワーセーフ゛   イコウシ゛カン
60フン                                  ＊
```

「5フン」5分間データを受信しないと省電力モードになります。
「15フン」
「30フン」
* 「60フン」
「240フン」

ここでは操作パネルで時間を変更する手順を説明します。

❶ 0 を数回押し、[システム　コウセイ　メニュー]を表示します。

❷ 1 または 5 を押し、[パワーセーブ　イコウ　ジカン]を表示します。

❸ 2 または 6 を押し、目的の値を表示します。

❹ 3 を押し、値の右端に[＊]を付けます。

❺ 4 を押し、[オンライン]にします。

メモ　[メンテナンスメニュー]の[パワーセーブ　キノウ]を[ムコウ]にすると省電力モードに入らなくなりますが、定着器を印刷可能温度に保つために電力を消費します。プリンタを使用しないときには電源をOFFにしてください。

プリンタの最大消費電力を抑えたい

プリンタの最大消費電力が1000W以上で問題がある場合には、下記手順で1000W未満に設定できる最大消費電力低減モードの設定を行ってください。
但し、最大消費電力低減モードでは立上げ時間や、連続印刷時間が多少長くなる場合があります。
設定の変更はアドミニストレータ・メニュー(Administrator Menu)から行います。

手順：操作パネルから[PEAK POWER CONTROL]設定を[LOW]に変更します。

❶ プリンタの電源をOFFにします。

❷ ①と⑤を同時に押しながら電源を入れ、[ADMINISTRATOR MENU]を表示するまで押し続けます。

❸ ⓪を数回押し、[PEAK POWER CONTROL]を表示します。

❹ ②または⑥を押し、[LOW]を表示します。

❺ ③を押し、値の右端に[＊]を付けます。

❻ ④を押し、[イニシャルチュウ]を表示します。イニシャライズが行われます。

❼ [オンライン]が表示されたら電源をOFFにします。

❽ 電源をONにします。

その他の設定を間違えて変更してしまった場合には、右のアドミニストレータ・メニュー一覧表を見て初期値に戻してください。

アドミニストレータ・メニュー一覧表

（初期設定に戻す場合の参考にしてください。）

カテゴリ	操作パネル表示		内　容
	設定項目(上段)	設定値(下段)	
OP MENU	ALL CATEGORY	ENABLE DISABLE	DISABLE の場合、全てのユーザメニューが表示されなくなります。 但し、HDD 装着時には PRINT JOB MENU は表示されます。
	PRINT JOB MENU	ENABLE DISABLE	DISABLE の場合、ユーザメニューの各カテゴリが表示されなくなります。 不用意に操作パネルから変更されて欲しくないプリンタの設定を非表示にすることで、誤って操作してしまわないようにできます。 各設定項目は、以下のメニューに対応します。 INFORMATION MENU →「インフォメーション メニュー」 SHUTDOWN MENU →「シャットダウン メニュー」 PRINT MENU →「インサツ メニュー」 MEDIA MENU →「メディア メニュー」 COLOR MENU →「カラー メニュー」 SYSTEM CONFIG MENU →「システム コウセイ メニュー」 PCL EMULATION MENU →「PCL エミュレーション」 PARALLEL MEMU →「セントロ メニュー」 USB MENU →「USB メニュー」 NETWORK MENU →「ネットワーク メニュー」 MEMORY MENU →「メモリ メニュー」 DISK MAINTENANCE MENU →「DISK メンテナンス」 SYSTEM ADJUST MENU →「システム ホセイ メニュー」 MAINTENANCE MENU →「メンテナンス メニュー」 USAGE MENU →「ジュミョウ メニュー
	INFORMATION MENU	ENABLE DISABLE	
	SHUTDOWN MENU	ENABLE DISABLE	
	PRINT MENU	ENABLE DISABLE	
	MEDIA MENU	ENABLE DISABLE	
	COLOR MENU	ENABLE DISABLE	
	SYSTEM CONFIG MENU	ENABLE DISABLE	
	PCL EMULATION MENU	ENABLE DISABLE	
	PARALLEL MENU	ENABLE DISABLE	
	USB MENU	ENABLE DISABLE	
	NETWORK MENU	ENABLE DISABLE	
	MEMORY MENU	ENABLE DISABLE	
	DISK MAINTENANCE	ENABLE DISABLE	
	SYSTEM ADJUST MENU	ENABLE DISABLE	
	MAINTENANCE MENU	ENABLE DISABLE	
	USAGE MENU	ENABLE DISABLE	

<table>
<tr><th rowspan="2">カテゴリ</th><th colspan="2">操作パネル表示</th><th rowspan="2">内　容</th></tr>
<tr><th>設定項目(上段)</th><th>設定値(下段)</th></tr>
<tr><td>COLOR
MENU</td><td>RESET C GAMMA FILTER
RESET M GAMMA FILTER
RESET Y GAMMA FILTER
RESET K GAMMA FILTER</td><td>EXECUTE</td><td>使用しないでください。
（実行しても何もしません）</td></tr>
<tr><td>BLOCK
DEVICE
MENU</td><td>INITIAL LOCK</td><td>YES
NO</td><td>YES にした場合、DISK MAINTENANCE カテゴリと「メモリ メニュー」カテゴリの「FLASH イニシャライズ」の設定項目を表示しなくなります。
（オプションの HDD が装着されている場合のみ本設定値は機能します）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">FILE
SYSTEM
MAINTE-
NANCE</td><td>CHECK FILE SYSTEM</td><td>OFF
HDD</td><td rowspan="3">HDD の内容が消去されますので使用しないでください。

HDD のファイルシステムの状態が不調の場合に使用します。
ON にした場合、処理完了までに数十分以上かかります。

※本メニューを操作すると、フォントや大事なデータを保存していた　場合、消えますのでご注意ください。</td></tr>
<tr><td>CHECK ALL SECTORS</td><td>OFF
ON</td></tr>
<tr><td>HDD</td><td>ENABLE
DISABLE</td></tr>
<tr><td>PEAK
POWER
CONTROL</td><td>PEAK POWER
CONTROL</td><td>NORMAL
LOW</td><td>最大消費電力設定をＬＯＷにすると、最大消費電力低減モードになります。</td></tr>
<tr><td>JOB LOG
MENU</td><td>JOB LOG</td><td>ENABLE
DISABLE</td><td>印刷集計機能を開始 / 停止します。</td></tr>
</table>

印刷をキャンセルしたい

プリンタで処理中のデータをキャンセルすることができます。

1 プリンタの操作パネルで印刷をキャンセルします。

❶ ⑦を押します。

プリンタは印刷ジョブの最後まで受け取ってキャンセルします。

- プリンタで印刷準備が整ったページはそのまま印刷されます。
- [データ　クリアチュウ]が長く続く場合はコンピュータで印刷ジョブを削除してください。

プリンタ内蔵フォントを確認したい

プリンタに内蔵しているフォントを確認できます。

操作パネルを使う場合

プリンタに標準で内蔵しているフォント名を印刷します。

- A4用紙以外で印刷を行うとすべての内容が印刷されないことがあります。
- プリントジョブアカウンティング(オプション)で[ローカルプリント]が[印刷不可]または[カラー印刷不可]に設定されている場合には印刷できません。

❶ トレイにA4用紙をセットします。

❷ ⓪を数回押し、[インフォメーション　メニュー]を表示します。

❸ ①または⑤を押し、[PCL　フォント　インサツ／ジッコウ]を表示します。

❹ ③を押します。

フォント名が印刷されます。

パラレルインタフェースの転送モードを変更したい

コンピュータと転送モードを一致させる場合に変更してください。

双方向セントロを無効にするには

❶ 0 を数回押し、[セントロ　メニュー]を表示します。

❷ 1 または 5 を押し、[ソウホウコウ　セントロ]を表示します。

❸ 2 または 6 を押し、[ムコウ]を表示します。

❹ 3 を押し、値の右端に[＊]を付けます。

❺ 4 を押し、[オンライン]にします。

❻ 電源をOFF/ONします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(24ページ)をご覧ください。

ECPを無効にするには

❶ 0 を数回押し、[セントロ　メニュー]を表示します。

❷ 1 または 5 を押し、[ECP]を表示します。

❸ 2 または 6 を押し、[ムコウ]を表示します。

❹ 3 を押し、値の右端に[＊]を付けます。

❺ 4 を押し、[オンライン]にします。

❻ 電源をOFF/ONします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(24ページ)をご覧ください。

内蔵ハードディスクを初期化したい

内蔵ハードディスクを初期の状態に戻すことができます。
内蔵ハードディスクは3つのパーティションに分割されています。内蔵ハードディスクをイニシャライズすると、パーティションも分割し直します。特定のパーティションのみをフォーマットすることもできます。

内蔵ハードディスクのパーティションには[PCL]、[キョウツウ]、[キョウツウ]があります。

[PCL]
PCLモードのフォームを格納するエリアです。
[キョウツウ]
認証印刷、確認印刷でジョブを登録したり、エラーログを格納するエリアです。

内蔵ハードディスクを初期化すると、以下の内容が消去されます。初期化しても良いか十分検討してください。

- 確認印刷、認証印刷で登録したジョブ
- 登録したフォーム
- エラーログ

プリントジョブアカウンティングにプリンタがすでに追加されている場合は、内蔵ハードディスクの初期化をする前に、プリントジョブアカウンティングに関する情報をプリンタのハードディスクから一旦削除する必要があります。このため、ログの取得を終了し、プリントジョブアカウンティングからプリンタを削除してください。プリンタの削除方法は、「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

操作パネルを使う場合

イニシャライズ

❶ 0 を数回押し、[DISK　メンテナンス]を表示します。

❷ 1 または 5 を押し、[HDD　イニシャライズ／ジッコウ]を表示します。

❸ 3 を押し、[ジッコウシマスカ？]を表示します。

❹ 3 を押し、[スグニ　ジッコウシマスカ？]を表示します。

❺ 3 を押します。プリンタはシャットダウン処理を行います。

注 ここで 7 を押した場合は、次にプリンタの電源を入れたときにイニシャライズが行われます。

❻ [デンゲンヲ　オフシテクダサイ／シャットダウン　カンリョウ]が表示されたら電源をOFFにします。

❼ 電源をONにします。イニシャライズが行われます。

6

内蔵ハードディスクを初期化したい

特定のパーティションのフォーマット

❶ ⓪を数回押し、[DISK　メンテナンス]を表示します。

❷ ①または⑤を押し、[HDD　フォーマット]を表示します。

❸ ②または⑥を押し、目的のパーティションを表示します。

❹ ③を押し、[ジッコウシマスカ?]を表示します。

❺ ③を押し、[スグニ　ジッコウシマスカ?]を表示します。

❻ ③を押します。プリンタはシャットダウン処理を行います。

注 ここで⑦を押した場合は、次にプリンタの電源を入れたときにフォーマットが行われます。

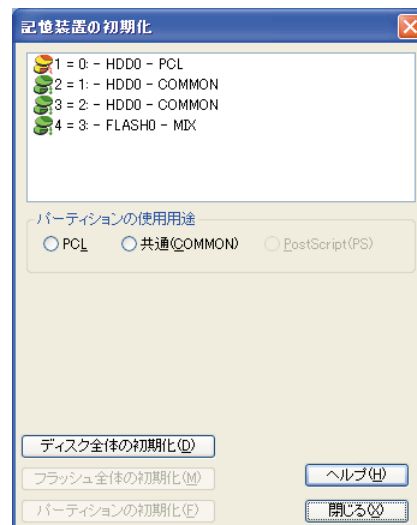
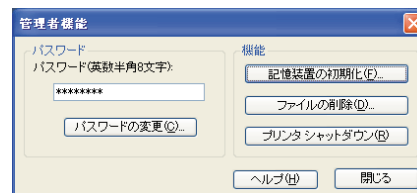
❼ [デンゲンヲ　オフシテクダサイ/シャットダウン　カンリョウ]が表示されたら電源をOFFにします。

❽ 電源をONにします。フォーマットが行われます。

OKI ストレージデバイスマネージャを使う場合

❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラム])-[沖データ]-[OKI ストレージデバイスマネージャ]-[OKI ストレージデバイスマネージャ]を選択します。

❷ [プリンタの検索]画面でプリンタを接続しているポートを選択し、[開始]をクリックします。

❸ [閉じる]をクリックします。

❹ 下のウィンドウでプリンタを選択し、[プリンタ]メニューから[管理者機能]を選択します。

❺ [現在のパスワード]に管理者パスワードを入力します。デフォルトのパスワードは「PASSWORD」です。

❻ [記憶装置の初期化]をクリックします。

❼ イニシャライズする場合は[ディスク全体の初期化]をクリックします。

特定のパーティションをフォーマットする場合はリストからフォーマットしたいパーティションを選択し、[パーティションの初期化]をクリックします。

パーティションの使用目的を変更する場合はリストからフォーマットしたいパーティションを選択し、[パーティションの使用用途]でパーティション種類を選択して[パーティションの初期化]をクリックします。

❽ 初期化確認画面で[はい]をクリックします。

❾ シャットダウン確認画面で[はい]をクリックします。

❿ 完了画面で[OK]をクリックします。

⓫ プリンタの電源をOFF/ONします。

ハードディスクやフラッシュメモリの空き容量を確認したい

ハードディスクやフラッシュメモリの各パーティションの空き容量を確認することができます。

メモ 「OKIストレージデバイスマネージャ」のセットアップについては、192ページをご覧ください。

❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラム])-[沖データ]-[OKI ストレージデバイスマネージャ]-[OKI ストレージデバイスマネージャ]を選択します。

❷ [プリンタの検索]画面でプリンタを接続しているポートを選択し、[開始]をクリックします。

❸ [終了]をクリックします。

❹ [閉じる]をクリックします。

❺ 下のウィンドウでプリンタを選択し、[プリンタ]メニューから[リソースを表示する]を選択します。

❻ ハードディスクの場合は[DISK]を、フラッシュメモリの場合は[FLASH0]を選択します。

注 ハードディスクが搭載されていない場合は、[DISK]は表示されません。

名前	サイズ	空き領域	ロケーション	用途
ボリューム 0:	2000576512	2000543744	HDD0	PCL
ボリューム 1:	5001453568	5001015296	HDD0	COMMON
ボリューム 2:	3000868864	3000811520	HDD0	COMMON

❼ [表示]メニューから[詳細]を選択します。

❽ 用途欄にパーティションの種別が表示され、空き容量欄にパーティションごとの空き容量がByte単位で表示されます。

ハードディスクやフラッシュメモリの空き容量を確保したい

ハードディスクやフラッシュメモリの空き容量を確保するにはいくつかの方法があります。

ハードディスクの場合

ハードディスクの不要なジョブを削除する

「確認印刷」、「認証印刷」または「プリンタに保存」指定をした印刷ジョブが、ハードディスクの「キョウツウ」パーティションに残ったままになっていると、ハードディスクの容量を圧迫します。これらのジョブを削除することによって、空き容量を確保することができます。「複数部数の文書を最初に確認してから印刷したい(確認印刷)」(215ページ)、「パスワードを入力してから印刷したい(認証印刷)」(217ページ)、「プリンタのハードディスクにジョブを保存して繰り返し印刷したい」(220ページ)をご覧ください。

「キョウツウ」パーティションの空き容量が確保されます。「PCL」パーティションの空き容量は変わりません。

ハードディスクのパーティションサイズを変更する

使用していないパーティションのサイズを小さくすることにより、目的のパーティションの空き容量を確保することができます。

パーティションのサイズを変更すると、以下の内容も消去されます。消去されてもよいか十分検討してください。

・「確認印刷」、「認証印刷」、「プリンタに保存」で登録したジョブ
・登録したフォーム

プリントジョブアカウンティングにプリンタがすでに追加されている場合は、パーティションのサイズを変更する前に、プリントジョブアカウンティングに関する情報をプリンタのハードディスクから一旦削除する必要があります。このために、ログの取得を終了し、プリントジョブアカウンティングからプリンタを削除してください。プリンタの削除方法は、「プリントジョブアカウンティング ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

❶ 0 を押し、[DISK　メンテナンス]を表示します。

❷ 1 または 5 を押し、[パーティション　サイズ/ジッコウ]を表示します。

❸ 3 を押し、[PCL/キョウツウ/キョウツウ]を表示します。

❹ 1 または 5 を押し、サイズを変更したいパーティションの下にカーソルを移動します。

❺ 2 または 6 を押し、サイズを変更します。サイズは全容量に対する割合(%)で指定します。

❻ 3 を押し、[ジッコウシマスカ?]を表示します。

❼ 3 を押し、[スグニ　ジッコウシマスカ?]を表示します。

❽ 3 を押します。プリンタはシャットダウン処理を行います。

注 ここで 7 を押した場合は、次にプリンタの電源を入れたときにサイズの変更が行われます。

❾ [デンゲンヲ　オフシテクダサイ/シャットダウン　カンリョウ]が表示されたら電源をOFFしてください。

❿ 電源をONにします。パーティションのサイズが変更されます。

ハードディスクの初期化をします

ハードディスクを初期の状態に戻すことができます。
ハードディスクの初期化を行う場合は、「内蔵ハードディスクを初期化したい」(132ページ)をご覧ください。

フラッシュメモリの場合

フラッシュメモリの初期化をします

フラッシュメモリを初期の状態に戻すことができます。

フラッシュメモリを初期化すると、以下の内容も消去されます。消去されてもよいか十分検討してください。

・登録したフォーム

プリントジョブアカウンティングにプリンタがすでに追加されている場合は、フラッシュメモリを初期化する前に、プリントジョブアカウンティングに関する情報をプリンタのハードディスクから一旦削除する必要があります。このために、ログの取得を終了し、プリントジョブアカウンティングからプリンタを削除してください。プリンタの削除方法は、「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

❶ (0)を押し、[メモリメニュー]を表示します。

❷ (1)または(5)を押し、[FLASHイニシャライズ／ジッコウ]を表示します。

❸ (3)を押し、[ジッコウシマスカ?]を表示します。

❹ (3)を押し、[スグニ　ジッコウシマスカ?]を表示します。

❺ (3)を押します。プリンタはシャットダウン処理を行います。

ここで(7)を押した場合は、次にプリンタの電源を入れたときにサイズの変更が行われます。

❻ [デンゲンヲ　オフシテクダサイ／シャットダウン　カンリョウ]が表示されたら電源をOFFしてください。

❼ 電源をONにします。初期化が実行されます。

7 Windows ソフトウェア

カラーユーティリティ

カラー調整ユーティリティ

プリンタのカラーマッチングを調整します。パレットカラーの出力色の調整や、ガンマ値や原色の色相・色彩を調整することによって出力色の全体傾向を変更することができます。

色見本印刷ユーティリティ

プリンタでRGB色の見本を印刷します。印刷された色見本を見て、希望する色をアプリケーションでどのようなRGB色の指定をするか確認することができます。

動作環境

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0/Server2003日本語版の動作するコンピュータ

- WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。
- 色見本印刷ユーティリティは、Windows95では使用できません。

インストールします

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷ CD-ROMのアイコンを開きます。

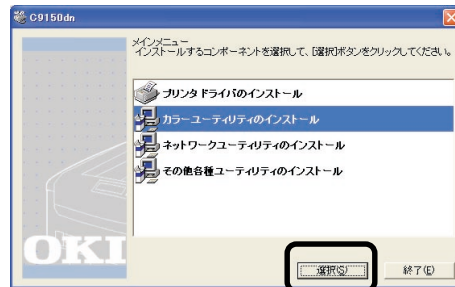
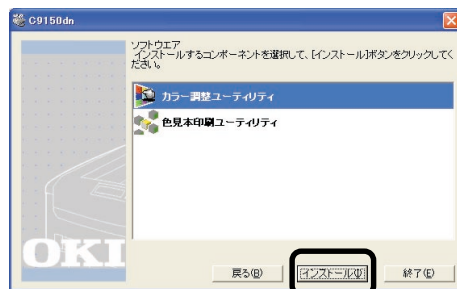
〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[OKICOLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[OKICOLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

❸ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❹「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❺ [カラーユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❻ インストールするユーティリティを選択し、[インストール]をクリックします。

❼ 画面の指示に従ってセットアップします。

❽「C9150dn」画面で[終了]をクリックします。

起動します

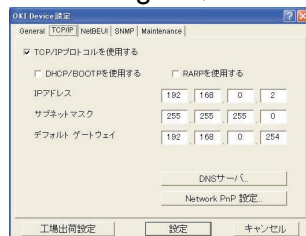
❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラムを表示])-[沖データ]-起動したいユーティリティを選択します。

詳しくは
- 「色見本印刷して希望色のRGB値を決めたい」(241ページ)
- 「パレットカラーを変更してカラーマッチングしたい」(233ページ)
- 「ガンマ値や色相を変更してカラーマッチングしたい」(238ページ)

をご覧ください。

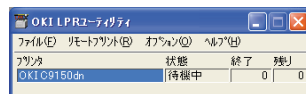
ネットワークユーティリティ

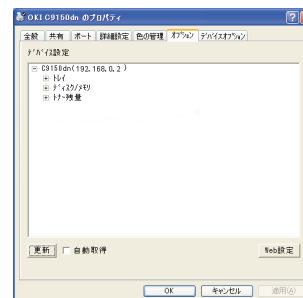
ネットワーク接続時に使用するユーティリティです。
必要に応じてインストールしてください。

AdminManager（142ページ）

プリンタのネットワークの設定やステータスの確認ができます。IPアドレスの変更やTELNETプロトコルの機能変更もできます。

Quick Setup（146ページ）

各プロトコルの有効/無効を簡易に設定します。

OKI LPRユーティリティ（149ページ）

ネットワーク接続での印刷、印刷ジョブの管理、プリンタのステータスを確認することができます。

Network Extension（155ページ）

プリンタドライバからプリンタの設定項目を確認したり、プリンタのオプション構成の設定ができます。

PrintSuperVision（158ページ）

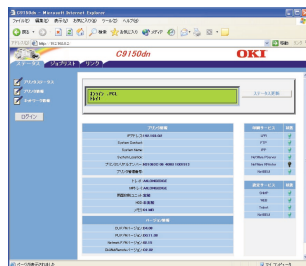
ネットワークに接続されるプリンタを管理するWebベースのアプリケーションです。複数のプリンタの設定情報や消耗品情報を確認できます。

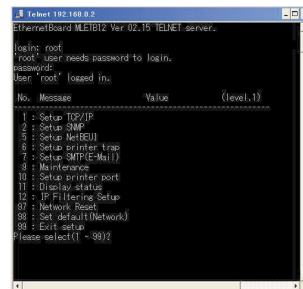
Web Driver Installer（165ページ）

ネットワーク接続されるプリンタを表示し、プリンタドライバインストールモジュールをダウンロードし、クライアントのコンピュータにインストールするWebアプリケーションです。

ネットワークステータスモニタ（175ページ）

ネットワーク接続されているプリンタの状態を監視することができます。

Webブラウザ（179ページ）

Web画面で、プリンタのメニューやネットワークの設定を遠隔操作できます。

TELNET（188ページ）

TELNETを利用してプリンタのネットワークの設定をすることができます。

ユーティリティの機能一覧

○：利用できる機能

項目 / ユーティリティ名	IPアドレスの設定変更	パネル表示	ジョブの管理	オプション品の管理	消耗品情報	ネットワーク管理
AdminManager	○					
OKI LPRユーティリティ		○	○			
Network Extension				○		
PrintSuperVision					○	○
Web Driver Installer						○
ネットワークステータスモニタ		○				
Webブラウザ	○	○			○	
TELNET	○					

AdminManager

プリンタのネットワークの設定や、ステータスの確認ができます。

動作環境

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0/Server2003日本語版
TCP/IPで動作しているコンピュータ

- コンピュータはプリンタと同一セグメント上に存在している必要があります。
- WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の説明は、WindowsXP Home Editionを例にしています。

起動します

❶ プリンタの電源をONにします。

❷ Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸ CD-ROMのアイコンを開きます。

〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[OKICOLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[OKICOLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

❹ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❺「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❻ [ネットワークユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❼ [NICセットアップユーティリティ]を選択し、[インストール]をクリックします。

❽［日本語］をクリックします。

❾［OKI Device Standard Setup］をクリックします。

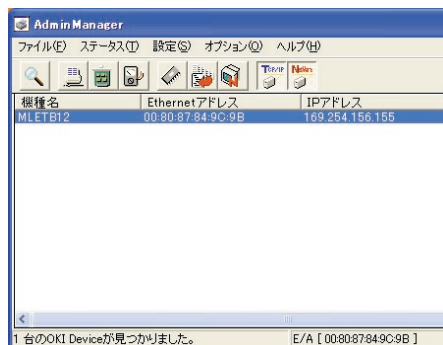
❿［インストールせずに、直接CD-ROMから起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

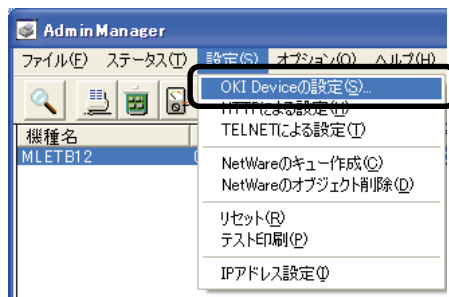
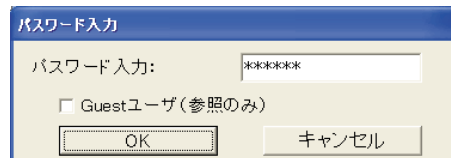
AdminManagerが起動します。

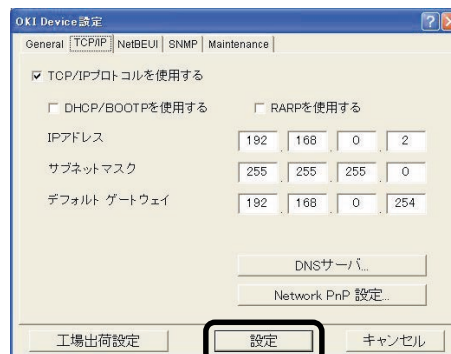
7

AdminManager

プリンタのネットワークの設定を行うことができます。
各項目の詳細については、「ネットワーク設定項目の一覧」(254ページ)をご覧ください。

❶ 一覧よりイーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。
機種名には、C9150dnの代わりにMLETB12と表示されます。

注
- イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(267ページ)
- 初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」になっています。ネットワーク上にDHCP/BOOTPサーバがある場合はサーバから取得したIPアドレスが表示されます。

❷ [設定]メニューの[OKI Deviceの設定]を選択します。

❸ [パスワード入力]に[イーサネットアドレスの下6桁]を入力し、[OK]をクリックします。

注
- パスワードは、手順❶で選択した「Ethernetアドレス」の下6桁を入力してください。この場合は、「849C9B」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

❹ 必要な項目を入力し、[設定]をクリックします。

❺ 設定に間違いがなければ、[OK]をクリックします。

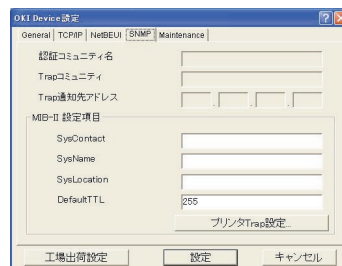
❻ 新しい設定値を有効にするため、[はい]をクリックします。

注 この時点でプリンタは新しい設定値で動作します。

❼ AdminManagerを終了します。

7

AdminManager

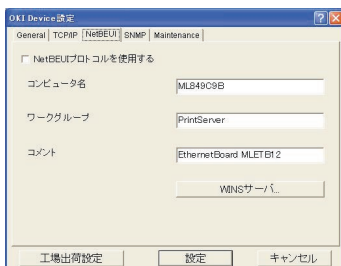
Generalタブ

パスワードを変更します。

TCP/IPタブ

IPアドレスなどの設定をします。

NetBEUIタブ

NetBEUIを利用する場合に設定します。

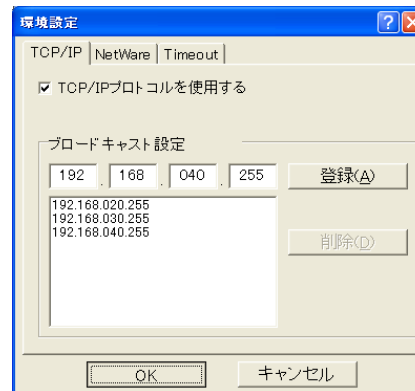
SNMPタブ

SNMPを利用する場合に設定します。

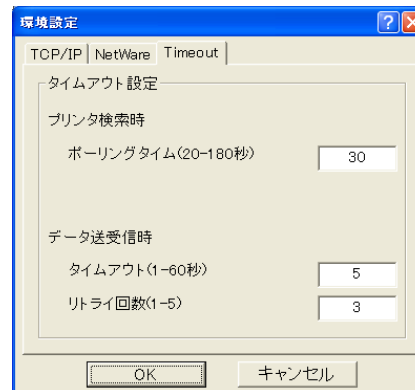
Maintenanceタブ

ネットワークサービスの使用制限を設定します。

環境を設定します

AdminManagerの環境を設定することができます。
[オプション]メニューの[環境設定]を選択します。

TCP/IPタブ

TCP/IPでプリンタの検索をするかどうか設定します。
ブロードキャストアドレスを設定します。

Timeoutタブ

プリンタからの応答待ち時間を秒単位で設定します。
AdminManagerとプリンタの間のタイムアウト時間を秒単位で設定します。
AdminManagerとプリンタの間のリトライ回数を設定します。

Quick Setup

プリンタの簡易設定ができます。

動作環境

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0/Server2003日本語版
TCP/IPで動作しているコンピュータ

- コンピュータはプリンタと同一セグメントに存在している必要があります。
- NetWareの設定をするときは、コンピュータにNovel Clientがインストールされている必要があります。
- WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の説明は、WindowsXP Home Editionを例にしています。

起動します

❶ プリンタの電源をONにします。

❷ Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸ CD-ROMのアイコンを開きます。

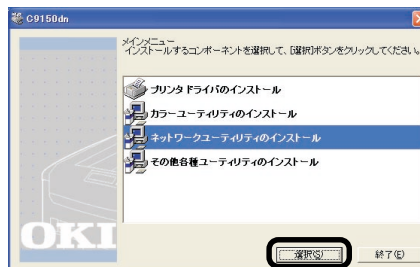
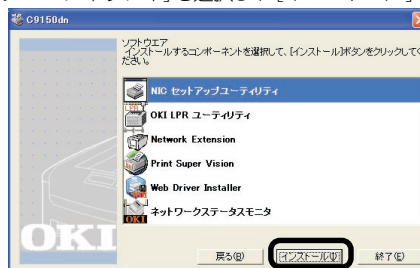
〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[OKICOLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[OKICOLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

❹ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

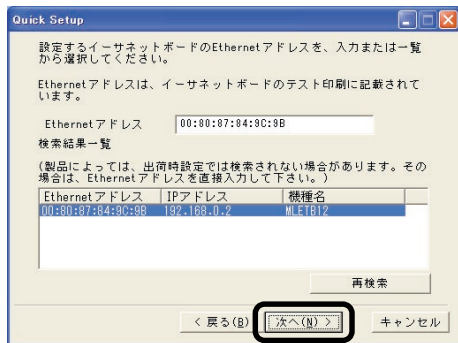
セットアッププログラムが起動します。

❺「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

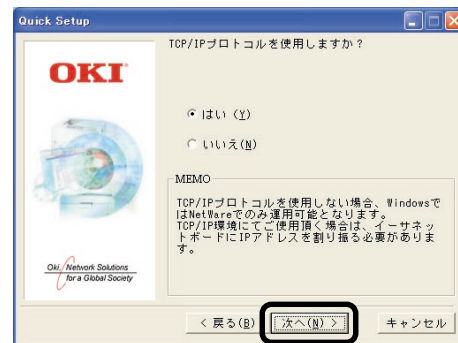
❻ [ネットワークユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❼ [NICセットアップユーティリティ]を選択し、[インストール]をクリックします。

❽ [日本語]をクリックします。

❾ [OKI Device Quick Setup]をクリックします。

❿ [次へ]をクリックします。

⓫ 設定を行うプリンタのイーサネットアドレスを選択して、[次へ]をクリックします。
機種名には、C9150dnの代わりにMLETB12と表示されます。

注 イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(267ページ)

Quick Setupで設定します

❶ TCP/IPの設定を行い、[次へ]をクリックします。

❷ NetWareの設定を行い、[次へ]をクリックします。

❸ NetBEUIの設定を行い、[次へ]をクリックします。

❹ 設定内容を確認し、[実行]をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

❺ 設定値を有効にするために、[完了]をクリックします。

注 この時点でプリンタは新しい設定値で動作します。

❻ Quick Setupを終了します。

OKI LPRユーティリティ

ネットワーク接続での印刷、印刷ジョブの管理、プリンタのステータス確認ができます。

動作環境

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0/Server2003日本語版で動作しているコンピュータ
TCP/IPで動作しているコンピュータ

- ネットワーク接続でプリンタドライバのインストールを行うと、自動的にOKI LPRユーティリティがインストールされます。
- WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の説明は、WindowsXP Home Editionを例にしています。

インストールします

❶ プリンタの電源をONにします。

❷ Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸ CD-ROMのアイコンを開きます。

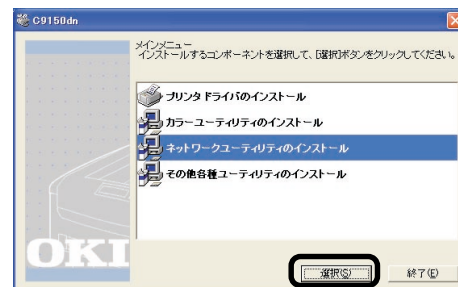
〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[OKICOLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

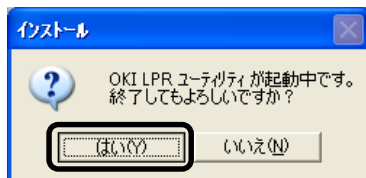
〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[OKICOLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

❹ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❺「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❻ [ネットワークユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❼ [OKI LPRユーティリティ]を選択し、[インストール]をクリックします。

❽ すでにOKI LPRユーティリティがインストールされて起動している場合、終了する画面がでるので[はい]をクリックします。

❾ セットアッププログラムが開始されるので、[次へ]をクリックします。

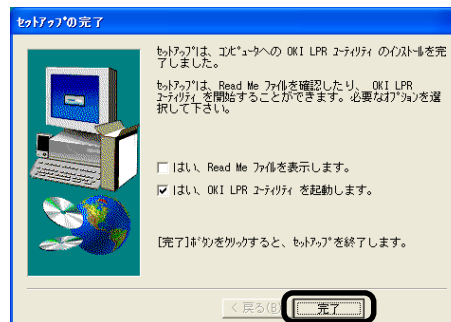
❿ インストール先とスプール先のフォルダを確認し、[次へ]をクリックします。

⓫ [スタートアップに登録する]にチェックが入っていることを確認し、[次へ]をクリックします。

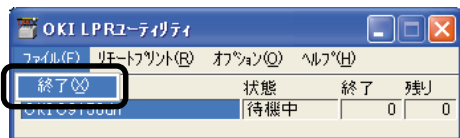
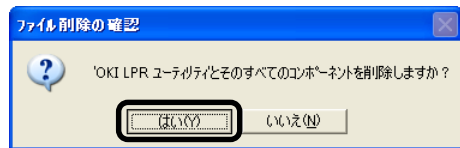
⓬ プログラムフォルダ名を確認し、[次へ]をクリックします。

⓭ [完了]をクリックします。

⓮ [終了]をクリックします。

7

OKI LPR ユーティリティ

削除します

❶[ファイル]メニューの[終了]を選択します。

❷[スタート]-[すべてのプログラム](WindowsXP以外では[プログラム])-[沖データ]-[OKI LPRユーティリティ]-[OKI LPRユーティリティの削除]を選択します。

❸[はい]をクリックします。

削除が開始されます。

起動します

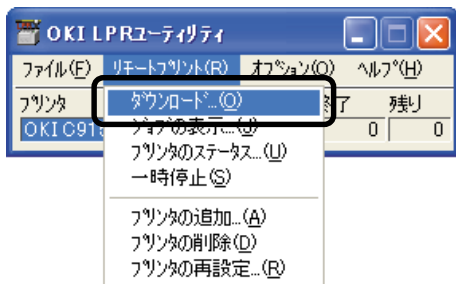
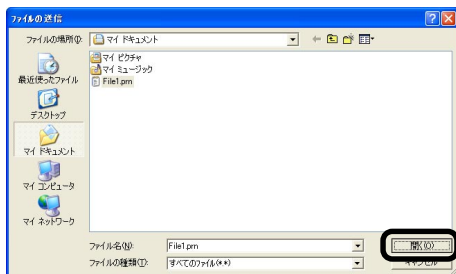
❶[スタート]-[すべてのプログラム](WindowsXP以外では[プログラム])-[沖データ]-[OKI LPRユーティリティ]-[OKI LPRユーティリティ]を選択します。

リモートプリントの設定

ファイルのダウンロード

ファイルをプリンタにダウンロードすることができます。

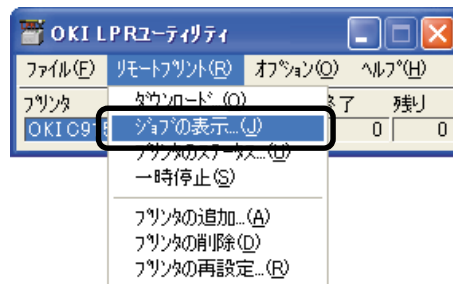
❶プリンタを選択します。

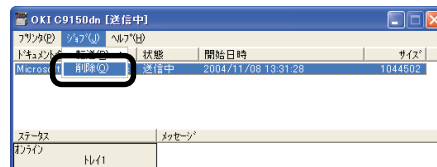
❷[リモートプリント]メニューの[ダウンロード]を選択します。

❸ダウンロードするファイルを選択し、[開く]をクリックします。

ファイルのダウンロードが開始されます。

ジョブの表示と削除

印刷ジョブを表示したり、削除することができます。

❶プリンタを選択します。

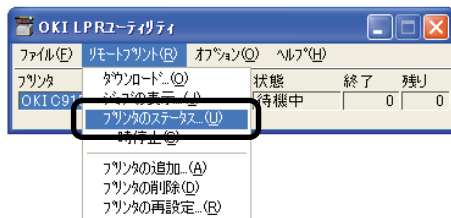
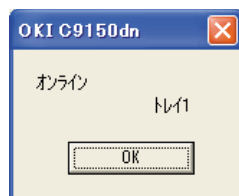
❷[リモートプリント]メニューの[ジョブの表示]を選択します。

ジョブが表示されます。

❸削除したい印刷ジョブを選択し、[ジョブ]メニューの[削除]を選択します。

ジョブが削除されます。

プリンタのステータス

プリンタのステータスを表示させることができます。

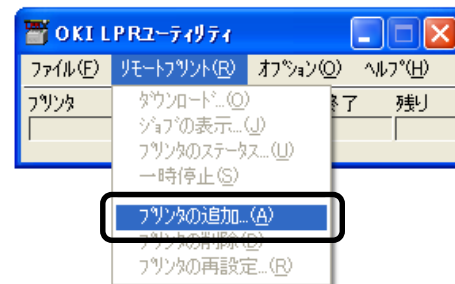
❶ プリンタを選択します。

❷ [リモートプリント]メニューの[プリンタのステータス]を選択します。

プリンタのステータスが表示されます。

メモ ジョブ表示ダイアログの「ステータス」でも確認することができます。

プリンタの追加

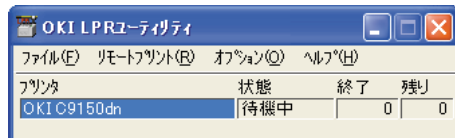
印刷先のポートをOKI LPRポートに変更することができます。

すでにOKI LPRユーティリティに登録されているプリンタは設定できません。ポートを変更したい場合は、「プリンタの再設定」を選択してください。

❶ [リモートプリント]メニューの[プリンタの追加]を選択します。

❷ [プリンタ]を選択し、[IPアドレス]にプリンタのIPアドレスを入力し、[OK]をクリックします。

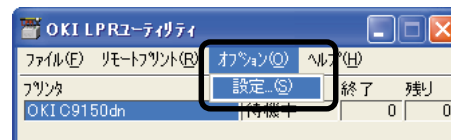
注 [プリンタ]には、「プリンタとFAX」(WindowsXP/Server2003以外の場合は「プリンタ」)フォルダにプリンタドライバが追加されている場合のみ表示されます。WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003でネットワークプリンタに設定している場合は表示されません。

[検索]をクリックしてネットワーク上の沖データ製プリンタを検索することもできます。

メインウィンドウにプリンタが追加されます。

自動的にIPアドレス再設定

DHCPサーバに接続しプリンタの電源を入れる度にプリンタのIPアドレスが変更になる場合、自動的に変更されたIPアドレスを検索し再設定することができます。

 検索対象は、OKI LPRユーティリティの検索範囲設定に従います。

❶ [オプション]メニューの[設定]を選択します。

❷ [自動的にIPアドレスを再設定する]にチェックを付けます。

❸ [OK]をクリックします。

Network Extension

プリンタドライバからプリンタの設定項目を確認したり、プリンタのオプション構成の設定が容易にできます。

動作環境

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0/Server2003日本語版が動作しているコンピュータ
TCP/IPで動作しているコンピュータ

- プリンタドライバと連動して動作するため、プリンタドライバのインストールが必要です。
- TCP/IPのネットワーク接続でプリンタドライバのインストールを行うと、自動的にNetwork Extensionがインストールされます。
- プリンタドライバの接続先が以下の場合にのみ動作します。
  OKI LPR Port
  Standard TCP/IP Port（WindowsXP/2000/Server2003の場合）
  LPR Port（WindowsNT4.0の場合）
- WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

インストールします

以下の説明は、WindowsXP Home Editionを例にしています。

❶ プリンタの電源をONにします。

❷ Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸ CD-ROMのアイコンを開きます。

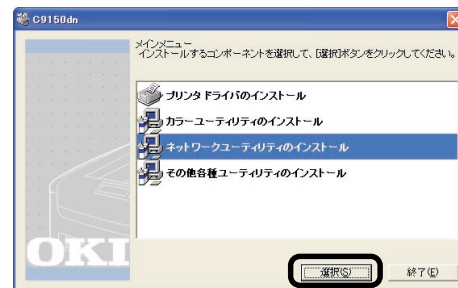
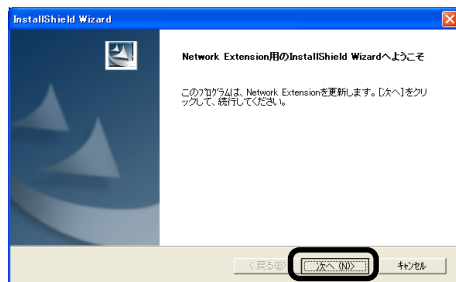
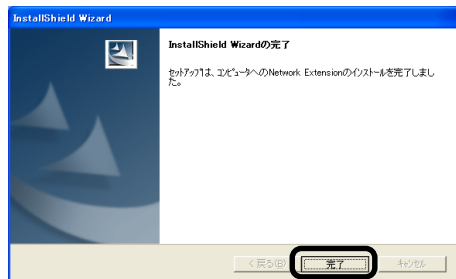
〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[OKICOLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[OKICOLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

❹ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

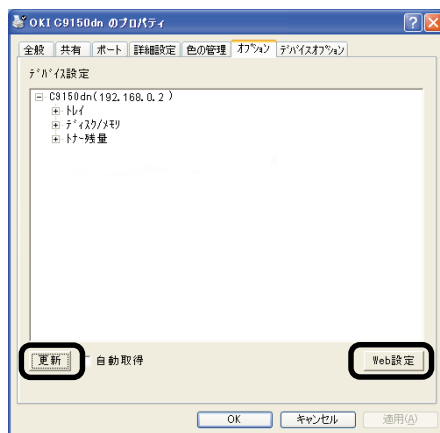
❺「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❻ [ネットワークユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❼ [Network Extension]を選択し、[インストール]をクリックします。

❽ [次へ]をクリックします。

❾ [完了]をクリックします。

❿ [終了]をクリックします。

プリンタの設定を確認します

接続しているプリンタの設定内容などが確認できます。

注 Network Extensionをインストールしても、動作環境に一致しない場合は[オプション]タブは表示されません。

（WindowsXPの画面）

❶ [スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]を選択します。
（WindowsXP/Server2003以外では[スタート]-[設定]-[プリンタ]をクリックします。）

❷ [OKI C9150dn]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸ [オプション]タブをクリックします。

❹ [更新]ボタンをクリックします。

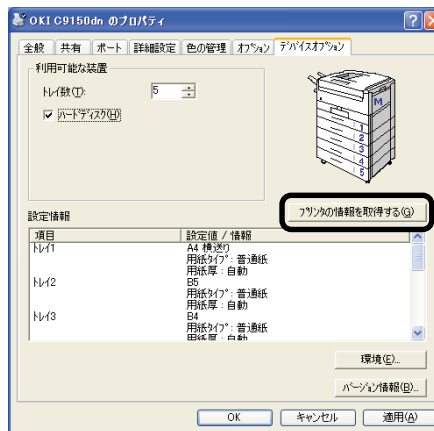
「デバイス設定」にプリンタの設定内容が表示されます。

❺ [OK]をクリックします。

メモ [Web設定]ボタンをクリックすると、自動的にWebブラウザが起動し、プリンタの設定内容が表示されます。詳しくは、「Webブラウザ」(179ページ)をご覧ください。

オプションの自動設定をします

接続しているプリンタのオプション構成を取得して、プリンタドライバの設定を自動的に行うことができます。

Network Extensionをインストールしても、動作環境に一致しない場合は設定できません。

（WindowsXPの画面）

❶ [スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]を選択します。
（WindowsXP/Server2003以外では[スタート]-[設定]-[プリンタ]をクリックします。）

❷ [OKI C9150dn]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸ [デバイスオプション]タブをクリックします。

❹ [プリンタの情報を取得する]をクリックします。

❺ [OK]をクリックします。

削除します

❶ [スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除]（WindowsXP/Server2003以外では[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[アプリケーションの追加と削除]）を選択します。

❷ [OKI Network Extension]を選択し、画面に従って削除します。

PrintSuperVision

ネットワークにつながっているプリンタを管理するためのWebベースアプリケーションです。複数のプリンタの設定情報や消耗品情報を確認することができます。1台のコンピュータにPrintSuperVisionをインストールし、他のコンピュータからWebブラウザを使用して、リモートでPrintSuperVisionにアクセスします。

動作環境

PrintSuperVisionをインストールするコンピュータ

WindowsXP Professional/2000(Service Pack 1以上)/Server2003日本語版が動作しているコンピュータ

WindowsXP Service Pack 2をお使いの方は、「困ったときには」の「WindowsXP Service Pack 2に関する制限事項」(340ページ)を参照してください。

Microsoftインターネットインフォメーションサーバ(IIS)Ver.5.0以上がインストールされているコンピュータ

TCP/IPで動作しているコンピュータ

ウィルスチェックソフト等によりアクティブサーバページ(ASP)の動作が阻害されない環境のコンピュータ

PrintSuperVisionにリモートでアクセスするコンピュータ

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0/Server2003日本語版が動作しているコンピュータ

Microsoft Internet Explorer Ver.4.0以上がインストールされているコンピュータ

TCP/IPで動作しているコンピュータ

- CODE-REDやNIMDAのようなウィルス感染を回避するために、PrintSuperVisionのインストール前にMicrosoftのホームページから最新のセキュリティパッチを入手し、コンピュータにインストールされることをお勧めします。
- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

PrintSuperVisionをインストールするコンピュータ

Windows : WindowsXP Professional

IPアドレス : 192.168.0.3

PrintSuperVisionにリモートでアクセスするコンピュータ

Webブラウザ : Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

インストールします

❶ プリンタの電源をONにします。

❷ Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸ CD-ROMのアイコンを開きます。

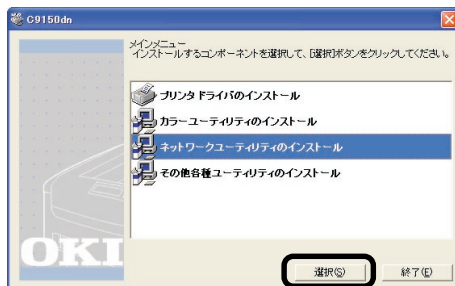
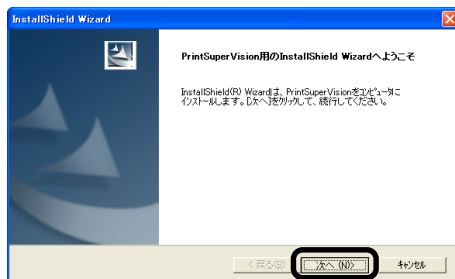
〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[OKICOLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

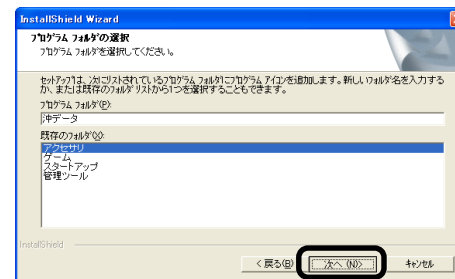
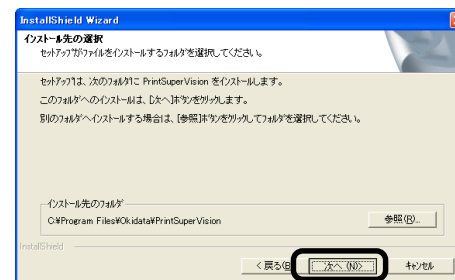
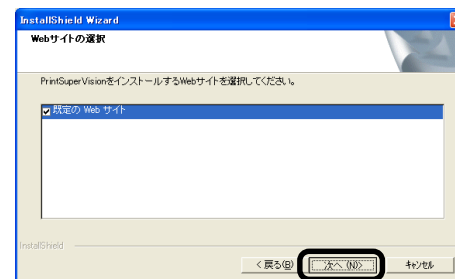
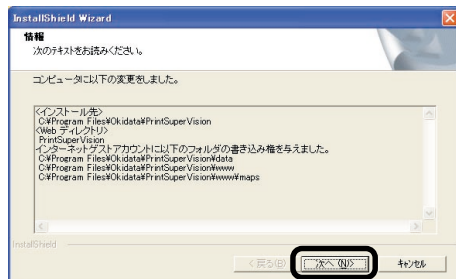
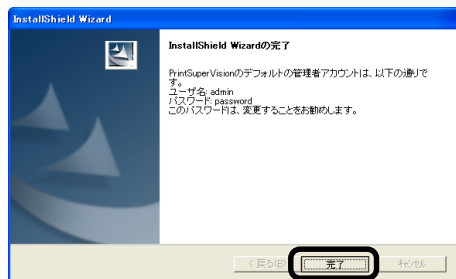
〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[OKICOLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

❹ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❺ 使用許諾契約をよく読み、[同意する]をクリックします。

❻ [ネットワークユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❼ [Print Super Vision]を選択し、[インストール]をクリックします。

❽ [次へ]をクリックします。

❾ プログラムフォルダ名を確認し、[次へ]をクリックします。

❿ インストール先のフォルダ名を確認し、[次へ]をクリックします。

⓫ インストールするWebサイトにチェックを付け、[次へ]をクリックします。

⓬ [次へ]をクリックします。

⓭ [完了]をクリックします。

再起動画面が表示された場合は、[今すぐにコンピュータを再起動します]を選択し、[完了]をクリックします。

⓮ [終了]をクリックします。

起動します

❶ [スタート]-[すべてのプログラム](WindowsXP以外では[プログラム])-[沖データ]-[PrintSuperVision]-[PrintSuperVision]を選択します。

削除します

❶ [スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除](WindowsXP以外では[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[アプリケーションの追加と削除])を選択します。

❷ [OKI PrintSuperVision]を選択し、画面に従って削除します。

アクセスします

別のコンピュータでWebブラウザを起動して、PrintSuperVisionがインストールされているコンピュータにアクセスし、設定を変更することができます。設定を変更するには、「Admin」の権限でログインする必要があります。

❶ Webブラウザを起動します。

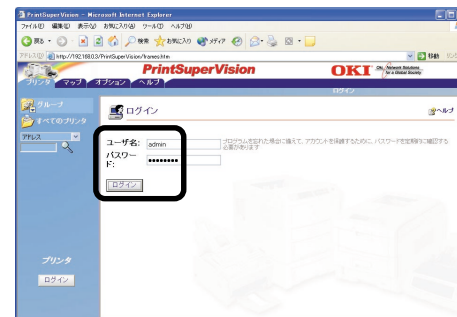
❷ [アドレス]に、URL「http://PrintSuper Visionが起動しているコンピュータのIPアドレス/PrintSuper Vision/」と入力し、Enterキーを押します。

例）コンピュータのIPアドレスが
　「192.168.0.3」の場合
http://192.168.0.3/PrintSuperVision/

注 IPアドレスに1桁または2桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。

（例）　正しい入力値：　http://192.168.0.3/
　　　　誤った入力値：　http://192.168.000.003/

❸ [ログイン]をクリックします。

❹ [ユーザ名]に「Admin」、[パスワード]に管理者のパスワードを入力し、[ログイン]をクリックします。

メモ　パスワードの初期値は「password」です。

プリンタ　タブ

◎：「Admin」でログインしている場合のみ表示される項目

［よく使うプリンタ］
頻繁に確認する必要があるプリンタを登録することが可能で、このボタンをクリックすることですぐにプリンタの情報を表示させます。

［グループ］
部門別、フロア別、機種別などでプリンタを監視する場合、グループに登録することで容易に分類し、表示することが可能です。

［すべてのプリンタ］
PrintSuperVisionで監視しているプリンタすべての情報を表示します。

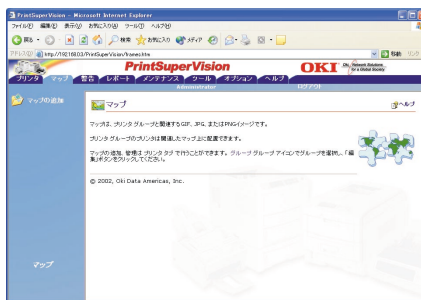
［カスタマイズ］
表示するプリンタ情報をカスタマイズすることができます。

［検索］◎
ネットワークに接続されているプリンタを調べ表示します。

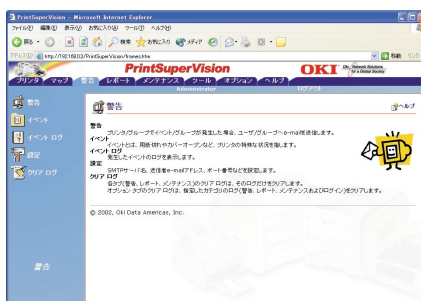
［プリンタの追加］◎
すでにIPアドレスがわかっている場合は［プリンタの追加］で直接アドレスを入力することで特定のプリンタを監視対象に含めることができます。

［条件検索］
アドレス、名前、モデル、場所に一致するプリンタを選択します。

マップ　タブ

◎：「Admin」でログインしている場合のみ表示される項目

［マップの追加］◎
GIF、JPGまたはPNG形式のファイルをPrintSuper Visionに登録することができます。登録されたマップ上にプリンタグループにあるプリンタを対応する場所に配置できます。

警告　タブ（ログインした場合のみ表示）

◎：「Admin」でログインしている場合のみ表示される項目

［警告］
プリンタで問題が発生した場合にe-mailを送信する場合の条件を指定します。

［イベント］
プリンタで問題が発生した場合にPrintSuperVisionで記録をする場合の条件を指定します。

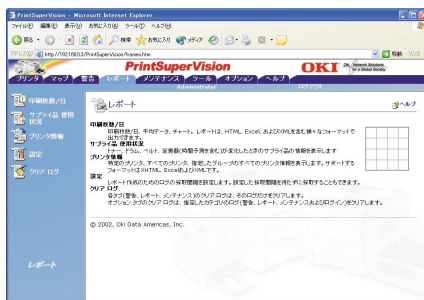
［イベントログ］◎
発生した問題ログを表示します。

［設定］◎
PrintSuperVisionがe-mailを送信させるための各種設定を行います。

［クリアログ］◎
発生したイベントログを削除することができます。

7
PrintSuperVision

レポート　タブ（ログインした場合のみ表示）

◎：「Admin」でログインしている場合のみ表示される項目

［印刷枚数/日］
1日あたりの印刷枚数を表示します。

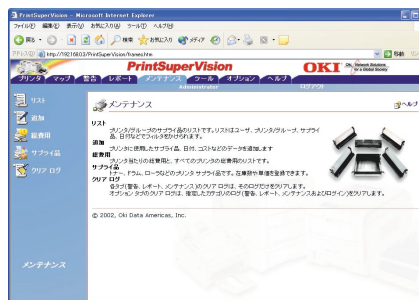
［サプライ品　使用状況］
現在のトナー残量（対応機種のみ）、使用状況から推定したドラム、ベルト、定着器の交換時期などを表示します。

［プリンタ情報］
プリンタの各種情報の表示を行います。

［設定］◎
印刷枚数などのプリンタのデータを収集する間隔を設定します。

［クリアログ］◎
このタブに関係するログ情報を削除します。

メンテナンス　タブ（ログインした場合のみ表示）

◎：「Admin」でログインしている場合のみ表示される項目

［リスト］
プリンタに対して行った消耗品交換などのコメントを表示します。

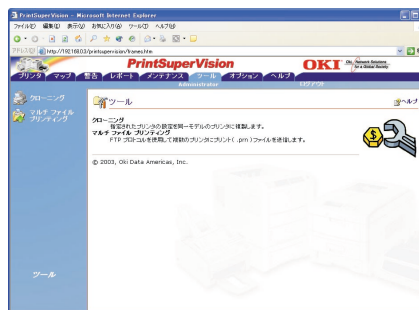
［追加］
プリンタに対して行った消耗品交換などのコメントを追加できます。

［総費用］
入力したコスト金額の累計を表示します。

［サプライ品］
トナー、ドラムなどのプリンタサプライ品の金額を保存できます。

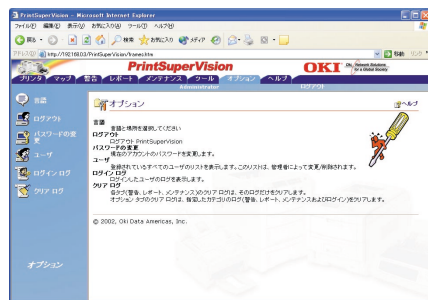
［クリアログ］◎
このタブに関係するログ情報を削除します。

ツール　タブ（「Admin」ユーザのみ表示）

◎：「Admin」でログインしている場合のみ表示される項目

［クローニング］◎
1台のプリンタメニュー設定を複数の他のプリンタに反映することができます。

［マルチファイルプリンティング］◎
1つの印刷ジョブを複数のプリンタに送信します。

オプション　タブ

◎：「Admin」でログインしている場合のみ表示される項目

［言語］
表示する言語を選択します。

［ログアウト］
PrintSuperVisionからログアウトします。

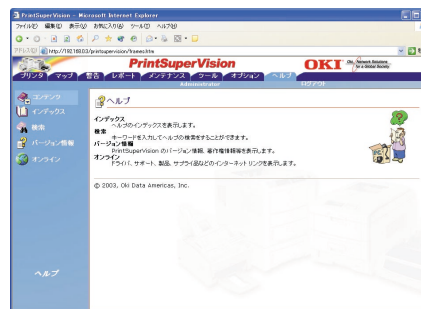
［パスワードの変更］
ユーザパスワードを変更できます。

［ユーザ］
ユーザの追加などユーザ管理ができます。
Admin以外は表示のみです。

［ログインログ］◎
PrintSuperVisionへのログイン記録が表示されます。

［クリアログ］◎
警告、ログインログなどのログ情報をクリアします。

［ログイン］
ログインしていない場合にのみ表示されます。

ヘルプ　タブ

［コンテンツ］
PrintSuperVisionのオンラインヘルプをツリービューで表示します。

［インデックス］
PrintSuperVisionのオンラインヘルプを選択、表示できます。

［検索］
キーワード入力によるヘルプ検索ができます。

［バージョン情報］
PrintSuperVisionのVersion情報を表示します。

［オンライン］
沖データのホームページにリンクしています。

Web Driver Installer

Web Driver Installerとは

Web Driver Installerは、Webベースのアプリケーションです。以下の作業を自動的に行い管理者の負担を軽減します。

- TCP/IPネットワークにつながったプリンタを検索します。
- 検索したプリンタをWebページに表示します。
- ユーザに検索したプリンタのプリンタドライバインストールプログラムがダウンロードできるURLをe-mailで通知します。

また、部門やフロアごとにグループを作成してプリンタとユーザを管理できます。

特徴

グループ管理

Windowsエクスプローラのように、プリンタやユーザを階層的に管理することができます。

自動検索機能

Web Driver Installerは、ネットワーク上に新しく接続されたプリンタがあるかを一定時間間隔で検索します。この間隔は、管理者が5分から2週間の間で設定します。この機能は、無効にすることもできます。無効にした場合、管理者は手動で検索する必要があります。
Web Driver Installerに登録されているプリンタドライバがサポートしているプリンタを検出した場合に、ユーザにe-mailを送信します。

プリンタドライバ登録機能

Web Driver Installerにはあらかじめ、登録できるプリンタとプリンタドライバの種類が記憶されています。管理者は、Web Driver Installerの運用を開始する前にTCP/IPネットワーク上に接続されているプリンタのためのプリンタドライバを登録できます。また、運用中に自動検索機能により、新しく検索されたプリンタのプリンタドライバが登録されていないことを通知するe-mailを受け、e-mailに記載されているプリンタドライバを登録できます。
この作業は、Web Driver Installerをインストールしたサーバコンピュータ上で行う必要があります。

e-mail送信機能

Web Driver Installerは、登録されているユーザに自動的にe-mailを送信します。
e-mailの内容は、下表を参照します。

あて先	通知内容	詳　細
管理者	新規プリンタの検出	自動検索機能によって、新しく接続されたプリンタが検索されたことを通知します。
メンテナンスユーザ 一般ユーザ	プリンタの追加	プリンタドライバが登録されているプリンタを検出したときと、既に検出されているプリンタをサポートするプリンタドライバを管理者が登録/更新したときに、プリンタが追加できることを通知します。
	プリンタの削除	Web Driver Installerからプリンタが削除されたことを通知します。
	グループの削除	Web Driver Installerからグループが削除されたことを通知します。
	ユーザの削除	Web Driver Installerからユーザが削除されたことを通知します。
	グループ移動	ユーザが所属しているグループが移動されたことを通知します。
	ユーザ登録確認	新規に登録されたユーザへ登録確認の通知をします。

ユーザ種類

Web Driver Installerのユーザには、管理者、メンテナンスユーザ、一般ユーザと、ゲストユーザの4種類があります。

管理者
　Web Driver Installer の全ての機能を使用できます。
　全てのユーザグループに対してユーザ情報編集などの操作を行えます。
メンテナンスユーザ
　所属しているグループと、その子グループに対してのみ操作を行えます。
一般ユーザ
　管理者またはメンテナンスユーザによって設定された情報を参照してプリンタドライバをインストールできます。
ゲストユーザ
　Web Driver Installerに登録されていないユーザです。プリンタドライバのインストールのみできます。

機　能	管理者	メンテナンスユーザ	一般ユーザ	ゲストユーザ
プリンタドライバのインストール	○	○	○	○
ログイン/ログアウト	○	○	○	
ユーザの編集	○	○*1	○*2	
グループの編集	○	○*1		
プリンタの手動検索	○			
e-mail設定	○			
ドライバ登録	○			

*1　メンテナンスユーザは、自分が属するグループとその子グループの範囲で操作ができます。
*2　一般ユーザは、自分自身のユーザ情報を編集できます。

プリンタドライバインストール機能

ユーザはWebブラウザを通して、表形式または、グラフィカルに表示された地図の中から目的のプリンタを探し出し、プリンタドライバインストーラをダウンロードできます。ダウンロードしたインストーラを実行するだけで印刷可能状態となります。
また、e-mailによる[プリンタの追加]通知に記載されているURLへアクセスすることでプリンタドライバのインストールができます。

動作環境

Web Driver Installerをインストールするコンピュータ(以下、サーバコンピュータと略す)
　Server 2003/ Windows XP Professional/ Windows 2000/ Windows NT 4.0(サービスパック6a)日本語版が動作するコンピュータ
　TCP/IPネットワークに接続されているコンピュータ
　Microsoft インターネットインフォメーションサーバ 4以上がインストールされているコンピュータ

- WindowsXP Service Pack 2をお使いの方は、「困ったときには」の「WindowsXP Service Pack 2に関する制限事項」(340ページ)を参照してください。
- サーバコンピュータからWeb Driver InstallerにWebブラウザを使ってアクセスする場合、Internet Explorer 5.5以上または、Netscape Navigator 6.0以上が必要です。
- Webブラウザからマニュアルを参照するためにAcrobat Readerがインストールされている必要があります。

- ウイルス感染を回避するために、Web Driver Installerのインストール前にMicrosoftのホームページから最新のセキュリティパッチを入手し、コンピュータにインストールすることをお勧めします。
- Web Driver Installerをインストールするには、コンピュータの管理者権限が必要です。
- インストールした後、インストール先の仮想ディレクトリ名、TCPポート番号と、サイトを変更するとWeb Driver Installerは動作しません。

Web Driver Installerにアクセスするコンピュータ(以下、クライアントコンピュータと略す)
　Windows 日本語版が動作するコンピュータ
　TCP/IPネットワークに接続されているコンピュータ
　Internet Explorer 5.5以上またはNetscape Navigator 6.0以上がインストールされているコンピュータ
　e-mailが受信できるように設定されているコンピュータ
　OkiLPRユーティリティのバージョン3.08以上もインストールされているコンピュータ
また、Webブラウザからマニュアルを参照するためにAcrobat Readerがインストールされている必要があります。

Windows Server2003、WindowsXP、Windows2000、WindowsNT4.0でWeb Driver Installerの「プリンタドライバのインストール」機能を使用するには、コンピュータの管理者権限が必要です。

インストールします

・Web Driver Installerをインストールするには、コンピュータの管理者権限が必要です。
・インストールは、サーバコンピュータ上で行います。

❶プリンタの電源をONにします。

❷Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸CD-ROMのアイコンを開きます。

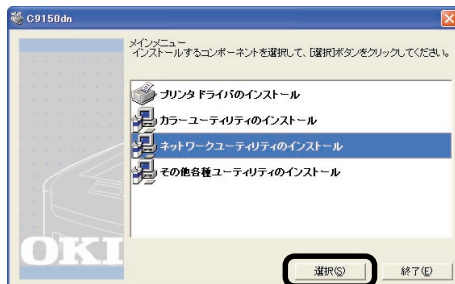
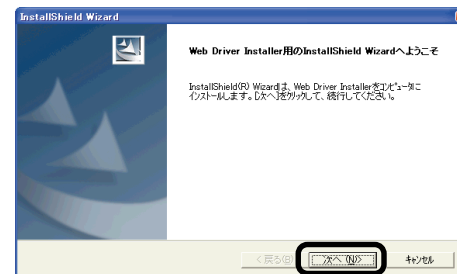
〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[OKICOLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

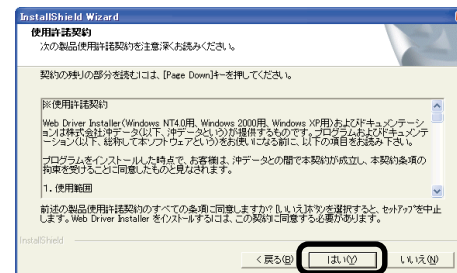
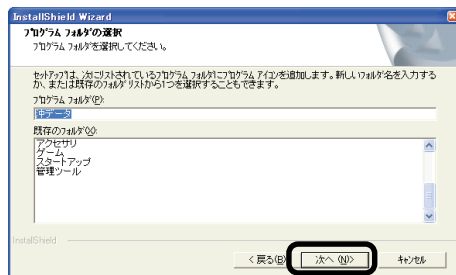
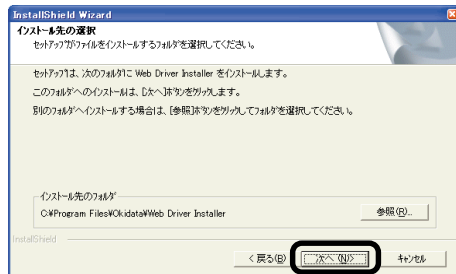
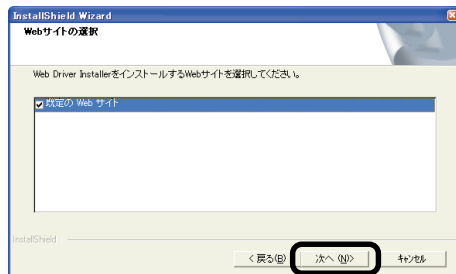
〈Windows2000/NT4.0/Server2003の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[OKICOLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

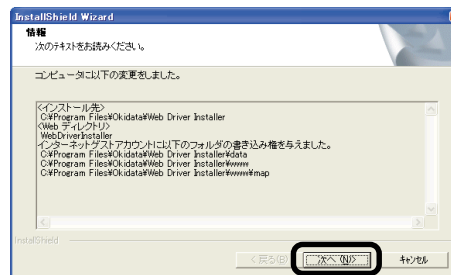
❹[SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❺使用許諾契約をよく読み、[同意する]をクリックします。

❻[ネットワークユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❼[Web Driver Installer]を選択し、[インストール]をクリックします。

❽[次へ]をクリックします。

❾[使用許諾契約]をよく読み、[はい]をクリックします。

⓾プログラムフォルダ名を確認し、[次へ]をクリックします。

⓫インストール先のフォルダを確認し、[次へ]をクリックします。

⓬インストールするWebサイトを確認し、[次へ]をクリックします。

⓭インストーラは、ファイルのコピーやプログラムの登録などのインストール処理をします。

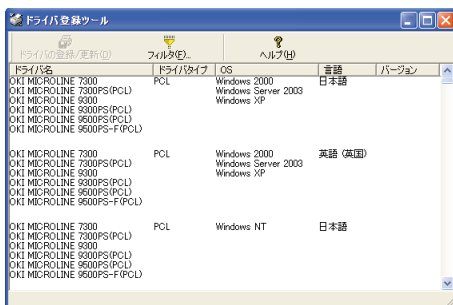
⓮インストール結果を確認し、[次へ]をクリックします。

⓯[完了]をクリックします。

注 ここで再起動を必要とする趣旨のメッセージが表示された場合は、必ず再起動してください。

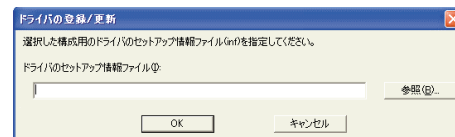
⓰[終了]をクリックします。

プリンタドライバを登録します

TCP/IPネットワークに接続されているプリンタがあらかじめわかっている場合は、Web Driver Installerの運用を開始する前にプリンタドライバをWeb Driver Installerに登録しておくことをお勧めします。

❶ [スタート]-[プログラム](Windows XPでは、[すべてのプログラム])-[沖データ]-[Web Driver Installer]-[ドライバ登録ツール]を選択します。ドライバ登録ツールが起動します。

メモ　バージョン欄に何も表示されていないドライバ構成はドライバが登録されていないことを意味します。バージョン番号または"<不明>"が表示されていると、ドライバが登録されていることを意味します。

❷ リストビューで登録したいドライバ構成を選択します。ツールバーの[フィルタ]をクリックし、ドライバ構成を選択することで、目的のドライバ構成のみを表示することができます。

❸ [ドライバの登録/更新]をクリックすることで、[ドライバの登録/更新]ダイアログが表示されます。

❹ 選択したドライバ構成にあったドライバのセットアップ情報ファイル(INFファイル)のフルパスを入力します。正確な位置が分からない場合は、[参照]をクリックすることで、ツリー上から選択できます。

- 選択したドライバ構成と一致するプリンタのセットアップ情報ファイルを入力してください。
- プリンタのセットアップ情報ファイルの場所が分からない場合は、プリンタのマニュアルを参照してください。

❺ [OK]をクリックすることで、登録または更新が完了します。

初期設定をします

Web Driver Installerを運用するために最低限必要な設定をします。

この設定をする前に、ユーザを追加や、プリンタの検索をしても、e-mailは送信されません。

❶ デスクトップにあるWeb Driver Installerアイコンをダブルクリックします。

メモ　クライアントコンピュータからアクセスするには、Webブラウザを起動し、[アドレス]にURL「http://< Web Driver Installerがインストールされている PCのIPアドレス>/WebDriverInstaller /」と入力し、Enterキーを押します。
例) PCのIPアドレスが「192.168.0.3」の場合、
「http://192.168.0.3/ WebDriverInstaller」となります。

❷ [ログイン]をクリックします。

❸ [ログイン名]と[パスワード]に管理者のログイン名、パスワードを入力し、[ログイン]をクリックします。

管理者のログイン名、パスワードの初期値は以下の通りです。

ログイン名	admin
パスワード	password

❹ [設定]をクリックします。

❺ [送信メールサーバ]は、Web Driver Installerがe-mailを送信するためのSMTPサーバを指定します。
[ポート番号]は、SMTPサーバのポート番号を指定します。通常、25が使用されます。
[管理者のメールアカウント]は、Web Driver Installerの管理者のメールアカウントを指定します。Web Driver Installerは、e-mailを送信するために、ここで指定したメールアカウントを送信者として使用します。

メモ　メールサーバによっては、有効な送信者のメールアカウントが必要です。

❻ 設定が終了したら[適用]をクリックします。

❼ 設定内容が正しいかを確認するために、[設定を確認するためのテストメールを送信します]をクリックし、メール受信ソフトで確認メールが届いているかチェックします。[戻る]をクリックすることでメインページに戻ります。

設定を確認するためのテストメールを送信します。
直ちに検索します。

これで、初期設定は完了です。

グループを登録します

Web Driver Installerは、部門やフロアといったネットワークセグメント*1単位のグループ管理をします。

*1 LAN(ローカルエリアネットワーク)におけるネットワークの1単位で、1つの機器から送出されたパケットが無条件に到達する範囲と解釈します。

例として、株式会社ABCは3階建てのビルを持っていて、1階に総務部と経理部、2階に営業1部から営業3部があり、3階に技術1部と技術2部があったとします。Web Driver Installerでグループ分けをすると、下図のようになります。

グループ	検索範囲
株式会社ABC	–
1階	–
総務部	192.168.0.255
経理部	192.168.1.255
2階	–
営業1部	192.168.2.255
営業2部	192.168.2.255
営業3部	192.168.3.255
3階	–
技術1部	192.168.4.255
技術2部	192.168.5.255

このグループ構成をWeb Driver Installerに登録する方法を以下に説明します。

❶ デスクトップにあるWeb Driver Installerアイコンをダブルクリックします。

メモ クライアントコンピュータからアクセスするには、Webブラウザを起動し、[アドレス]にURL「http://< Web Driver InstallerがインストールされているPCのIPアドレス>/WebDriverInstaller /」と入力し、Enterキーを押します。
例) PCのIPアドレスが「192.168.0.3」の場合、
「http://192.168.0.3/ WebDriverInstaller」となります。

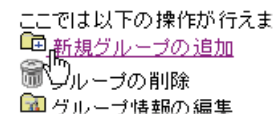
❷ [ログイン]をクリックします。

❸ [ログイン名]と[パスワード]に管理者のログイン名、パスワードを入力し、[ログイン]をクリックします。

管理者のログイン名、パスワードの初期値は以下の通りです。

ログイン名　admin
パスワード　password

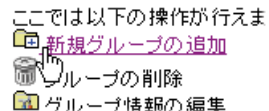
❹ [グループの一覧]にある[新規グループの追加]をクリックします。

ここでは以下の操作が行えま
新規グループの追加
グループの削除
グループ情報の編集

❺ [グループ設定]ページの[グループ名]に「1階」と入力し、[OK]をクリックします。「2階」、「3階」も同様に追加します。

❻ [グループの一覧]にある「1階」をクリックし、「1階」グループのページを表示します。

7
Web Driver Installer

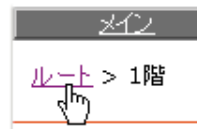
❼「1階」グループの[グループの一覧]にある[新規グループの追加]をクリックします。

ここでは以下の操作が行えま
新規グループの追加
グループの削除
グループ情報の編集

❽[グループ設定]ページの[グループ名]に「総務部」と入力します。また、検索範囲に総務部のブロードキャストIPアドレスを入力します。[OK]をクリックします。「経理部」も同様に追加します。

情報入力フォーム

OK キャンセル

設定項目	設定値
グループ名※必須	総務部
検索範囲	192.168.0.255

❾「ルート」をクリックして、同様に「2階」の「営業1部」、「営業2部」と、「営業3部」、「3階」の「技術1部」と「技術2部」を作成します。

ユーザを登録します

Web Driver Installerにメンテナンスユーザと一般ユーザを登録します。メンテナンスユーザは、末端グループまたは、親グループに1人の割合で登録できます。また、一般ユーザは末端グループに登録します。例では、総務部グループと経理部グループを管理するメンテナンスユーザ「鈴木 一郎」さんを1階グループに登録します。また、一般ユーザである総務部の「井上 次郎」さんを総務部グループに登録します。

❶デスクトップにあるWeb Driver Installerアイコンをダブルクリックします。

メモ　クライアントコンピュータからアクセスするには、Webブラウザを起動し、[アドレス]にURL「http://< Web Driver Installerがインストールされているp.CのIPアドレス>/WebDriverInstaller /」と入力し、Enterキーを押します。
例) PCのIPアドレスが「192.168.0.3」の場合、
「http://192.168.0.3/ WebDriverInstaller」となります。

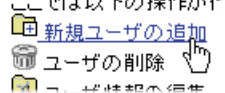
❷[ログイン]をクリックします。

❸[ログイン名]と[パスワード]に管理者のログイン名、パスワードを入力し、[ログイン]をクリックします。

管理者のログイン名、パスワードの初期値は以下の通りです。

ログイン名	admin
パスワード	password

❹[グループの一覧]にある「1階」をクリックし、「1階」グループのページを表示します。

❺［ユーザの一覧］にある［新規ユーザの追加］をクリックし、新規ユーザの情報入力フォームを表示します。

❻［種類］は、メンテナンスユーザを選択します。［ユーザ名］、［e-mailアドレス］と、［ログイン名］をそれぞれ埋めます。必要に応じて、［パスワード］を設定します。［OK］をクリックし、保存します。

❼［グループの一覧］にある「総務部」をクリックし、「総務部」グループのページを表示します。

❽［ユーザの一覧］にある［新規ユーザの追加］をクリックし、新規ユーザの情報入力フォームを表示します。

❾［種類］は、一般ユーザを選択します。［ユーザ名］、［e-mailアドレス］と、［ログイン名］をそれぞれ埋めます。必要に応じて、［パスワード］を設定します。［OK］をクリックし、保存します。

これで、メンテナンスユーザと、一般ユーザが登録されました。

自動検索を有効にします

Web Driver Installerをバックグラウンドで運用するために、[自動検索]を有効にします。以後、検索間隔ごとに末端グループに設定されているブロードキャストIPアドレスを使って新規プリンタが接続されているか検索する処理を繰り返します。

❶ デスクトップにあるWeb Driver Installerアイコンをダブルクリックします。

メモ クライアントコンピュータからアクセスするには、Webブラウザを起動し、[アドレス]にURL「http://< Web Driver Installerがインストールされているpcのipアドレス>/WebDriverInstaller /」と入力し、Enterキーを押します。
例) PCのIPアドレスが「192.168.0.3」の場合、
「http://192.168.0.3/ WebDriverInstaller」となります。

❷ [ログイン]をクリックします。

❸ [ログイン名]と[パスワード]に管理者のログイン名、パスワードを入力し、[ログイン]をクリックします。

管理者のログイン名、パスワードの初期値は以下の通りです。

ログイン名　admin
パスワード　password

❹ [設定]をクリックします。

❺ [自動検索]を「有効」にチェックして、設定を保存するために[適用]をクリックし、[戻る]をクリックすることでメインページに戻ります。

これで、自動検索機能が有効となりました。

ネットワークステータスモニタ

ネットワークにつながっているプリンタの状態を監視することができます。

動作環境

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0/Server2003日本語版で動作しているコンピュータ
TCP/IPで動作しているコンピュータ
Microsoft Internet Explorer Ver.4.0以上がインストールされているコンピュータ

WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

Windows	:	WindowsXP Home Edition
プリンタ	:	C9150dn
IPアドレス	:	192.168.0.2

インストールします

❶プリンタの電源をONにします。

❷Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸CD-ROMのアイコンを開きます。

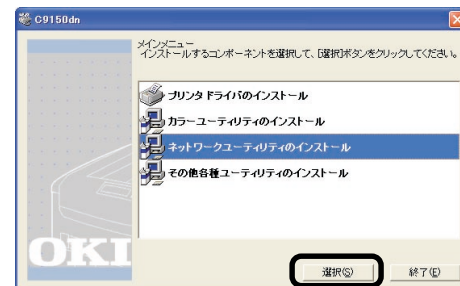
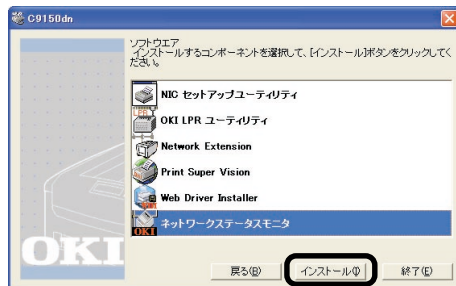
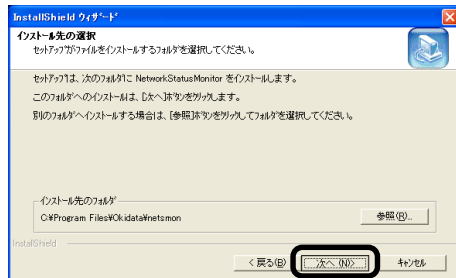
〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[OKICOLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[OKICOLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

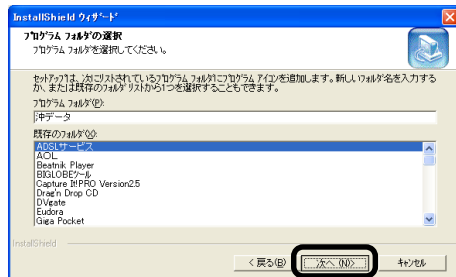
❹[SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❺「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❻[ネットワークユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❼ [ネットワークステータスモニタ]を選択し、[インストール]をクリックします。

❽ セットアッププログラムが開始されるので、[次へ]をクリックします。

❾ インストール先のフォルダを確認し、[次へ]をクリックします。

❿ プログラムフォルダ名を確認し、[次へ]をクリックします。

⓫ [完了]をクリックします。

⓬ [終了]をクリックします。

起動します

❶ [スタート]-[すべてのプログラム](WindowsXP以外では[プログラム])-[沖データ]-[ネットワークステータスモニタ]-[ネットワークステータスモニタ]を選択します。

❷ 接続するプリンタのIPアドレスを入力し、[OK]をクリックします。

メモ
・複数のプリンタに接続したい場合は、手順❶～❷を繰り返します。
・すでにネットワークステータスモニタを起動してプリンタに接続している場合は、以前入力したIPアドレスが表示されます。

削除します

❶ [スタート]-[コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除](WindowsXP以外では[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[アプリケーションの追加と削除])を選択します。

❷ [OKI Network Status Monitor]を選択し、画面に従い削除します。

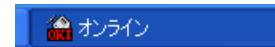
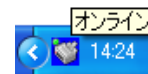
設定メニュー

[接続先変更]
接続したいプリンタのIPアドレスを入力して、接続しているプリンタを変更します。

[監視時間変更]
値を入力して監視間隔を変更します。初期値は5秒です。9桁までの数字を入力してください。0秒は設定できません。

表示メニュー

[最小化表示]
最小化時の表示状態を設定します。[タスクバー]、[アイコン]が選択できます。

・タスクバー設定時の表示

・アイコン設定時の表示

[サブウィンドウ]
詳細なステータス表示をするかしないかを設定します。

[ポップアップ]
接続しているプリンタにエラーが発生した場合、最小化状態からポップアップし、プリンタの状態を表示するかしないかを設定します。

Webブラウザ

プリンタのネットワークの設定や、メニュー設定ができます。

動作環境

Microsoft Internet Explorer Ver.4.0以上もしくはNetscape Navigator Ver.4.0以上がインストールされているコンピュータ
TCP/IPで動作しているコンピュータ

メモ　お使いのブラウザの設定が以下のようになっているか確認してください。

Microsoft Internet Explorer Ver.4.xの場合は、[表示]メニューの[セキュリティ]-[このゾーンのセキュリティレベル]を「中」に設定します。

Microsoft Internet Explorer Ver.5.xの場合は、[ツール]メニューの[インターネットオプション]-[セキュリティ→このゾーンのセキュリティレベル]を「中」に設定します。

Microsoft Internet Explorer Ver.6.xの場合は、[ツール]メニューの[インターネットオプション]-[プライバシー]-[設定]を「中」に設定します。

Netscape Navigator 4.xの場合は、[編集]メニューの[設定]-[詳細]-[すべてのCookieを受け付ける]に設定します。

Netscape Navigator 6.x〜7の場合は、[編集]メニューの[設定]-[プライバシーとセキュリティ]-[Cookie]-[すべてのCookieを有効にする]に設定します。

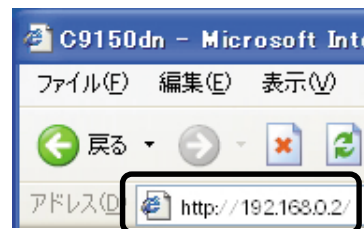
以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ	: C9150dn
プリンタのIPアドレス	: 192.168.0.2
イーサネットアドレス	: 00:80:87:84:9C:9B
Webブラウザ	: Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

注　イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(267ページ)

起動します

❶ Webブラウザを起動します。

❷ [アドレス]にURL「http://プリンタのIPアドレス/」を入力し、Enterキーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

IPアドレスに1桁または2桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。

(例)　正しい入力値：http://192.168.0.2/
　　　誤った入力値：http://192.168.000.002/

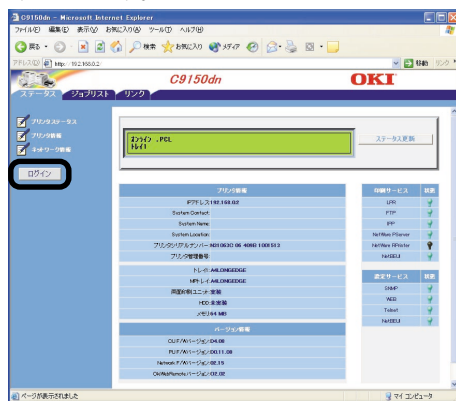
[プリンタステータス]画面の[ステータス更新]ボタンを有効にするにはWebブラウザで次の設定が必要です。

Microsoft Internet Explorer5.0Jの場合は、[表示]メニューの[インターネットオプション]を選択し、[全般]タブ-[インターネット一時ファイル]-[設定]-[保存しているページの新しいバージョンの確認：]を[ページを表示するごとに確認する]に設定します。

Netscape Navigator4.04Jの場合は、[編集]メニューの[設定]を選択し、[詳細]-[キャッシュ]-[キャッシュしたドキュメントとネットワーク上のドキュメントとの比較]を[セッション毎]に設定します。

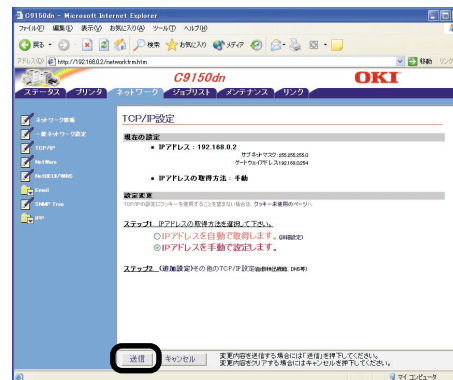
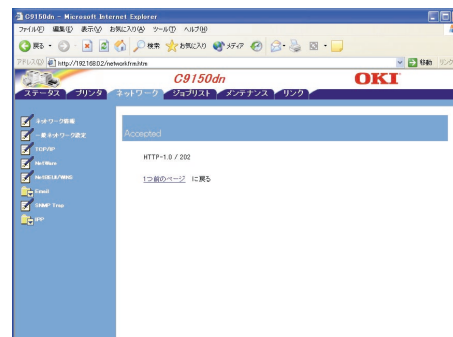
設定の変更直後にWebブラウザの大きさを変更すると、[セキュリティ情報]ダイアログが表示されることがあります。その場合は、ダイアログの中の[次回もこの警告を表示する]のチェックを外してください。

設定します

Webブラウザでプリンタの設定変更を行うには、プリンタの管理者としてログインする必要があります。

❶［ログイン］をクリックします。

❷［ユーザー名］に「root」、［パスワード］に現在のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

- パスワードの初期値は「イーサネットアドレスの下6桁」です。
- イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。（267ページ）

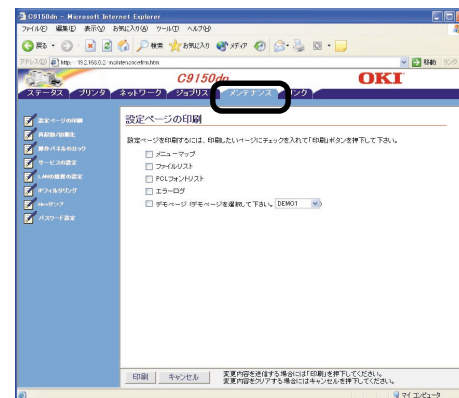
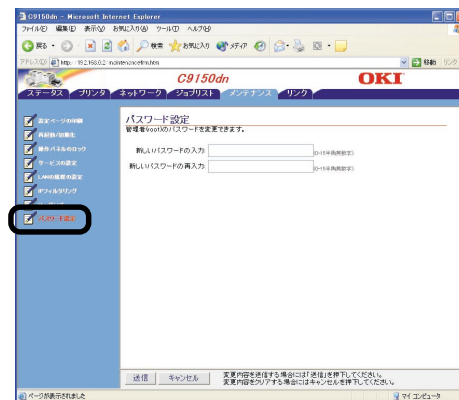
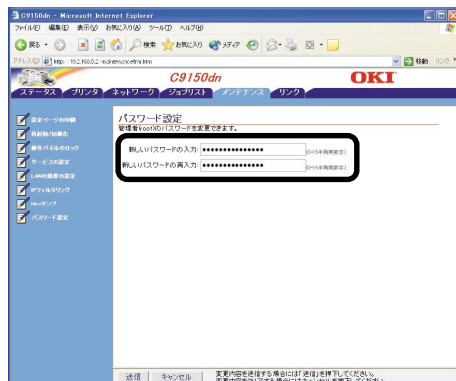
❸必要な設定をした後、［送信］をクリックします。

新しい設定値がプリンタに送信されると、［Accepted］が表示されます。

パスワードの設定

プリンタの管理者としてログインするときに使用するパスワードを変更することができます。

❶[ログイン]をクリックします。

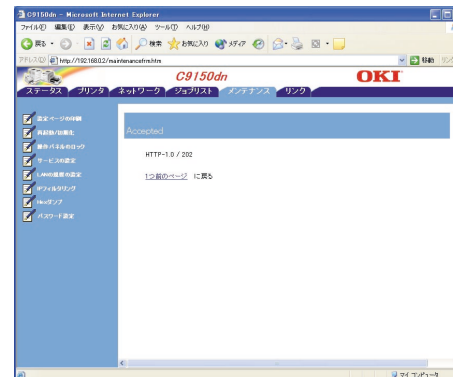
❷[ユーザー名]に「root」、[パスワード]に現在のパスワードを入力し、[OK]をクリックします。

メモ
- パスワードの初期値は「イーサネットアドレスの下6桁」です。
- イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(267ページ)

❸[メンテナンス]タブをクリックします。

❹[パスワードの設定]をクリックします。

❺ [新しいパスワードの入力]に新しいパスワードを入力し、[新しいパスワードの再入力]に再度新しいパスワードを入力します。

注
- パスワードを入力すると、画面上では「*****」と表示されます。
- パスワードは0～15桁までの英数字を入力してください。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

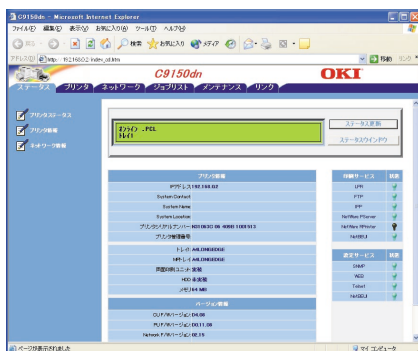
❻ [送信]をクリックします。

新しいパスワードが設定されると、[Accepted]が表示されます。

新しいパスワードは、次回の設定を変更するときから有効となります。プリンタの電源のOFF/ONは必要ありません。

このパスワードはTELNET、AdminManagerのパスワードと共通です。ここでパスワードを変更すると、TELNET、AdminManagerのパスワードも変更されます。

7

Webブラウザ

ステータス　タブ

[プリンタステータス]

プリンタの状態を確認できます。操作パネル上の表示と同じ情報を表示する他、「障害情報」としてプリンタに発生しているすべての警告やエラーを表示します。

また、各ネットワークサービスの動作状況やプリンタ情報の一覧、プリンタに設定されているIPアドレスも確認することができます。

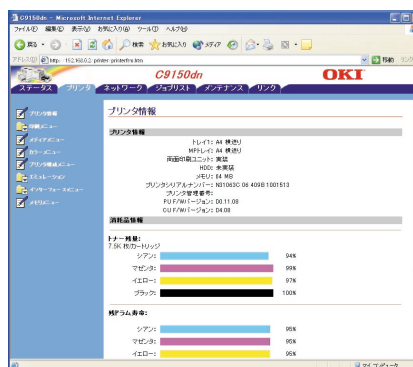
[プリンタ情報]

プリンタのシステム仕様を確認することができます。

[ネットワーク情報]

ネットワークの設定情報を確認することができます。

プリンタ　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示される項目

[プリンタ情報]

プリンタのシステム仕様を確認することができます。

[印刷メニュー]

コピー枚数、自動トレイ切り替え、モノクロ印刷速度、印刷品質、印刷位置等を設定できます。プリンタドライバを使用する場合には、この設定値よりもプリンタドライバで設定した値が優先されます。

[メディアメニュー]

各トレイの用紙サイズ、名称付け、カスタム用紙等を設定できます。プリンタドライバを使用する場合には、この設定値よりもプリンタドライバで設定した値が優先されます。

[カラーメニュー]

色の濃度補正、色の位置ずれ補正等を設定できます。

[プリンタ構成メニュー]

パワーセーブへの移行、アラーム発生時の動作、タイムアウト等を設定できます。

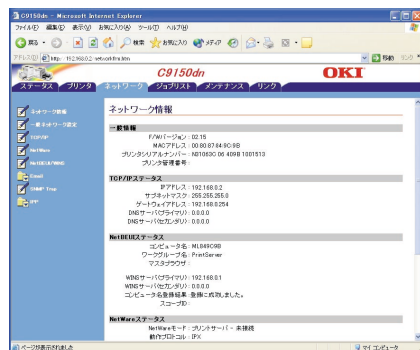
[インタフェースメニュー]

ネットワーク以外のインタフェースを設定できます。

[メモリメニュー]

受信バッファサイズの設定。受信バッファ中のデータ消去を実行します。

ネットワーク タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示される項目

［ネットワーク情報］
ネットワークの設定情報を確認することができます。

［一般設定］
ネットワーク上で確認できるプリンタの情報を設定できます。

1）System Contact ......
管理者への連絡先記載エリア

2）System Name ....
プリンタの名称記載エリア

3）System Location .....
プリンタの置き場所記載エリア

プリンタで使用するプロトコルを設定できます。

［TCP/IP］
TCP/IPに関する情報を設定できます。

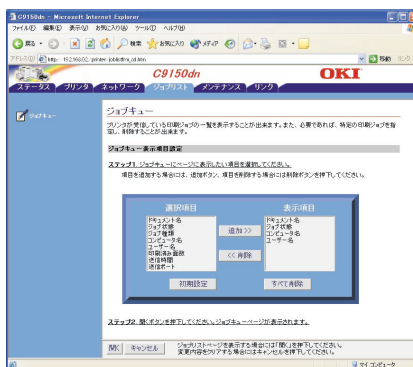
［NetWare］
NetWareに関する情報を設定できます。

［NetBEUI/WINS］
NetBEUI/WINSに関する情報を設定できます。

［Email設定］
プリンタに発生した事象をEmailで通知する機能を設定できます。

［SNMP Trap］
プリンタに発生した事象をSNMPで通知する機能を設定できます。

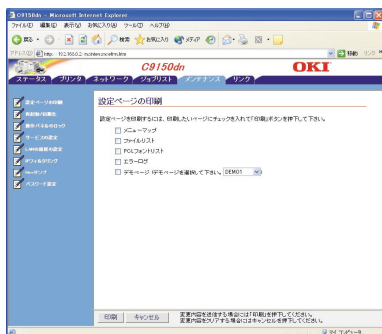
［IPP］
IPP印刷をする機能を設定できます。

ジョブリスト タブ

［ジョブキュー］
プリンタに送られた印刷ジョブの一覧を表示します。不要なジョブであれば削除することも可能です。

7

Webブラウザ

メンテナンス　タブ◎

◎：プリンタの管理者としてログインした場合に表示される項目

[設定ページの印刷]

メニューマップ、ネットワークの設定情報(Network Information)、デモページを印刷します。メニューマップ、ネットワークの設定情報(Network Information)は一緒に印刷されます。デモページを上記印刷と同時に印刷させることはできません。

[再起動/初期化]

プリンタの再起動

プリンタを再起動します。ネットワーク機能も同時に再起動されますので、再起動が完了するまでWebブラウザからアクセスしても、Web Pageは表示されません。

ネットワークの再起動

ネットワーク機能だけを再起動します。プリンタに対してネットワーク経由でアクセスしている場合にはこのコネクションは切断されてしまいます。再起動が完了するまでWebブラウザからアクセスしても、Web Pageは表示されません。

プリンタの初期化

プリンタを初期化します。初期化すると、プリンタは動作できますが、手動で設定した情報は失われてしまいます。

ネットワークの初期化

ネットワークを初期化します。初期化すると、プリンタは動作できますが、IPアドレスが初期状態に戻ってしまうため、手動で設定した情報は失われてしまいます。その場合は、Web Pageも表示できなくなってしまいます。

[操作パネルのロック]

操作パネル(オペレータパネル)の操作を禁止状態に設定します。

[サービスの設定]

ネットワーク上の各サービスを停止させることができます。ウィルスの発生によりプリンタが攻撃されるような場合には、この機能を使用して回避する必要があります。SNMPだけはなるべく「ENABLE」で使うようお願いします。

[LANの規模の設定]

ネットワーク上でより効率よく動作するための設定です。スパニングツリー機能を持つHUBを使用する場合、クロスケーブルでコンピュータとプリンタを1対1で接続する場合などに効果を発揮します。

[IPフィルタリング]

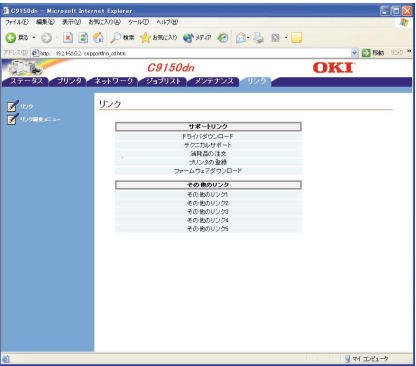
TCP/IPによるアクセスを制限することができます。「IPアドレスでのアクセス制限機能(IPフィルタ)を使います」(282ページ)をご覧ください。
「この人には印刷だけ許可しよう」「この人には設定変更も許可しよう」といった要求にこたえる機能です。社外からのアクセスにも対応できます。ただし、本機能はIPアドレスに関する十分な知識を必要とします。設定によってはプリンタにネットワークからアクセスできなくなってしまうような重大なトラブルを招きます。

[Hexダンプ]

受信した印刷データをすべて16進数で表示します。プリンタを再起動すると本モードを抜けます。

[パスワード設定]

管理者のパスワードを変更します。初期状態でのパスワードはイーサネットアドレス下6桁です。

リンク　タブ

［リンク］

製造元で設定したリンクの他、管理者が設定したリンクを表示します。

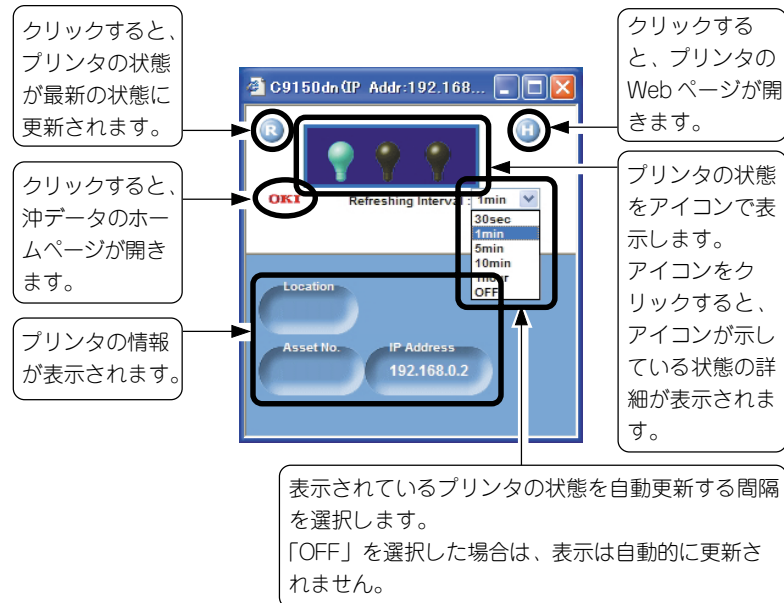
［リンク編集メニュー］

管理者が好きなURLを設定できます。
サポートリンクを5件、その他リンクを5件登録できます。
URLは、http://も含めて入力してください。

ステータスウインドウを使います

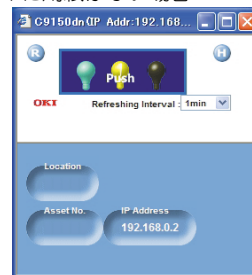
ネットワーク上のコンピュータからプリンタの状態をWebブラウザで確認できます。

「Webブラウザ」(179ページ)の「動作環境」を確認してください。

機能説明

プリンタの状態は、3つのランプで表示されます。

	点　灯	消　灯
左のランプ	オンライン	オフライン
中央のランプ	軽障害(印刷は可能)	軽障害なし
右のランプ	重障害(印刷は不可能)	重障害なし

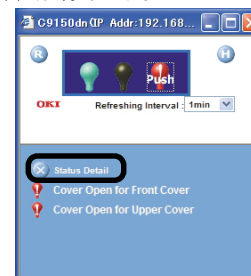
表示例

〈トレイに用紙がない場合〉

中央のランプをクリックすると、ランプが示す状態の詳細が表示されます。

[×]ボタンをクリックすると、状態の詳細は消えます。

〈カバーが開いている場合〉

右のランプをクリックすると、ランプが示す状態の詳細が表示されます。

[×]ボタンをクリックすると、状態の詳細は消えます。

TELNET

プリンタの各ネットワークプロトコルの設定ができます。

設定します

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

Windows　　: Windows2000 Professional
プリンタ　　: C9150dn
IPアドレス　: 192.168.0.2
イーサネットアドレス : 00:80:87:84:9C:9B

イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(267ページ)

❶ Windowsのコマンドプロンプトを起動します。

❷ pingコマンドで接続を確認します。

```
C:¥WINDOWS>ping 192.168.0.2
```

❸ telnetでプリンタに接続します。

ユーザ名は「root」、パスワードの初期値は「イーサネットアドレスの下6桁」です。

C9150dnは「MLETB12」と表示されます。

```
telnet  192.168.0.2
Trying 192.168.0.2 ...
Connected to 192.168.0.2
Escape character is '^]'.
EthernetBoard MLETB12 Ver 01.09 TELNET server.
login: root
'root' user needs password to login.
password:
User 'root' logged in.
No. Message     Value     (level.1)
-------------------------------------
 1 : Setup TCP/IP
 2 : Setup SNMP
 3 : Setup NetWare
 5 : Setup NetBEUI
 6 : Setup printer trap
 7 : Setup SMTP(E-Mail)
 8 : Setup printer trap
 9 : Maintenance
10 : Setup printer port
11 : Display Status
12 : IP Filtering Setup
97 : Network Reset
98 : Set default(Network)
99 : Exit setup
Please select(1-99)?
```

11： 設定内容を表示します。
97： ネットワークを再起動します。
98： プリンタのネットワークの設定を初期化します。
99： 設定を変更して前画面に戻ります。

❹ 変更する項目の番号を入力し、「Enter」キーを押します。

❺ 各項目を設定します。

❻ プリンタからログアウトします。

新しい設定がプリンタに送信されます。

設定項目

TCP/IP設定画面

```
Please select(1 - 99)? _1

 No.  Message                  Value (level.2)
----------------------------------------
  1 : TCP/IP Protocol     : ENABLE
  2 : IP Address          : 192.168.0.2
  3 : Subnet Mask         : 255.255.255.0
  4 : Default Gateway     : 192.168.0.1
  5 : RARP Protocol       : DISABLE
  6 : DHCP/BOOTP Protocol: DISABLE
  7 : Auto IP Address     : DISABLE
  8 : DNS Server(Pri.)    : 0.0.0.0
  9 : DNS Server(Sec.)    : 0.0.0.0
 10 : root Password       : "*******"
 11 : Auto Discovery Setup
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1 - 99)? 11

 No.  Message                  Value (level.3)
----------------------------------------
  1 : Network PnP            : ENABLE
  2 : Rendezvous ※           : ENABLE
  3 : Printer Name           : "ML849C9B"
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

※ Macintoshはサポートしていないため、Rendezvous機能は使用できません。

SNMP設定画面

```
Please select(1-99)? _2

 No.  Message                  Value (level.2)
----------------------------------------
  1 : SysContact               : ""
  2 : SysName                  : ""
  3 : SysLocation              : ""
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

7

TELNET

printer trap設定画面

```
Please select(1-99)? _6

 No.  Message                  Value (level.2)
----------------------------------------
  1 : Prn-Trap Community     : "public"
  2 : Setup TCP#1 trap
  3 : Setup TCP#2 trap
  4 : Setup TCP#3 trap
  5 : Setup TCP#4 trap
  6 : Setup TCP#5 trap
  7 : Setup IPX   trap
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1-99)? _2

 No.  Message                  Value (level.3)
----------------------------------------
  1 : TCP#1 Trap Enable      : DISABLE
  2 : Printer Reboot Trap    : DISABLE
  3 : Receive Illegal Trap   : DISABLE
  4 : Online Trap            : DISABLE
  5 : Offline Trap           : DISABLE
  6 : Paper Out Trap         : DISABLE
  7 : Paper Jam Trap         : DISABLE
  8 : Cover Open Trap        : DISABLE
  9 : Printer Error Trap     : DISABLE
 10 : TCP#1 Trap Address     : 0.0.0.0
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1-99)? _7

 No.  Message                  Value (level.3)
----------------------------------------
  1 : IPX   Trap Enable     : DISABLE
  2 : Printer Reboot Trap   : DISABLE
  3 : Receive Illegal Trap  : DISABLE
  4 : Online Trap           : DISABLE
  5 : Offline Trap          : DISABLE
  6 : Paper Out Trap        : DISABLE
  7 : Paper Jam Trap        : DISABLE
  8 : Cover Open Trap       : DISABLE
  9 : Printer Error Trap    : DISABLE
 10 : IPX   Trap Address    : "000000000000"
 11 : IPX   Trap Net        : "00000000"
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

SMTP(E-Mail)設定画面

```
Please select(1-99)? _7

 No.  Message                  Value (level.2)
----------------------------------------
  1 : SMTP Transmit            : DISABLE
  3 : SMTP Server Name         : ""
  4 : SMTP Port Number         : 25
  5 : E-mail Address           : ""
  6 : Reply-To Address         : ""
  7 : Event to Address 1
  8 : Event to Address 2
  9 : Event to Address 3
 10 : Event to Address 4
 11 : Event to Address 5
 12 : Signature line 1         : ""
 13 : Signature line 2         : ""
 14 : Signature line 3         : ""
 15 : Signature line 4         : ""
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

```
Please select(1-99)? _7

 No.  Message                  Value (level.3)
----------------------------------------
  1 : To Address 1             : ""
  2 : Re-send Interval         : DISABLE
  3 : Off Line                 : DISABLE
  4 : Consumable Message       : DISABLE
  5 : Toner Low/Out            : DISABLE
  6 : Paper Low/Out            : DISABLE
  7 : Paper Jam                : DISABLE
  8 : Cover Open               : DISABLE
  9 : Stacker Error            : DISABLE
 10 : Mass Storage Error       : DISABLE
 11 : Recoverable  Error       : DISABLE
 12 : Service Call Req.        : DISABLE
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

Maintenance設定画面

```
Please select(1-99)? _9

 No.  Message                Value (level.2)
----------------------------------------
  1 : FTP Service            : ENABLE
  2 : Telnet Service         : ENABLE
  3 : Web Service            : ENABLE
  4 : SNMP Service           : ENABLE
  5 : LAN Scale              : NORMAL
  6 : DefaultTTL             : 255
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

printer port設定画面

```
Please select(1-99)? _10

 No.  Message                Value (level.2)
----------------------------------------
  1 : BOJ String             : ""
  2 : EOJ String             : ""
  3 : BOJ String(KANJI)      : ""
  4 : EOJ String(KANJI)      : "\x04"
  5 : Printer Type ※         : PS
  6 : TAB Size   (char.)     : 8
  7 : Page Width (char.)     : 78
  8 : Page Length(line)      : 64
  9 : FTP/LPR Banner         : NO
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

※ 本機能はサポートしておりません。

IP Filtering設定画面

```
Please select(1-99)? _12

 No.  Message                Value (level.2)
----------------------------------------
  1 : IP Filtering           : DISABLE
  2 : IP Address range 1
  3 : IP Address range 2
  4 : IP Address range 3
  5 : IP Address range 4
  6 : IP Address range 5
  7 : IP Address range 6
  8 : IP Address range 7
  9 : IP Address range 8
 10 : IP Address range 9
 11 : IP Address range 10
 12 : Admin IP Address       : 0.0.0.0
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

7

TELNET

ストレージデバイスマネージャ

プリンタのハードディスクの設定、フォームデータの登録や削除、スプールジョブの管理をするユーティリティです。

動作環境

WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0/Server2003日本語版の動作するコンピュータ
InternetExplorer4.0以上がインストールされていること

インストールします

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷ CD-ROMのアイコンを開きます。

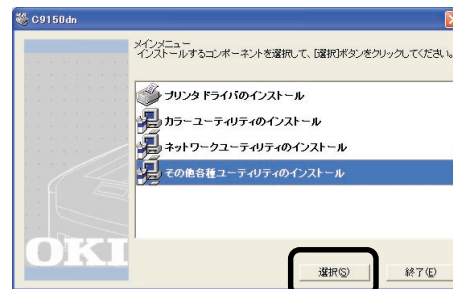
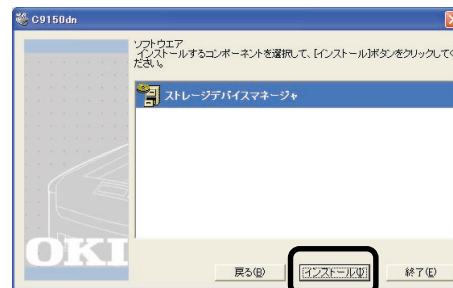
〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[マイコンピュータ]-[リムーバブル記憶域があるデバイス]の[OKICOLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

〈WindowsMe/98/95/2000/NT4.0/Server2003の場合〉
[マイコンピュータ]を開き、[OKICOLOR]アイコンをダブルクリックして開きます。

❸ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❹「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❺ [その他各種ユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❻ [ストレージデバイスマネージャ]を選択し、[インストール]をクリックします。

❼ 画面の指示に従ってセットアップします。

❽「C9150dn」画面で[終了]をクリックします。

起動します

❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラム])-[沖データ]-[OKIストレージデバイスマネージャ]-[OKIストレージデバイスマネージャ]を選択します。

詳しくはオンラインヘルプをご覧ください。

8 いろいろな用紙に印刷するための設定

- この章では[ワードパッド]を例にしています。
- アプリケーションにより画面や手順が異なる場合があります。
- プリンタドライバやユーティリティの各設定項目の詳しい説明は「オンラインヘルプ」をご覧ください。
- プリンタドライバやユーティリティのバージョンアップにより、本書の記載が異なる場合があります。

手動で用紙の厚さを設定したい

プリンタの操作パネルでメディアウェイト、メディアタイプを設定します。
メディアウェイトは用紙の厚さ、メディアタイプは用紙の種類に関する設定です。

- メディアウェイトは普通紙(一般に紙といわれるもの)やラベル紙において、その厚さの違いで切り替える設定です。
- メディアタイプはOHPやラベル紙のように、厚さだけでは管理できない印刷媒体と普通紙を切り分けるための設定です。フィルム系の媒体や二重に重ねられている媒体は、その特性から厚さだけでは最適な条件設定ができないため分けられています。(設定は各モードの推奨紙に合わせていますので、できるだけ推奨紙を使用してください。)
- 普通紙のメディアウェイトは出荷時に[ジドウ]に設定されています。プリンタは普通紙の厚さを測定して印刷条件を自動設定し印刷を行います。(紙厚自動設定)
- 通常使用される普通紙のほとんどは、厚さを検出することで定着温度等の印刷条件設定が可能です。しかし、普通紙も種類によってはその表面粗さ、構成成分の影響によって厚さだけでは最適条件に設定されない場合があります。このような場合はメディアウェイトを手動設定し、より良い状態で印刷できる設定に切り替えて使用してください。
- 紙厚自動設定の場合、使用する用紙の厚さにより印刷速度を自動的に切り替える場合があり、ファースト印刷時間が長くなることがあります。印刷速度を切り替えないで使用したい場合には、使用する用紙厚に合わせてメディアウェイトを手動設定してください。選択された用紙厚で印刷可能か事前にテストを行い、支障がないことを確認してから使用してください。
- 紙厚自動設定は、電源投入またはトレイに用紙をセットした直後の給紙時に実行します。極端に厚さの異なる用紙を同一トレイに混在してセットした場合、混在する用紙に対し最適な定着温度が設定されません。同一トレイ内に極端に厚さの違う用紙が混在していたり、用紙搬送時に重送すると、アラームで停止します。
- メディアウェイト、メディアタイプを適切な値に設定しないと印刷品質が低下したり、定着器ユニットを傷めるおそれがあります。
- 用紙の種類と厚さにより、設定が必要な項目や設定値が異なります。

1 用紙の種類と厚さから、メディアウェイト、メディアタイプの設定値を確認します。

種　類	厚　さ	メディアウェイト(用紙の厚さ)	メディアタイプ(用紙の種類)*1	プリンタドライバの[給紙方法]の設定*2
普通紙*3	55〜172kg (64〜200g/m²)	ジドウ*8	フツウシ	普通紙
	55kg (64g/m²)	ウスイカミ*4		
	55〜64kg (64〜74g/m²)	フツウシ		
	65〜77kg (75〜90g/m²)	ヤヤアツイカミ		
	78〜89kg (91〜104g/m²)	アツイカミ		
	90〜103kg (105〜120g/m²)	ヨリアツイカミ		
	104〜172kg (121〜200g/m²)	ゴクアツイカミ		
光沢紙*5	—	—	コウタクシ	光沢紙
はがき*6	—	—	—	—
封筒*6	—	—	—	—
ラベル紙	0.13〜0.17mm未満	ヤヤアツイカミ	ラベルシ	ラベル紙
	0.17〜0.2mm	ゴクアツイカミ		
OHPシート*7	—	—	OHP	OHPシート

*1：メディアタイプの工場出荷時の設定は[フツウシ]です。
*2：プリンタドライバの[給紙方法]ではトレイとメディアタイプを設定することができます。
プリンタドライバで設定を変更する場合は、印刷するたびに設定する必要があります。
*3：両面印刷できる用紙の厚さは連量70〜90kg(81〜105g/m²)です。
*4：普通紙でシワがでるときに設定します。
*5：光沢紙はメディアタイプのみ設定します。メディアウェイトの設定は必要ありません。メディアタイプの[コウタクシ]は、光沢紙など表面に光沢のある印刷媒体に適したモードです。光沢紙は、白地に薄くトナーが付着しやすいため、印刷品質など、事前にテストを行い、支障がないことを確認してから使用してください。
*6：はがき、封筒はメディアウェイト、メディアタイプの設定の必要はありません。
*7：OHPシートはメディアタイプのみ設定します。メディアウェイトの設定は必要ありません。
*8：普通紙の厚さを自動測定して印刷を行います。普通紙以外では自動測定は行いません。メディアタイプとメディアウェイトを設定してください。

- メディアウェイトの[ゴクアツイカミ]、メディアタイプの[コウタクシ]、[ラベルシ]、[OHP]を設定すると、印刷速度が遅くなります。
- 出荷時の設定ではOHP自動検出機能が有効となっています。給紙時にOHPシートを検出し、自動的に印刷条件設定を切り替えて印刷を行うため、メディアタイプの設定は必要ありません。推奨紙以外のOHPシートを使用した場合、自動検出ができない場合があります。このような場合は、メディアタイプで[OHP]を設定してください。
- 部分印刷用紙などで誤ってOHP と判定され印刷速度が低下してしまう場合は、[インサツ　メニュー]の[OHP　ケンシュツ]を[ムコウ]に設定してください。
- トレイの抜き差しを行うと紙厚自動設定が実行されます。この場合、直後の給紙時に若干の待ち時間が発生します。
- [レターヘッド]、[ボンドシ]、[サイセイシ]、[アツガミ]、[アライカミ]の各メディアタイプは名称として設定できますが、印刷時の設定効果は[フツウシ]と同じです。

2 操作パネルでメディアウェイトを設定します。

- メディアウェイトは、給紙するトレイごとに設定してください。
- はがき、封筒は設定の必要はありません。

ここでは、トレイ1で普通紙(70kg)に印刷するときの設定手順([トレイ1　メディアウェイト]を[ヤヤアツイカミ]に設定します)を説明します。

❶ 0を数回押し、[メディア　メニュー]を表示します。

❷ 1または5を押し、[トレイ1　メディアウェイト]を表示します。

❸ 2または6を押し、[ヤヤアツイカミ]を表示します。

❹ 3を押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❺ 4を押し、[オンライン]にします。

3 操作パネルでメディアタイプを設定します。

- メディアタイプの工場出荷時の設定は[フツウシ]です。普通紙に印刷する場合はそのまま使用してください。
- メディアタイプは、給紙するトレイごとに設定してください。
- 光沢紙、ラベル紙は必ず設定してください。
- OHPシートは自動検出できない場合に設定してください。
- はがき、封筒は設定の必要はありません。
- メディアタイプは[フツウシ]、[コウタクシ]、[ラベルシ]、[OHP]以外は設定しないでください。

ここでは、マルチパーパストレイでOHPシートに印刷するときの設定手順([MPトレイ　メディアタイプ]を[OHP]に設定します)を説明します。

❶ 0を数回押し、[メディア　メニュー]を表示します。

❷ 1または5を押し、[MPトレイ　メディアタイプ]を表示します。

❸ 2または6を押し、[OHP]を表示します。

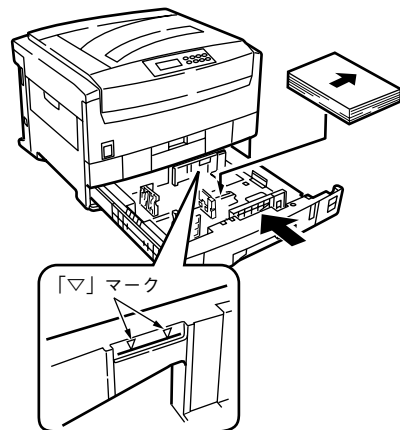
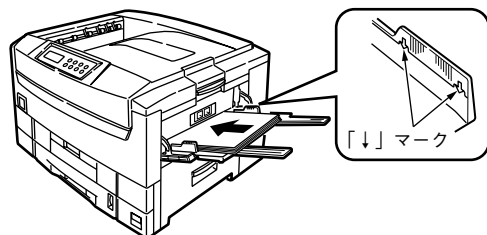
❹ 3を押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❺ 4を押し、[オンライン]にします。

はがき、往復はがきに印刷したい

1 用紙をセットします。

はがき、往復はがきはマルチパーパストレイ、トレイ１から印刷することができます。
用紙のセット方法は「5　印刷します」（95 ページ）をご覧ください。

メモ　マルチパーパストレイから手差しで1枚ずつ印刷することもできます。詳しくは「手差しで1枚ずつ印刷します」(110ページ) をご覧ください。

2 フェイスアップスタッカを開きます。

3 操作パネルで、プリンタ側の用紙サイズの設定を確認します。

メモ　Webブラウザからも設定できます。詳しくは「設定します」(180ページ)をご覧ください。

〈マルチパーパストレイの場合〉

❶ ⓪を数回押し、[メディア　メニュー]を表示します。

❷ ①または⑤を数回押し、[MPトレイ　ヨウシサイズ]を表示します。

❸ ②または⑥を数回押し、[ハガキ]または[オウフクハガキ]を表示します。

❹ ③を押し、設定値の右側に「*」を付けます。

❺ ④を押し、[オンライン]にします。

〈トレイ1の場合〉

❶ ⓪を数回押し、[システム　ホセイ　メニュー]を表示します。

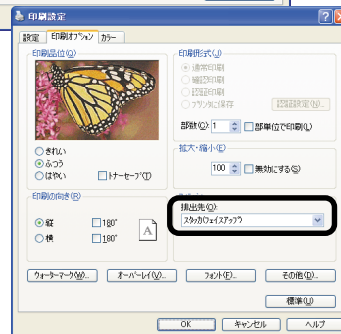
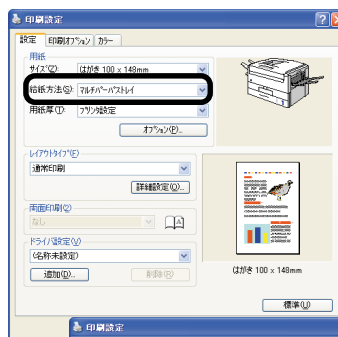
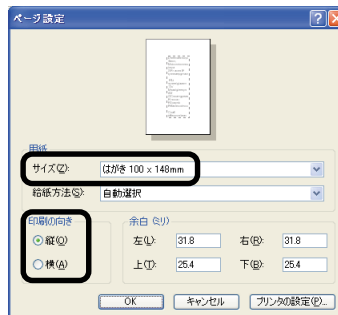
❷ ①または⑤を押し、[トレイ1　A5／A6　ヨウシ]を表示します。

❸ [ハガキ]と表示されていることを確認します。

❹ ④を押し、[オンライン]にします。

4 アプリケーションを起動します。

印刷したいファイルを開きます。

5 プリンタドライバで[用紙サイズ]、[給紙方法]、[排出先]を選択し、印刷します。

❶ [ファイル]メニューの[ページ設定]を選択します。

❷ [サイズ]で[はがき]または[往復はがき]、[印刷の向き]で[縦]または[横]を選択し、[OK]をクリックします。

❸ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❹ [プロパティ](WindowsXP/Server 2003では[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❺ [設定]タブの[給紙方法]で[トレイ1]または[マルチパーパストレイ]を選択します。

❻ [印刷オプション]タブの[排出先]で[スタッカ(フェイスアップ)]が選択されていることを確認し、[OK]をクリックします。(Windows2000では、[OK]をクリックする必要はありません。)

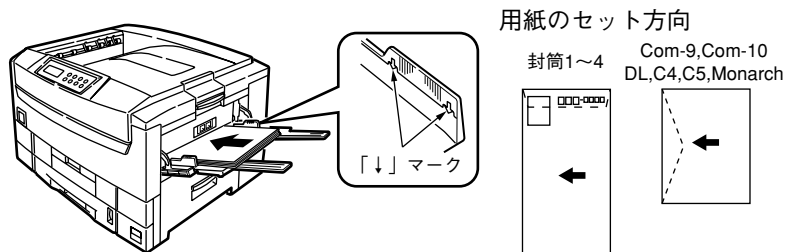
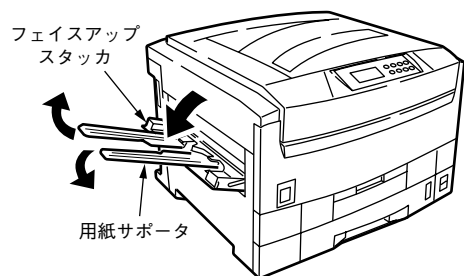
❼ 「印刷」画面で[OK]または[印刷]をクリックし、印刷します。

封筒に印刷したい

1 用紙をセットします。

封筒はマルチパーパストレイから印刷することができます。
用紙のセット方法は「5　印刷します」（95 ページ）をご覧ください。

メモ　マルチパーパストレイから手差しで1枚ずつ印刷することもできます。詳しくは「手差しで1枚ずつ印刷します」（110ページ）をご覧ください。

用紙のセット方向

2 フェイスアップスタッカを開きます。

3 操作パネルで、プリンタ側の用紙サイズの設定を確認します。

メモ　Webブラウザからも設定できます。詳しくは「設定します」（180ページ）をご覧ください。

❶ ⓪を数回押し、[メディア　メニュー]を表示します。

❷ ①または⑤を数回押し、[MPトレイ　ヨウシサイズ]を表示します。

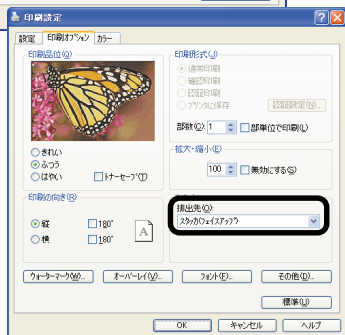
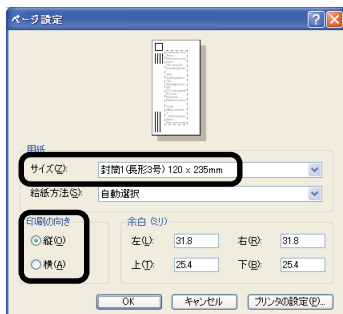
❸ ②または⑥を数回押し、[フウトウ１　ヨコオクリ]（フウトウ1〜フウトウ4）を表示します。

❹ ③を押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❺ ④を押し、[オンライン]にします。

4 アプリケーションを起動します。

印刷したいファイルを開きます。

5 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］、［排出先］を選択し、印刷します。

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［封筒1］～［封筒4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［プロパティ］（WindowsXP/Server 2003では［詳細設定］）をクリックします。（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❺［設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

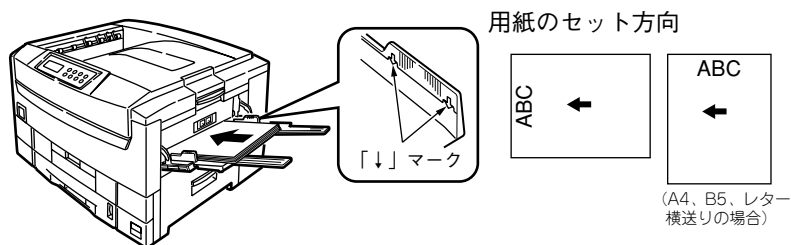
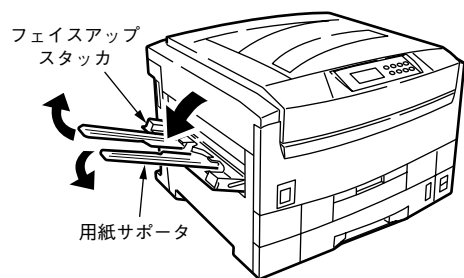
❻［印刷オプション］タブの［排出先］で［スタッカ（フェイスアップ）］が選択されていることを確認し、［OK］をクリックします。（Windows2000では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❼「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

ラベル紙に印刷したい

1 用紙をセットします。

ラベル紙はマルチパーパストレイから印刷することができます。
用紙のセット方法は「5　印刷します」（95 ページ）をご覧ください。

メモ　マルチパーパストレイから手差しで1枚ずつ印刷することもできます。詳しくは「手差しで1枚ずつ印刷します」(110ページ)をご覧ください。

2 フェイスアップスタッカを開きます。

3 操作パネルでメディアウェイトを設定します。

注　メディアウェイトは、給紙するトレイごとに設定してください。

メモ　Webブラウザからも設定できます。詳しくは「設定します」(180 ページ)をご覧ください。

ここでは、MPトレイで0.1～0.17mm未満の厚さのラベル紙に印刷するときの設定手順([MPトレイ　メディアウェイト]を[ヤヤアツイカミ]に設定します)を説明します。

❶ 0 を数回押し、[メディア　メニュー]を表示します。

❷ 1 または 5 を押し、[MPトレイ　メディアウェイト]を表示します。

❸ 2 または 6 を押し、[ヤヤアツイカミ]を表示します。

❹ 3 を押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❺ 4 を押し、[オンライン]にします。

4 操作パネルで、プリンタ側の用紙サイズの設定を確認します。

メモ Webブラウザからも設定できます。詳しくは「設定します」(180ページ)をご覧ください。

❶ (0)を数回押し、[メディア　メニュー]を表示します。

❷ (1)または(5)を数回押し、[MPトレイ　ヨウシサイズ]を表示します。

❸ (2)または(6)を数回押し、[A4　ヨコオクリ]、[A4　タテオクリ]、[LETTER　ヨコオクリ]または[LETTER　タテオクリ]を表示します。

❹ (3)を押し、設定値の右側に「*」を付けます。

❺ (4)を押し、[オンライン]にします。

5 操作パネルで、メディアタイプを設定します。

メモ Webブラウザからも設定できます。詳しくは「設定します」(180ページ)をご覧ください。

❶ (0)を数回押し、[メディア　メニュー]を表示します。

❷ (1)または(5)を数回押し、[MPトレイ　メディアタイプ]を表示します。

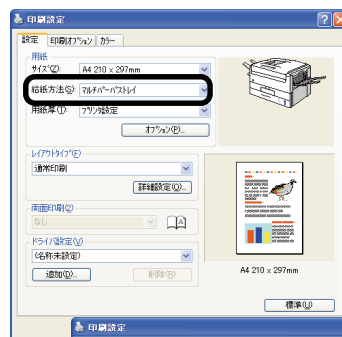
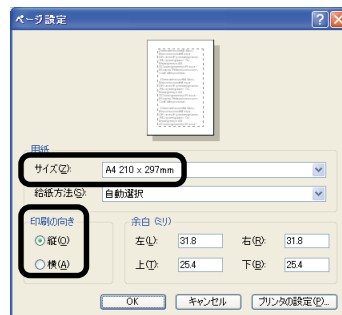
❸ (2)または(6)を数回押し、[ラベルシ]を表示します。

❹ (3)を押し、設定値の右側に「*」を付けます。

❺ (4)を押し、[オンライン]にします。

6 アプリケーションを起動します。

印刷したいファイルを開きます。

7 プリンタドライバで[用紙サイズ]、[給紙方法]、[排出先]を選択し、印刷します。

❶ [ファイル]メニューの[ページ設定]を選択します。

❷ [サイズ]で[A4]または[レター]、[印刷の向き]で[縦]または[横]を選択し、[OK]をクリックします。

❸ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❹ [プロパティ](WindowsXP/Server 2003では[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❺ [設定]タブの[給紙方法]で[マルチパーパストレイ]を選択します。

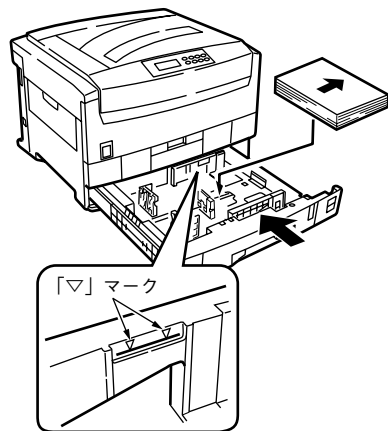
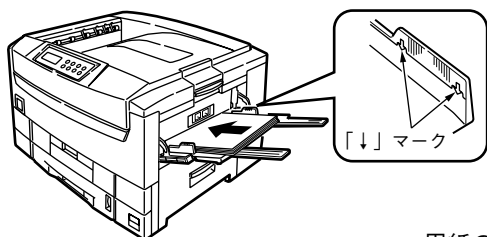
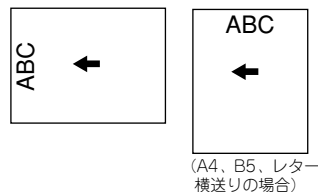
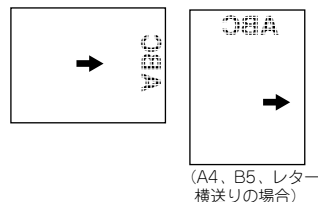
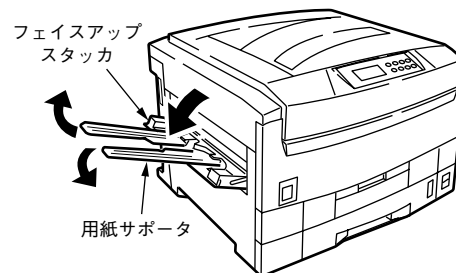
❻ [印刷オプション]タブの[排出先]で[スタッカ(フェイスアップ)]を選択し、[OK]をクリックします。(Windows2000では、[OK]をクリックする必要はありません。)

❼ 「印刷」画面で[OK]または[印刷]をクリックし、印刷します。

OHPシートに印刷したい

1 用紙をセットします。

OHP シートはマルチパーパストレイ、トレイ 1 から印刷することができます。
用紙のセット方法は「5　印刷します」（95 ページ）をご覧ください。

メモ　マルチパーパストレイから手差しで1枚ずつ印刷することもできます。詳細は「手差しで1枚ずつ印刷します」（110ページ）をご覧ください。

2 フェイスアップスタッカを開きます。

3 操作パネルで、プリンタ側の用紙サイズの設定を確認します。

メモ　Webブラウザからも設定できます。詳細は「設定します」（180ページ）をご覧ください。

〈マルチパーパストレイの場合〉

❶ 0 を数回押し、［メディア　メニュー］を表示します。

❷ 1 または 5 を数回押し、［MP トレイ　ヨウシサイズ］を表示します。

❸ 2 または 6 を数回押し、［A4　ヨコオクリ］、［A4　タテオクリ］、［LETTER　ヨコオクリ］または［LETTER　タテオクリ］を表示します。

❹ 3 を押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❺ 4 を押し、［オンライン］にします。

4 操作パネルで、メディアタイプを設定します。

メモ
- Webブラウザからも設定できます。詳細は「設定します」(180ページ)をご覧ください。
- 出荷時の設定ではOHP自動検出機能が有効となっています。給紙時にOHPシートを検出し、自動的に印刷条件設定を切り替えて印刷を行うため、メディアタイプの設定は必要ありません。推奨紙以外のOHPシートを使用した場合、自動検出ができない場合があります。このような場合は、メディアタイプで[OHP]を設定してください。
- 部分印刷用紙などで誤ってOHP と判定され印刷速度が低下してしまう場合は、[インサツ　メニュー]の[OHP　ケンシュツ]を[ムコウ]に設定してください。

❶ (0)を数回押し、[メディア　メニュー]を表示します。

❷ (1)または(5)を数回押し、[MPトレイ　メディアタイプ]を表示します。

❸ (2)または(6)を数回押し、[OHP]を表示します。

❹ (3)を押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❺ (4)を押し、[オンライン]にします。

5 アプリケーションを起動します。

印刷したいファイルを開きます。

6 プリンタドライバで[用紙サイズ]、[給紙方法]、[排出先]を選択し、印刷します。

❶ [ファイル]メニューの[ページ設定]を選択します。

❷ [サイズ]で[A4]または[レター]、[印刷の向き]で[縦]または[横]を選択し、[OK]をクリックします。

❸ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❹ [プロパティ](WindowsXP/Server 2003では[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❺ [設定]タブの[給紙方法]で[トレイ1]または[マルチパーパストレイ]を選択します。

❻ [印刷オプション]タブの[排出先]で[スタッカ(フェイスアップ)]を選択し、[OK]をクリックします。
(Windows2000では、[OK]をクリックする必要はありません。)

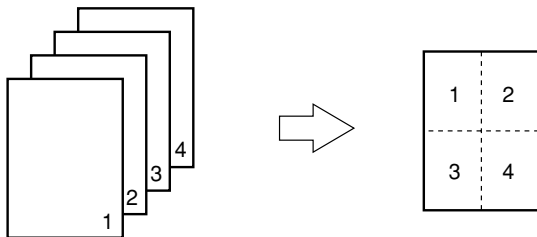
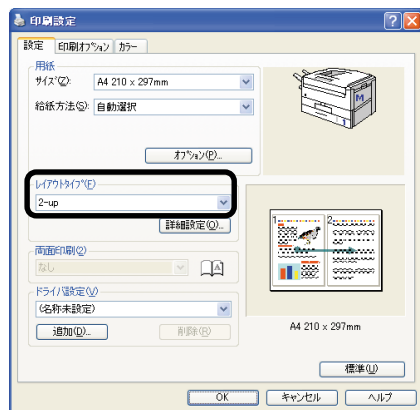
❼ 「印刷」画面で[OK]または[印刷]をクリックし、印刷します。

9 便利な印刷機能

注

- この章では[ワードパッド]を例にしています。
- アプリケーションにより画面や手順が異なる場合があります。
- プリンタドライバやユーティリティの各設定項目の詳しい説明は「オンラインヘルプ」をご覧ください。
- プリンタドライバやユーティリティのバージョンアップにより、本書の記載が異なる場合があります。

複数ページを1枚に印刷したい

複数ページのデータを1枚の用紙に縮小して印刷できます。

- この機能はデータを縮小して印刷する機能なので、用紙の中央が正確に合わない場合があります。
- アプリケーションによっては利用できない場合があります。
- とじ代も設定できます。

❶ アプリケーションを起動します。

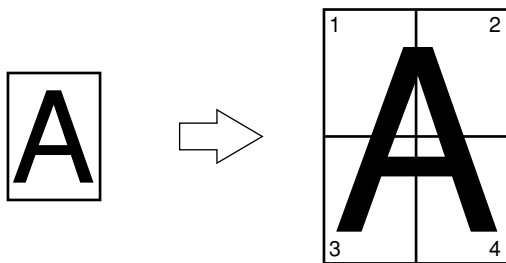
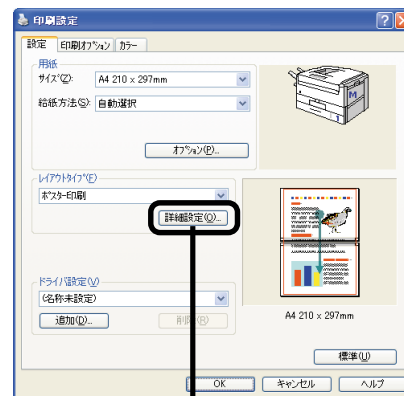
❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ](WindowsXP/Server 2003では[詳細設定])をクリックします。
(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [設定]タブの[レイアウトタイプ]で[n-up](nは1枚に印刷するページ数)を選択します。

❺ [詳細設定]をクリックし、必要に応じて[枠線]、[ページ配置]、[とじ代]を設定します。とじ代は上下左右に0～30mmまで設定できます。

複数枚に拡大して印刷したい(ポスター印刷)

元のデータを拡大し、複数枚の用紙に分割して印刷できます。

- WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003で別のコンピュータ上の共有プリンタでネットワークに接続している場合は利用できません。
- WindowsXP/2000/Server2003で[ポスター印刷]が動作しない場合は、[プリンタとFAX]または[プリンタ]フォルダの[OKI C9150dn]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]-[詳細設定]-[プリントプロセッサ]で[MLLAPP3]を選択してください。

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸[プロパティ](WindowsXP/Server2003では[詳細設定])をクリックします。
(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹[設定]タブの[レイアウトタイプ]で[ポスター印刷]を選択します。

❺[詳細設定]をクリックし、必要に応じて[拡大]、[トンボ]、[オーバーラップ]などを設定できます。

任意の用紙サイズに印刷したい（カスタムページ・長尺印刷）

独自の用紙サイズを定義して通常の用紙サイズと同じように使用できます。

- マルチパーパストレイからのみ給紙できます。用紙カセットからは給紙できません。
- フェイスアップで排出してください。
- 用紙サイズは縦長に設定してください。
- アプリケーションによっては利用できない場合があります。
- 長さが457.2mmを超える用紙の印刷品位は保証できません。連量110kg（128g/m²）の用紙を使用してください。
- 用紙サポータでサポートしきれない長さの用紙は手で支えてください。
- WindowsNT4.0プリンタドライバはコンピュータの管理者の権限が必要です。

［設定できるサイズ］
幅　：76.2～328mm
長さ：127～1200mm

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。
（WindowsXPでは、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ プロパティを開きます。

WindowsMe/98/95の場合
［OKI C9150dn］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

WindowsXP/2000/Server2003の場合
［OKI C9150dn］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［印刷設定］を選択します。

WindowsNT4.0の場合
［OKI C9150dn］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［ドキュメントの既定値］を選択します。

❸ ［設定］タブの［オプション］をクリックします。

❹「給紙オプション」画面で［用紙サイズの追加］をクリックします。

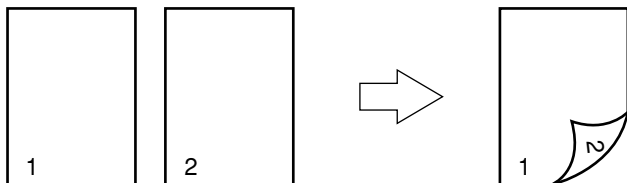
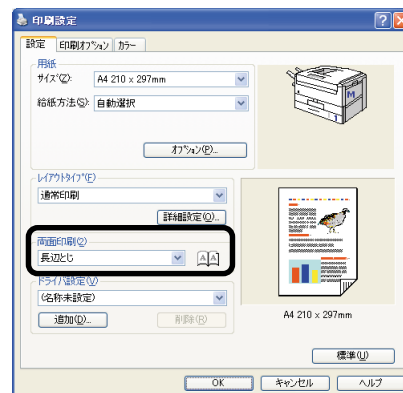
❺「用紙サイズの追加」画面で［名称］、［幅］、［長さ］を入力します。

❻ ［追加］をクリックします。

作成した用紙は、［設定］タブの［サイズ］リストの下の方に表示されます。合計32個まで定義できます。

任意の用紙サイズに印刷したい（カスタムページ・長尺印刷）
9

両面印刷したい

用紙の両面に印刷することができます。

- A3用紙に両面印刷する場合は、64MB以上のメモリを追加（合計128MB以上）することをお勧めします。
- アプリケーションによっては利用できない場合があります。
- 両面印刷できる用紙サイズはA3、A3ワイド、タブロイド、タブロイドエクストラ、A4、A5、B4、B5、レター、リーガル(13インチ)、リーガル(13.5インチ)、リーガル(14インチ)、エグゼクティブのみです。A3ノビ用紙は紙づまりが発生するおそれがあるので保証できません。
- 両面印刷できる用紙の厚さは、連量70kg～90kg（81～105g/m²）です。それ以外の厚さでは紙づまりの原因になりますので使えません。
- A6用紙は使用できません。

❶ アプリケーションを起動します。

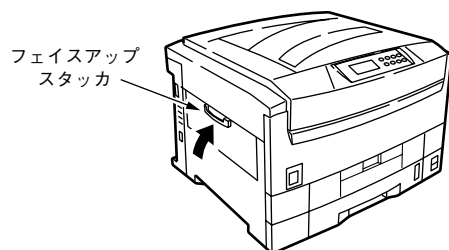
❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ]（WindowsXP/Server 2003では[詳細設定]）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ [設定]タブの[両面印刷]で[長辺とじ]または[短辺とじ]を選択します。

ページ順に取り出したい

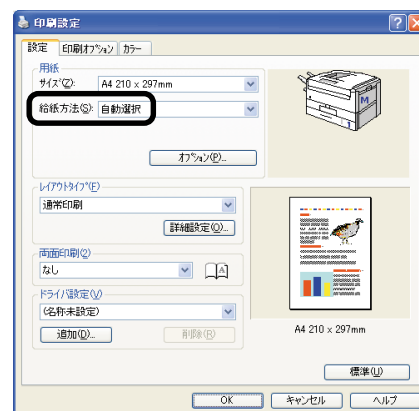
複数ページの文書を印刷するとき、ページ順で取り出せます。

フェイスダウンで排出する

❶プリンタ左側面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

紙づまりをさけるため、連量152kg以上の厚紙、A6サイズ、カスタムサイズの普通紙、はがき、往復はがき、封筒、ラベル紙、OHP、光沢紙はフェイスアップスタッカを開いてフェイスアップで排出してください。

トレイを自動的に選択したい

プリンタドライバで設定した用紙サイズに一致するトレイ(用紙カセット(トレイ1〜5)、マルチパーパストレイ)を自動的に選択して印刷できます。

- 必ず操作パネルで、マルチパーパストレイの用紙サイズを設定してください。
- 操作パネルで「メディアタイプ」を「フツウシ」以外に設定している場合は「自動選択」ではなく、直接トレイを選択してください。

❶アプリケーションを起動します。

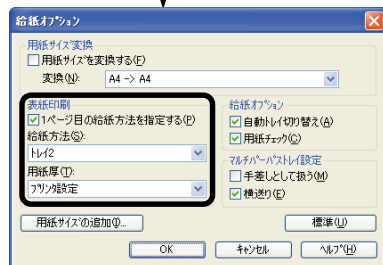
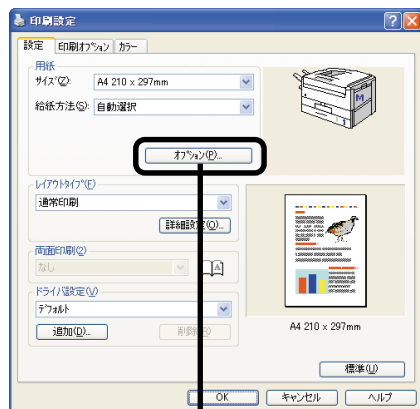
❷[ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸[プロパティ](WindowsXP/Server 2003では[詳細設定])をクリックします。
(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹[設定]タブの[給紙方法]で[自動選択]を選択します。

表紙のみ別のトレイから給紙したい

表紙印刷

複数ページの印刷ジョブで1ページ目を別のトレイから給紙できます。1ページ目の用紙の色や厚さを変えて表紙などを作成する場合に使用します。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

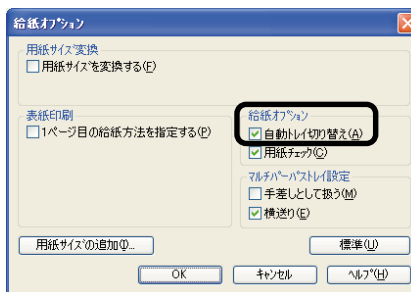
❸ [プロパティ](WindowsXP/Server 2003では[詳細設定])をクリックします。
(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [設定]タブの[オプション]をクリックします。

❺ [表紙印刷]の[1ページ目の給紙方法を指定する]にチェックを付け、[給紙方法]をメニューから選択します。必要に応じて用紙厚を設定します。

同じ用紙サイズを大量に印刷したい

トレイ1～5、マルチパーパストレイに同じ用紙をセットしている場合に、印刷中のトレイの用紙がなくなったら、他のトレイから継続して印刷することができます。

・必ず操作パネルで、各トレイのメディアウェイト、メディアタイプと、マルチパーパストレイの用紙サイズ、メディアウェイト、メディアタイプを一致させてください。
・A4、B5、レターは同じ用紙送り方向にセットしてください。

❶ アプリケーションを起動します。

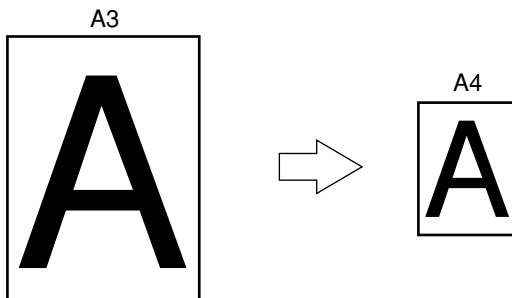
❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ](WindowsXP/Server 2003では[詳細設定])をクリックします。
(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [設定]タブの[オプション]をクリックします。

❺ [自動トレイ切り替え]にチェックを付けます。

用紙サイズを変更したい

印刷データに手を加えることなく、異なる用紙サイズに印刷できます。

注 アプリケーションによっては正常に動作しない場合があります。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

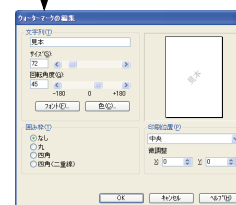
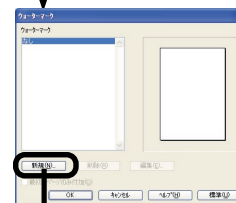
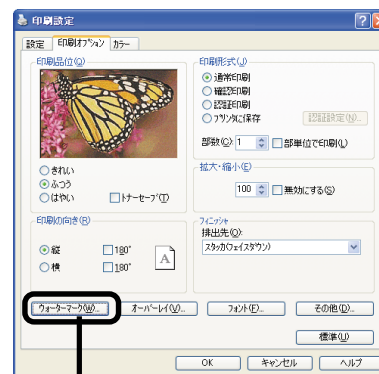
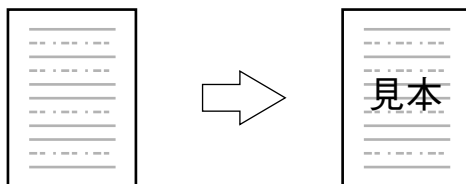
❸ [プロパティ](WindowsXP/Server 2003では[詳細設定])をクリックします。
(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [設定]タブの[サイズ]で編集する用紙サイズを選択します。

❺ [オプション]をクリックします。

❻ [用紙サイズを変換する]にチェックを付け、[変換]で印刷したい用紙サイズを選択します。

ウォーターマークを印刷したい(スタンプ印刷)

アプリケーションから印刷される内容とは独立して[見本]や[社外秘]などの文字を重ね印刷できます。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ](WindowsXP/Server 2003では[詳細設定])をクリックします。
(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [印刷オプション]タブの[ウォーターマーク]をクリックします。

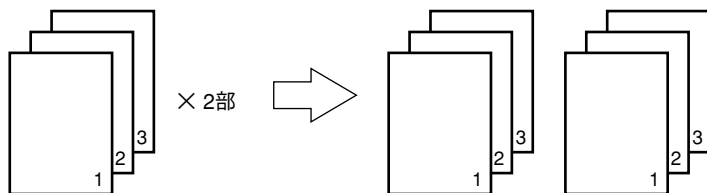
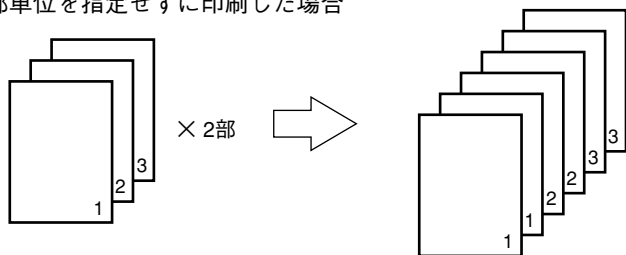
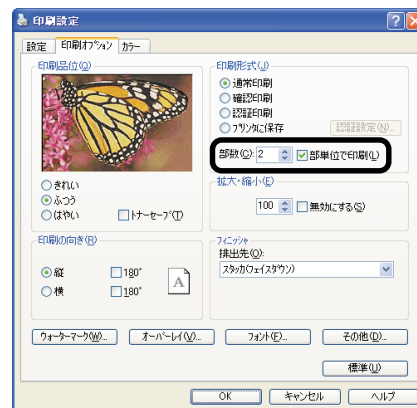
❺ [新規]をクリックします。

❻「ウォーターマークの編集」画面で[文字列]を入力し[サイズ]他を選択します。

❼ [OK]をクリックします。

文書を部単位で印刷したい（丁合印刷）

印刷ジョブをプリンタのメモリに蓄えて部単位で印刷することができます。

部単位を指定して印刷した場合

部単位を指定せずに印刷した場合

- 印刷ジョブをスプールするメモリの容量が不足した場合、[チョウアイ　エラー：ページガ　オオスギマス]を表示して一部のみ印刷を行います。プリンタに内蔵ハードディスクが装着されていると、メモリが不足しても内蔵ハードディスクにスプールして印刷します。
- アプリケーションによっては利用できない場合があります。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ]（WindowsXP/Server 2003では[詳細設定]）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ [印刷オプション]タブで[部数]に印刷部数を入力し、[部単位で印刷]にチェックを付けます。

複数部数の文書を最初に確認してから印刷したい（確認印刷）

印刷ジョブをプリンタのハードディスクに蓄えて、最初に一部のみ印刷して確認し、その後残りの部数を印刷することができます。

- プリンタに内蔵ハードディスクが装着されている場合に利用できます。
- 印刷ジョブを蓄える内蔵ハードディスクの容量が不足した場合、[ディスク　ファイルシステム　フル]を表示して一部のみ印刷を行います。
- アプリケーションによっては利用できない場合があります。
- プリンタドライバで内蔵ハードディスクを取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「内蔵ハードディスク」(29ページ)をご覧ください。
- 内蔵ハードディスクに「キョウツウ」パーティションが必要です。

1 アプリケーションから印刷します。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ](WindowsXP/Server 2003では[詳細設定])をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ [印刷オプション]タブで[部数]に印刷部数を入力します。

❺ [印刷形式]で[確認印刷]を選択します。

❻「認証設定」画面で「ジョブ名」、「パスワード」を入力し、[OK]をクリックします。

印刷時にジョブ名を入力する
印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。

パスワード
4桁の数字で設定します。

❼ 印刷します。
[印刷時にジョブ名を入力する]にチェックした場合、「認証設定」画面で「ジョブ名」を入力し、[OK]をクリックします。

ジョブ名
最大16文字までの半角英数字で設定します。

2 印刷結果を確認します。

3 問題がなければ、プリンタの操作パネルからパスワードを入力します。

❶ (0) を押し、[インサツ ジョブ メニュー]を表示します。

❷ (1) または (5) を押し、[パスワード セッテイ]を表示します。

❸ (2) または (6) を押し、パスワードの最初の桁を入力します。

❹ (1) を押し、2つめの桁にカーソルを移動します。

❺ 手順❷, ❸を繰り返し、4桁のパスワードを入力したら、(3) を押します。

❻ [ジョブ セレクト]で (2) または (6) を押し、印刷するジョブ(手順1で入力したジョブ名)を選択します。

❼ (3) を押します。

❽ [SET COLLATING AMOUNT]が表示されたら、残りの印刷部数を確認し、(3) を押します。

残りの部数の印刷が行われます。

メモ
- パスワードを誤って入力した場合は、手順❹で (1) または (5) を押すと手順❷に戻ります。
- 印刷を行わない場合は、手順❺で (7) を押すと、[ジョブ サクジョ]と表示します。(3) を押すとジョブを削除できます。
  また、OKIストレージデバイスマネージャを使ってもジョブを削除できます。

OKI ストレージデバイスマネージャでジョブを削除する方法

❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラム])-[沖データ]-[OKI ストレージデバイスマネージャ]-[OKI ストレージデバイスマネージャ]を選択します。

❷ 「プリンタの検索」画面で、プリンタを接続しているポートを選択し、[開始]をクリックします。

❸ [閉じる]をクリックします。

❹ 下のウィンドウでプリンタを選択し、[プリンタ]メニューから[スプールジョブの管理]を選択します。

❺ [確認印刷ジョブ]にチェックが付いていることを確認し、[ユーザジョブの参照]を選択し、パスワードを入力し[パスワードの適用]をクリックします。
[全てのジョブの参照]を選択し、管理者パスワード(デフォルトはPASSWORD)を入力し、[管理者パスワードの適用]をクリックすると、プリンタに格納されているすべての確認印刷ジョブが表示されます。

❻ リストから削除したいジョブを選択し、[削除]をクリックします。

❼ 完了画面で[OK]をクリックします。

パスワードを入力してから印刷したい（認証印刷）

印刷ジョブをプリンタのハードディスクに蓄えて、プリンタの操作パネルでパスワードを入力してから印刷することができます。

- プリンタに内蔵ハードディスクが装着されている場合に利用できます。
- 印刷ジョブを蓄える内蔵ハードディスクの容量が不足した場合、[ディスク　ファイルシステム　フル]を表示し、印刷は行われません。
- プリンタドライバで内蔵ハードディスクを取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「内蔵ハードディスク」（29ページ）をご覧ください。
- 内蔵ハードディスクに「キョウツウ」パーティションが必要です。

1 アプリケーションから印刷します。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ]（WindowsXP/Server 2003では[詳細設定]）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ [印刷オプション]タブの[印刷形式]で[認証印刷]を選択します。

❺ 「認証設定」画面で「ジョブ名」、「パスワード」を入力し、[OK]をクリックします。

印刷時にジョブ名を入力する
印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。

パスワード
4桁の数字で設定します。

❻ 印刷します。
[印刷時にジョブ名を入力する]にチェックした場合、「認証設定」画面で「ジョブ名」を入力し、[OK]をクリックします。

ジョブ名
最大16文字までの半角英数字で設定します。

2 プリンタの操作パネルからパスワードを入力します。

❶ 0 を押し、[インサツ　ジョブ　メニュー]を表示します。

❷ 1 または 5 を押し、[パスワード　セッテイ]を表示します。

❸ 2 または 6 を押し、パスワードの最初の桁を入力します。

❹ 1 を押し、2つめの桁にカーソルを移動します。

❺ 手順❷, ❸を繰り返し、4桁のパスワードを入力したら、3 を押します。

❻ [ジョブ　セレクト]で 2 または 6 を押し、印刷するジョブ(手順1で入力したジョブ名)を選択します。

❼ 3 を押します。

❽ [SET COLLATING AMOUNT]が表示されたら、残りの印刷部数を確認し、3 を押します。

認証印刷ジョブが行われます。

メモ
- パスワードを誤って入力した場合は、手順❹で 1 または 5 を押すと手順❷に戻ります。
- 印刷を行わない場合は、手順❺で 7 を押すと、[ジョブ　サクジョ]と表示します。3 を押すとジョブを削除できます。
  また、OKIストレージデバイスマネージャを使ってもジョブを削除できます。

OKI ストレージデバイスマネージャでジョブを削除する方法

❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラム])-[沖データ]-[OKI ストレージデバイスマネージャ]-[OKI ストレージデバイスマネージャ]を選択します。

❷ 「プリンタの検索」画面で、プリンタを接続しているポートを選択し、[開始]をクリックします。

❸ [閉じる]をクリックします。

❹ 下のウィンドウでプリンタを選択し、[プリンタ]メニューから[スプールジョブの管理]を選択します。

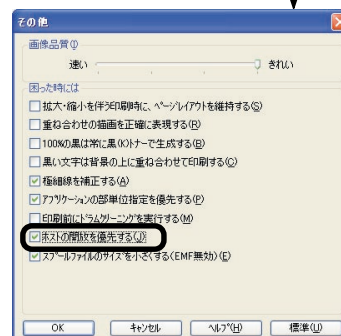
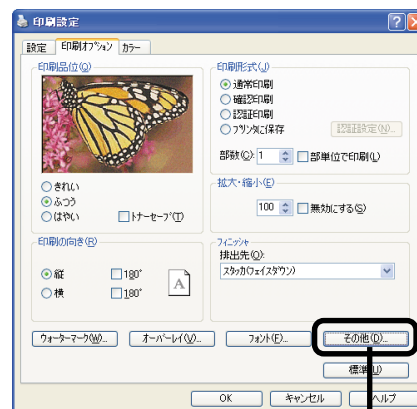
❺ [認証印刷ジョブ]にチェックが付いていることを確認し、[ユーザジョブの参照]を選択し、パスワードを入力し[パスワードの適用]をクリックします。
[全てのジョブの参照]を選択し、管理者パスワード(デフォルトはPASSWORD)を入力し、[管理者パスワードの適用]をクリックすると、プリンタに格納されているすべての認証印刷ジョブが表示されます。

❻ リストから削除したいジョブを選択し、[削除]をクリックします。

❼ 完了画面で[OK]をクリックします。

PCの開放を早くしたい(バッファ印刷)

印刷ジョブをプリンタのハードディスクに蓄えて、大容量のジョブや複雑なジョブの処理からコンピュータを早く開放することができます。

- プリンタに内蔵ハードディスクが装着されている場合に利用できます。
- 印刷ジョブを蓄える内蔵ハードディスクの容量が不足した場合、[ディスク　ファイルシステム　フル]を表示し、印刷は行われません。
- プリンタドライバで内蔵ハードディスクを取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「内蔵ハードディスク」(29ページ)をご覧ください。
- 内蔵ハードディスクに「キョウツウ」パーティションが必要です。
- バッファ印刷しない場合と比較すると、印刷完了時間は遅くなります。

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸[プロパティ](WindowsXP/Server 2003では[詳細設定])をクリックします。
(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

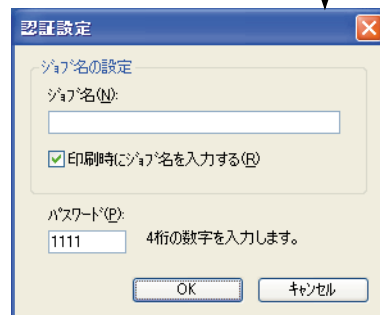
❹[印刷オプション]タブの[その他]をクリックします。

❺[ホストの開放を優先する]にチェックを付けます。

プリンタのハードディスクにジョブを保存して繰り返し印刷したい

印刷ジョブをプリンタのハードディスクに保存し、プリンタの操作パネルでパスワードを入力して何度も繰り返しそのデータを印刷することができます。

- プリンタに内蔵ハードディスクが装着されている場合に利用できます。
- 印刷ジョブを蓄える内蔵ハードディスクの容量が不足した場合、[ディスク　ファイルシステム　フル]を表示し、印刷は行われません。
- プリンタドライバで内蔵ハードディスクを取り付けたことをあらかじめ設定しておく必要があります。詳しくは「内蔵ハードディスク」(29ページ)をご覧ください。
- 内蔵ハードディスクに「キョウツウ」パーティションが必要です。

1 アプリケーションから印刷します。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ](WindowsXP/Server 2003では[詳細設定])をクリックします。
(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [印刷オプション]タブの[印刷形式]で[プリンタに保存]を選択します。

❺ 「認証設定」画面で「ジョブ名」、「パスワード」を入力し、[OK]をクリックします。

印刷時にジョブ名を入力する
印刷をかけると、ジョブ名を入力する画面がでるようになります。

パスワード
4桁の数字で設定します。

❻ 印刷します。
[印刷時にジョブ名を入力する]にチェックした場合「認証設定」画面で「ジョブ名」を入力し、[OK]をクリックします。

ジョブ名
最大16文字までの半角英数字で設定します。

2 プリンタの操作パネルからパスワードを入力します。

❶ (0)を押し、[インサツ　ジョブ　メニュー]を表示します。

❷ (1)または(5)を押し、[パスワード　セッテイ]を表示します。

❸ (2)または(6)を押し、パスワードの最初の桁を入力します。

❹ (1)を押し、2つめの桁にカーソルを移動します。

❺ 手順❷, ❸を繰り返し、4桁のパスワードを入力したら、(3)を押します。

❻ [ジョブ　セレクト]で(2)または(6)を押し、印刷するジョブ(手順1で入力したジョブ名)を選択します。

❼ (3)を押します。

❽ [SET COLLATING AMOUNT]が表示されたら、残りの印刷部数を確認し、(3)を押します。

印刷ジョブが行われます。

メモ

・パスワードを誤って入力した場合は、手順❹で(1)または(5)を押すと手順❷に戻ります。

・印刷を行わない場合は、手順❺で(7)を押すと、[ジョブ　サクジョ]と表示します。(3)を押すとジョブを削除できます。
また、OKIストレージデバイスマネージャを使ってもジョブを削除できます。

OKI ストレージデバイスマネージャでジョブを削除する方法

❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラム])-[沖データ]-[OKI ストレージデバイスマネージャ]-[OKI ストレージデバイスマネージャ]を選択します。

❷ 「プリンタの検索」画面で、プリンタを接続しているポートを選択し、[開始]をクリックします。

❸ [閉じる]をクリックします。

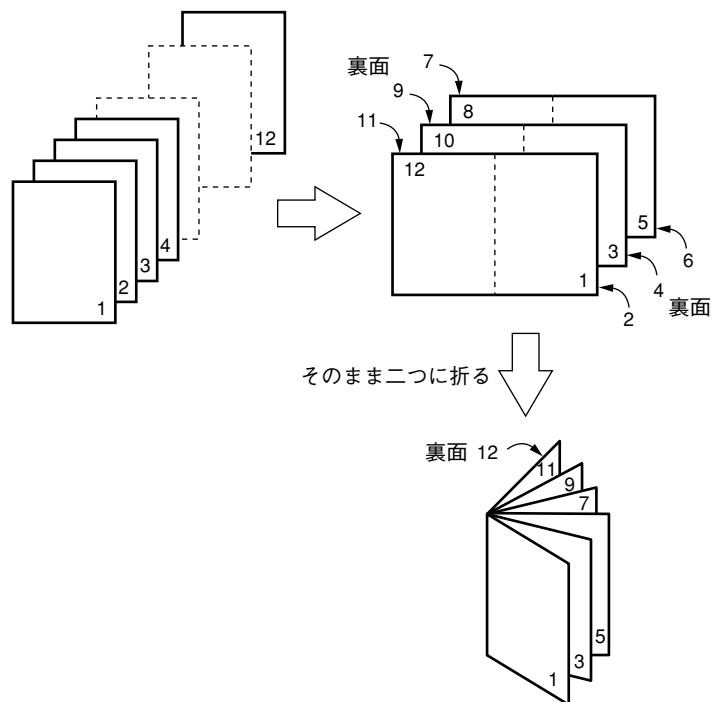
❹ 下のウィンドウでプリンタを選択し、[プリンタ]メニューから[スプールジョブの管理]を選択します。

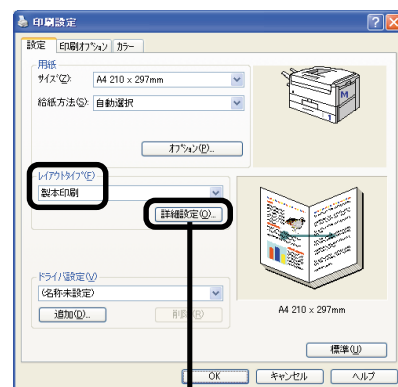
❺ [認証印刷ジョブ]にチェックが付いていることを確認し、[ユーザジョブの参照]を選択し、パスワードを入力し[パスワードの適用]をクリックします。
[全てのジョブの参照]を選択し、管理者パスワード(デフォルトはPASSWORD)を入力し、[管理者パスワードの適用]をクリックすると、プリンタに格納されているすべての認証印刷ジョブが表示されます。

❻ リストから削除したいジョブを選択し、[削除]をクリックします。

❼ 完了画面で[OK]をクリックします。

小冊子を作りたい（製本印刷）

パンフレットのような小冊子を作成できます。

 アプリケーションによっては正常に動作しない場合があります。

・WindowsXP/2000/NT4.0 /Server2003で別のコンピュータ上の共有プリンタでネットワークに接続している場合は利用できません。
・WindowsXP/2000/Server2003で[製本印刷]が選択できない場合は、[プリンタとFAX]または[プリンタ]フォルダの[OKI C9150dn]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]-[詳細設定]-[プリントプロセッサ]で[MLLAPP3]を選択してください。

❶アプリケーションを起動します。

❷[ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸[プロパティ]（WindowsXP/Server 2003では[詳細設定]）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹[設定]タブの[レイアウトタイプ]で[製本印刷]を選択します。

❺[詳細設定]をクリックし、必要に応じて[折丁]、[2up]、[右開き]、[とじ代]を設定します。

折丁
製本するページの単位です。

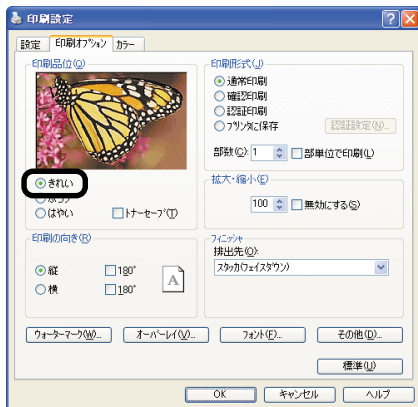
右開き
小冊子が右開きになるよう印刷します。

❻[設定]タブの[サイズ]で用紙サイズを選択し、[オプション]をクリックして[用紙サイズを変換する]にチェックを付けて、[変換]で該当する値を選択します。

メモ （例） A3サイズの用紙を使用してA4サイズの小冊子を作る場合
[詳細設定]の[用紙サイズ]で[A3]を選択します。

高解像度で印刷したい

600×1200dpiの高解像度で印刷することができます。

プリンタに64MB以上のメモリを追加（合計128MB以上）する必要があります。

❶ アプリケーションを起動します。

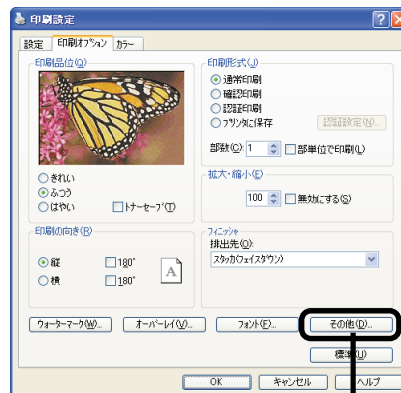
❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP/Server 2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［印刷品位］で［きれい］を選択します。

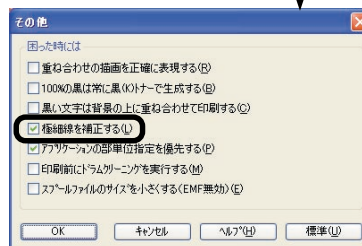
細線がかすれるのを防ぎたい

アプリケーションから極細線が指定されたとき、線がかすれて印刷されるのを防ぎます。この機能は標準でオンになっています。

アプリケーションによってはバーコードなどの間隔が狭くなることがあります。その場合はこの機能をオフにしてください。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❸ ［プロパティ］（WindowsXP/Server 2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ ［印刷オプション］タブの［その他］をクリックします。

❺ ［極細線を補正する］にチェックを付けます。

プリンタにフォームを登録したい(フォームオーバーレイ)

プリンタに帳票、ロゴなどをフォームとして登録し、重ね合わせて印刷することができます。

- プリンタに内蔵ハードディスクが装着されている場合に利用できます。
- OKI ストレージデバイスマネージャのセットアップについては、「ストレージデバイスマネージャ」(192ページ)をご覧ください。

1 フォームを作成します。

❶[印刷先のポート]を[FILE:]にします。詳しくは「印刷データをファイルに出力したい」(230ページ)をご覧ください。

❷アプリケーションでプリンタに登録したいフォームを作成します。

❸印刷します。

保存するファイル名を入力し、保存先を選択します。

❹[印刷先のポート]を元に戻します。

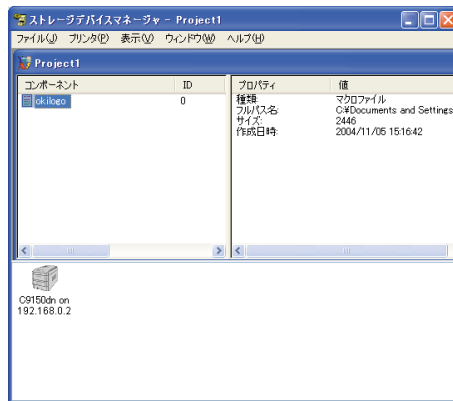
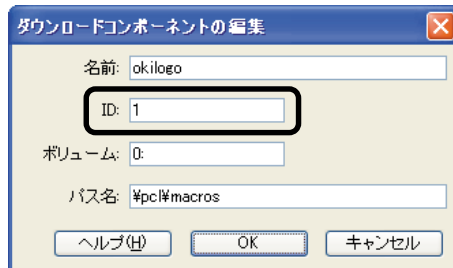
2 OKI ストレージデバイスマネージャでフォームをプリンタに登録します。

❶[スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラム])-[沖データ]-[OKI ストレージデバイスマネージャ]-[OKI ストレージデバイスマネージャ]を選択します。

❷「プリンタの検索」画面でプリンタを接続しているポートを選択し、[開始]をクリックします。

❸[閉じる]をクリックします。

❹[ファイル]メニューから[プロジェクトの新規作成]を選択します。

❺[ファイル]メニューの[プロジェクトへファイルの追加]を選択し、手順1で作成したフォームのファイルを選択します。プロジェクトにフォームファイルが追加されます。

❻プロジェクトに追加したフォームファイルをダブルクリックし、[ID]に任意の数字を入力し、[OK]をクリックします。ボリューム、パス名は変更しないでください。

❼下のウインドウでプリンタを選択し、[ファイル]メニューから[プロジェクトの送信]を選択します。フォームファイルがプリンタに登録されます。

❽[OK]をクリックします。

❾OKI ストレージデバイスマネージャを終了します。

3 プリンタドライバでオーバーレイを登録し、アプリケーションから印刷します。

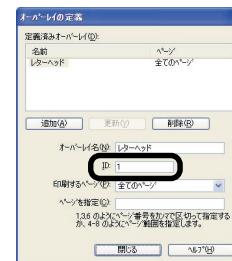
❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ](WindowsXP/Server2003では[詳細設定])をクリックします。(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [印刷オプション]タブの[オーバーレイ]をクリックします。

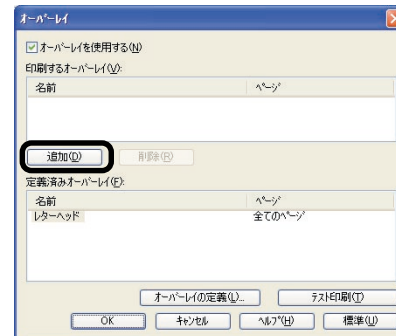
❺「オーバーレイ」画面の[オーバーレイを使用する]にチェックを付け、[オーバーレイの定義]をクリックします。

❻ [オーバーレイ名]を入力し、[ID]にOKI ストレージデバイスマネージャで登録したフォームのIDを入力します。

メモ　オーバーレイはフォームのグループです。1つのオーバーレイに3つのID(フォームファイル)を登録することができます。フォーム、オーバーレイは登録した順に重ね合わされます。

❼ [印刷するページ]でそのオーバーレイを適用するページを選択します。ページを指定して適用する場合は、「カスタム」を選択し、[ページを指定]に適用するページを入力します。

❽ [追加]をクリックします。

❾ [閉じる]をクリックします。

❿ 定義したオーバーレイの中から印刷に使用するオーバーレイを選択し、[追加]をクリックします。

⓫ [OK]をクリックします。

⓬ 印刷します。

プリンタフォントに置き換えて印刷したい

TrueTypeフォントをプリンタ内蔵フォントに置き換えて印刷できます。

フォントの置き換え機能は、文書の体裁は保持しますが、フォントのデザインを再現させるものではありません。フォントのデザインを正確に印刷する必要がある場合は、フォントの置き換え機能を無効にしてください。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

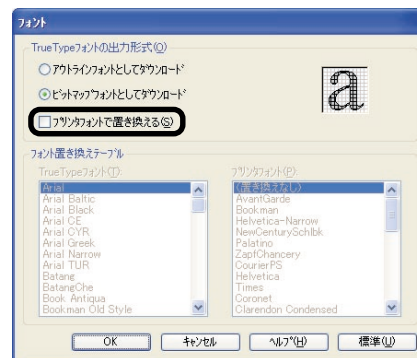
❸ [プロパティ](WindowsXP/Server 2003では[詳細設定])をクリックします。
(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [印刷オプション]タブの[フォント]をクリックします。

❺「フォント」画面の[プリンタフォントで置き換える]にチェックを付けます。

❻ [フォント置き換えテーブル]でTrueTypeフォントをどのプリンタフォントに置き換えるかを指定します。

コンピュータのフォントで印刷したい

TrueTypeフォントを画面表示のまま出力できます。

印刷時間が長くなることがあります。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ](WindowsXP/Server 2003では[詳細設定])をクリックします。
(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [印刷オプション]タブの[フォント]をクリックします。

❺「フォント」画面の[プリンタフォントで置き換える]のチェックを外します。

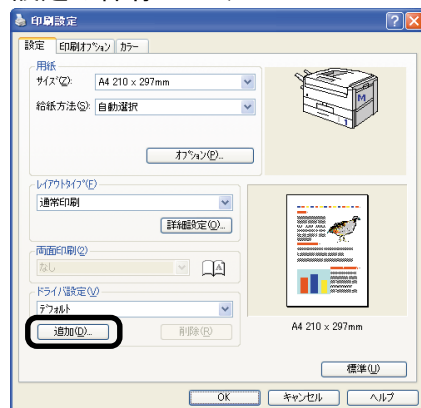
アウトラインフォントとしてダウンロード
プリンタでフォントイメージを作成します。

ビットマップフォントとしてダウンロード
プリンタドライバでフォントイメージを作成します。

プリンタドライバの設定を保存して、繰り返し使用したい

プリンタドライバで設定した内容を保存することができます。
複数箇所の設定を変更した内容を保存しておくと、次回からドライバ設定を指定するだけで自動的に複数箇所の設定が保存されていた内容に変更されます。

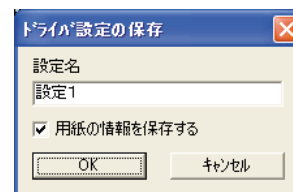
 WindowsNT4.0はコンピュータの管理者の権限が必要です。

設定を保存します

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。
（WindowsXP/Server2003では、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリックします。）

❷ プロパティを開きます。

WindowsMe/98/95の場合
[OKI C9150dn]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

WindowsXP/2000/Server2003の場合
[OKI C9150dn]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定]を選択します。

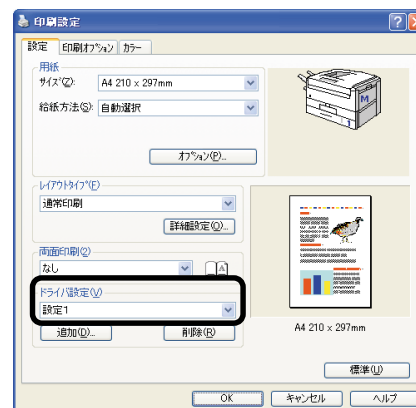
WindowsNT4.0の場合
[OKI C9150dn]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[ドキュメントの既定値]を選択します。

❸ レイアウトタイプ、印刷オプション、カラーなど各設定を変更します。

❹ [設定]タブの[ドライバ設定]で[追加]を選択します。

❺ [設定名]に設定の名前を入力し、[OK]をクリックします。

用紙の情報を保存する
チェックを付けると、[設定]タブの[用紙]の設定も保存します。

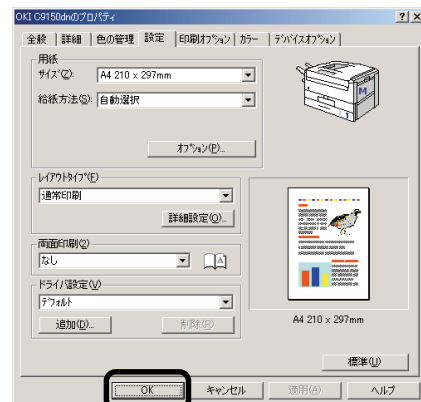
 最大14個まで保存することができます。

保存した設定を呼び出して使います

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [ドライバ設定]で、使用する設定を選択し、[OK]をクリックします。

プリンタドライバのデフォルトを変更したい

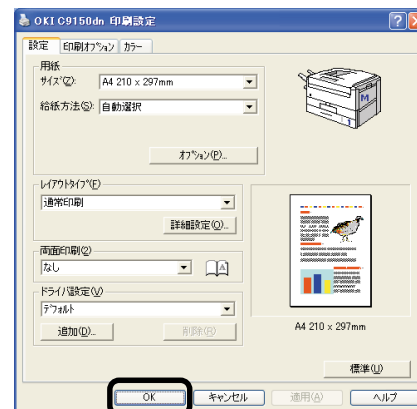
頻繁に変更する機能は初期設定を変更すると便利です。

WindowsNT4.0はコンピュータの管理者の権限が必要です。

WindowsMe/98/95プリンタドライバ

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

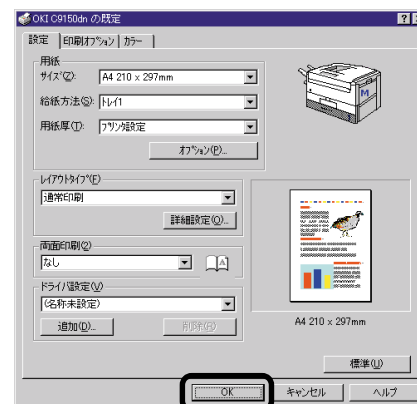
❷ [OKI C9150dn]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸ 各設定を変更し、[OK]をクリックします。

WindowsXP/2000/Server2003プリンタドライバ

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。
(WindowsXP/Server2003では、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリックします。)

❷ [OKI C9150dn]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[印刷設定]を選択します。

❸ 各設定を変更し、[OK]をクリックします。

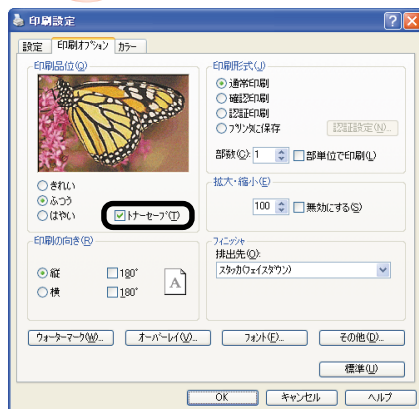
WindowsNT4.0プリンタドライバ

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷ [OKI C9150dn]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[ドキュメントの既定値]を選択します。

❸ 各設定を変更し、[OK]をクリックします。

トナーをセーブして試し印刷したい

トナーの消費量を節約するように印刷します。全体の色を明るくする(印刷の濃度を下げる)ことでトナーの消費量を節約します。同時に100%黒の色はそのまま保存することで、きれいな黒文字の再現を両立させています。
トナーセーブをしてもなるべく画像のバランスが失われにくくするために中間調をバランスよく明るくすることで調整します。このため、トナーの節約の量は印刷画像によってことなります。

注 100%黒の色には無効です。

1. アプリケーションを起動します。
2. [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。
3. [プロパティ](WindowsXP/Server 2003では[詳細設定])をクリックします。
(Windows2000では、この操作は必要ありません。)
4. [印刷オプション]タブの[トナーセーブ]をチェックします。

メモ トナーセーブとオフィスドキュメントの設定を有効/無効にした時の印刷の濃度の目安

例えば、シアン100%の色を印刷した時の濃度は表のようになります。
数値が小さいほど、印刷結果は明るい感じになります。

✓:有効　ー:無効

トナーセーブ	オフィスドキュメント	印刷の濃度
ー	ー	100%
ー	✓	約95%(標準の設定)
✓	ー	約85%
✓	✓	約70%

実際のトナーセーブとオフィスドキュメントの設定による印刷の濃度の変化は、印刷する画像によって異なります。

写真やイラストをきれいに印刷したい

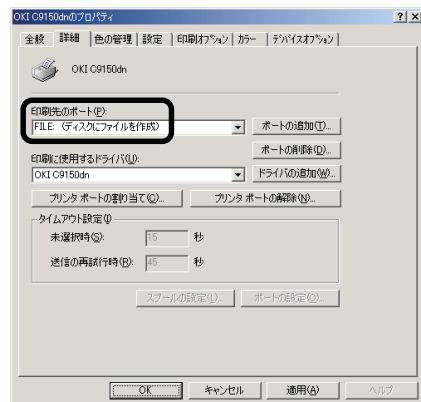
C9150dnは、標準ではトナーの消費量を抑えつつ、読み易さを損なわない、一般的なオフィスドキュメントの印刷に適した設定になっています。
写真やイラストなどの画像を多く含んだドキュメントをよりきれいに印刷したい場合は、以下の設定を行ってください。

1. アプリケーションを起動します。
2. [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。
3. [プロパティ](WindowsXP/Server 2003では[詳細設定])をクリックします。
(Windows2000では、この操作は必要ありません。)
4. [カラー]タブの[オフィスドキュメント]のチェックを外します。

印刷データをファイルに出力したい

印刷データをファイルに書き出して保存することができます。

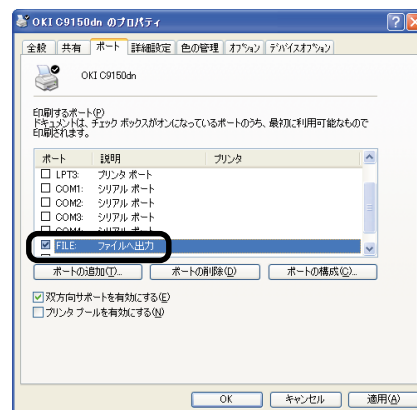
WindowsXP/2000/NT4.0はコンピュータの管理者の権限が必要です。

WindowsMe/98/95プリンタドライバ

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

❷ [OKI C9150dn]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸ [詳細]タブの[印刷先のポート]で[FILE:]を選択し、[OK]をクリックします。

❹ 印刷します。[ファイルへ出力]で[ファイル名]を入力し、[フォルダ]を選択し、[OK]をクリックします。

WindowsXP/2000/Server2003/NT4.0プリンタドライバ

❶ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。
(WindowsXP/Server2003では、[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]をクリックします。)

❷ [OKI C9150dn]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❸ [ポート]タブの[印刷するポート]で[FILE:]を選択し、[OK]をクリックします。

❹ 印刷します。[ファイルへ出力]で[出力先ファイル名]を入力し、[OK]をクリックします。

10 カラーについて

カラーマッチングについて

カラーマッチング

データの作成から出力までに至る作業過程において、カラーを一貫した手法に基づいて管理することが重要になります。例えばスキャナやデジタルカメラやモニタ等は黒に対して「赤」「青」「緑」の3色の光を加えた配合率をRGBカラー空間上の値としてカラーを表現します(加法混色)。一方プリンタは白(白色光)に対して、「赤」「青」「緑」の3色を反射光から取り除く、「シアン」「マゼンタ」「イエロー」と「黒」の4色のトナーの配合率をCMYKカラー空間上の値としてカラーを表現します(減法混色)。RGBカラー空間やCMYKカラー空間は、お使いの機器に依存したカラー空間であるために、カラー空間を変換する際にそれぞれの機器の特性を考慮しないと再現された色も異なった色になってしまいます。

データの作成から出力までカラーの一貫性を維持するには、機器によるカラーの違いを考慮してカラー変換する必要があります。この処理をカラーマッチングといいます。カラーマッチングを行うプログラムをカラーマネジメントシステム(CMS)といいます。

本プリンタでは、プリンタドライバのカラーマッチングとアプリケーションのカラーマッチングを利用することができます。

カラーマッチングを使用しても、印刷色がモニタ上の色に比べくすんで見えることがあります。これはプリンタで再現できる色の範囲がモニタで再現できる色の範囲より狭いため、カラーマッチングを使用してもモニタ上の鮮やかなカラーが再現できないためです。

簡単にカラーマッチングしたい

プリンタドライバでカラーマッチングを行います。RGBカラースペースの印刷データをプリンタのCMYKカラースペースに変更する際にカラーマッチング処理が適用されます。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ](WindowsXP/Server 2003では[詳細設定])をクリックします。
(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [カラー]タブの[カラーモード]で[カラー(推奨)]を選択します。

[カラー(ユーザ設定)]にすると[カラー調整]、[黒の生成]、[明暗の調整]が設定できます。

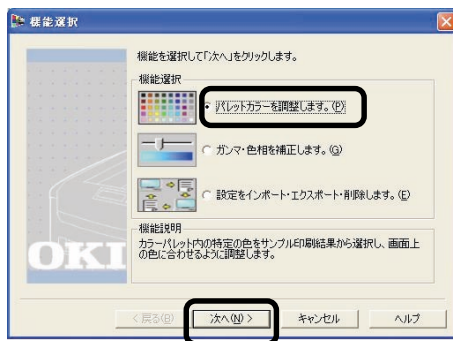
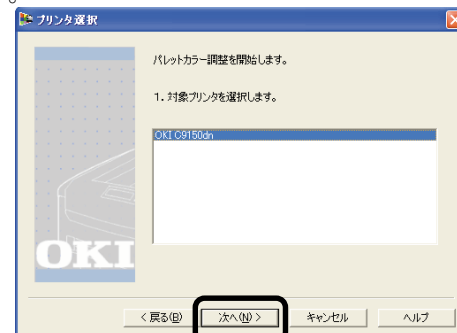
パレットカラーを変更してカラーマッチングしたい

カラー調整ユーティリティを使用して、Microsoft ExcelやWordなどで選択したパレットの色を調整範囲内で指定することができます。

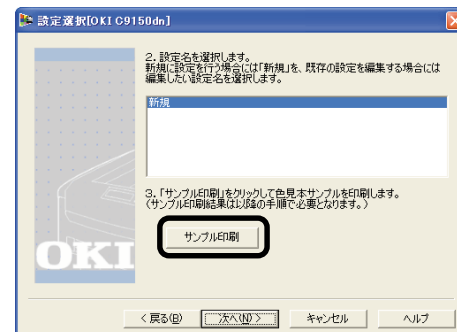
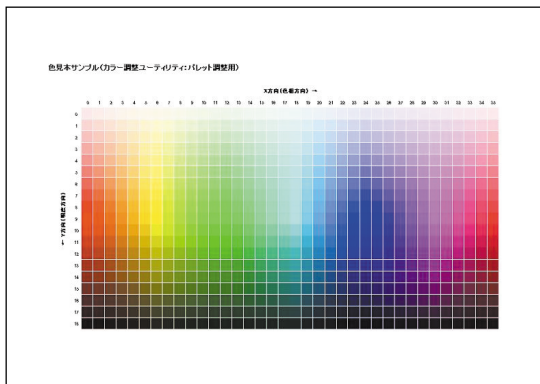
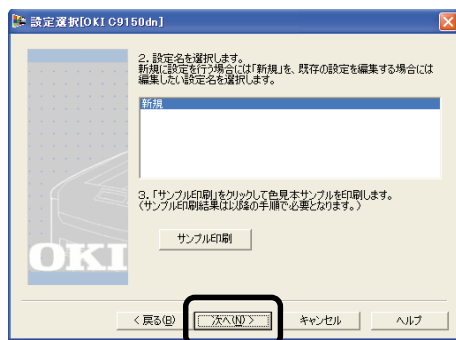
- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、138ページをご覧ください。
- プリンタドライバごとに設定を行ってください。
- テスト印刷はB5サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。
- カラー調整ユーティリティを使用してカラーマッチングを行う場合、WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003ではコンピュータの管理者の権限が必要です。

1 カラー調整ユーティリティで、カラー調整を行います。

❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラム])-[沖データ]-[カラー調整ユーティリティ]-[カラー調整ユーティリティ]を選択します。

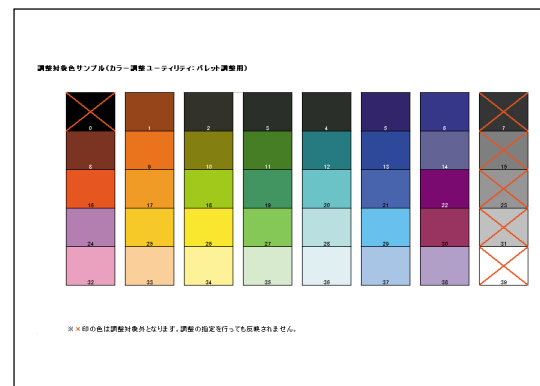
❷ [パレットカラーを調整します]を選択し、[次へ]をクリックします。

❸ 「プリンタ選択」画面が表示されたら、使用するプリンタを選択し、[次へ]をクリックします。

カラー調整ユーティリティが起動します。

メモ インストールされているプリンタドライバが表示されます。プリンタドライバごとに設定を行ってください。

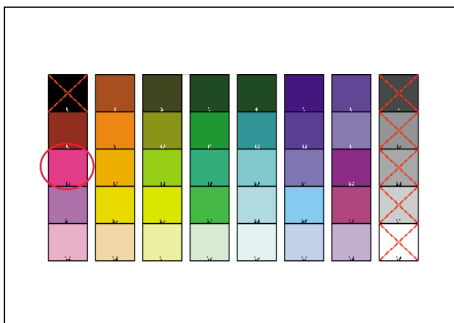
❹ 設定選択ページが表示されたら、リストボックスから設定を選択して[サンプル印刷]をクリックします。

「色見本サンプル」が印刷されます。

❺［次へ］をクリックします。

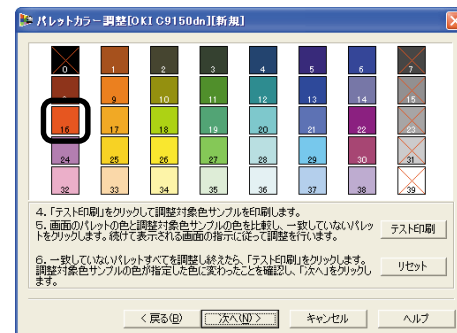
「パレットカラー調整」画面が表示されます。

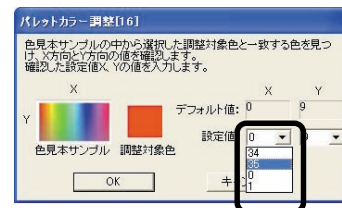
❻［テスト印刷］をクリックします。

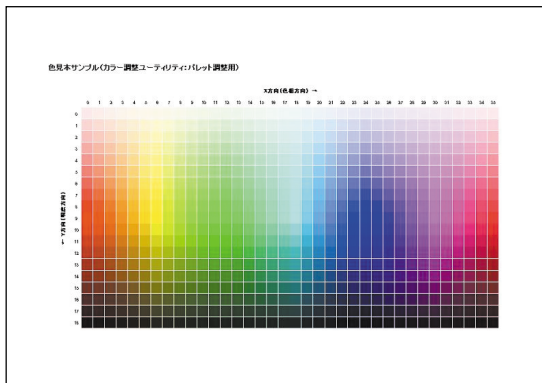
「調整対象色サンプル」が印刷されます。

×印がついている色は調整できません。

❼「パレットカラー調整」画面のパレット（画面色）と、印刷された「調整対象色サンプル」を比較します。異なる色があった場合、調整を行います。（以下は赤丸の部分のパレットカラーを調整する場合の例です）

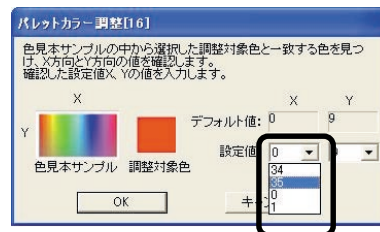
《調整対象色サンプル》

《「パレットカラー調整」画面》

❽「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）をクリックします。

「調整値入力」画面が表示されます。

❾X値、Y値のプルダウンで調整可能な範囲を確認します。

メモ　全体のバランスを考慮して、調整可能な範囲は色により異なります。

⑩「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）に対して調整範囲内で最も希望する色を「色見本サンプル」の中から探し、X方向（色相）、Y方向（明度）の値（X値、Y値）を確認します。

⑪「パレットカラー調整」画面の調整対象色（画面色）をクリックします。

「調整値入力」画面が表示されます。

⑫「調整値入力」画面で、⑩で確認したX値とY値を選択し、[OK]をクリックします。

「パレットカラー調整」画面に戻ります。

⑬[テスト印刷]をクリックして「調整対象色サンプル」を印刷します。変更後の「調整対象色サンプル」の色が、設定した値の色見本サンプルの色に近づいているか確認し、[次へ]をクリックします。

他にも調整したい色がある場合は、❽〜⑬を繰り返します。

⓮ 設定の名前を入力し、[保存]をクリックします。

⓯ [OK]をクリックします。

注 プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。[設定選択]にカラー調整名が表示されるのを確認し、[終了]をクリックしてください。

⓰ [完了]をクリックし、カラー調整ユーティリティを終了します。

2 プリンタドライバで設定名を選択し、印刷します。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ](WindowsXP/Server 2003では[詳細設定])をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❹ [カラー]タブの[カラーモード]で[カラー(ユーザ設定)]を選択します。

❺ [カラー調整]で[ユーザー設定]にチェックを付け、カラー調整ユーティリティで作成した設定値を選択します。

プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。[設定選択]にカラー調整名が表示されるのを確認し、[終了]をクリックしてください。

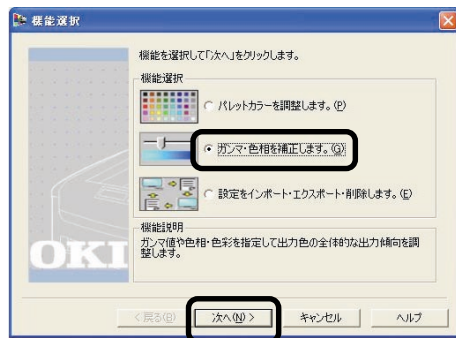
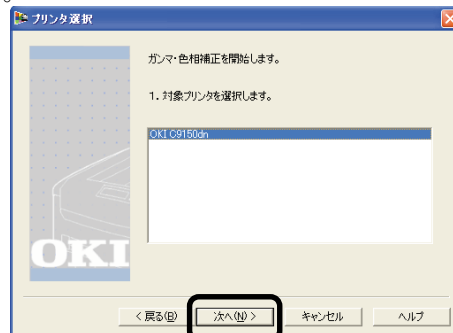
ガンマ値や色相を変更してカラーマッチングしたい

カラー調整ユーティリティを使用して、ガンマ値や色相を調整してカラーマッチングすることができます。

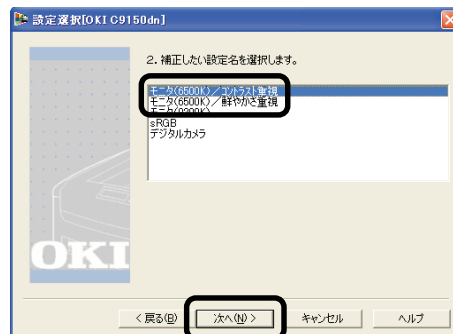
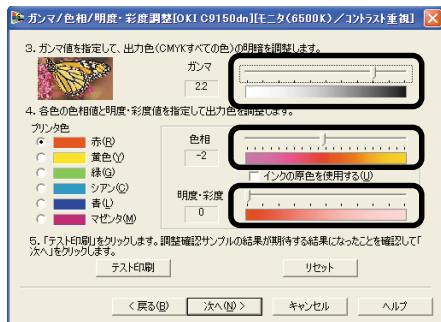
- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、138ページをご覧ください。
- プリンタドライバごとに設定を行ってください。
- テスト印刷はB5サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。
- カラー調整ユーティリティを使用してカラーマッチングを行う場合、WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003ではコンピュータの管理者の権限が必要です。

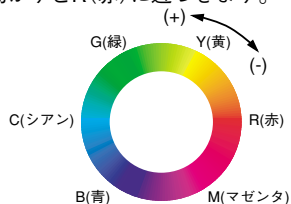
1 カラー調整ユーティリティで、ガンマ値・色相などを変更します。

❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラム])-[沖データ]-[カラー調整ユーティリティ]-[カラー調整ユーティリティ]を選択します。

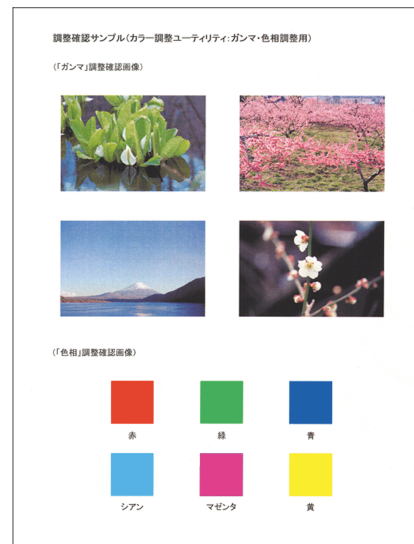
❷ [ガンマ・色相を補正します]を選択し、[次へ]をクリックします。

❸「プリンタ選択」画面が表示されたら、調整するプリンタを選択し、[次へ]をクリックします。

カラー調整ユーティリティが起動します。

メモ　インストールされているプリンタドライバが表示されます。プリンタドライバごとに設定を行ってください。

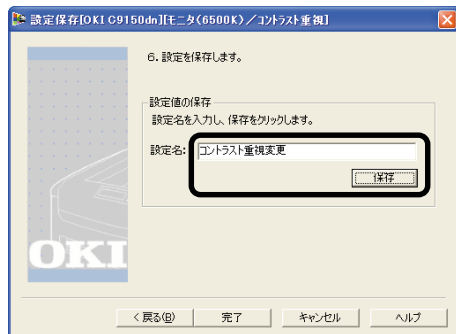
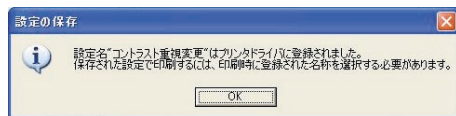
❹ リストボックスから基準となるモードを選択し、[次へ]をクリックします。

❺ ガンマ、色相、明度・彩度の各スライドバーの値を変更して調整します。

メモ

・ガンマ用スライドバーで全体の明暗を、色相/明度用スライドバーで出力色を調整できます。
・[ガンマ]を左方向に調整するほど明るくなります。
・プリンタ色ボタンで調整対象色が切り替えられます。
・[色相]は色相環の順方向(+)または逆方向(−)に各色を調整します。例えば、Y(黄)のスライドバーを(+)方向に動かすとG(緑)に近づき、(−)方向に動かすとR(赤)に近づきます。

・[インクの原色を使用する]にチェックを付けると、プリンタの標準の色相に一致させることができ、以下のように印刷します。

色相	印刷トナー
R	イエロー50% + マゼンタ50%
Y	イエロー100%
G	シアン50% + イエロー50%
C	シアン100%
B	マゼンタ50% + シアン50%
M	マゼンタ100%

❻ [テスト印刷]をクリックします。

「調整確認サンプル」が印刷されます。

❼ 調整結果を確認し、[設定]をクリックします。

希望する調整結果が得られない場合は、手順❺、❻を繰り返します。

❽ [保存]をクリックします。

❾ 設定の名前を入力し、[OK]をクリックします。

❿ [OK]をクリックします。

注 プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。[設定選択]にカラー調整名が表示されるのを確認し、[完了]をクリックしてください。

⓫ [完了]をクリックし、カラー調整ユーティリティを終了します。

2 プリンタドライバで設定名を選択し、印刷します。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ](WindowsXP/Server 2003では[詳細設定])をクリックします。
(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [カラー]タブの[カラーモード]で[カラー(ユーザ設定)]を選択します。

❺ [カラー調整]で[ユーザー設定]にチェックを付け、カラー調整ユーティリティで作成した設定値を選択します。

注 プリンタドライバのアップデート、再インストールを行った場合は、カラー調整ユーティリティを起動すると、作成したカラー調整名を再度読み込みます。[設定選択]にカラー調整名が表示されるのを確認し、[終了]をクリックしてください。

色見本印刷して希望色のRGB値を決めたい

色見本印刷ユーティリティはプリンタでRGB色の見本を印刷するためのユーティリティです。印刷された色見本を見ることにより、希望する色を印刷するにはアプリケーションでどのようなRGB値の指定を行えばよいかを確認することができます。

- Windows95では利用できません。
- 色見本印刷ユーティリティのセットアップについては、138ページをご覧ください。

1 色見本を印刷します。

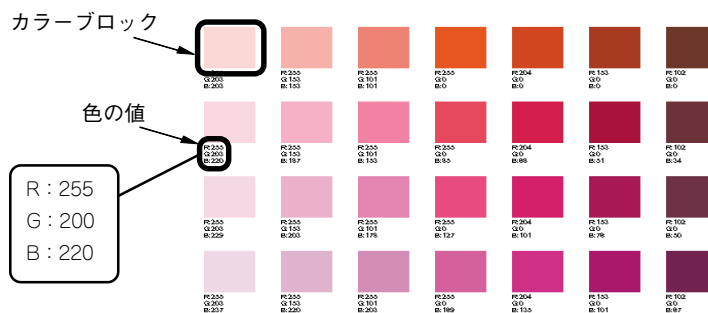
❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラム])-[沖データ]-[色見本印刷ユーティリティ]-[色見本印刷ユーティリティ]を選択します。

❷ [ファイル]メニューの[プリント]を選択します。

❸ プリンタを選択します。

❹ [OK]または[印刷]をクリックします。

色見本が3ページ印刷されます。

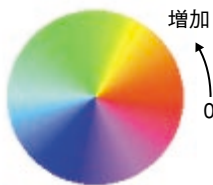
(サンプル)

メモ　カラーブロックの下に表示されるRGB値は、カラーブロックのR(赤)、G(緑)、B(青)の色の成分量(0～255)を表しています。

❺ 印刷された色見本から、印刷したい色を選択し、印刷されているRGB値をメモします。

メモ 色見本に印刷したい色がない場合は、以下の手順で色見本のカスタマイズを行います。

❶［ファイル］メニューの［カスタム色見本］を選択します。

❷希望の色がモニタ画面で表示されるまで、3つのバーを調整し、［OK］をクリックします。

色相：色相を変更します。0は赤を示し、値を増加すると緑方向へひと回りします。

彩度：鮮やかさを変更します。彩度が高ければより鮮やかに、低ければ濁った色（グレー）となります。

明度：濃さを変更します。明度が最大（100%）の場合には白、最も暗くなる（0%）と黒となります。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹プリンタを選択します。

❺［OK］または［印刷］をクリックします。

プリンタから1ページ印刷されます。

❻色見本に希望する色が見つからない場合は、手順❶から繰り返します。

2 アプリケーションから希望する色を印刷します。

❶アプリケーションを起動します。

❷アプリケーション上で、テキストやグラフィックを選択し、印刷したい色の色見本のRGB値を変更します。

注 アプリケーション上での色の指定方法は、各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

❸印刷します。

注 アプリケーションから希望する色を印刷する際、色見本を印刷したときに使用した設定値と同じプリンタドライバ設定値を使用し

特定の色味を強くしたい、または弱くしたい

プリンタの色味を好みに合わせて調整する場合は、プリンタの操作パネルで調整を行ってください。
調整は、各色の淡い(Highlight)・濃い(Dark)・中間(Mid-tone)の3か所の部分を濃くしたり、薄くしたりすることで指定します。
ここでは、シアンの色の淡い部分を少し濃くする手順について説明します。シアンの他の部分や、他の色を調整したい場合は、それぞれの色について調整を行ってください。

プリントジョブアカウンティングで[ローカルプリント]が[印刷不可]、または[カラー印刷不可]に設定されている場合は印刷できません。

1 カラー調整パターンを印刷します。

❶ トレイにA4用紙をセットします。

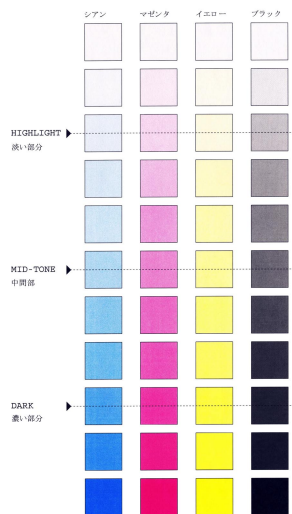
❷ 0 を数回押し、[カラー　メニュー]を表示します。

❸ 1 または 5 を数回押し、[カラー　チョウセイ／パターン　インサツ]を表示します。

❹ 3 を押します。

カラー調整パターン印刷が開始されます。

カラー調整パターンには四角が縦11行、横4列で配置されていて、縦11行は色の調子を表しており、[HIGHLIGHT淡い部分]、[MID-TONE中間部]、[DARK濃い部分]とそれぞれの文字右側に破線が印刷されています。
横4列は左からシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックを表しており、[シアン]、[マゼンタ]、[イエロー]、[ブラック]と印刷されています。

❺ 4 を押し、[オンライン]にします。

2 シアンの色の調子を調整します。

淡い部分の調整は、淡い部分（Highlight）の設定値を変更します。

❶ ⓪を数回押し、［カラー　メニュー］を表示します。

❷ ①または⑤を数回押し、［シアン　HIGHLIGHT／XX］（XXは現在設定されている値）を表示します。

❸ ②または⑥を数回押し、現在設定されている値より数字を増やします。

メモ　数字を増やすと濃い方向に、減らすと薄い方向に調整されます。

❹ ③を押します。数字の右側に［*］が表示されます。

❺ ④を押し、［オンライン］にします。

3 アプリケーションから印刷します。

好みの調子にならない場合は手順1, 2を繰り返してください。

色ずれ補正を微調整したい

シアン、マゼンタ、イエロー各色の黒に対する版ずれを色ずれと呼びます。
プリンタは自動色ずれ補正機能により定期的に補正を行っていますが、印刷条件によっては色ずれが気になる場合があります。
用紙送り方向の色ずれについては、自動補正結果に対してさらに手動で微調整することができます。実際の印刷結果で気になる部分を微調整してください。

ここでは、シアンを微調整する手順を説明します。調整したい色が他にもある場合は同様の手順で調整を行ってください。

1 シアンの色ずれを微調整します。

印刷結果をみて用紙送り方向に対してシアンが上方向にずれている場合

❶ (0)を数回押し、[カラー　メニュー]を表示します。

❷ (1)または(5)を数回押し、[シアン　イチズレ　ビチョウセイ／XX](XXは現在設定されている値)を表示します。

❸ (2)または(6)を数回押し、現在設定されている値より数字を増やします。

メモ 設定値のプラスは黒を基準として画像が下方向に調整されます。

❹ (3)を押します。数字の右側に[*]が表示されます。

❺ (4)を押し、[オンライン]にします。

2 印刷します。

色ずれが気になる場合は上記手順を繰り返してください。

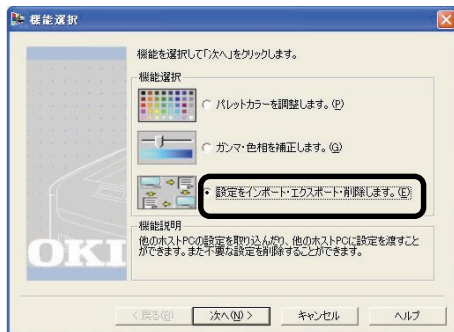
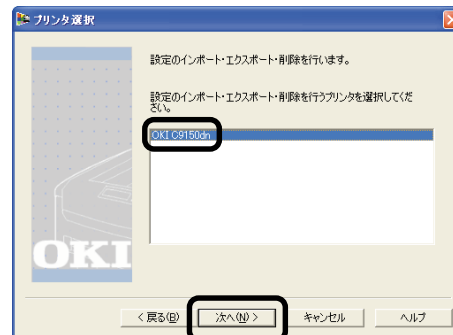
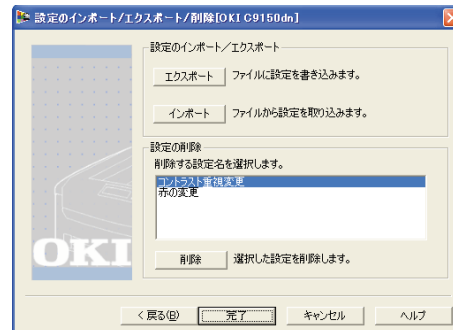
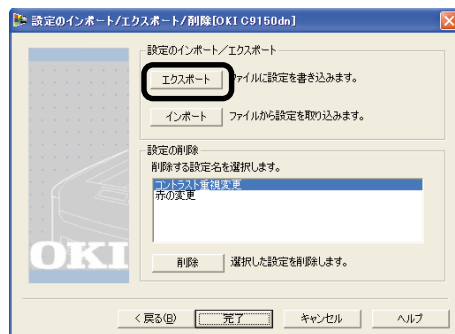
カラー調整の設定をファイルに保存したい

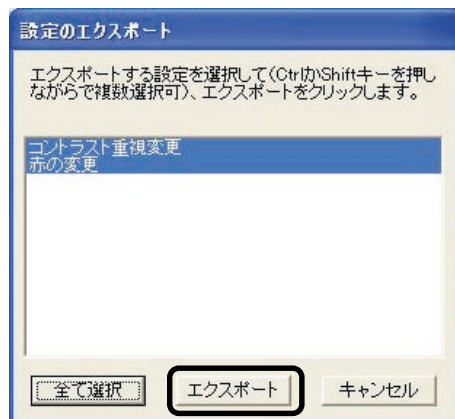
カラー調整ユーティリティで設定した内容をファイルに保存できます。

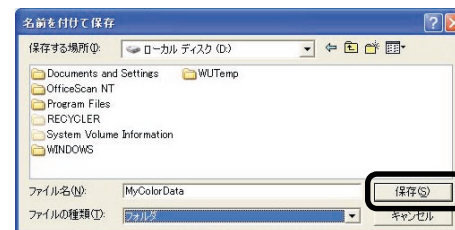
- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、138ページをご覧ください。
- プリンタドライバごとに設定を行ってください。
- テスト印刷はB5サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。
- カラー調整ユーティリティを使用するには、WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003ではコンピュータの管理者の権限が必要です。

1 カラー調整ユーティリティを起動します。

❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラム])-[沖データ]-[カラー調整ユーティリティ]-[カラー調整ユーティリティ]を選択します。

❷ [設定をインポート・エクスポート・削除します]を選択し、[次へ]をクリックします。

❸ 設定を保存したいプリンタを選択し、[次へ]をクリックします。

「設定のインポート/エクスポート/削除」画面が表示されます。

2 設定を保存します。

❶［エクスポート］をクリックします。

❷「設定のエクスポート」画面で設定リストからエクスポートしたい設定を選択し、［エクスポート］をクリックします。

メモ　Ctrlキーまたは Shiftキーを押しながら選択すると、複数の設定を選択できます。

❸保存場所を選択し、設定用のフォルダ名を入力して［保存］をクリックします。

❹［OK］をクリックします。

❺［完了］をクリックし、カラー調整ユーティリティを終了します。

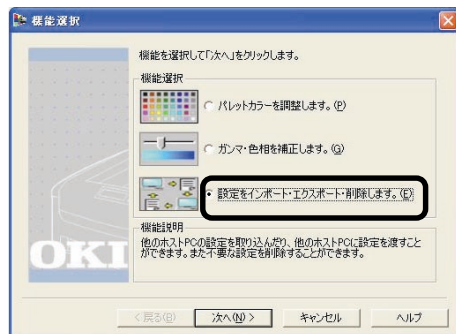
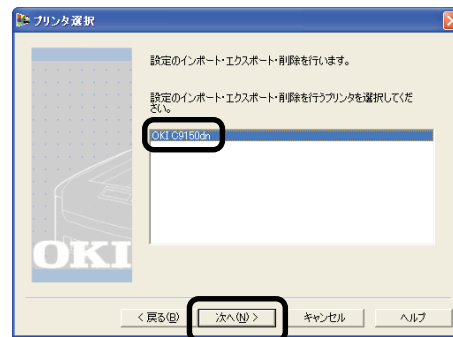
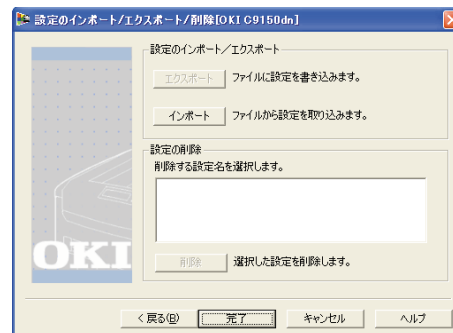
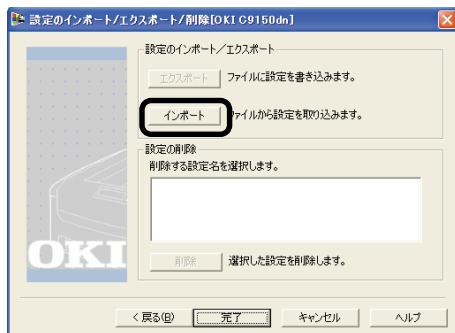
カラー調整の設定をファイルから読み込みたい

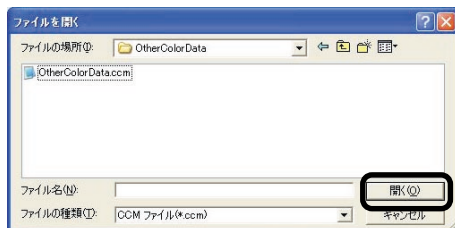
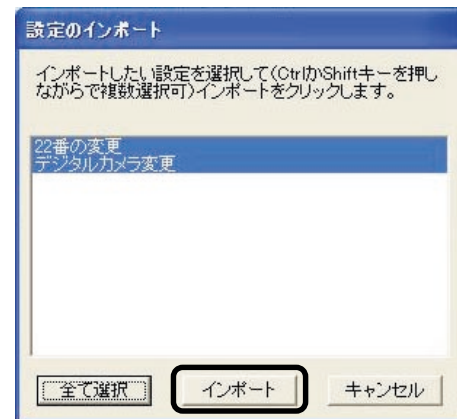
カラー調整の設定をファイルから読み込むことができます。

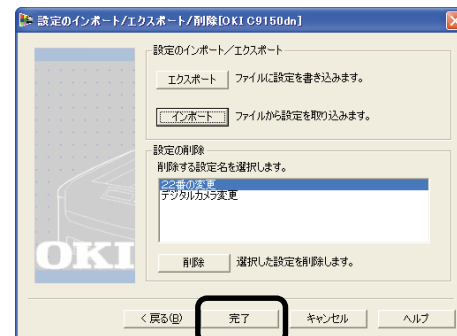
- カラー調整ユーティリティのセットアップについては、138ページをご覧ください。
- プリンタドライバごとに設定を行ってください。
- テスト印刷はB5サイズ以上の用紙を使用してください。
- プリンタの共有で接続されているプリンタでは使用できません。
- カラー調整ユーティリティを使用するには、WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003ではコンピュータの管理者の権限が必要です。

1 カラー調整ユーティリティを起動します。

❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラム])-[沖データ]-[カラー調整ユーティリティ]-[カラー調整ユーティリティ]を選択します。

❷ [設定をインポート・エクスポート・削除します]を選択し、[次へ]をクリックします。

❸ 設定を読み込みたいプリンタを選択し、[次へ]をクリックします。

「設定のインポート/エクスポート/削除」画面が表示されます。

2 設定を読み込みます。

❶［インポート］をクリックします。

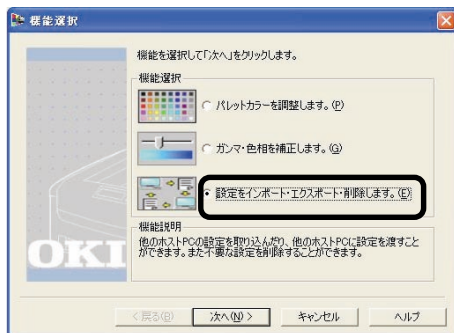
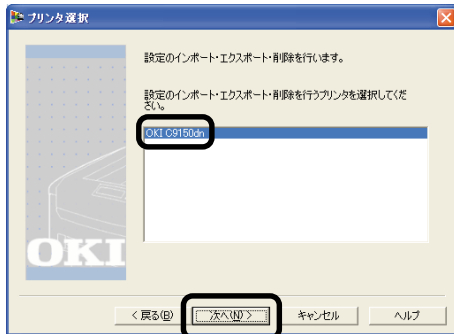
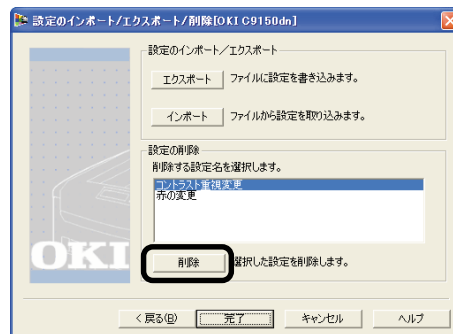
❷読み込みたい設定が保存されているフォルダ内の“.CCM”ファイルを選択し、［開く］をクリックします。

❸「設定のインポート」画面の設定リストからインポートしたい設定を選択し、［インポート］をクリックします。

メモ　Ctrlキーまたは Shiftキーを押しながら選択すると、複数の設定を選択できます。

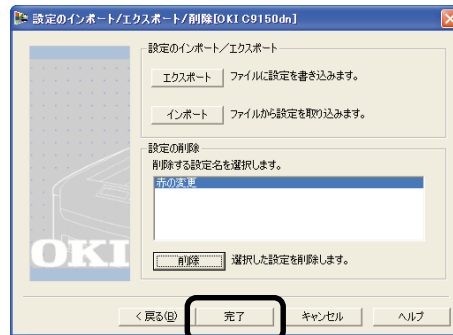
❹設定が読み込めたことを確認し、［完了］をクリックします。

カラー調整の設定を削除したい

不要になったカラー調整を削除できます。

1 カラー調整ユーティリティを起動します。

❶ [スタート]-[プログラム](WindowsXPでは[すべてのプログラム])-[沖データ]-[カラー調整ユーティリティ]-[カラー調整ユーティリティ]を選択します。

❷ [設定をインポート・エクスポート・削除します]を選択し、[次へ]をクリックします。

❸ 設定を保存したいプリンタを選択し、[次へ]をクリックします。

❹ 削除したい設定をリストから選択し、[削除]をクリックします。

❺ [はい]をクリックし、設定を削除します。

❻ 設定が削除されたことを確認し、[完了]をクリックします。

黒の部分の仕上りを変更したい

カラーで印刷するときの黒の部分の仕上りを変えられます。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ](WindowsXP/Server 2003では[詳細設定])をクリックします。
(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [カラー]タブで[カラー(ユーザ指定)]を選択し、[黒の生成]から適当な項目を選択します。

黒の生成

- 自動
  印刷するドキュメントに合わせて最適な方法で黒を生成します。
- CMYKトナーで生成
  イメージ中の黒の生成方法を指定します。
  シアン、マゼンタ、イエロー、黒のトナーで黒を合成します。茶色に近い黒になります。
- 黒(K)トナーのみで生成
  黒トナーのみで黒を印刷します。

モノクロ(白黒)で印刷したい

印刷データに手を加えることなく、カラーデータをグレースケール(階調のある白黒)で印刷します。

❶ アプリケーションを起動します。

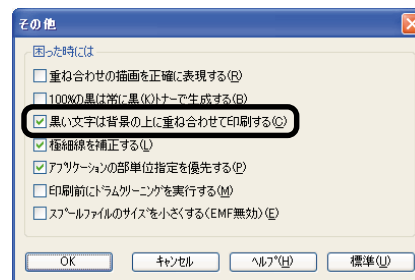
❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ](WindowsXP/Server 2003では[詳細設定])をクリックします。
(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [カラー]タブの[カラーモード]で[グレースケール]を選択します。

文字と背景の間の白すじをなくしたい(ブラックオーバープリント)

黒100%の文字を色の付いた背景上に描画する場合に、文字と背景部分を重ねあわせて印刷(オーバープリント)することができます。文字と背景の境界に白すじなどの隙間ができた場合に設定してください。

- アプリケーションによっては利用できない場合があります。
- 文字が黒100%でない場合や、文字がアウトライン抽出等によりグラフィックス化されている場合やイメージとなっている場合には利用できません。
  例えば、WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003でMicrosoft Officeアプリケーションを使用する場合、True Typeフォントを使用して大きな文字を印刷すると、アプリケーション側で文字をグラフィックイメージに置き換えるため、ブラックオーバープリントが効かないことがあります。この場合はプリンタ内蔵フォントを指定してください。
- 背景の色が濃い場合(トナー層厚として240%を超える場合)にはトナーがきちんと定着しないことがあります。例えばシアン50%、マゼンタ50%、イエロー50%の背景色の上に黒100%の文字を描画すると、トナー層厚は50+50+50+100=250%となり、240%を超えることになります。

❶ アプリケーションを起動します。

❷ [ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❸ [プロパティ](WindowsXP/Server 2003では[詳細設定])をクリックします。
(Windows2000では、この操作は必要ありません。)

❹ [印刷オプション]タブの[その他]をクリックします。

❺ [黒い文字は背景の上に重ね合わせて印刷する]にチェックを付けます。

11 ネットワーク機能について

ネットワーク設定項目の一覧

プリンタのネットワーク機能で設定できる項目を説明します。
現在設定されている値は、ネットワークの設定情報(Network Information)で確認できます。
設定値を変更するには、TELNET, Webブラウザ, AdminManager, Quick Setupを使用します。

TCP/IP

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager		
TCP/IP Protocol	TCP/IP	TCP/IPプロトコルを使用する	ENABLE(使用する) DISABLE(使用しない)	TCP/IP プロトコルの使用/非使用を設定します。
IP Address	IPアドレス	IPアドレス	192.168.100.100	IP アドレスを設定します。
Subnet Mask	サブネットマスク	サブネットマスク	255.255.255.0	サブネットマスクを設定します。
Default Gateway	ゲートウェイアドレス	デフォルトゲートウェイ	192.168.100.254	ゲートウェイ(デフォルトルータ)アドレスを設定します。0.0.0.0 はルータなしを意味します。
RARP Protocol	RARP	RARPを使用する	ENABLE(使用する) DISABLE(使用しない)	RARPサーバへIPアドレス取得を要求するか、しないかを設定します。
DHCP/BOOTP Protocol	DHCP/BOOTP	DHCP/BOOTPを使用する	ENABLE(使用する) DISABLE(使用しない)	DHCP/BOOTPサーバへIPアドレス取得を要求するか、しないかを設定します。
Auto IP Address	サーバを使用しないアドレス解決	Network PnP 設定IPアドレス自動設定	ENABLE(自動設定する) DISABLE(自動設定しない)	サーバを使用しないでIPアドレスを取得する機能の使用/非使用を設定します。
DNS Server(Pri.)	DNSサーバアドレス(プライマリ)	DNSサーバプライマリサーバ	0.0.0.0	プライマリDNSサーバのIPアドレスを設定します。SMTP(E-Mail)プロトコルを使用するときに設定してください。「SMTP Server Name」をIPアドレスで設定する場合は、設定する必要はありません。
DNS Server (Sec.)	DNSサーバアドレス(セカンダリ)	DNSサーバセカンダリサーバ	0.0.0.0	セカンダリDNSサーバのIPアドレスを設定します。SMTP(E-Mail)プロトコルを使用するときに設定してください。「SMTP Server Name」をIPアドレスで設定する場合は、設定する必要はありません。

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager		
Network PnP	自動検出機能 Windows（ネットワーク・プラグ・アンド・プレイ使用）	Network PnP設定 Network PnPを使用する	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	WindowsのネットワークPlug&Play機能の使用／非使用を設定します。
Printer Name	自動検出機能 プリンタ名	Network PnP 設定デバイス名	「ML」+「イーサネットアドレス下6桁」	ネットワークPlug&Play機能で、プリンタ名をコンピュータにどのように表示させるかを設定します。
root Password	パスワード設定	rootパスワード	イーサネットアドレス下6桁	管理者パスワードを変更します。15文字以内の英数字です。大文字、小文字は区別されます。忘れてしまうと設定を変更できなくなります。
−	link-localアドレス	−	169.254.xxx.xxx	Network Plug&Playのサービスで使用されるアドレスです。 本アドレスは自動的に決定されます。各ユーティリティや操作パネルからは変更できません。

SNMP

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager		
SysContact	System Contact	SysContact	なし	システム管理者の連絡先を入力します。半角で255文字以内、全角で127文字以内です。
SysName	System Name	SysName	なし	プリンタの名前を入力します。半角で255文字以内、全角で127文字以内です。
SysLocation	System Location	SysLocation	なし	プリンタの設置場所を入力します。半角で255文字以内、全角で127文字以内です。
−	プリンタ管理番号	−	なし	お客様がプリンタを管理するための数値を入力することができます。半角で8文字以内です。

NetWare

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager		
NetWare Protocol	NetWare	NetWareプロトコルを使用する	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	NetWareの使用／非使用を設定します。
Protocol	通信プロトコル	プロトコル	IPX TCP/IP	NetWareを動作させるプロトコルをIPXかTCP/IPに設定します。
Frame Type	フレームタイプ	フレームタイプ	AUTO ETHER-II（ETHERNET-II） 802.2（IEEE802.2） 802.3（IEEE802.3） SNAP(SNAP)	NetWare上でプリンタが接続するフレームタイプを設定します。この値は通常変更する必要はありません。
PrinterName	プリンタ名	NetWareプリンタ名	「ML」+「イーサネットアドレス下6桁」+「-prn1」	リモートプリンタを動作させるときの設定項目でプリンタ名を設定します。ファイルサーバの設定内容と合わせる必要があります。
NetWare Mode	印刷モード	動作モード	RPRINTER（リモートプリンタ） PSERVER（プリントサーバ）	動作モードをプリントサーバモードかリモートプリンタモードにするか設定します。

プリントサーバ

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager		
IP NDS Tree	ツリー	NDSツリー名	なし	NDSのツリー名を設定します。プリントサーバを登録したファイルサーバが属するツリー名を指定してください。31文字以内の英数字です。 この設定はNetWareのプロトコルをIPに設定したときのみ有効です。
IP NDS Context	コンテキスト	NDSコンテキスト	なし	NDSのコンテキスト名を設定します。プリントサーバの属するコンテキスト名を指定してください。77文字以内の英数字です。この設定はNetWareのプロトコルをIPに設定したときのみ有効です。
IP Print Server Name	プリントサーバ名	プリントサーバ名	「ML」+「イーサネットアドレス下6桁」	ファイルサーバの名前を設定します。最大8台のファイルサーバを指定できます。47文字以内の英数字です。 この設定はNetWareのプロトコルをIPに設定したときのみ有効です。
IP Password	−	−	なし	ファイルサーバにログインするためのパスワードを設定します。31文字以内の英数字です。 ファイルサーバにプリンタ用のパスワードを設定した場合にはこの項目の設定が必要です。 この設定はNetWareのプロトコルをIPに設定したときのみ有効です。
IP Job Polling Time	−	−	2秒 ～ 4秒 ～ 255秒	キューにジョブを見つけに行く時間間隔を設定します。 短くするとすぐに印刷が開始されますが、ネットワーク回線が混みます。 この設定はNetWareのプロトコルをIPに設定したときのみ有効です。
IPX NDS Tree	ツリー	NDSツリー名	なし	NDSのツリー名を設定します。プリントサーバを登録したファイルサーバが属するツリー名を指定してください。31文字以内の英数字です。 この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager		
IPX NDS Context	コンテキスト	NDSコンテキスト	なし	NDSのコンテキスト名を設定します。プリントサーバの属するコンテキスト名を指定してください。77文字以内の英数字です。この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。
IPX Print Server Name	プリントサーバ名	プリントサーバ名	「ML」+「イーサネットアドレス下6桁」	プリントサーバ名を設定します。ファイルサーバに設定したプリントサーバ名と同じに設定してください。31文字以内の英数字です。 この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。
IPX Password	ファイルサーバのログインパスワード	ログインパスワード	なし	ファイルサーバにログインするためのパスワードを設定します。31文字以内の英数字です。 ファイルサーバにプリンタ用のパスワードを設定した場合にはこの項目の設定が必要です。 この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。
IPX Job Polling Time	ジョブポーリング時間	ジョブポーリング間隔	2秒 ～ 4秒 ～ 255秒	キューにジョブを見つけに行く時間間隔を設定します。 短くするとすぐに印刷が開始されますが、ネットワーク回線が混みます。 この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。
IPX Bindery Mode	バインダリモード	バインダリモード	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	バインダリモードの使用／非使用を設定します。NetWareのバージョンが、6.0/5.0/4.1のバインダリネットワーク、または3.12へ接続するときには「Enable」、6.0/5.0/4.1のNDSで使用するときには「Disable」を設定します。 この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。
IPX File Server #1-8	ファイルサーバ名	接続するファイルサーバ #1-8	なし	ファイルサーバの名前を設定します。最大8台のファイルサーバを指定できます。47文字以内の英数字です。 この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。

リモートプリンタ

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager		
IPX PrintServer #1-8	プリントサーバ名	接続するプリントサーバ #1-8	なし	接続するプリントサーバ名を設定します。最大8台のプリントサーバを指定できます。47文字以内の英数字です。この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。
IPX JobTimeout	ジョブタイムアウト	ジョブタイムアウト	4秒 ～ 10秒 ～ 255秒	最後の印刷ジョブパケットを受け取ってからポートを解放するまでの時間を設定します。 通常は初期設定で使用します。この値が小さすぎると印刷が崩れ易くなり、大きすぎると他のプロトコルからの印刷がなかなか始まらなくなります。 この設定はNetWareのプロトコルをIPXに設定したときのみ有効です。

NetBEUI

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager		
NetBEUI Protocol	NetBEUI	NetBEUIプロトコルを使用する	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	NetBEUIの使用／非使用を設定します。
Computer Name	コンピュータ名	コンピュータ名	「ML」+「イーサネットアドレス下6桁」	コンピュータ名を設定します。この名前でNetBEUI上で識別されます。Windowsであればネットワークコンピュータ中のPrintServerグループに表示されます。15文字以内の英数字です。*1
Workgroup Name	ワークグループ名	ワークグループ	PrintServer	ワークグループ名を設定できます。この名称でWindowsのネットワークコンピュータ中に表示されます。15文字以内の英数字です。
Comment	コメント	コメント	EthernetBoard MLETB12	コメントを設定します。Windowsのネットワークコンピュータで表示形式を詳細に設定したときにこのコメントが表示されます。48文字以内の英数字です。
WINS Server(Pri.)	WINSサーバ（プライマリ）	WINSサーバ　プライマリサーバ	0.0.0.0	Windows環境で、ネームサーバ（コンピュータ名からIPアドレスに変換するためのサーバ）を使用している場合に、ネームサーバのIPアドレスまたはネームサーバ名を設定します。
WINS Server (Sec.)	WINSサーバ（セカンダリ）	WINSサーバ　セカンダリサーバ	0.0.0.0	Windows環境で、ネームサーバ（コンピュータ名からIPアドレスに変換するためのサーバ）を使用している場合に、ネームサーバのIPアドレスまたはネームサーバ名を設定します。
WINS Scope ID	スコープID	WINSサーバ　スコープID	なし	WINSのScopeIDを設定します。1～223文字の英数字です。

*1: 表示されたアイコンを開くと、下表のようなファイルが存在します。

ディレクトリ	ファイル名	機　能
SETUP	Config.ini	IPアドレスの設定変更ができます。 このファイル中のIPアドレスを変更して、またもとの位置に戻すだけでプリンタのIPアドレスをファイルに記載した値に変更することができます。
	Websetup	プリンタのもつWeb Pageを起動します。
REPORT	Status.txt	プリンタに設定されている設定値の概要を表示します。 このファイルは変更することができません。現在の設定を表示するファイルですから、Report.txtとは内容が異なる場合があります。
	Report.txt	プリンタに設定されている設定値の詳細を表示します。 このファイルは変更することができません。設定値を表示するファイルですから、Status.txtとは内容が異なる場合があります。

- 本プリンタのMaster Browser機能は、Workgroup名が「PrintServer」の場合にのみ起動します。Master Browser機能は同一Workgroup内に存在するマシンの情報を管理し、他のWorkgroupからの一覧要求に応答する機能です。
- 沖データ製プリンタ以外の機器のWorkgroupに「PrintServer」の名前をつけた場合、その機器は正常に管理されなくなります。（その機器がネットワーク上で見えなくなることがあります。）
- 本プリンタのMaster Browser機能で管理できるプリンタは最大8台です。
- NetBEUIプロトコルでは、他のユーザ（他のプロトコルを含む）からのジョブの印刷中はエラーメッセージが表示され、印刷できません。

printer trap

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager		
Prn-Trap Community	プリンタTrapコミュニティ名設定	プリンタTrapコミュニティ名	public	プリンタTrapのコミュニティ名を設定します。31文字以内の英数字です。
TCP #1-5 Trap Enable	Trap送信許可 #1-5	TCP #1-5 Printer Trapを有効にする	ENABLE（有効にする） DISABLE（有効にしない）	TCP #1-5でプリンタTrapを使用するかどうか設定します。
TCP #1-5 Printer Reboot Trap	プリンタ再起動 #1-5	TCP #1-5 プリンタリブート	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタが再起動したときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Receive Illegal Trap	不正Trap受信 #1-5	TCP #1-5 受信異常	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	「プリンタTrapコミュニティ名設定」で指定した以外のコミュニティ名でプリンタにアクセスしたときにTrapを使用するかどうか設定します。
TCP #1-5 Online Trap	オンライン #1-5	TCP #1-5 オンライン	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタがON-LINEになるたびにSNMPメッセージを送信するかを設定します。
TCP #1-5 Offline Trap	オフライン #1-5	TCP #1-5 オフライン	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタがOFF-LINEになるたびにSNMPメッセージを送信するかを設定します。
TCP #1-5 Paper Out Trap	用紙なし #1-5	TCP #1-5 用紙なし	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタが用紙切れ状態になったときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Paper Jam Trap	用紙ジャム #1-5	TCP #1-5 用紙ジャム	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタに用紙がつまったときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Cover Open Trap	カバーオープン #1-5	TCP #1-5 カバーオープン	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタのカバーが開かれるたびにSNMPメッセージを送信するかを選択します。

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager		
TCP #1-5 Printer Error Trap	プリンタエラー #1-5	TCP #1-5 プリンタエラー	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタにエラーが発生したときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
TCP #1-5 Trap Address	プリンタTrapアドレス設定 #1-5	TCP#1-5	0.0.0.0	TCP/IPの場合のTrap送信先アドレスを設定します。設定値は10進数「***.***.***.***」形式で入力します。IPアドレスが0.0.0.0の場合は、Trapを送信しません。アドレスは5か所まで指定できます。
IPX Trap Enable	IPX Trap送信許可	IPX Printer Trapを有効にする	ENABLE（有効にする） DISABLE（有効にしない）	IPXでプリンタTrapを使用するかどうか設定します。
IPX Printer Reboot Trap	IPX プリンタ再起動	IPX プリンタリブート	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタが再起動したときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
IPX Receive Illegal Trap	IPX 不正Trap受信	IPX 受信異常	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	「プリンタTrapコミュニティ名設定」で指定した以外のコミュニティ名でプリンタにアクセスしたときにTrapを使用するかどうか設定します。
IPX Online Trap	IPX オンライン	IPX オンライン	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタがON-LINEになるたびにSNMPメッセージを送信するかを設定します。
IPX Offline Trap	IPX オフライン	IPX オフライン	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタがOFF-LINEになるたびにSNMPメッセージを送信するかを設定します。
IPX Paper Out Trap	IPX 用紙なし	IPX 用紙なし	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタが用紙切れ状態になったときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager		
IPX Paper Jam Trap	IPX 用紙ジャム	IPX 用紙ジャム	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	プリンタに用紙がつまったときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
IPX Cover OpenTrap	IPX カバーオープン	IPX カバーオープン	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	プリンタのカバーが開かれるたびにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
IPX Printer ErrorTrap	IPX プリンタエラー	IPX プリンタエラー	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	プリンタにエラーが発生したときにSNMPメッセージを送信するかを選択します。
IPX Trap Address/Net	IPX プリンタTrapアドレス設定	IPX	00000000: 000000000000	IPXの場合のTrap送信先アドレスを設定します。設定値は、ネットワークアドレス(8桁)+ノードアドレス(12桁)で入力します。「00000000:000000000000」の場合はトラップを発行しません。アドレスは1か所のみ指定できます。

SMTP（E-Mail）

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager		
SMTP Transmit	SMTP送信	−	ENABLE (使用する) DISABLE (使用しない)	SMTP(E-Mail)送信プロトコルを使用するかどうか設定します。
SMTP server name	SMTPサーバ	−	なし	SMTPサーバ名を設定します。ドメイン名もしくはIPアドレスを指定してください。ドメイン名を指定する場合は、DNS(Pri)(sec)の設定が必要です。
SMTP port number	SMTPポート番号	−	25	SMTPのポート番号を設定します。通常は初期設定でご使用ください。
E-Mail address	プリンタEmail アドレス	−	なし	プリンタのE-Mailアドレスを設定します。
Reply-To address	返信先Emailアドレス	−	なし	返信用のアドレスを設定します。通常はネットワーク管理者のメールアドレスを指定してください。
Event to address 1-5	Emailアドレス 1-5	−	なし	送信先のアドレスを設定します。アドレスは5ヶ所まで指定できます。
Notify mode 1-5	障害通知方法	−	EVENT PERIOD	障害を通知する方法を設定します。
Check time 1-5	メール通知間隔	−	1 〜 24	通知間隔を設定します。定期的な通知を選択した場合のみ有効です。
Consum-able warning Event 1-5	消耗品　警告	−	OFF No Wait 〜 48 H 45 M	プリンタの消耗品(トナーカートリッジ、イメージドラムetc.)に関する警告を通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager		
Consum-able warning Period 1-5	消耗品　警告	−	ON OFF	プリンタの消耗品(トナーカートリッジ、イメージドラムetc.)に関する警告を通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Consum-able Error Event 1-5	消耗品　エラー	−	OFF No Wait ∫ 48 H 45 M	プリンタの消耗品(トナーカートリッジ、イメージドラムetc.)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Consum-able Error Period 1-5	消耗品　エラー	−	ON OFF	プリンタの消耗品(トナーカートリッジ、イメージドラムetc.)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Mainte-nance Warning Event 1-5	メンテナンスユニット 警告	−	OFF No Wait ∫ 2 H 0 M ∫ 48 H 45 M	メンテナンスユニット(定着器ユニット、ベルトユニットetc.)に関する警告を通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Mainte-nance Warning Period 1-5	メンテナンスユニット 警告	−	ON OFF	メンテナンスユニット(定着器ユニット、ベルトユニットetc.)に関する警告を通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Mainte-nance Error Event 1-5	メンテナンスユニット エラー	−	OFF No Wait ∫ 48 H 45 M	メンテナンスユニット(定着器ユニット、ベルトユニットetc.)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Mainte-nance Error Period 1-5	メンテナンスユニット エラー	−	ON OFF	メンテナンスユニット(定着器ユニット、ベルトユニットetc.)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager		
Paper Warning Event 1-5	用紙の補充 警告	−	OFF No Wait ∫ 0 H 15 M ∫ 48 H 45 M	用紙に関する警告を通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Paper Warning Period 1-5	用紙の補充 警告	−	ON OFF	用紙に関する警告を通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Paper Error Event 1-5	用紙の補充 エラー	−	OFF No Wait ∫ 48 H 45 M	用紙に関するエラーを通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Paper Error Period 1-5	用紙の補充 エラー	−	ON OFF	用紙に関するエラーを通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Printing Warning Event 1-5	印刷中の用紙　警告	−	OFF No Wait ∫ 48 H 45 M	用紙の搬送に関する警告を通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Printing Warning Period 1-5	印刷中の用紙　警告	−	ON OFF	用紙の搬送に関する警告を通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Printing Error Event 1-5	印刷中の用紙　エラー	−	OFF No Wait ∫ 2 H 0 M ∫ 48 H 45 M	用紙の搬送に関するエラーを通知するかどうかを設定します。発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Printing Error Period 1-5	印刷中の用紙　エラー	−	ON OFF	用紙の搬送に関するエラーを通知するかどうかを設定します。定期的な通知を選択している場合のみ有効です。

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager		
HDD/Flash Memory Event 1-5	ハードディスク、フラッシュメモリ	–	OFF No Wait ～ 48 H 45 M	HDD/フラッシュメモリに関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
HDD/Flash Memory Period 1-5	ハードディスク、フラッシュメモリ	–	ON OFF	HDD/フラッシュメモリに関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Print Result Warning Event 1-5	印刷の結果警告	–	OFF No Wait ～ 48 H 45 M	印刷結果に影響する障害に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Print Result Warning Period 1-5	印刷の結果警告	–	ON OFF	印刷結果に影響する障害に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Print Result Error Event 1-5	印刷の結果エラー	–	OFF No Wait ～ 2 H 0 M ～ 48 H 45 M	印刷結果に影響するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Print Result Error Period 1-5	印刷の結果エラー	–	ON OFF	印刷結果に影響するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Other Error Event 1-5	その他	–	OFF No Wait ～ 2 H 0 M ～ 48 H 45 M	その他の重大なエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Other Error Period 1-5	その他	–	ON OFF	その他の重大なエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。

網かけ部は初期値です。

項目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager		
Interface Warning Event 1-5	インタフェース警告	–	OFF No Wait ～ 48 H 45 M	インタフェース(ネットワークetc.)に関する警告を通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Interface Warning Period 1-5	インタフェース警告	–	ON OFF	インタフェース(ネットワークetc.)に関する警告を通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Interface Error Event 1-5	インタフェースエラー	–	OFF No Wait ～ 2 H 0 M ～ 48 H 45 M	インタフェース(ネットワークetc.)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 発生時の通知を選択している場合のみ有効です。
Interface Error Period 1-5	インタフェースエラー	–	ON OFF	インタフェース(ネットワークetc.)に関するエラーを通知するかどうかを設定します。 定期的な通知を選択している場合のみ有効です。
Additional Info Printer Model	付加情報設定 Printer Model	–	ON OFF	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタモデル名を含めるかどうかを設定します。
Additional Info Network Interface	付加情報設定 Network Interface	–	ON OFF	送信メールに記載するプリンタ情報に、ネットワークインタフェース名を含めるかどうかを設定します。
Additional Info Serial Number	付加情報設定 Printer Serial Number	–	ON OFF	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタのシリアルナンバを含めるかどうかを設定します。

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager		
Additional Info Asset Number	付加情報設定 Printer Asset Number	－	ON OFF	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタの管理番号を含めるかどうかを設定します。
Additional Info System Name	付加情報設定 System Name	－	ON OFF	送信メールに記載するプリンタ情報に、SystemNameを含めるかどうかを設定します。
Additional Info System Location	付加情報設定 System Location	－	ON OFF	送信メールに記載するプリンタ情報に、SystemLocationを含めるかどうかを設定します。
Additional Info IP Address	付加情報設定 IP Address	－	ON OFF	送信メールに記載するプリンタ情報に、IPアドレスを含めるかどうかを設定します。
Additional Info Ethernet Address	付加情報設定 Ethernet Address	－	ON OFF	送信メールに記載するプリンタ情報に、イーサネットアドレスを含めるかどうかを設定します。
Additional Info Computer Name	付加情報設定 Computer Name	－	ON OFF	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタのコンピュータ名を含めるかどうかを設定します。
Additional Info Printer URL	付加情報設定 Printer URL	－	ON OFF	送信メールに記載するプリンタ情報に、プリンタのURLを含めるかどうかを設定します。
Comment line 1-4	Comment Line 1-4*1	－	なし	送信メールの文末に付加するコメントを設定します。4行設定できます。1行は63文字まで入力でき、それを越える場合は自動的に改行します。

*1: Webブラウザでは「Email」-「受信設定」項目に表示されます。

Maintenance

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager		
FTP Service	FTPサービス	FTP Serviceを使用する	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタに対してFTPでのアクセスの使用/非使用を設定します。
Telnet Service	Telnetサービス	Telnet Serviceを使用する	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタに対してTELNETでのアクセスの使用/非使用を設定します。
Web Service	Web(IPP)サービス	Web Serviceを使用する	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタに対してWEBブラウザでのアクセスの使用/非使用を設定します。
Web(IPP) Port Number	Web(IPP)ポート番号	－	1 ～ 80 ～ 65535	プリンタのWebページにアクセスするためのポート番号を設定します。
SNMP Service	SNMPサービス	SNMP Serviceを使用する	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	プリンタに対してSNMPでのアクセスの使用/非使用を設定します。通常はENABLE（使用する）でお使いください。
LAN Scale	LAN	LAN Scale	NORMAL（普通） SMALL（小型）	Normal(普通)：通常この設定を使用してください。スパニングツリー機能を持つHUBに接続した場合でも効率よく動作します。ただし、コンピュータが2,3台の小さなLANに接続するとプリンタが起動する時間が長くなるデメリットがあります。 SMALL(小型)：コンピュータが2,3台の小さなLANから大型のLANまで対応しますが、スパニングツリー機能を持つHUBに接続した場合に効率よく動作できない場合があります。
DefaultTTL	－	DefaultTTL	0 ～ 255	IPパケット生存値（TTL値）を設定します。この値は通常変更する必要はありません。

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager		
－	オペパネのロック	－	ロック解除 ロック	オペレータパネルの殆どの操作を禁止させることが出来ます。
－	HEXダンプモード	－	OFF ON	このモードに設定すると、受信した印刷データをすべて16進数で表示します。プリンタを再起動すると本モードを抜けます。

printer port

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager		
BOJ String	－	－	なし	直接出力ポート(lpポート)に出力する前に、プリンタに文字列を送出します。印刷前に制御コード等を送信する必要がある場合などに設定します。31文字以内の文字列です。また、文字列以外に次の特殊コードも指定できます。 ¥b:　バックスペースコード(0x08) ¥t:　タブコード(0x09) ¥n:　改行コード(0x0a) ¥v:　垂直タブコード(0x0b) ¥f:　改頁コード(0x0c) ¥r:　復帰コード(0x0d) ¥xnn　nnで表現される16進コード ¥"　"　コード(0x22) ¥¥ ¥　コード(0x5c)
EOJ String	－	－	なし	直接出力ポート(lpポート)に出力した後に、プリンタに文字列を送出します。印字後に制御コード等を送信する必要がある場合などに設定します。31文字以内の文字列です。また、文字列以外に特殊コードも指定できます。特殊コードは「BOJ string」と同じです。

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager		
BOJ String (KANJI)	－	－	なし	漢字フィルタ経由出力ポート(euc, sjisポート)に出力する前に、プリンタに文字列を送出します。印刷前に制御コード等を送信する必要がある場合などに設定します。31文字以内の文字列です。また、文字列以外に特殊コードも指定できます。特殊コードは「BOJ string」と同じです。
EOJ String (KANJI)	－	－	¥x04	漢字フィルタ経由出力ポート(euc, sjisポート)に出力した後に、プリンタに文字列を送出します。印字後に制御コード等を送信する必要がある場合などに設定します。31文字以内の文字列です。また、文字列以外に特殊コードも指定できます。特殊コードは「BOJ string」と同じです。
TAB Size (char.)	－	－	0 ～ 8 ～ 16	漢字フィルタ経由で出力するときに、タブコード(0x09)を半角スペース(0x20)に変換する文字数を設定します。この文字幅を0にすると、タブ変換処理は行われません。
Page Width (char.)	－	－	0 ～ 78 ～ 255	漢字フィルタ経由で出力するときのページ幅を設定します。
Page Length (line)	－	－	0 ～ 66 ～ 255	漢字フィルタ経由で出力するときのページ長を設定します。
FTP/LPR Banner	－	FTP/LPRバナーを使用する	YES(使用する) NO(使用しない)	LPRやFTPで印刷する場合にバナーページを使用するかどうか設定します。TCP/IPプロトコルのみ有効です。

IP Filtering

網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager		
IP Filtering	IPフィルタリング	IPフィルタを使用する	ENABLE（使用する） DISABLE（使用しない）	IPアドレス毎のアクセスを制限する機能の 使用／非使用を設定します。 ただし、この機能はIPアドレスについて充分な知識を必要とします。 通常は必ずDISABLE(使用しない)になるように設定しておいてください。 ENABLE(使用する)に設定し、以下の設定をしないとTCP/IPによるアクセスが一切できなくなってしまいます。
Filtering range #1-10	IPアドレスの範囲#1-10	IPファイルアドレスの範囲#1-10	なし-なし	プリンタへアクセスを許可するIPアドレスを指定します。
Start Address	開始アドレス	開始アドレス	0.0.0.0	単一のIPアドレスを指定することもできますが、範囲で指定することもできます。アドレスの範囲（「開始アドレス」と「終了アドレス」）を設定してください。0.0.0.0は入力できません。
End Address	終了アドレス	終了アドレス	0.0.0.0	
range #1-10 Printing	印刷 #1-10	印刷を許可する #1-10	ENABLE（許可する） DISABLE（許可しない）	Filtering range #1-10 で設定したIPアドレスからの印刷を許可します。
range #1-10 Configura-tion	設定 #1-10	設定を許可する #1-10*1	ENABLE（許可する） DISABLE（許可しない）	Filtering range #1-10 で設定したIPアドレスからの設定変更を許可します。
Admin IP Address	設定される管理者のIPアドレス	管理者のIPアドレス	0.0.0.0	管理者のIPアドレスが自動で設定されます。 このアドレスだけは、必ずプリンタにアクセスできます。 ただし、管理者がプロキシ経由でプリンタにアクセスするように設定している場合には、プロキシのアドレスが設定されてしまいます。プロキシのアドレスが設定されるとプロキシ経由でアクセスする人は全て許可となります。 管理者はプリンタに対してプロキシを経由しないでアクセスすることが理想です。

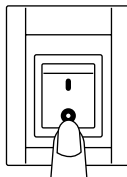
Job List

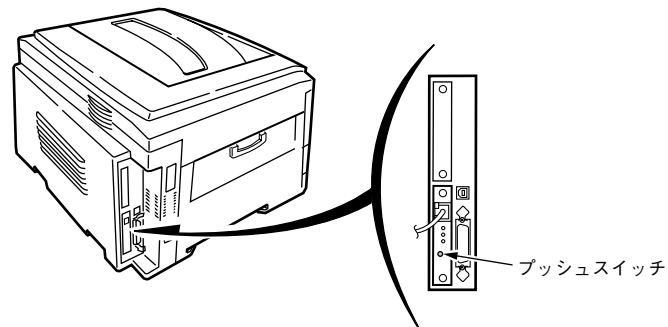
網かけ部は初期値です。

項　目			設定値	機能説明
TELNET	Webブラウザ	AdminManager		
－	ジョブキュー表示項目設定	－	ドキュメント名 ジョブ状態 コンピュータ名 ユーザー名	現在プリンタの印刷待ちになっているジョブ(印刷データ)の一覧に表示する項目を選択します。 選択しない場合には、初期値の項目で一覧が表示されます。

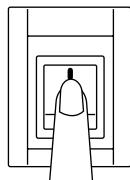
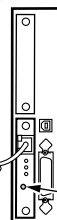
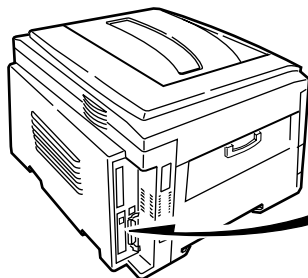
ネットワーク機能を初期化します

初期化すると全てのネットワーク設定項目が初期値になります。

1 プリンタの電源をOFFにします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(24ページ)をご覧ください。

2 プッシュスイッチを押したまま、プリンタの電源をONにし、操作パネル上に[オンライン]が表示されたら、指を離します。

ネットワークの設定値が初期化されます。

ネットワークの設定情報(Network Information)を印刷します

1 プリンタの電源をONにし、[オンライン] になったことを確認します。

2 プッシュスイッチを3秒間以上押し続けてから、指を離します。

最初にプリンタのメニューマップが3枚印刷され、続いてネットワークの設定情報(Network Information)が2枚印刷されます。

Network Information

System Information

Serial Number N31063C 06 409B 1001540
Asset Number
System Contact
System Name
System Location

General Information

Network Function Name	MLETB12	Firmware Version	02.15
		OkiWebRemote	O2.02
root password	*****		
MAC Address	0080871418D2		
HUB Link Setting	[illegible]		
HUB Link Status	Link Fail		
Frame Type	Automatic		
Network Status	Unicast Packets Received	0	
	Packets Transmitted	0	
	Total Packets Received	0	
	Unsendable Packets	0	
	Bad Packets Received	0	
TCP/IP Protocol	Enable		
NetBEUI Protocol	Enable		
NetWare Protocol	Enable		

TCP/IP Configuration

IP Address Set	AUTO		
		DHCP/BOOTP	Enable
		RARP	Enable
		Non Server Address Resolution	Enable
IP Address	192.168.100.100		
Subnet Mask	255.255.255.0		
Default Gateway	192.168.100.254		
Web Address	http://192.168.100.100		
WEB(IPP) Port Number	80		
DNS Server (Primary)	0.0.0.0		
DNS Server (Secondary)	0.0.0.0		
DefaultTTL	255		

Auto Discovery

Windows(Network Plug and Play)	Enable
Macintosh(Rendezvous)	Enable
Printer Name(Printer is identified by this name.)	ML1418D2
link-local Address	Not Available

If your computer can not connect this printer with the browser, set the computer as follows.
Step1:Set IP address of your computer to 192.168.100.xxx
(xxx:exclude 0,254,255 and printer IP address 100.)
How to set the IP address of the computer?
See the manual of your computer.
Step2:Connect the browser.
Input the Web address to URL field of the browser as follows. http://192.168.100.100
If you will access the local address,set the proxy server setting to disable.

IPアドレスの設定

IPアドレスとは…

TCP/IPプロトコルを使用してネットワーク接続する場合、コンピュータとプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。IPアドレスはネットワーク上に接続されたコンピュータやプリンタの住所のようなものです。正しく設定しないと必要な情報を届ける住所がわからず、通信ができなくなります。

（例）

IPアドレスはどんな値でも使えるわけではなく、決まりがあります。3桁の数字が4つに区切られた形で設定します。
例でいうと「192.168.0」までをネットワークアドレスといい、残りの「3」や「2」をホストIDといいます。標準的なネットワークの場合、コンピュータとプリンタのネットワークアドレスが同じでないと通信できません。ホストIDは、どの機器とも重複しないような値で、1～254の間で設定します。
また、IPアドレス以外に、サブネットマスク、ゲートウェイの設定も必要です。基本的にサブネットマスクは「255.255.255.0」を設定します。ゲートウェイは、接続しているルータのIPアドレスを指定します。通常、コンピュータとプリンタに設定するサブネットマスクとゲートウェイは同じ値にします。

コンピュータのIPアドレスの確認

お手元のコンピュータに設定されているIPアドレスを確認しましょう。

コンピュータのIPアドレスは、接続しているネットワーク環境によって異なります。Internetをご利用の場合、接続しているプロバイダやルータメーカから指定された値に設定されています。何の値が設定されているかやDHCPなどのサーバがあるかどうかは、プロバイダやルータメーカに確認してください。社内などでネットワーク管理者がいる場合は、管理者に確認してください。

多くの場合、コンピュータは初期設定で「IPアドレスを自動取得する」設定になっています。一般の家庭用ルータ（ADSLルータやISDNルータ）にはDHCPサーバが標準で搭載されている場合が多く、お手元のコンピュータに何も設定しなくても、ルータに接続し、コンピュータの電源を入れただけで、サーバより自動的にIPアドレスを取得します。

お手元のコンピュータの取得しているIPアドレスがわからない場合は、下記手順で確認してください。手順はシステム環境のバージョンにより異なりますので、詳細は各システム環境のマニュアルをご覧ください。

❶ Windowsを起動します。

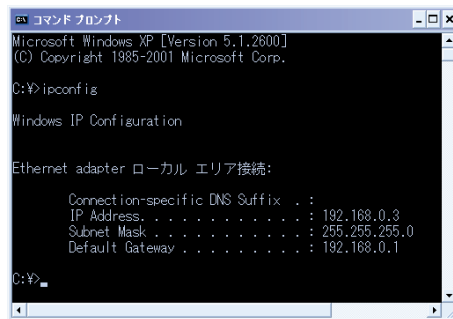
❷ コマンドプロンプト(MS-DOSプロンプト)を選択します。

〈WindowsXPの場合〉
[スタート]-[すべてのプログラム]-[アクセサリ]-[コマンドプロンプト]を選択します。

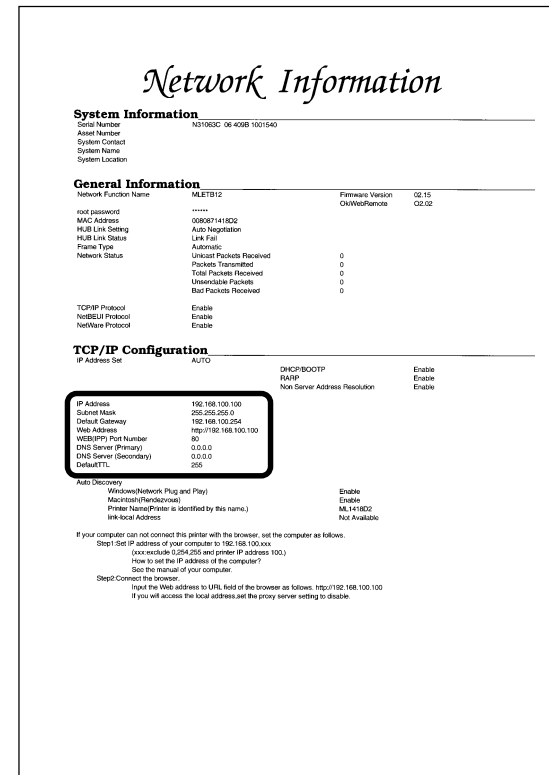
〈WindowsMeの場合〉
[スタート]-[プログラム]-[コマンドプロンプト]-[MS-DOSプロンプト]を選択します。

〈Windows98/95の場合〉
[スタート]-[プログラム]-[MS-DOSプロンプト]を選択します。

〈Windows2000/Server2003の場合〉
[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[コマンドプロンプト]を選択します。

〈WindowsNT4.0の場合〉
[スタート]-[プログラム]-[コマンドプロンプト]を選択します。

❸ 〈WindowsXP/Me/2000/NT4.0/Server2003の場合〉
キーボードから[ipconfig]と入力し、[Enter]キーを押します。

〈Windows98/95の場合〉
キーボードから[winipcfg]と入力し、[Enter]キーを押します。

現在設定されているIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが表示されます。

(WindowsXPの場合)

プリンタのIPアドレスの確認

現在、プリンタにどんなIPアドレスが設定されているか確認しましょう。

プリンタに設定されているIPアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。ネットワークの設定情報(Network Information)を印刷し、IPアドレスを確認してください。ネットワークの設定情報(Network Information)の詳細は267ページをご覧ください。

Network Information

System Information
Serial Number N31063C 06 409B 1001540
Asset Number
System Contact
System Name
System Location

General Information
Network Function Name MLETB12 Firmware Version 02.15
OkiWebRemote O2.02
root password ******
MAC Address 0080871418D2
HUB Link Setting Auto Negotiation
HUB Link Status Link Fail
Frame Type Automatic
Network Status Unicast Packets Received 0
Packets Transmitted 0
Total Packets Received 0
Unsendable Packets 0
Bad Packets Received 0
TCP/IP Protocol Enable
NetBEUI Protocol Enable
NetWare Protocol Enable

TCP/IP Configuration
IP Address Set AUTO
DHCP/BOOTP Enable
RARP Enable
Non Server Address Resolution Enable
IP Address 192.168.100.100
Subnet Mask 255.255.255.0
Default Gateway 192.168.100.254
Web Address http://192.168.100.100
WEB(IPP) Port Number 80
DNS Server (Primary) 0.0.0.0
DNS Server (Secondary) 0.0.0.0
DefaultTTL 255
Auto Discovery
Windows(Network Plug and Play) Enable
Macintosh(Rendezvous) Enable
Printer Name(Printer is identified by this name.) ML1418D2
link-local Address Not Available

If your computer can not connect this printer with the browser, set the computer as follows.
Step1:Set IP address of your computer to 192.168.100.xxx
(xxx:exclude 0,254,255 and printer IP address 100.)
How to set the IP address of the computer?
See the manual of your computer.
Step2:Connect the browser.
Input the Web address to URL field of the browser as follows. http://192.168.100.100
If you will access the local address,set the proxy server setting to disable.

プリンタのIPアドレスの設定

ネットワークの環境に応じて、プリンタにIPアドレスを設定しましょう。

(1) 初期設定のまま使用します。

・ネットワーク上にDHCP/BOOTP/RARPサーバなどがある場合

プリンタは初期設定で「IPアドレスを自動取得する」設定になっています。ネットワーク上にDHCP/BOOTP/RARPサーバなどがある場合は、ネットワークに接続し、プリンタの電源を入れただけで、サーバより自動的にIPアドレスを取得します。
現在のコンピュータとプリンタの設定が下記のようになっていれば、そのままお使いになれます。プリンタのIPアドレスを設定したり変更をする必要はありません。

- IPアドレスのネットワークアドレスが、コンピュータとプリンタで同じ値になっていること。
- IPアドレスのホストIDが、コンピュータとプリンタで違う値になっていること。
- サブネットマスクとゲートウェイが、コンピュータとプリンタで同じ値になっていること。

・ネットワーク上にDHCP/BOOTP/RARPサーバなどがなく、接続しているコンピュータがすべてWindowsXPの場合

プリンタは初期設定で「IP ADDRESS SET」が「AUTO」に設定されています。つまり「ネットワークPlug＆Play」が使用できる設定になって、「サーバを使用しないアドレス解決」機能を使うことができます。WindowsXPも標準で「ネットワークPlug＆Play」機能を搭載しています。そのため、ネットワーク上にDHCP/BOOTP/RARPサーバなどがなくても、ネットワークPlug＆Play機能を使用し、お互いに通信して自動的にIPアドレスを取得します。
現在のコンピュータとプリンタの設定が下記のようになっていれば、そのままお使いになれます。プリンタのIPアドレスを設定したり変更をする必要はありません。

- IPアドレスのネットワークアドレスが、コンピュータとプリンタで同じ値になっていること。
- IPアドレスのホストIDが、コンピュータとプリンタで違う値になっていること。
- サブネットマスクとゲートウェイが、コンピュータとプリンタで同じ値になっていること。

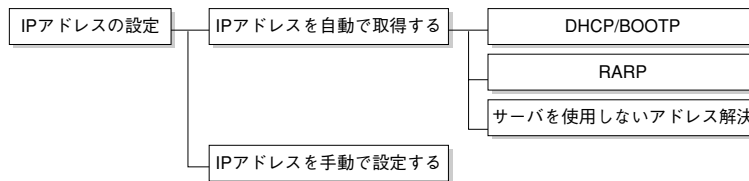
(2) IPアドレスを手動で設定します。

・ネットワーク上にDHCP/BOOTP/RARPサーバなどがなく、接続しているコンピュータのシステム環境が異なっている、または社内ネットワーク管理者により決められたIPアドレスを指定されたなど、(1)に当てはまらない場合

プリンタに決められたIPアドレスを手動で設定してください。IPアドレスは、プリンタの操作パネルやAdminManager、TELNETなどで設定できます。

設定の詳細は、「AdminManager」(142ページ)、「TELNET」(188ページ)、「プリンタの操作パネルでIPアドレスを設定したい」(126ページ)をご覧ください。

IPアドレス設定のしくみ(参考)

IPアドレスを設定する機能は次のような構成になっています。

DHCP/BOOTPを使います

DHCPサーバまたはBOOTPサーバからIPアドレスを取得できます。

・セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。
・IPアドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなどの重大な障害が発生する恐れがあります。ネットワーク管理者と十分相談の上、設定してください。

DHCPサーバの設定

DHCPとは、TCP/IPネットワーク上の各ホストに動的にIPアドレスを割り当てるためのプロトコルです。IPアドレスの他にサブネットマスクを設定することもできます。

プリンタには、固定のIPアドレスが割り当てられるようにDHCPサーバを設定してください。ランダムにIPアドレスを割り当てると、ネットワーク経由で印刷ができない場合があります。固定のIPアドレスを割り当てる方法については、各DHCPサーバのマニュアルをご覧ください。

動作確認環境

Windows2003 Server日本語版 DHCPサーバ
Windows2000 Server日本語版 DHCPサーバ
Windows2000 Advanced Server日本語版 DHCPサーバ
WindowsNT Server4.0日本語版 DHCPサーバ
WindowsNT Server4.0日本語版 DHCPリレーエージェント
Sun OS 4.1.3+WIDE版DHCPバージョン 1.3.6

以下の説明は、WindowsNT Server4.0日本語版DHCPサーバを例にしています。

❶ [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]を選択します。

❷ [ネットワーク]をダブルクリックし、[サービス]タブを開きます。

[ネットワークサービス]に[Microsoft DHCP サーバー]が表示されている場合は？

☞ ❻へ進みます。

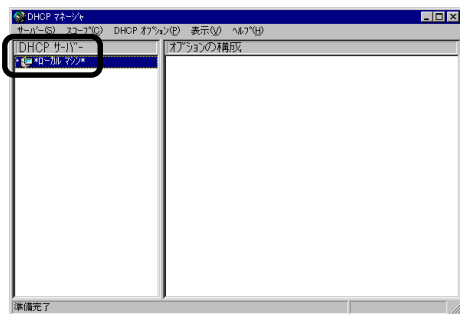
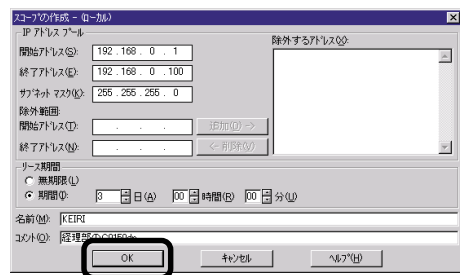
❸ [追加]をクリックします。

❹ [Microsoft DHCPサーバー]を選択し、[OK]をクリックします。

❺ Windowsを再起動します。

☞ ❷からの続き

❻ [スタート]-[プログラム]-[管理ツール(共通)]-[DHCPマネージャ]を選択します。

❼ [DHCPサーバー]一覧からスコープを作成するサーバをクリックします。

❽ [スコープ]メニューの[作成]を選択し、[IPアドレス　プール]の設定を行い、[OK]をクリックします。

❾ [スコープ]メニューの[予約の追加]を選択し、各項目を入力し、[追加]をクリックします。

① IP アドレスを入力します。

② [一意の ID] に、プリンタのイーサネットアドレスを入力します。

③ [クライアント名]、[クライアントコメント] に任意の名前を入力します。

- 必ず[予約の追加]でIPアドレスを割り当ててください。
- イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(267ページ)

❿ [閉じる]をクリックします。

⓫ [スコープ]メニューの[アクティブ化]を選択し、作成したスコープをアクティブにします。

⓬ [DHCPマネージャ]を終了します。

BOOTPサーバの設定

BOOTPとは、TCP/IPネットワーク上の各ホストに、BOOTPサーバに登録したIPアドレスを割り付けるプロトコルです。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

ワークステーション	: HP-UX 9.xのBOOTPサーバ
IPアドレス	: 192.168.0.2
イーサネットアドレス	: 00:80:87:84:9C:9B
ホスト名	: C9150dn

注 イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(267ページ)

❶ /etc/hostsファイルに、プリンタのIPアドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 C9150dn
```

❷ /etc/bootptabファイルに次の設定を追加します。

`C9150dn:\`	/etc/hostsに登録したホスト名
`ht=ether:\`	ハードウェアタイプを[ether]にします。
`ha=008087849C9B:\`	イーサネットアドレス
`ip=192.168.0.2:\`	IPアドレス
`sm=255.255.255.0:\`	サブネットマスク
`gw=192.168.0.1:\`	ゲートウェイ

❸ /etc/inetd.confファイルに次の設定を追加します。

```
bootps dgram udp wait root /etc/ bootpd bootpd
```

❹ inetdを再起動します。

```
# kill -1 1
```

❺ プリンタの電源をONにします。

プリンタの設定

以下の説明は、AdminManagerとWindowsXP Home Editionを例にしています。

プリンタの初期設定では、「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」に設定されています。プリンタを初期設定でお使いの場合は、設定の必要はありません。

❶ プリンタの電源をONにします。

❷ Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸ [スタート]-[マイコンピュータ]を選択します。

DHCP/BOOTPを使います

11

❹ [リムーバブル記憶域があるデバイス]の[OKICOLOR]CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

❺ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❻「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❼ [ネットワークユーティリティのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❽ [NICセットアップユーティリティ]を選択し、[インストール]をクリックします。

❾ [日本語]をクリックします。

❿ [OKI Device Standard Setup]をクリックします。

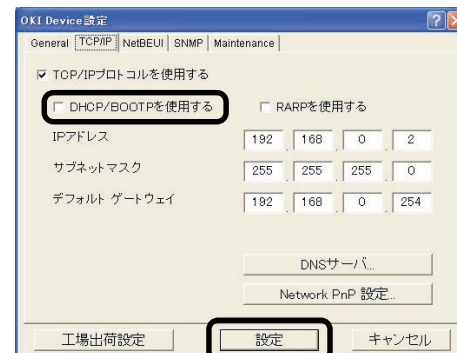
⓫ [インストールせずに、直接CD-ROMから起動する]を選択し、[次へ]をクリックします。

AdminManagerが起動します。

⓬一覧よりイーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。機種名には、C9150dnの代わりにMLETB12と表示されます。

注 イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(267ページ)

⓭[設定]メニューの[OKI Deviceの設定]を選びます。

⓮[TCP/IP]タブの[DHCP/BOOTPを使用する]をチェックし、[設定]をクリックします。

⓯設定に間違いがなければ、[OK]をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

⓰設定値を有効にするため、[はい]をクリックします。

注 この時点でプリンタは新しい設定値で動作します。

RARPを使います

RARPサーバからIPアドレスを取得できます。

- セットアップにはスーパーユーザの権限が必要です。
- IPアドレスの入力を間違えると、ネットワークがダウンするなどの重大な障害が発生する恐れがあります。ネットワーク管理者と十分相談の上、設定してください。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

ワークステーション　：SunOS4.1.x
IPアドレス　：192.168.0.2
イーサネットアドレス　：00:80:87:84:9C:9B
ホスト名　：C9150dn

イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(267ページ)

RARPサーバの設定

RARPとは、TCP/IPネットワーク上の各ホストに、RARPサーバに登録したIPアドレスを割り当てるプロトコルです。プリンタの電源をONにすることでIPアドレスを取得することができます。

❶ /etc/hostsファイルに、プリンタのIPアドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 C9150dn
```

❷ /etc/ethersファイルにイーサネットアドレスとホスト名の組み合わせを追加します。ホスト名は、/etc/hostsファイルに登録したホスト名と同じにします。

```
00:80:87:84:9C:9B C9150dn
```

❸ RARPDを起動します。

```
#rarpd -a
```

- rarpdの起動方法については、UNIXのマニュアルをご覧ください。
- rarpdはUNIXを起動するたびに必要になりますので、/etc/rcなどのファイルから起動するようにしておくと便利です。

❹ プリンタの電源をONにします。

プリンタの設定

TELNETで設定します。

プリンタの初期設定では「RARP protocol」が「ENABLE」に設定されています。プリンタを初期設定でお使いの場合は、設定の必要はありません。

❶ arpコマンドを使って、プリンタに一時的なIPアドレスを設定します。

```
# arp -s 192.168.0.2
00:80:87:84:9C:9B temp
```

❷ pingコマンドを使って、プリンタとの接続を確認します。

```
# ping 192.168.0.2
```

応答がない場合は、IPアドレスの設定、またはネットワークの状態に問題があります。ネットワーク管理者にご相談ください。

❸ TELNETでプリンタにログインします。
詳細は、「TELNET」(188ページ)をご覧ください。

❹ TCP/IP設定画面で[RARP protocol]を[ENABLE]にします。

❺ プリンタからログアウトします。

❻ 設定値を有効にするため、プリンタの電源をOFF/ONします。

プリンタの電源をOFF/ONするまでは、プリンタは送信前の設定値で動作しています。必ず、プリンタの電源をONしてください。

セキュリティ機能を使います

以下のようなセキュリティ機能を設定することができ、より安全な印刷を行うことができます。

- ログインパスワードによるネットワーク設定変更制限機能
- ネットワークプロトコルの停止によるアクセス制限機能
- サービスの停止によるアクセス制限機能
- IPアドレスによるアクセス制限機能
- IPP認証によるIPP印刷制限機能
- 操作パネルのロックによるプリンタ設定変更制限機能

AdminManager、Webブラウザ、TELNETで設定ができます。

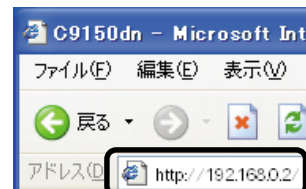
以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ	: C9150dn
プリンタのIPアドレス	: 192.168.0.2
Webブラウザ	: Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

ログインパスワードを設定します

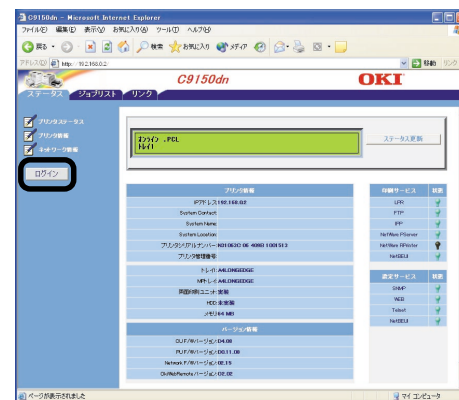
ログインパスワードを設定することにより、ネットワークを経由した設定変更を制限することができます。
ログインパスワードの詳細は、「Webブラウザ」の「パスワードの設定」(181ページ)をご覧ください。

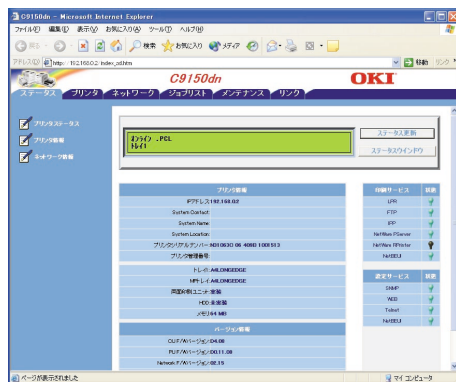
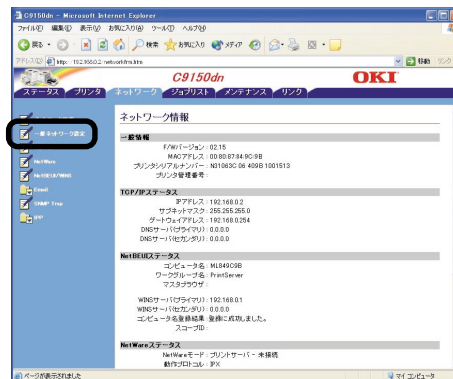
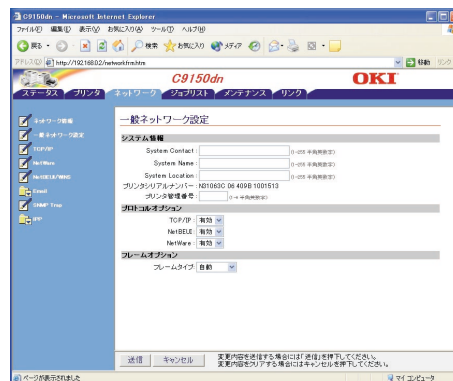
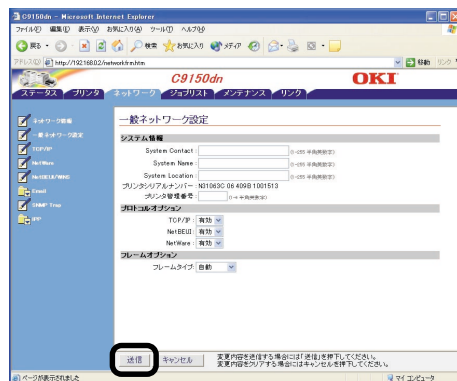
プロトコルを停止します

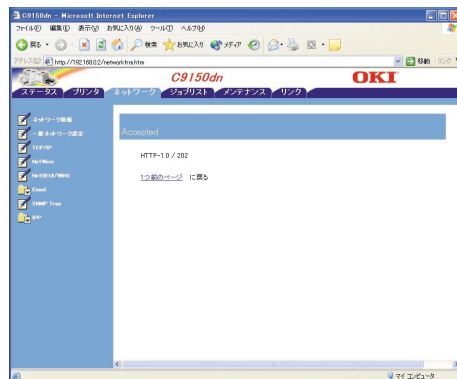
使用しないネットワークプロトコルを停止することができます。

❶ Webブラウザを起動します。

❷ [アドレス]にURL「http://プリンタのIPアドレス/」を入力し、Enterキーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

❸ [ログイン]をクリックします。

❹［ユーザー名］に「root」、［パスワード］に「イーサネットアドレスの下6桁」を入力し、［OK］をクリックします。

❺［ネットワーク］タブをクリックします。

❻［一般ネットワーク設定］をクリックします。

❼「プロトコルオプション」で、使用しないプロトコルを［無効］にします。

注 ［TCP/IPプロトコル］を［無効］に設定すると、以後Webブラウザを使ってアクセスすることができなくなります。

❽「送信」をクリックします。

新しい設定値がプリンタに送信されると、次のような画面が表示されます。

サービスを停止します

使用しないネットワークサービスを停止することができます。

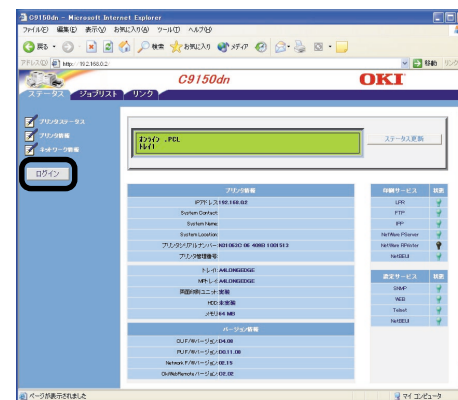
❶ Webブラウザを起動します。

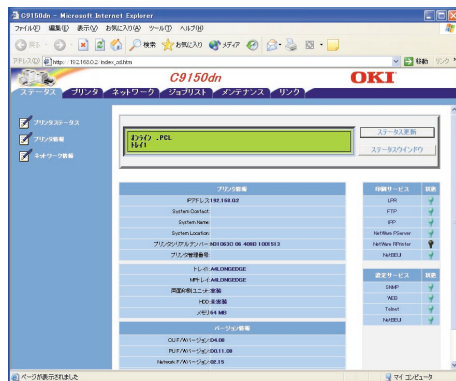
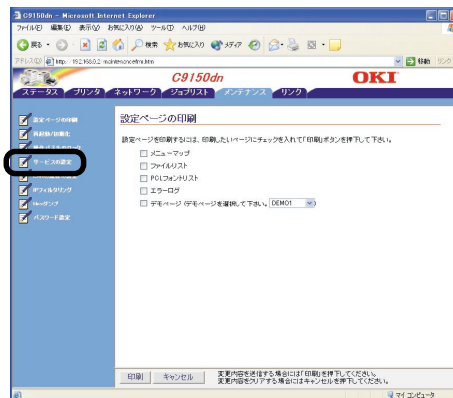
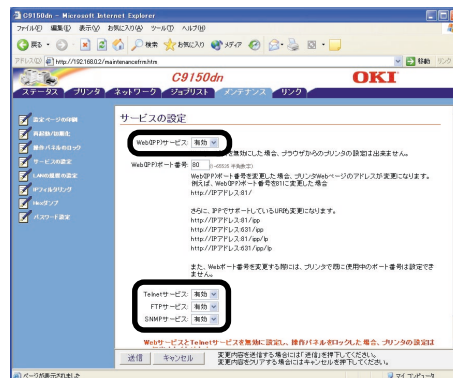
❷ [アドレス]にURL「http://プリンタのIPアドレス/」を入力し、Enterキーを押します。

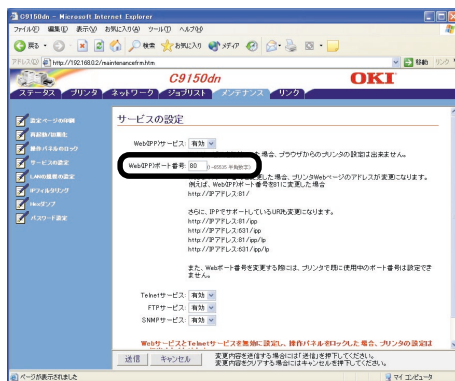
プリンタステータス画面が表示されます。

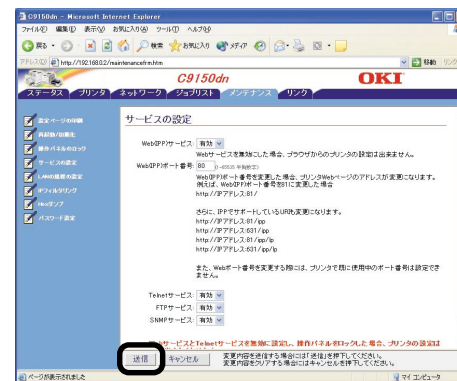
❸ [ログイン]をクリックします。

セキュリティ機能を使います

11

❹ [ユーザー名]に「root」、[パスワード]に「イーサネットアドレスの下6桁」を入力し、[OK]をクリックします。

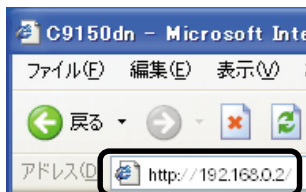
❺ [メンテナンス]タブをクリックします。

❻ [サービスの設定]をクリックします。

❼ 不要なサービスを[無効]にします。

- [Web(IPP)サービス]を[無効]に設定した場合、Webブラウザでの設定変更ができなくなります。
- [Telnetサービス]を[無効]にした場合、telnetでの設定変更ができなくなります。
- [Web(IPP)サービス]と[Telnetサービス]の両方を[無効]に設定した場合は、Admin Managerを使用して設定変更をしてください。

❽ [Web(IPP)ポート番号]の設定をします。

注 Web(IPP)ポート番号を変更した場合、プリンタWebページのアドレスが変更になります。
例えば、Web(IPP)ポート番号を81に変更した場合、
http://IPアドレス:81/
さらに、IPPでサポートしているURLも変更になります。
http://IPアドレス:81/ipp
http://IPアドレス:631/ipp
http://IPアドレス:81/ipp/lp
http://IPアドレス:631/ipp/lp
また、Webポート番号を変更する際には、プリンタですでに使用中のポート番号は設定できません。

❾「送信」をクリックします。

新しい設定値がプリンタに送信されると、次のような画面が表示されます。

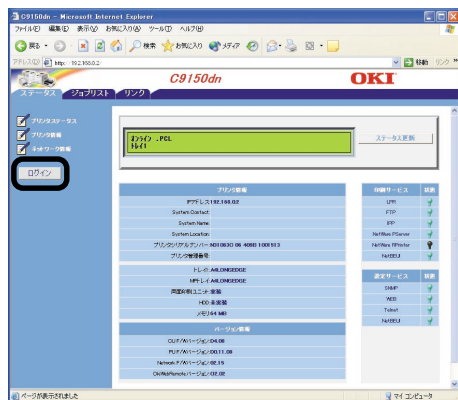
IPアドレスでのアクセス制限機能（IPフィルタ）を使います

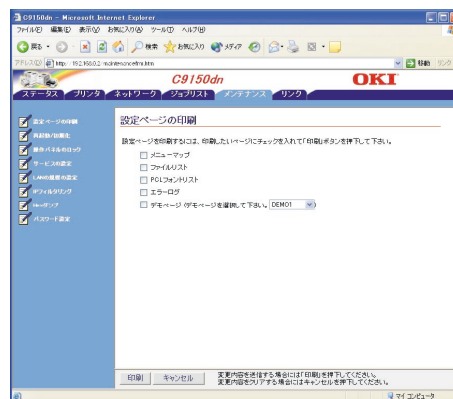
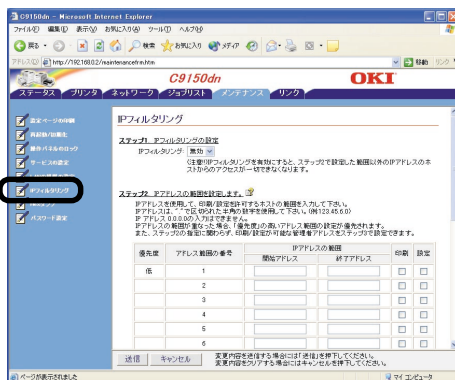
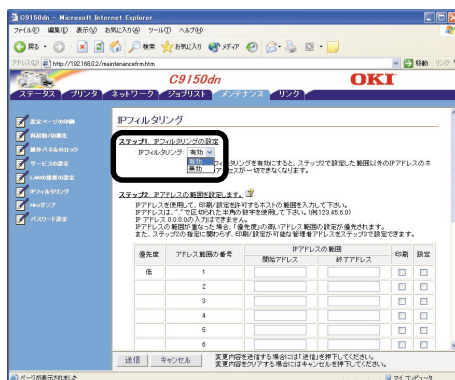
プリンタへのアクセスをIPアドレスを用いて管理できます。

- プリンタの初期設定では、「IPフィルタ」が「DISABLE」に設定されています。
- IPアドレスの入力を間違えると、IPプロトコルを用いてプリンタへアクセスできなくなります。十分注意して設定してください。

❶ Webブラウザを起動します。

❷ [アドレス]にURL「http://プリンタのIPアドレス/」を入力し、Enterキーを押します。

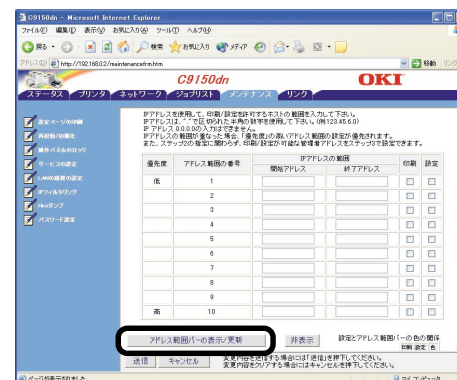
プリンタステータス画面が表示されます。

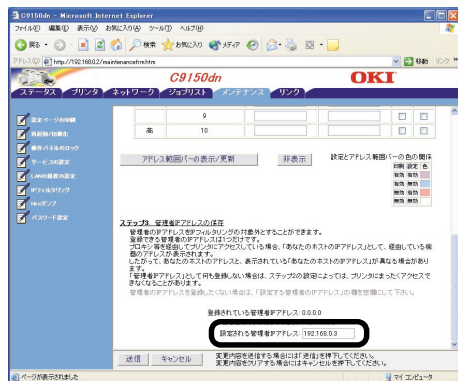
❸ [ログイン]をクリックします。

❹ [ユーザー名]に「root」、[パスワード]に「イーサネットアドレスの下6桁」を入力し、[OK]をクリックします。

❺ [メンテナンス]タブをクリックします。

❻［IPフィルタリング］をクリックします。

❼「ステップ1」で、「IPフィルタリングの設定」を［有効］にします。

注 IPフィルタリングを「有効」にすると、「ステップ２」で設定した範囲以外のIPアドレスのホストからのアクセスが一切できなくなります。

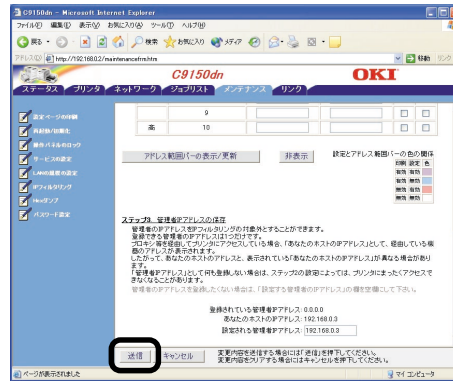
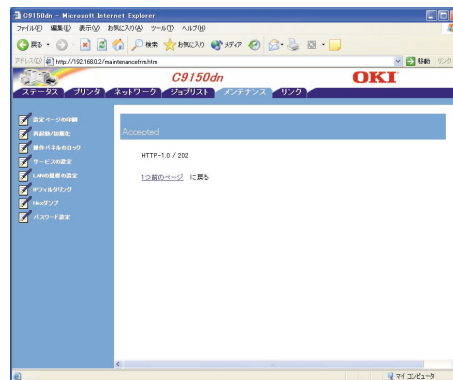
❽「ステップ2」で、IPアドレスの範囲を設定します。

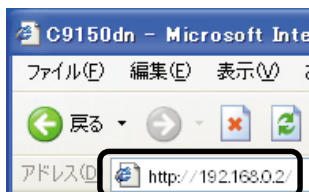
注
- IPアドレスを使用して、印刷/設定を許可するホストの範囲を入力してください。
- IPアドレスは、“.”で区切られた半角の数字を使用してください。
- IPアドレス0.0.0.0の入力はできません。
- IPアドレスの範囲が重なった場合、「優先度」の高いアドレス範囲の設定が優先されます。
- ステップ2の指定に関わらず、印刷/設定が可能な管理者アドレスをステップ3で設定できます。

❾［アドレス範囲バーの表示/更新］ボタンをクリックします。

IPアドレスの範囲を、修正したい場合は、該当するIPアドレスを入力し直し、再度、［アドレス範囲バーの表示/更新］をクリックしてください。

⑩「ステップ3」で、「設定される管理者IPアドレス」の値を設定します。

「設定される管理者IPアドレス」に管理者のIPアドレスを入力することにより、万一「Step2」で誤った設定を行ってしまった場合でも、管理者は「設定される管理者IPアドレス」で設定したIPアドレスのホストから再設定することができます。

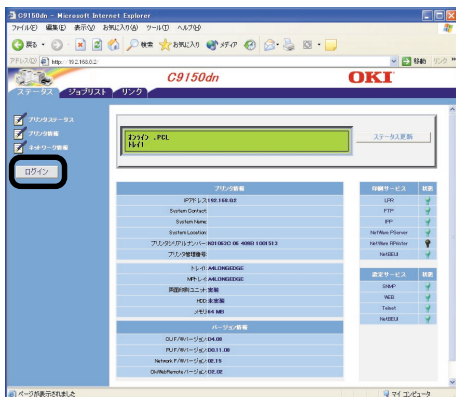
- プロキシ等を経由してプリンタにアクセスしている場合、「あなたのホストIPアドレス」として、経由している機器のアドレスが表示されます。したがって、あなたのホストのアドレスと表示されている「あなたのホストのIPアドレス」が異なる場合があります。
- 「管理者IPアドレス」として何も登録しない場合は、ステップ2の設定によっては、プリンタにまったくアクセスできなくなることがあります。
- 管理者のIPアドレスを登録したくない場合は、「設定する管理者のIPアドレス」の欄を空欄にしてください。

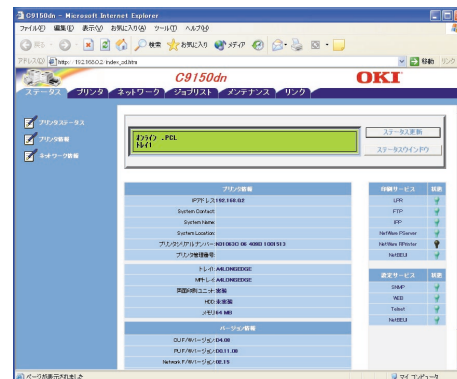
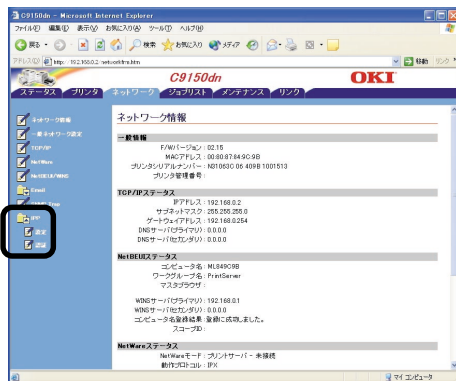
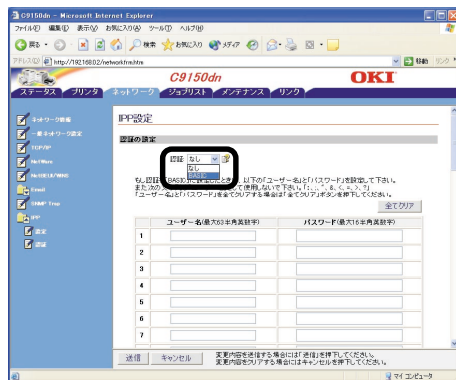
⑪「送信」をクリックします。

新しい設定値がプリンタに送信されると、次のような画面が表示されます。

IPP認証を設定します

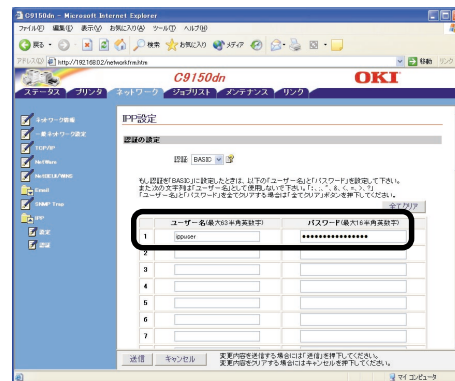
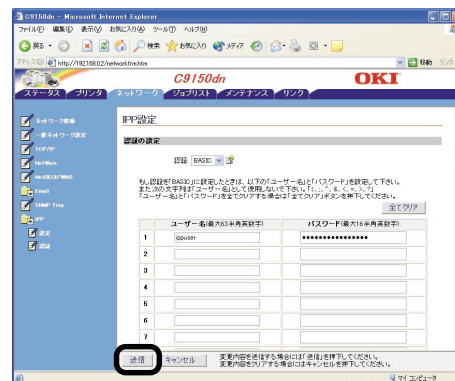
IPP印刷のためのユーザ名とパスワードを最大50組設定することができます。
ユーザ名とパスワードが一致したときのみIPP印刷を許可します。
Webブラウザのみで設定できます。

❶ Webブラウザを起動します。

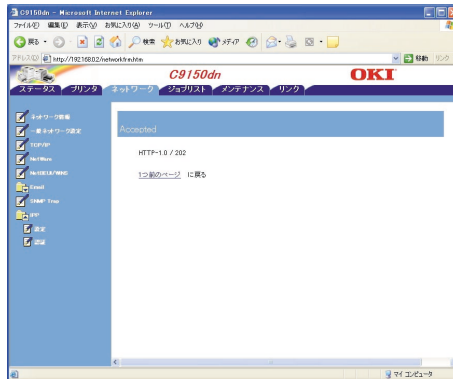
❷ [アドレス]にURL「http://プリンタのIPアドレス/」を入力し、Enterキーを押します。

プリンタステータス画面が表示されます。

❸ [ログイン]をクリックします。

❹ [ユーザー名]に「root」、[パスワード]に「イーサネットアドレスの下6桁」を入力し、[OK]をクリックします。

❺ [ネットワーク]タブをクリックします。

❻［IPP］-［認証］をクリックします。

❼［認証］を［BASIC］にします。

注 ・［認証］を［なし］に設定している場合、印刷するユーザの制限は行いません。
・認識方式［BASIC］では、パスワードは暗号化されません。

❽「ユーザ名」と「パスワード」を入力します。

❾「送信」をクリックします。

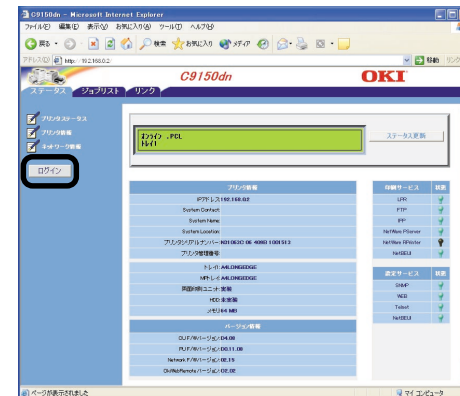
新しい設定値がプリンタに送信されると、次のような画面が表示されます。

操作パネルをロックします

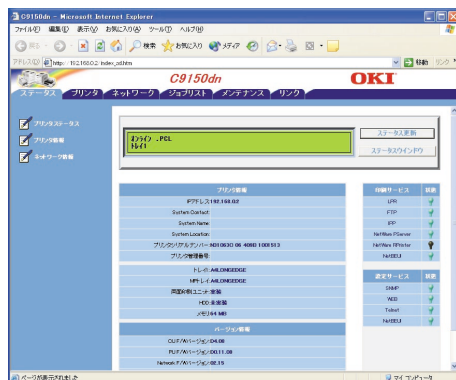
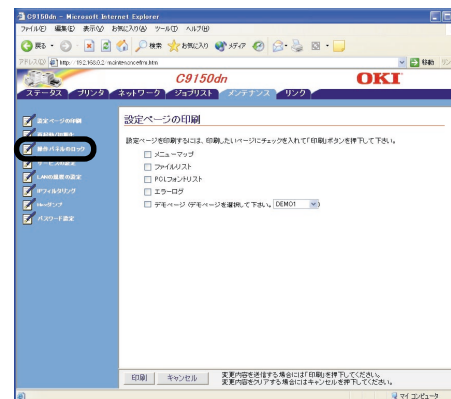
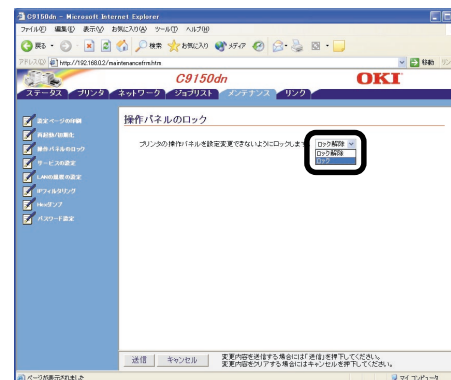
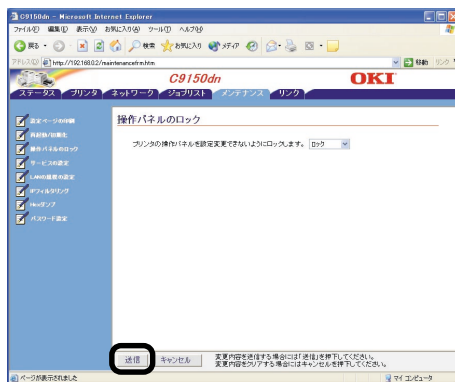
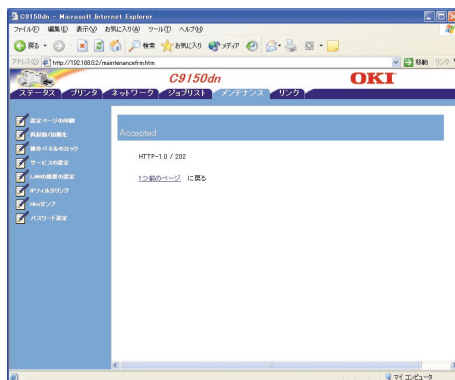
プリンタの操作パネルをロックし、操作パネルからのプリンタの設定変更を制限します。
Webブラウザのみで設定できます。

❶ Webブラウザを起動します。

❷ [アドレス]にURL「http://プリンタのIPアドレス/」を入力し、Enterキーを押します。

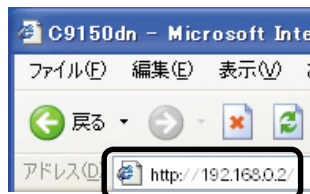
プリンタステータス画面が表示されます。

❸ [ログイン]をクリックします。

❹ [ユーザー名]に「root」、[パスワード]に「イーサネットアドレスの下6桁」を入力し、[OK]をクリックします。

❺ [ネットワーク]タブをクリックします。

❻ [操作パネルのロック]をクリックします。

❼ [操作パネルのロック]で[ロック]にします。

❽「送信」をクリックします。

新しい設定値がプリンタに送信されると、次のような画面が表示されます。

メール送信機能(SMTP)を使います

メール送信機能(SMTP)を実装しています。プリンタにエラーが発生した場合、メールを送信することができます。定期的にエラーが発生しているかどうかを送信する設定と、エラーが発生した時点でメールを送信する設定とを選択することができます。
Webブラウザ、TELNETで設定ができます。
以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ	: C9150dn
プリンタのIPアドレス	: 192.168.0.2
Webブラウザ	: Microsoft Internet Explorer Ver.6.0

電子メール送信の設定をします

❶ Webブラウザを起動します。

❷ [アドレス]にURL「http://プリンタのIPアドレス」を入力し、Enterキーを押します。

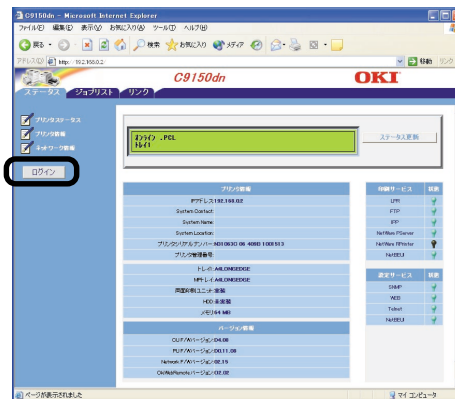
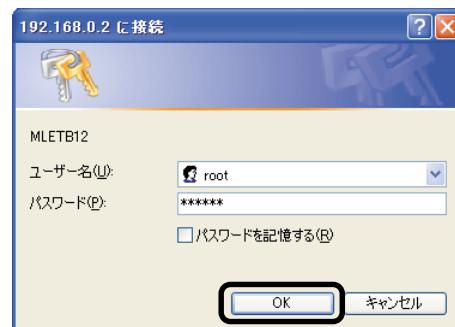
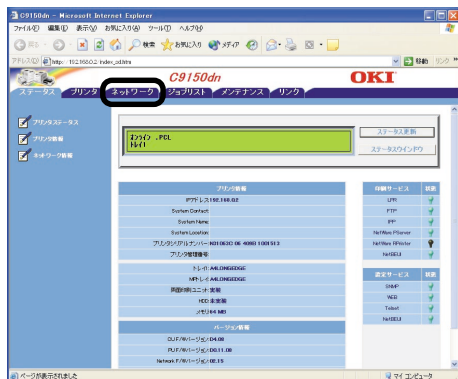
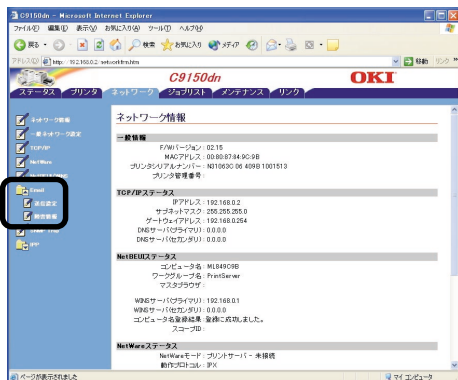
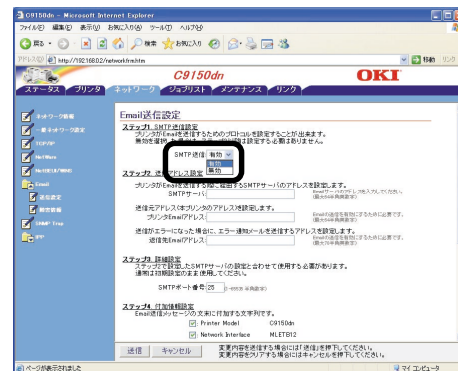
プリンタステータス画面が表示されます。

❸ [ログイン]をクリックします。

❹ [ユーザー名]に「root」、[パスワード]に「イーサネットアドレスの下6桁」を入力し、[OK]をクリックします。

イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報(Network Information)に表示されています。(267ページ)

メール送信機能(SMTP)を使います

11

❺ [ネットワーク]タブをクリックします。

❻ [Email]-[送信設定]をクリックします。

❼「ステップ1」で、「SMTP送信設定」を[有効]にします。

❽「ステップ2」で、送信に必要なアドレスを設定します。

① 「SMTPサーバ」に、メールサーバのドメイン名またはIPアドレスを設定します。

② 「プリンタEmailアドレス」に、プリンタに与えられたメールアドレスを設定します。

③ 「返信先Emailアドレス」に、プリンタから送信されたメールに対する返信用メールアドレスを設定します。通常、プリンタの管理者のメールアドレスを設定してください。

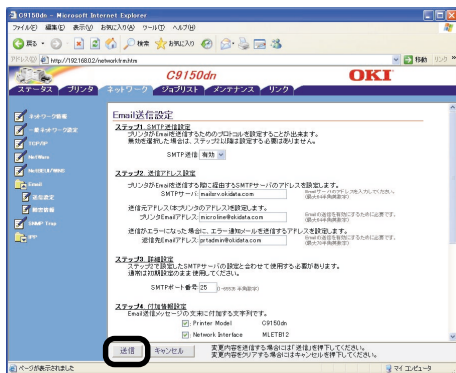
注

- 「SMTPサーバ」をドメイン名で設定する場合は、「TCP/IP」設定において、DNSサーバの設定が必要です。
- メールサーバにはプリンタからのメール送信を許可する設定が必要です。メールサーバの設定についてはネットワーク管理者にご相談ください。

❾「ステップ3」で、「SMTPポート番号」を設定します。お使いのSMTPサーバの設定に合わせてください。
通常は初期設定のままで使用します。

❿「ステップ4」でメールメッセージの文末に付加される情報を設定します。

① 必要な情報にチェックを付けます。

② [Comment line 1]～[Comment line 4]に自由に文字列を入力します。
メモなどにご活用ください。

⓫「送信」をクリックします。

新しい設定値がプリンタに送信されると、[Accepted]が表示されます。

定期的な通知を設定したい場合は、「発生した障害を定期的に通知します」へ進みます。エラーが発生した時点でメールを送信したい場合は、「障害が発生したことを通知します」(295ページ)へ進みます。

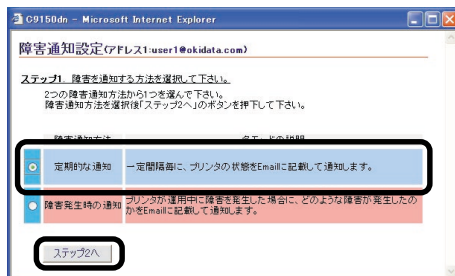
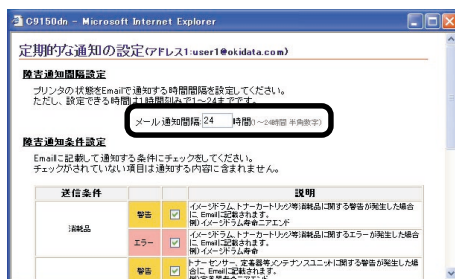
発生した障害を定期的に通知します

❶ [Email]-[障害情報]をクリックします。

❷ 障害通知先のメールアドレスを入力します。

❸ 設定したメールアドレスの[設定]ボタンをクリックします。

[コピー]ボタンをクリックすると、障害通知条件の設定を他の宛先にコピーすることができます。複数の宛先に同じような障害通知条件を設定する場合に便利です。

❹「定期的な通知」にチェックを付け、「ステップ2へ」をクリックします。

❺［障害通知間隔設定］でメールを送信する間隔を設定します。

メモ　期間内に通知対象のエラーが発生しなかった場合は、メールの送信は行われません。

❻［障害通知条件設定］で通知対象のエラー種別にチェックを付けます。

❼［OK］をクリックします。

❽障害通知条件の設定内容を確認します。

①一覧表示したい場合

a. [現在の設定一覧参照]ボタンをクリックします。

b. 設定内容を確認し、ウィンドウを閉じます。

②2つの宛先の設定条件を比較したい場合

a. リストボックスでそれぞれ比較したい宛先を選択します。

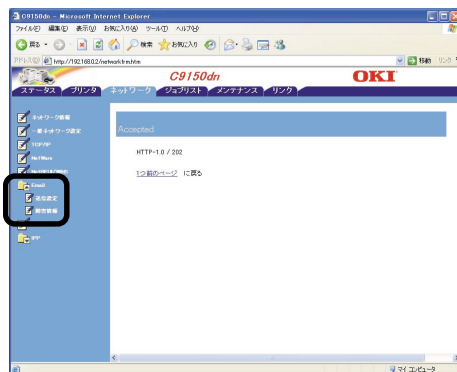
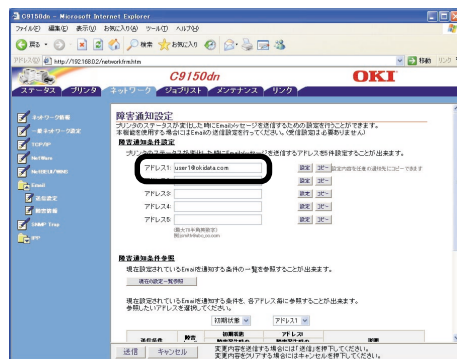
b. 表示された設定内容を確認します。

メモ 設定条件比較表内をクリックすることにより、通知条件設定を変更することができます。

❾「送信」をクリックします。

新しい設定値がプリンタに送信されると、[Accepted]が表示されます。

障害が発生したことを通知します

❶ [Email]-[障害情報]をクリックします。

❷ 障害通知先のメールアドレスを入力します。

❸ 設定したメールアドレスの[設定]ボタンをクリックします。

メモ　[コピー]ボタンをクリックすると、障害通知条件の設定を他の宛先にコピーすることができます。複数の宛先に同じような障害通知条件を設定する場合に便利です。

❹「障害発生時の通知」にチェックを付け、「ステップ2へ」をクリックします。

❺ [障害通知条件設定]で通知対象のエラー種別にチェックを付けます。

❻ エラーが発生してからメールを送信するまでの遅延時間を設定します。

メモ
- 遅延時間を設定することにより、長時間発生し続けているエラーだけを通知することができます。
- 遅延時間を「0時間0分」に設定すると、エラーが発生すると即時にメールが送信されます。

❼ [OK]をクリックします。

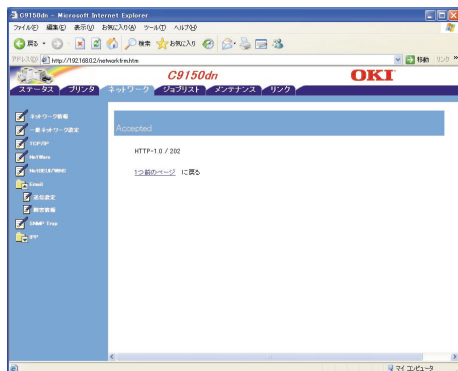
❽ 障害通知条件の設定内容を確認します。

① 一覧表示したい場合
a. [現在の設定一覧参照]ボタンをクリックします。
b. 設定内容を確認し、ウィンドウを閉じます。

② 2つの宛先の設定条件を比較したい場合
a. リストボックスでそれぞれ比較したい宛先を選択します。
b. 表示された設定内容を確認します。

メモ 設定条件比較表内をクリックすることにより、通知条件設定を変更することができます。

❾「送信」をクリックします。

新しい設定値がプリンタに送信されると、[Accepted]が表示されます。

SNMPを使います

C9150dnは、SNMPエージェントを実装しています。市販されているSNMPマネージャでプリンタの設定値の参照・変更をすることができます。
SNMPマネージャで参照・変更可能な設定項目はMIBと呼ばれ、C9150dnはMIB-IIおよび沖データプライベートMIBに対応しています。沖データプライベートMIBについては、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」の[Utility]-[Nic]-[Mib]フォルダの中の「 Readme-j.txt 」を参考にしてください。

12 メンテナンスをします

トナーカートリッジを交換します

トナーカートリッジの交換の目安

トナーが少なくなると操作パネルに[＊＊＊　トナーコウカン　ジュンビ]（＊＊＊は各色を表わします）のメッセージが表示されますので、新しいトナーカートリッジを準備してください。そのまま印刷を続けると[トナーヲ　イレテクダサイ]を表示して印刷を停止しますので、トナーカートリッジを交換してください。
お使いの環境によっては、メッセージが表示される前に印刷が薄くなることもあります。このようなときは、トナーカートリッジを外して、イメージドラムカートリッジ内のトナーを確認し、空の場合は新しいトナーカートリッジに交換してください。
トナーカートリッジ交換の目安は、5％の印刷密度の場合（1ページの印刷可能領域でトナーのついている面積の割合）、A4サイズの用紙（横送り、片面印刷時）で約7,500枚です。新しいドラムカートリッジに1本目のトナーカートリッジを取りつけたときには、交換の目安の枚数は約半分になります。これは、新しいイメージドラムカートリッジ内にトナーが入っていないので、1本目のトナーカートリッジからトナーを充填するためです。

オンライン　　　　　　　．ＰＣＬ ＊＊＊　トナーコウカン　ジ゛ュンビ゛	→	トナーヲ　イレテクタ゛サイ ｎｎｎ：＊＊＊

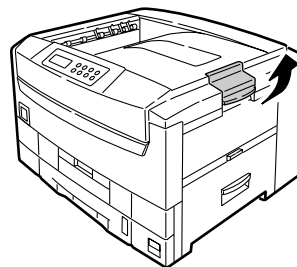
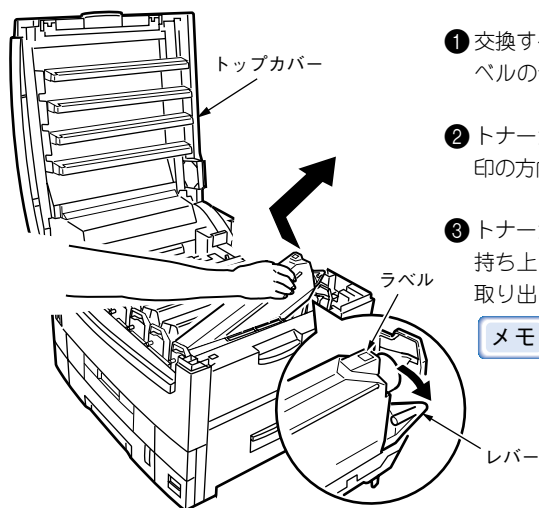
メモ　[トナーコウカン　ジュンビ]を表示してから[トナーヲ　イレテクダサイ]になるまでに印刷できる枚数は、約1,600枚です。（A4サイズ、片面印刷、5％印刷密度の場合）

- 開封後1年以上経過すると印刷品質が低下しますので、新しいトナーカートリッジを準備してください。
- [トナーヲ　イレテクダサイ]表示の後も、トップカバーを開閉するとしばらくは印刷を続けることはできますが、イメージドラムカートリッジの故障の原因となりますので、必ずトナーカートリッジを交換してください。
- 商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）

トナーカートリッジを交換します

1 トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

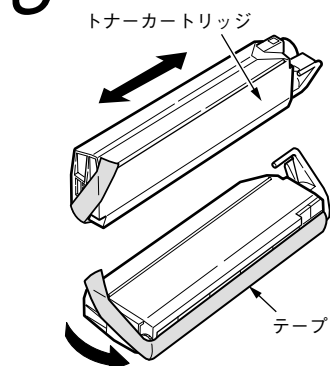
定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2 使用済みのトナーカートリッジを取り出します。

❶ 交換するトナーカートリッジをラベルの色で確認します。

❷ トナーカートリッジのレバーを矢印の方向に止まるまで回します。

❸ トナーカートリッジのレバー側を持ち上げ、横にずらすようにして取り出します。

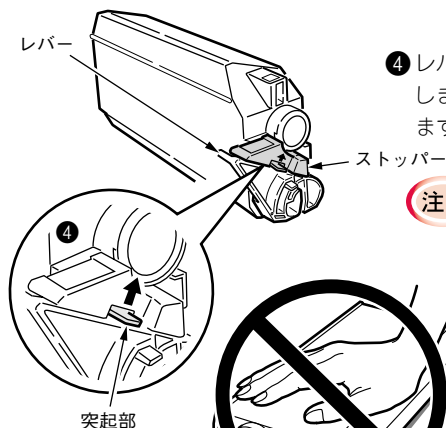
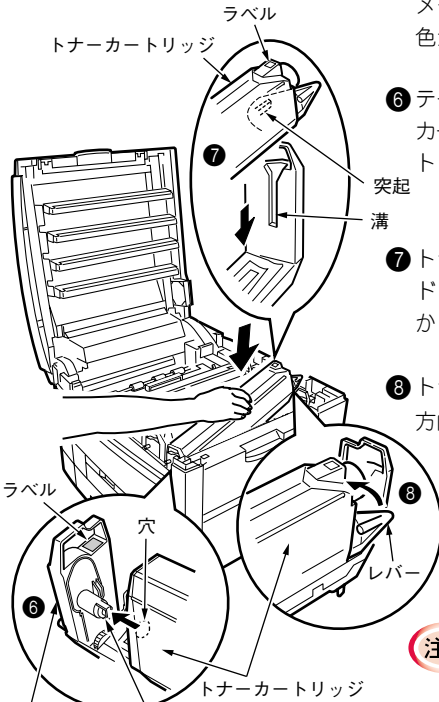
メモ 使用済みトナーカートリッジの回収を行っています。詳しくは「使用済み消耗品の回収について」(347ページ)をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

⚠警告	使用済みトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

3 新しいトナーカートリッジをセットします。

❶ 新しいトナーカートリッジを包装袋から取り出します。

新しいトナーカートリッジの色に間違いがないことを確認してください。

❷ 縦と横に数回振ります。

❸ トナーカートリッジのレバーがロックされていることを確認してから、トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりとはがします。

❹ レバーのストッパー(オレンジ色)を外します。突起部を矢印方向に押すと外れます。

注 トナーカートリッジを裏返した状態で荷重をかけないでください。レバーが動き、トナーがこぼれる場合があります。

❺トナーカートリッジのラベルの色とイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っていることを確認します。

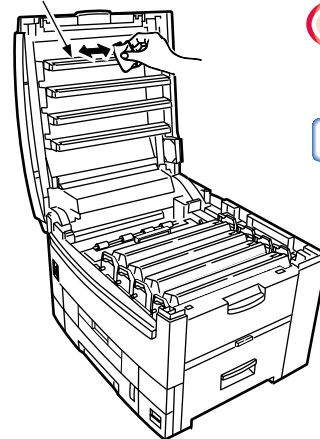
❻テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジの穴をイメージドラムカートリッジのポストに差し込みます。

❼トナーカートリッジの突起をイメージドラムカートリッジの溝に合わせしっかり押し込みます。

❽トナーカートリッジのレバーを矢印の方向に止るまで回します。

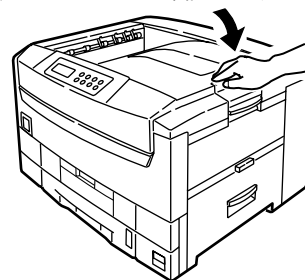
注

- トナーカートリッジを無理に押し込まないでください。きちんと入らないときは、トナーカートリッジとイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っているか確認してください。ラベルの色が一致しないとトナーカートリッジは取り付けられないようになっています。
- トナーカートリッジがきちんと固定されていないと、印刷品質が低下することがあります。

4 LED レンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーでLED ヘッドのレンズ面を軽く拭きます。

注 メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LED ヘッドを傷めますので使用しないでください。

メモ LED レンズクリーナは、交換用トナーカートリッジに添付されています。

5 トップカバーを閉じます。

注 トナーカートリッジの交換後に、操作パネルの[トナーフソク]または[トナーヲ　イレテクダサイ]の表示がいつまでも消えないときは、トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。また、「トナーセンサエラー」が表示された場合、トナーカートリッジが正しくセットされていない可能性があります。トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。

イメージドラムカートリッジを交換します

イメージドラムカートリッジ交換の目安

イメージドラムカートリッジが寿命になると操作パネルに[＊＊＊　ドラムコウカン　ジュンビ]（＊＊＊は各色を表わします）のメッセージが表示されます。そのまま印刷を続けると[アタラシイ　ドラムヲ　イレテクダサイ]を表示して印刷を停止します。
イメージドラムカートリッジ交換の目安は、A4サイズの用紙（横送り、片面印刷時）で約21,000枚です。ただし、これは一般的な使用状況（一度に3枚ずつ）で印刷した場合の枚数です。1枚ずつ印刷する場合には、約14,000枚でドラム寿命になります。（連続印刷で約26,000枚に相当します。）

オンライン　　　　　　　　．ＰＣＬ ＊＊＊　ト゛ラムコウカン　シ゛ュンヒ゛	→	アタラシイ　ト゛ラムヲ　イレテクタ゛サイ ｎｎｎ：＊＊＊　ト゛ラム　シ゛ュミョウ

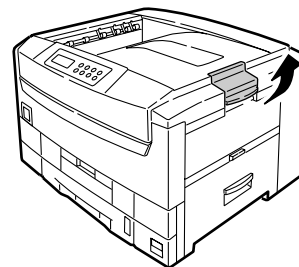
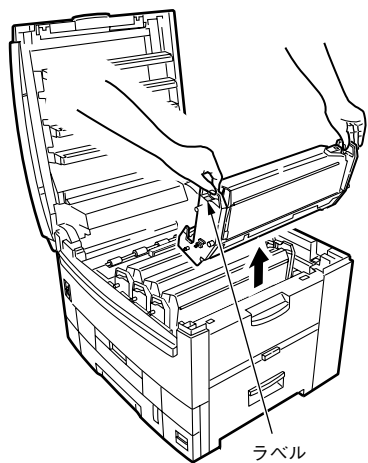
[ドラムコウカン　ジュンビ]を表示してから[ドラム　ジュミョウ]になるまでに印刷できる枚数は、約500枚です。（A4サイズ、片面印刷、一度に3枚ずつ印刷した場合）

- 開封後1年以上経過すると印刷品質が低下しますので、新しいイメージドラムカートリッジを準備してください。
- 「アタラシイ　ドラムヲ　イレテクダサイ」表示の後も、トップカバーを開閉するとトナーが残っていれば印刷を続けることはできますが、印刷品質が低下することがありますので、早めに交換してください。
- 商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）

イメージドラムカートリッジを交換します

1 トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2 使用済みのイメージドラムカートリッジを取り出します。

❶交換するイメージドラムカートリッジをラベルの色で確認します。

❷イメージドラムカートリッジを取り出します。
イメージドラムカートリッジを取り出すと、トナーカートリッジも一緒に取り出されます。

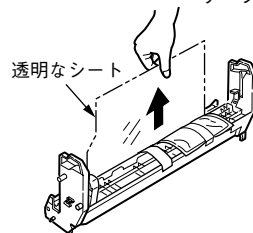
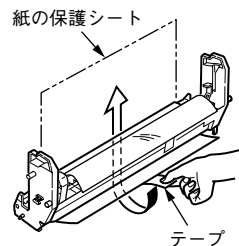
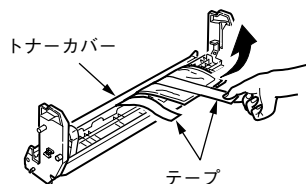
メモ 使用済みイメージドラムカートリッジとトナーカートリッジの回収を行っています。詳しくは「使用済み消耗品の回収について」(347ページ)をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

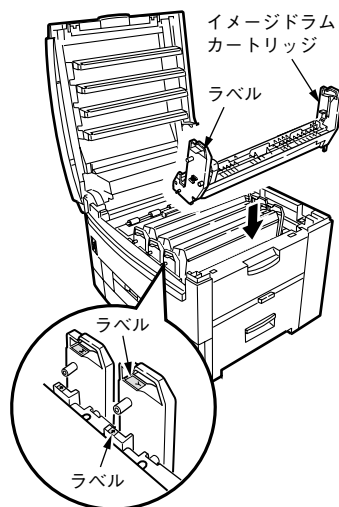
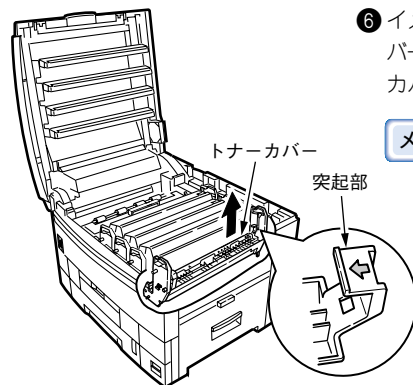
⚠警告	使用済みイメージドラムカートリッジとトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

3 新しいイメージドラムカートリッジをセットします。

❶新しいイメージドラムカートリッジを包装袋から取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

- 新しいイメージドラムカートリッジの色に間違いがないことを確認してください。
- トナーの飛散に注意して作業してください。
- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは、直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも5分間以上は放置しないでください。

❷紙の保護シートをとめているテープをはがし、イメージドラムカートリッジから紙の保護シートを矢印の方向に引き抜きます。

❸透明なシートを矢印の方向に引き抜きます。

❹ トナーカバー（オレンジ色）を固定しているテープをはがします。

注 まだトナーカバーははずさないでください。

❺ イメージドラムカートリッジのラベルの色とプリンタのラベルの色が合っていることを確認し、イメージドラムカートリッジを静かにセットします。

❻ イメージドラムカートリッジのトナーカバーの突起部を内側に押しながらトナーカバーを取り外します。

メモ トナーカバーは不燃物として処理してください。

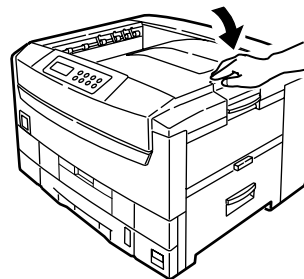
トナーカバー
突起部

4 新しいトナーカートリッジをセットします。

詳しくは「トナーカートリッジを交換します」（300ページ）をご覧ください。

注 今まで使用していたトナーカートリッジをセットすることも可能ですが、以下の理由により、新しいトナーカートリッジを使用されることを推奨します。

- 今まで使用していたトナーカートリッジが開封後1年以上経過している場合は、印刷品質が低下する可能性があります。
- 新しいイメージドラムカートリッジ内にはトナーが入っていないため、セットしたトナーカートリッジからトナーが充填されます。残量の少ないトナーカートリッジをセットした場合、すぐに「トナーヲ　コウカンシテクダサイ」のメッセージが表示される場合があります。
- 今まで使用していたトナーカートリッジをセットした場合、「トナーコウカン　ジュンビ」のメッセージが表示されるまでのトナー残量表示が不正確となります。

5 トップカバーを閉じます。

ベルトユニットを交換します

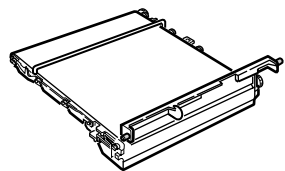
ベルトユニット交換の目安

ベルトユニットの交換時期になると、操作パネルに[ベルト　コウカン　ジュンビ]のメッセージが表示されます。そのまま印刷を続けると[アタラシイ　ベルトヲイレテクダサイ]のメッセージを表示して印刷を停止します。
ベルトユニット交換の目安は、A4サイズの用紙（横送り、片面印刷時）で約80,000枚です。ただし、これは一般的な使用状況で印刷した場合（一度に3枚ずつ）の枚数です。1枚ずつ印刷する場合には、約半分でベルトユニットの寿命になります。

オンライン　　　　　　　.PCL
ベ゛ルト　コウカン　ジ゛ュンビ゛

メモ　[ベルト　コウカン　ジュンビ]を表示してから[ベルト　ジュミョウ]になるまでの目安は、約8,000枚です。（A4サイズ、横送り、片面印刷、一度に3枚ずつ印刷した場合）

「ベルトヲ　コウカンシテクダサイ」表示の後も、トップカバーを開閉するとしばらくは印刷を続けることはできますが、プリンタの故障の原因となりますので、ベルトユニットを交換してください。

ベルトユニット

型名：MLBLT-C3A

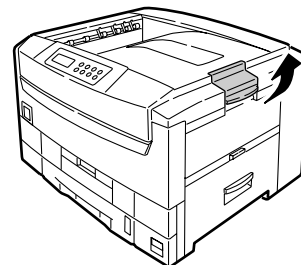
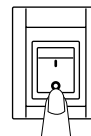
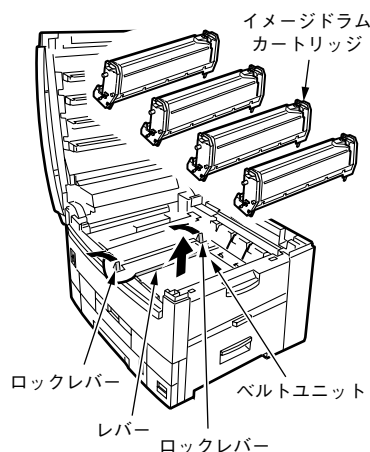
お近くの販売店またはサービス拠点（346ページ）でお求めください。

ベルトユニットを交換します

1 プリンタの電源をOFFにし、トップカバーを開けます。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」（24ページ）をご覧ください。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2 使用済みのベルトユニットを取り出します。

❶ イメージドラムカートリッジ（4個）を取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

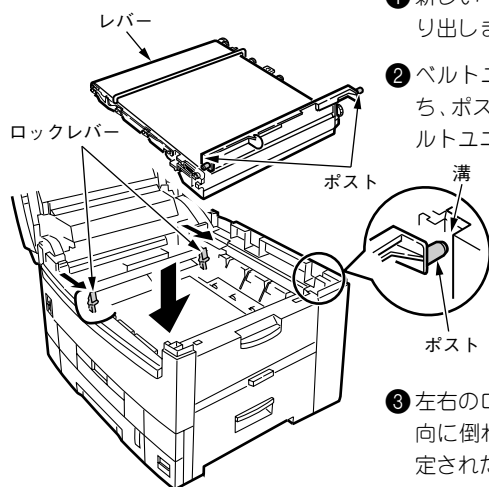
❷ 取り出したイメージドラムカートリッジに黒い紙をかぶせます。

❸ 左右のロックレバー（青色）を矢印の方向に倒し、レバー（青色）を持ち、ベルトユニットを取り外します。

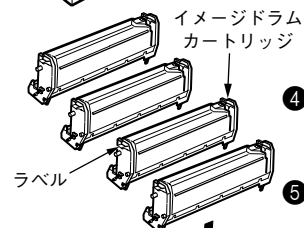
メモ
・使用済みベルトユニットの回収を行っています。詳しくは、「使用済み消耗品の回収について」（347ページ）をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

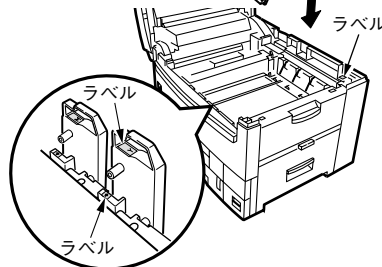
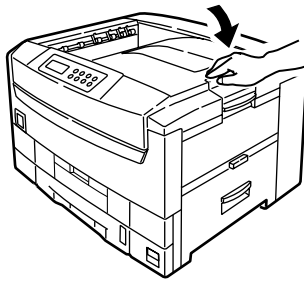
注
・イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。
・イメージドラムカートリッジは直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも5分間以上は放置しないでください。

⚠警告	使用済みベルトユニットは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

3 新しいベルトユニットをセットします。

❶ 新しいベルトユニットを包装袋から取り出します。

❷ ベルトユニットのレバー（青色）を持ち、ポストをプリンタの溝に合わせ、ベルトユニットをセットします。

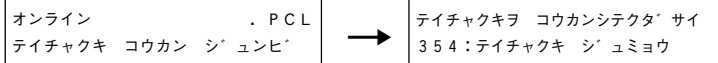
❸ 左右のロックレバー（青色）が矢印の方向に倒れ、ベルトユニットが確実に固定されたことを確認します。

❹ イメージドラムカートリッジの色とプリンタのラベルの色を合わせます。

❺ イメージドラムカートリッジ（4個）を静かにプリンタに戻します。

4 トップカバーを閉じます。

定着器ユニットを交換します

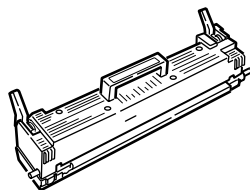
定着器ユニット交換の目安

定着器ユニットの交換時期になると、操作パネルに[テイチャクキ　コウカン　ジュンビ]のメッセージが表示されます。そのまま印刷を続けると[テイチャクキヲ　コウカンシテクダサイ]のメッセージが表示されますので、新しい定着器ユニットに交換します。
定着器ユニット交換の目安は、A4サイズの用紙（横送り、片面印刷時）で約80,000枚です。

```
オンライン　　　　　　　　．ＰＣＬ
テイチャクキ　コウカン　シ゛ュンヒ゛
```

```
テイチャクキヲ　コウカンシテクタ゛サイ
３５４：テイチャクキ　シ゛ュミョウ
```

メモ　[テイチャクキ　コウカン　ジュンビ]を表示してから[テイチャクキ　ジュミョウ]になるまでの目安は、A4サイズ（片面印刷）で約8,000枚です。

注　「テイチャクキヲ　コウカンシテクダサイ」表示の後も、トップカバーを開閉するとしばらくは印刷を続けることはできますが、プリンタの故障や紙づまりの原因となりますので、定着器ユニットを交換してください。

定着器ユニット

型名：MLFUS-C3A

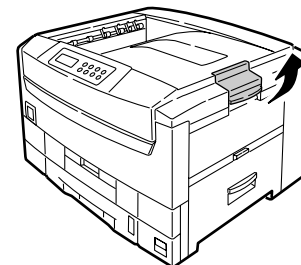
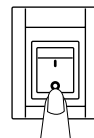
お近くの販売店またはサービス拠点（346ページ）でお求めください。

定着器ユニットを交換します

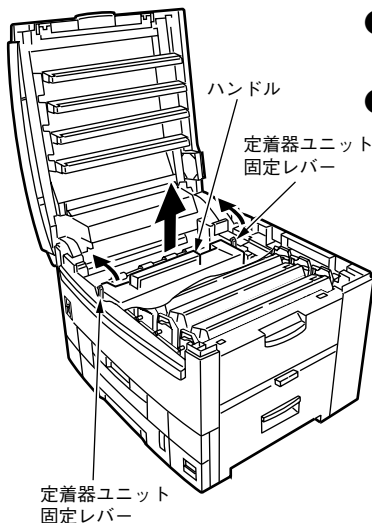
1 プリンタの電源をOFFにし、トップカバーを開けます。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」（24ページ）をご覧ください。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

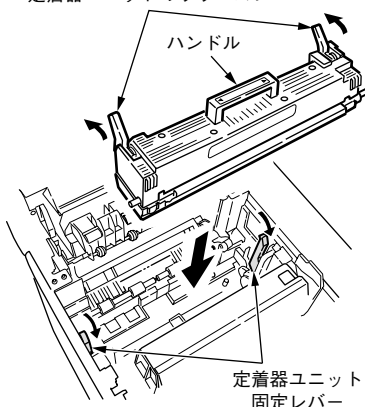
定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2 使用済みの定着器ユニットを取り出します。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっています。手を触れないよう十分注意をしてください。熱いときは無理をせず、冷めるまで待ってから作業を行ってください。

❶定着器ユニット固定レバー（青色2ヶ所）を矢印の方向へ起します。

❷定着器ユニットのハンドルを持ち、取り出します。

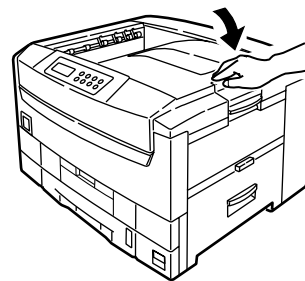
メモ 使用済みの定着器ユニットの回収を行っています。詳しくは、「使用済み消耗品の回収について」（347ページ）をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

3 新しい定着器ユニットをセットします。

❶新しい定着器ユニットを包装袋から取り出し、リリースレバーを固定しているテープをはがします。

❷定着器ユニットのハンドルを持ち、定着器ユニットをプリンタの中へ静かに入れます。

❸定着器ユニット固定レバー（青色2ヶ所）で固定されるまで、しっかりと押し込みます。

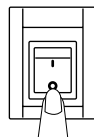
❹定着器ユニットのリリースレバー（青色2ヶ所）が矢印方向へ倒れていることを確認します。

4 トップカバーを閉じます。

プリンタの電源をONにしたとき、操作パネルに[サービスコール／173：エラー]または[サービスコール／177：エラー]が表示された場合は、定着器ユニットを取り付け直してください。

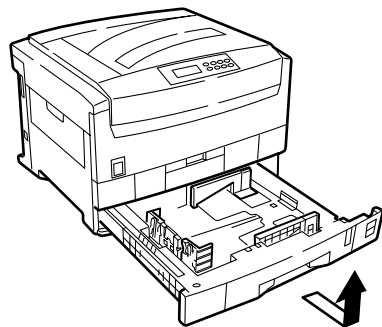
給紙ローラを交換します

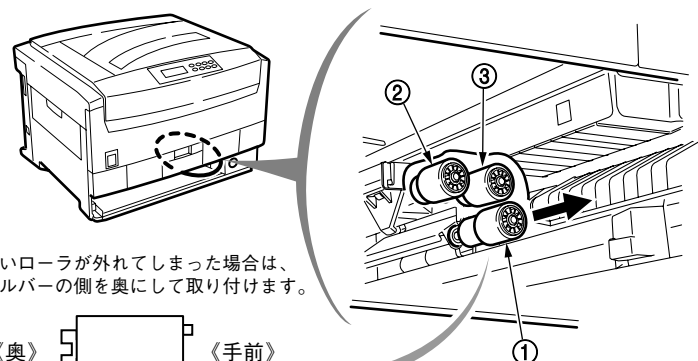
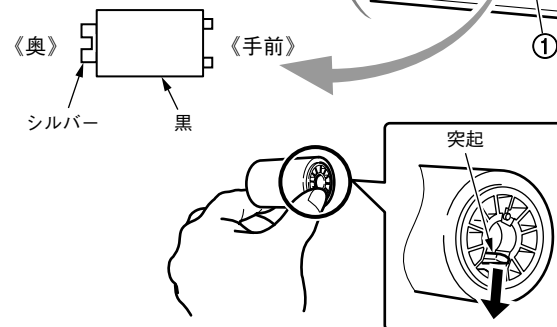
トレイ1ヶ所につき、給紙ローラを3個交換します。オプショントレイの給紙用ローラも下記手順で交換します。交換の目安は120,000枚(使用状況により異なります)です。

1 作業を始める前に、腕時計やブレスレット等を外します。

2 プリンタの電源を切ります。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(24ページ)をご覧ください。

3 用紙カセットを取り外します。

カセットを止まるまで引き出し、カセットの根元の引っ掛かっている部分を持ち上げるようにして取り外します。

4 右上の古い給紙ローラ(3個)を外します。

下図ローラの突起を矢印方向に倒すとロックが外れますので、突起を矢印の方向(外側)に広げたままローラを順番どおり(①→②→③)に手前に引き抜きます。

5 新しい給紙ローラ（3個）を取り付けます。（ローラは3ヶ所共通です）

- ローラ表面のゴムをさわらないでください。
- 汚れが付着したときは、水でしめらせたやわらかい布等で拭き取ってください。

❶ 給紙ローラを各々の軸に突起部を手前にしてカチッと音がするまで差し込みます。

（奥まで入らない場合は、ローラを少し回して押し込んでください）

3個のローラは、取り外したときの逆の順番（③→②→①）に取り付けてください。

❷ ロックが掛かっているか確認してください。（突起をさわらずにローラを前後に軽く動かし、ローラが外れないことを確認してください）

6 用紙カセットを取り付けます。

用紙カセットを取り外したときと逆の手順で取り付けます。

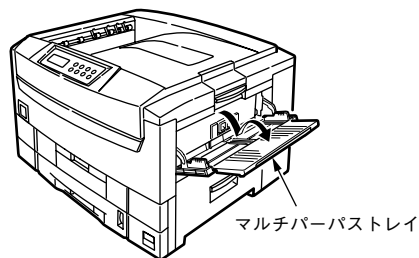
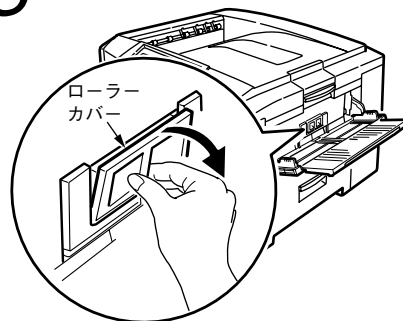
マルチパーパストレイ給紙ローラーを清掃します

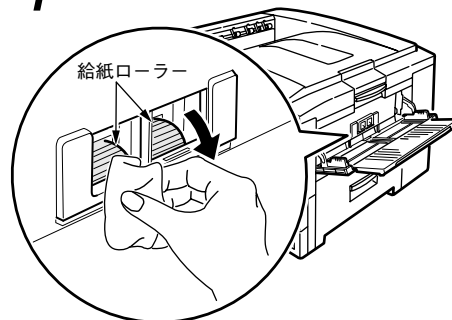
給紙ローラーが汚れると紙づまりが起こり易くなります。マルチパーパストレイから給紙している時に、「チェック　MPトレイ：390　ヨウシジャム」エラーが頻繁に起こる場合は、マルチパーパス給紙ローラーの清掃を行ってください。

メモ　トナーカートリッジを交換した時に、給紙ローラーの清掃を行うことを推奨します。

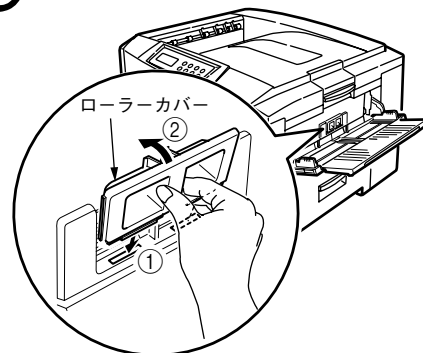
1 プリンタの電源を切ります。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」(24ページ)をご覧ください。

2 マルチパーパストレイを開けます。

3 ローラーカバーを外します。

❶ローラーカバーの中央をつまみ、外側へ倒しながら外します。

4 給紙ローラーの表面を拭きます。

❶添付のLED レンズクリーナー、または水を含ませて、固く絞った布を準備します。

❷給紙ローラーを手前に回しながら、布で表面全体を拭きます。

5 ローラーカバーを取り付けます。

❶ローラーカバーの下の突起を溝に差し込み、「カチッ」と音がするまで、ローラーカバーを押し込みます。

注　LEDレンズクリーナーを使用した場合は、清掃後すぐはローラーの表面にアルコールが残っているため、蒸発するまで待ってから印刷してください。

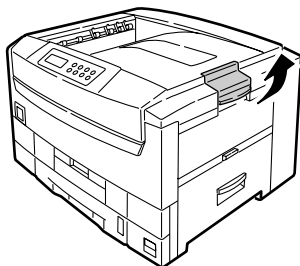
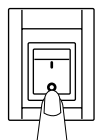
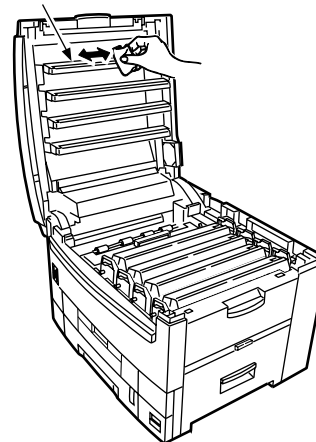
LEDヘッドを清掃します

印刷時にかすれや白いすじが入ったり、文字がにじんだりする場合に行ってください。

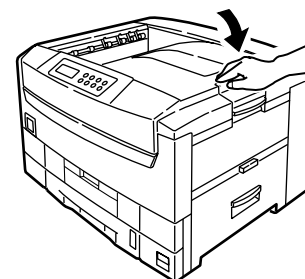
1 プリンタの電源をOFFにし、トップカバーを開けます。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」(24ページ)をご覧ください。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2 LEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーでLEDヘッドのレンズ面（4ヶ所）を軽く拭きます。

注　メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LEDヘッドを傷めますので使用しないでください。

メモ　LEDレンズクリーナは、交換用トナーカートリッジに添付されています。

3 トップカバーを閉じます。

色ずれ補正調整をします

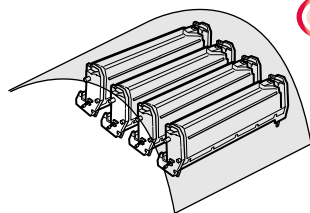
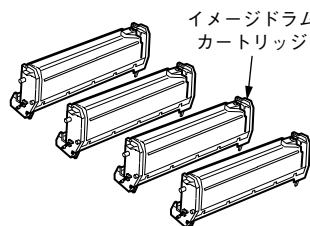
プリンタは電源をONにしたときやトップカバーを開閉したとき、また連続して印刷しているとき定期的に自動で色ずれ補正調整を行いますが、色ずれが気になる場合は、プリンタの操作パネルで調整を行ってください。

❶ ⓪ を数回押し、[カラー　メニュー]を表示します。

❷ ① または ⑤ を数回押し、[ジドウ　イロズレ　ホセイ／ジッコウ]を表示します。

❸ ③ を押します。

[オンライン／カラー　チョウセイチュウ]と表示して、色ずれ補正調整動作が開始されます。調整が終了すると、自動的に[オンライン]を表示します。

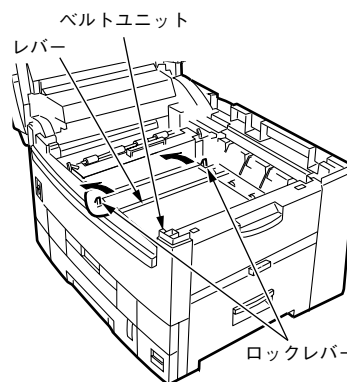
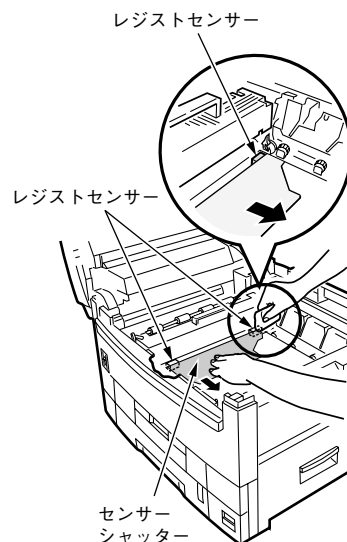
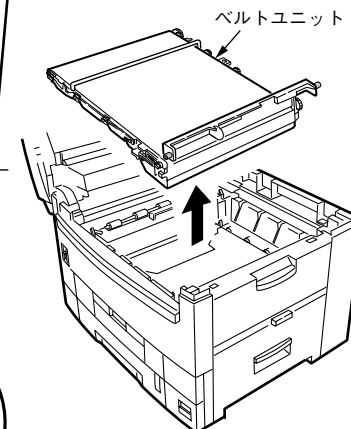
メモ　操作パネルで色ずれ補正調整をしても、色ずれが改善されない場合は、下記手順でレジストセンサーの清掃を行ってください。

❶ プリンタの電源を OFF にします。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」（24 ページ）をご覧ください。

❷ イメージドラムカートリッジ（4 個）を取り外し、平らなテーブルの上に置きます。

❸ 取り外したイメージドラムカートリッジに黒い紙をかぶせます。

注　・イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。
・イメージドラムカートリッジは直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも 5 分間以上は放置しないでください。

❹ 左右のロックレバー（青色）を矢印の方向に倒し、レバー（青色）を持ち、ベルトユニットを取り外します。

レジストセンサー
レジストセンサー
センサー
シャッター

❺ センサーシャッターを矢印方向に引いて開けます。

❻ 柔らかいティッシュペーパーで、左右（2ヶ所）のレジストセンサー表面の汚れを拭き取ります。

❼ ベルトユニットとイメージドラムカートリッジ（4個）をプリンタに戻します。

濃度補正調整をします

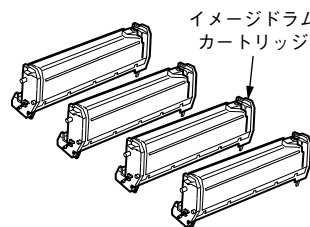
プリンタは電源をONにしたときや新しいイメージドラムカートリッジ、新しいトナーカートリッジを取り付けたとき、また連続して印刷しているとき定期的に自動で濃度補正調整を行いますが、印刷濃度が気になる場合は、プリンタの操作パネルで調整を行ってください。

❶ 0 を数回押し、[カラー　メニュー]を表示します。

❷ 1 または 5 を数回押し、[ノウド　ホセイ／ジッコウ]を表示します。

❸ 3 を押します。

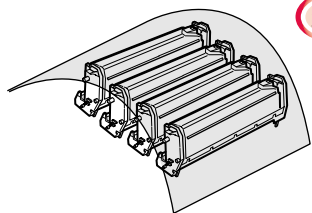
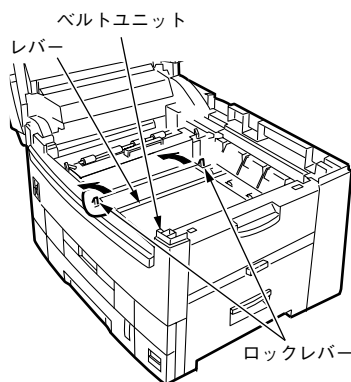
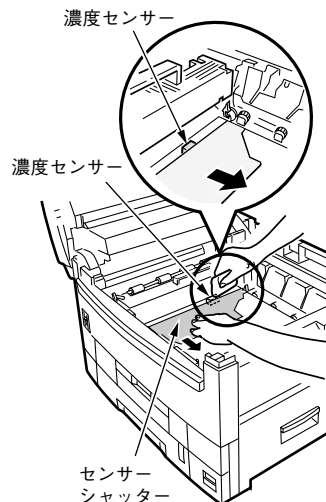
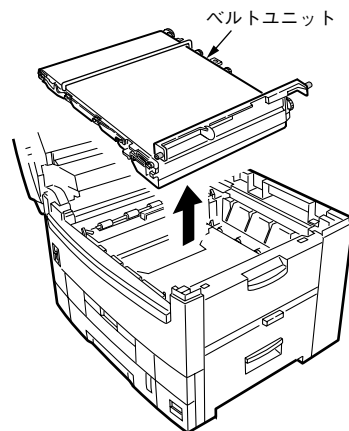
[オンライン／ノウド　ホセイチュウ]と表示して、濃度補正調整動作が開始されます。調整が終了すると、自動的に[オンライン]を表示します。

メモ　操作パネルで濃度補正調整をしても、濃度が改善されない場合は、下記手順で濃度センサーの清掃を行ってください。

❶ プリンタの電源を OFF にします。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」（24 ページ）をご覧ください。

❷ イメージドラムカートリッジ（4 個）を取り外し、平らなテーブルの上に置きます。

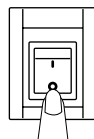
❸ 取り外したイメージドラムカートリッジに黒い紙をかぶせます。

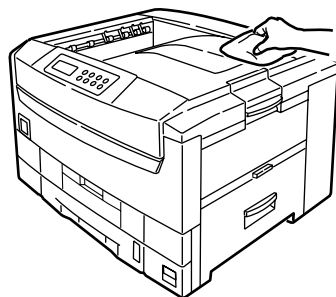
注
- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも 5 分間以上は放置しないでください。

❹ 左右のロックレバー（青色）を矢印の方向に倒し、レバー（青色）を持ち、ベルトユニットを取り外します。

❺ センサーシャッターを矢印方向に引いて開けます。

❻ 柔らかいティッシュペーパーで、中央の濃度センサー表面の汚れを拭き取ります。

❼ ベルトユニットとイメージドラムカートリッジ（4個）をプリンタに戻します。

プリンタ表面を清掃します

1 プリンタの電源をOFFにします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(24ページ)をご覧ください。

2 プリンタの表面を拭きます。

❶水または中性洗剤を含ませて、かたく絞った布で拭きます。

❷柔らかい乾いた布で拭きます。

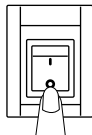
- 水または中性洗剤以外は使用しないでください。
- 本プリンタは油をさす必要はありません。注油しないでください。

プリンタを輸送するとき

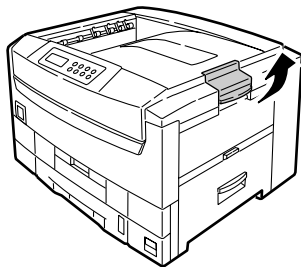
プリンタは精密機器ですので、梱包方法によっては輸送中に破損することがあります。次の手順で輸送してください。

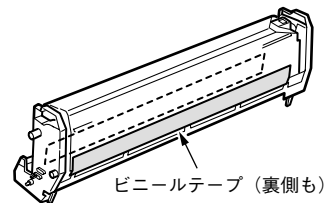
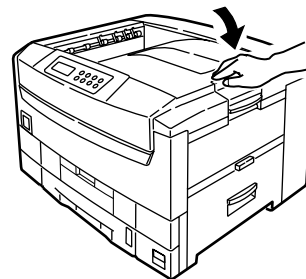
1 プリンタの電源を OFF にし、次の部品を取り外します。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(24ページ) をご覧ください。

- 電源コード、アース線
- プリンタケーブル
- 用紙カセットに入っている用紙

2 トップカバーを開け、イメージドラムカートリッジ（4個）を取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

3 イメージドラムカートリッジとトナーカートリッジの接合部分をビニールテープで止めて、プリンタに戻します。

プリンタにイメージドラムカートリッジを同梱して輸送します。トナーがこぼれないようにビニールテープで密封してください。

4 トップカバーを閉じます。

5 緩衝材でプリンタを保護し、梱包箱に入れます。

プリンタ購入時に付いていた梱包箱と緩衝材を使用してください。

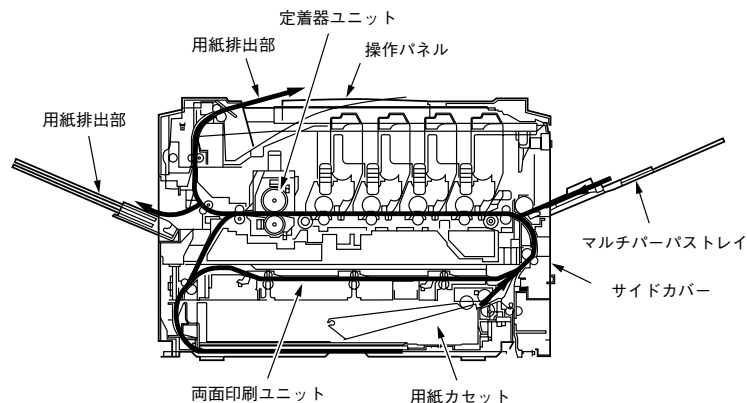
プリンタを輸送後、再度設置するときには、イメージドラムカートリッジとトナーカートリッジを止めたテープをはがしてください。

13 困ったときには

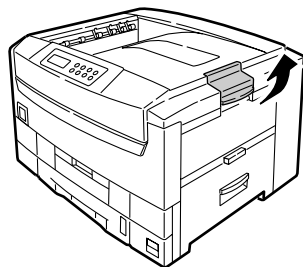
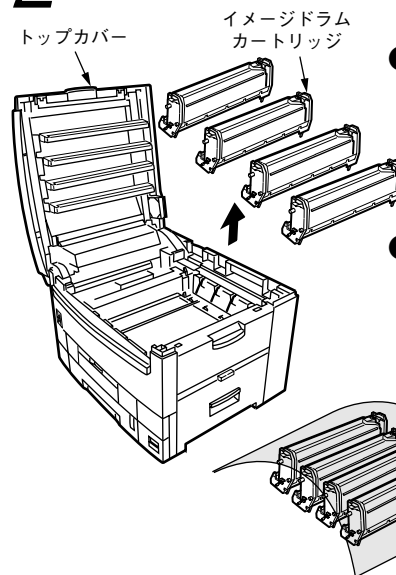
紙づまりになったとき

13

紙づまりになったとき

紙づまりが発生すると操作パネルに[ヨウシ　ジャム]メッセージが表示されます。
次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

1 トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2 イメージドラムカートリッジを取り出します。

❶ イメージドラムカートリッジ（4個）を取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

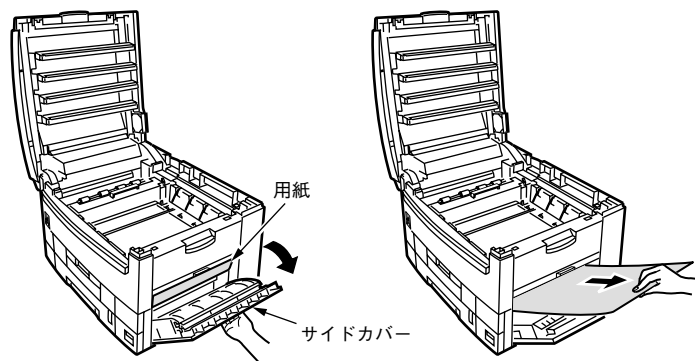
❷ 取り出したイメージドラムカートリッジに黒い紙をかぶせます。

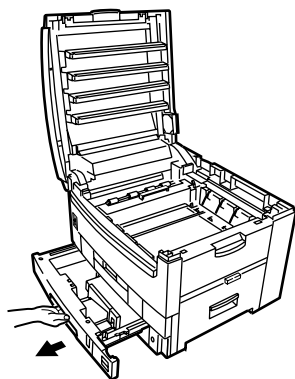
注

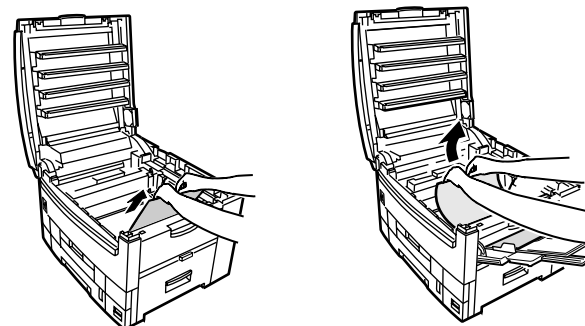
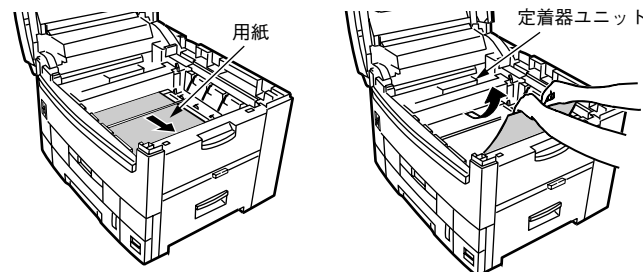
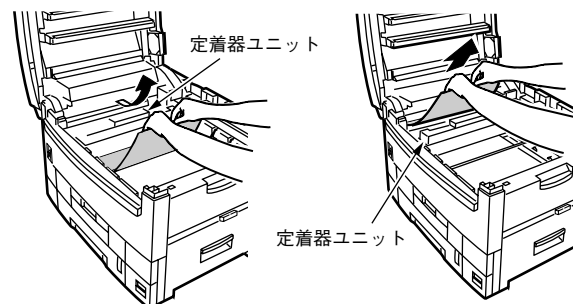
- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも、5分間以上は放置しないでください。

3 つまった用紙を取り除きます。

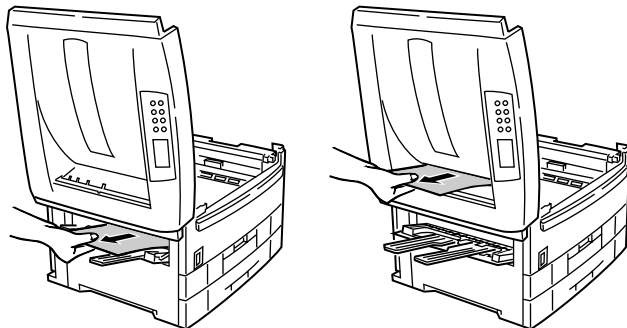
サイドカバー部

サイドカバーを開け、用紙の後端が見えている場合は、つまっている用紙をゆっくり引き出します。

用紙カセット部

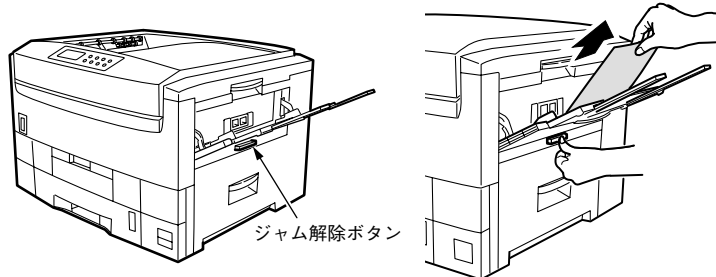
用紙カセットを引き出し、つまっている用紙を取り除きます。

トップカバー内部

用紙の先端が見えている場合は、つまっている用紙をゆっくり引き出します。

用紙の先端も後端も見えない場合は、つまっている用紙を矢印方向にずらしてからゆっくり引き出します。

用紙の後端が見えている場合は、つまっている用紙をゆっくり引き出します。

用紙排出部

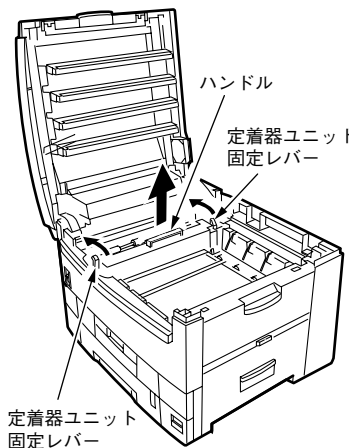
排出口から用紙をゆっくり引き出します。

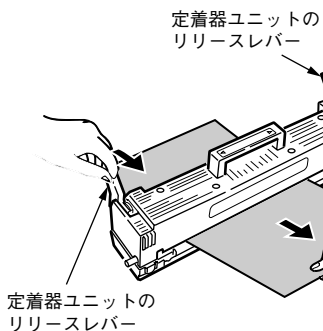
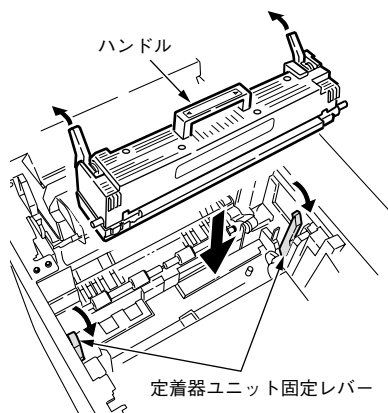
用紙排出部でつまった場合でも、トップカバー内部に用紙が見えている場合は、プリンタ内側に用紙を引き出してください。無理に後ろに引き出すと定着器ユニットを傷めるおそれがあります。

マルチパーパストレイ部

ジャム解除ボタンを押しながら、用紙をゆっくり引き出します。

ジャム解除ボタンは奥までしっかり押してください。

定着器ユニット部

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

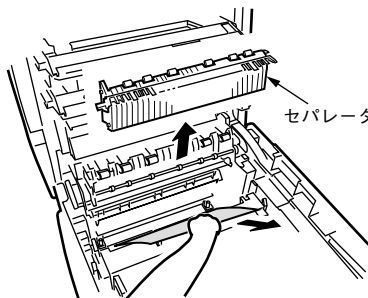
定着器ユニットは高温になっています。手を触れないように十分注意してください。熱いときは無理をせず、少し冷めるまで待ってから用紙を取ってください。

❶ 定着器ユニット固定レバー（青色２ヶ所）を矢印の方向へ倒します。

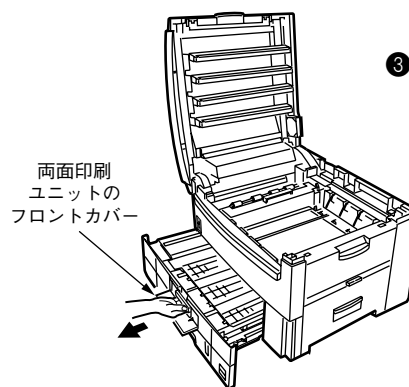
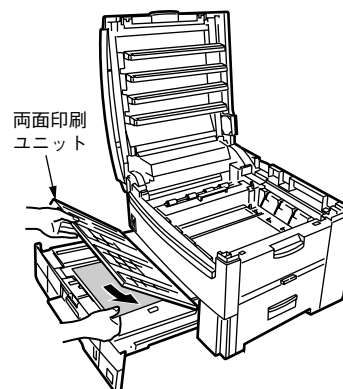
❷ ハンドルを持ち定着器ユニットを取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

❸ 定着器ユニットのリリースレバー（青色２ヶ所）を矢印の方向に倒し、つまった用紙をゆっくり引き出します。

❹ハンドルを持ち、定着器ユニットをプリンタの中へ静かに戻します。

❺定着器ユニット固定レバー（青色2ヶ所）で固定されるまで、しっかりと押し込みます。

❻定着器ユニットのリリースレバー（左右青色2ヶ所）を矢印の方向に戻します。

・定着器ユニット部のつまった用紙を取り除いた後は、定着器ユニット内部に未定着のトナーが残っていることがあるため、メニューマップ（「メニューマップ印刷をします」（24ページ））、白紙等を数回印刷してください。
・プリンタの電源をONにしたとき、操作パネルに［サービスコール／173：エラー］または［サービスコール／177：エラー］が表示された場合は、プリンタの電源をOFFにし、定着器ユニットを取り付け直してください。

両面印刷ユニット部

❶セパレータを取り外し、用紙があれば引き出します。

❷サイドカバーを開け、用紙があればゆっくり用紙を引き出します。

❸両面印刷ユニットのフロントカバーを開き、用紙カセットごと両面印刷ユニットを完全に引き出します。

❹両面印刷ユニットを開き、つまっている用紙を取り出します。

❺用紙カセットごと両面印刷ユニットをプリンタに戻し、両面印刷ユニットのフロントカバーを閉じます。

セカンド/サードトレイユニット（オプション）、大容量トレイユニット（オプション）から給紙したときに紙づまりが発生した場合は、それぞれの用紙走行部に用紙が残っていないか確認してください。また、トップカバーを一旦開閉しないとアラーム表示を解除できません。

4 イメージドラムカートリッジを戻し、トップカバーを閉じます。

操作パネルのメッセージ

プリンタの操作パネルに表示されるメッセージと対処方法を説明します。
ここで説明する処置をしても良くならない場合は、お客様相談センター(345ページ)へご連絡ください。

ｍｍｍ：用紙サイズ
ｐｐｐ：メディアタイプ

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ nnn	操作パネル表示	内　容
－	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■ ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■	操作パネルのテストを行っています。しばらくお待ちください。
－	ＲＡＭ チェックチュウ ************************	RAM のチェック中です。
－	イニシャルチュウ	プリンタの初期化中です。
－	インサツチュウ	印刷しています。
－	オフライン	オフラインです。印刷する場合は ④（オンライン）スイッチを押してオンラインにしてください。
－	オンライン	オンラインです。印刷データを受信できます。
－	ショリチュウ	データ受信中または受信したデータを処理しています。
－	デ゛ータ クリアチュウ	受信したデータをキャンセルしてます。（130 ページ）
－	デ゛ータ クリアチュウ（インサツキョカナシ）	プリントジョブアカウンティングで印刷が許可されていないユーザからジョブが送信され、ジョブがキャンセルされました。 (1) 使用制限で印刷不可が設定されているユーザのジョブ (2) 使用制限でカラー印刷不可が設定されているユーザのカラージョブ (3) 設定された制限値を超えたユーザのジョブ
－	デ゛ータ クリアチュウ（ジ゛ャム）	受信したデータをキャンセルしてます。（紙づまり復旧後の動作）
－	デ゛ータ クリアチュウ（ハ゛ッファフル）	プリントジョブアカウンティングのログフル時の操作が「ジョブをキャンセルする」に設定されているとき、ログを格納する領域が足りなくなり、ジョブがキャンセルされました。
－	デ゛ータ ジ゛ュシンチュウ	データ受信中です。
－	デ゛ータ アリ	受信したデータが残っています。次に送られてくるデータを待っています。
－	コピ゜ー nnn/mmm	コピー部数が 2 部以上のとき、現在印刷しているコピー部数を表示します。
－	チョウアイ ｉｉｉ ／ｊｊｊ	丁合印刷をしています。（214 ページ）
－	カラー チョウセイチュウ	色ずれ調整中です。
－	ウォーミンク゛ アップ゜	ウォーミングアップ動作中です。
－	クーリンク゛ タ゛ウン	クーリングダウン中です。
－	ノウト゛ ホセイチュウ	自動濃度補正中です。
－	ハ゜ワーセーフ゛	省電力モード中です。（127 ページ）
－	ファイル アクセスチュウ	ファイルシステムへのアクセス中です。または、プリントジョブアカウンティングでハードディスクやフラッシュメモリにアクセスしています。ハードディスクやフラッシュメモリが破損する場合がありますので、表示中は電源を OFF しないでください。
－	ヨウシアツ ニンシキチュウ	用紙厚検知中です。
－	イエロー　トナーセンサー エラー	トナーセンサーに異常が発生しています。イエローのトナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。（300 ページ）

13

操作パネルのメッセージ

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ nnn	操作パネル表示	内 容
－	マゼ゛ンタ トナーセンサー エラー	トナーセンサーに異常が発生しています。マゼンタのトナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。(300 ページ)
－	シアン トナーセンサー エラー	トナーセンサーに異常が発生しています。シアンのトナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。(300 ページ)
－	フ゛ラック トナーセンサー エラー	トナーセンサーに異常が発生しています。黒のトナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。(300 ページ)
－	イエロー トナーコウカン シ゛ュンヒ゛	トナー残量が少なくなっています。イエローの新しいトナーカートリッジを準備してください。(300 ページ)
－	マゼ゛ンタ トナーコウカン シ゛ュンヒ゛	トナー残量が少なくなっています。マゼンタの新しいトナーカートリッジを準備してください。(300 ページ)
－	シアン トナーコウカン シ゛ュンヒ゛	トナー残量が少なくなっています。シアンの新しいトナーカートリッジを準備してください。(300 ページ)
－	フ゛ラック トナーコウカン シ゛ュンヒ゛	トナー残量が少なくなっています。黒の新しいトナーカートリッジを準備してください。(300 ページ)
－	イエロー トナー ナシ	「トナーヲ イレテクダサイ」表示の後、トップカバーを開閉するとこの表示で少し印刷できますが、すみやかにトナーカートリッジを交換してください。
－	マゼ゛ンタ トナー ナシ	「トナーヲ イレテクダサイ」表示の後、トップカバーを開閉するとこの表示で少し印刷できますが、すみやかにトナーカートリッジを交換してください。
－	シアン トナー ナシ	「トナーヲ イレテクダサイ」表示の後、トップカバーを開閉するとこの表示で少し印刷できますが、すみやかにトナーカートリッジを交換してください。
－	フ゛ラック トナー ナシ	「トナーヲ イレテクダサイ」表示の後、トップカバーを開閉するとこの表示で少し印刷できますが、すみやかにトナーカートリッジを交換してください。
－	イエロー ト゛ラムコウカン シ゛ュンヒ゛	イメージドラムカートリッジの寿命が近づいています。イエローの新しいドラムを準備してください。(303 ページ)

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ nnn	操作パネル表示	内 容
－	マゼ゛ンタ ト゛ラムコウカン シ゛ュンヒ゛	イメージドラムカートリッジの寿命が近づいています。マゼンタの新しいドラムを準備してください。(303 ページ)
－	シアン ト゛ラムコウカン シ゛ュンヒ゛	イメージドラムカートリッジの寿命が近づいています。シアンの新しいドラムを準備してください。(303 ページ)
－	フ゛ラック ト゛ラムコウカン シ゛ュンヒ゛	イメージドラムカートリッジの寿命が近づいています。黒の新しいドラムを準備してください。(303 ページ)
－	イエロー ト゛ラム シ゛ュミョウ	「アタラシイ ドラムヲ イレテクダサイ」表示の後、トップカバーを開閉するとこの表示で少し印刷できますが、すみやかにイメージドラムカートリッジを交換してください。
－	マゼ゛ンタ ト゛ラム シ゛ュミョウ	「アタラシイ ドラムヲ イレテクダサイ」表示の後、トップカバーを開閉するとこの表示で少し印刷できますが、すみやかにイメージドラムカートリッジを交換してください。
－	シアン ト゛ラム シ゛ュミョウ	「アタラシイ ドラムヲ イレテクダサイ」表示の後、トップカバーを開閉するとこの表示で少し印刷できますが、すみやかにイメージドラムカートリッジを交換してください。
－	フ゛ラック ト゛ラム シ゛ュミョウ	「アタラシイ ドラムヲ イレテクダサイ」表示の後、トップカバーを開閉するとこの表示で少し印刷できますが、すみやかにイメージドラムカートリッジを交換してください。
－	MP トレイ ヨウシカ゛ アリマセン	トレイに用紙がありません。必要に応じて用紙を補充してください。
－	トレイ 1 ヨウシカ゛ アリマセン	トレイに用紙がありません。必要に応じて用紙を補充してください。
－	トレイ 2 ヨウシカ゛ アリマセン	トレイに用紙がありません。必要に応じて用紙を補充してください。
－	トレイ 3 ヨウシカ゛ アリマセン	トレイに用紙がありません。必要に応じて用紙を補充してください。
－	トレイ 4 ヨウシカ゛ アリマセン	トレイに用紙がありません。必要に応じて用紙を補充してください。
－	トレイ 5 ヨウシカ゛ アリマセン	トレイに用紙がありません。必要に応じて用紙を補充してください。
－	トレイ 1 ヨウシ マモナク オワリマス	トレイの用紙がまもなく無くなります。
－	トレイ 2 ヨウシ マモナク オワリマス	トレイの用紙がまもなく無くなります。

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ nnn	操作パネル表示	内　容
−	トレイ 3 ヨウシ マモナク オワリマス	トレイの用紙がまもなく無くなります。
−	トレイ 4 ヨウシ マモナク オワリマス	トレイの用紙がまもなく無くなります。
−	トレイ 5 ヨウシ マモナク オワリマス	トレイの用紙がまもなく無くなります。
−	トレイ 1 リフトアップ゜ エラー	トレイで用紙を給紙位置まで持ち上げられませんでした。用紙を入れ過ぎていないか確認して、カセットを入れ直してください。
−	トレイ 2 リフトアップ゜ エラー	トレイで用紙を給紙位置まで持ち上げられませんでした。用紙を入れ過ぎていないか確認して、カセットを入れ直してください。
−	トレイ 3 リフトアップ゜ エラー	トレイで用紙を給紙位置まで持ち上げられませんでした。用紙を入れ過ぎていないか確認して、カセットを入れ直してください。
−	トレイ 4 リフトアップ゜ エラー	トレイで用紙を給紙位置まで持ち上げられませんでした。用紙を入れ過ぎていないか確認して、カセットを入れ直してください。
−	トレイ 5 リフトアップ゜ エラー	トレイで用紙を給紙位置まで持ち上げられませんでした。用紙を入れ過ぎていないか確認して、カセットを入れ直してください。
−	トレイ 1 ヨウシ イレスキ゛	トレイに用紙を入れすぎました。適正な枚数に減らしてください。
−	トレイ 2 ヨウシ イレスキ゛	トレイに用紙を入れすぎました。適正な枚数に減らしてください。
−	トレイ 3 ヨウシ イレスキ゛	トレイに用紙を入れすぎました。適正な枚数に減らしてください。
−	トレイ 4 ヨウシ イレスキ゛	トレイに用紙を入れすぎました。適正な枚数に減らしてください。
−	トレイ 5 ヨウシ イレスキ゛	トレイに用紙を入れすぎました。適正な枚数に減らしてください。
−	キョカサレナイ ID. インサツトリケシ	プリントジョブアカウンティングで「データ クリアチュウ（インサツキョカナシ）」によりジョブがキャンセルされた後、表示されます。④（オンライン）スイッチを押すまで表示され続けます。
−	シ゛ョフ゛ オフセット ホーム エラー	ジョブオフセットホーム検出センサに異常が発生しています。ジョブオフセット機能が使えません。

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ nnn	操作パネル表示	内　容
−	チョウアイ エラー：ヘ゜ーシ゛カ゛ オオスキ゛マス	丁合印刷のためのメモリが不足しています。
−	テ゛ィスク オヘ゜レーション エラー ｎｎ	内蔵ハードディスクに不正なアクセスがありました。
−	テ゛ィスク カキコミキンシ	内蔵ハードディスクに書き込めません。
−	テ゛ィスクファイルシステム フル	内蔵ハードディスクがいっぱいです。
−	テイチャクキヲ コウカンシテクタ゛サイ	定着器ユニットの交換時期です。定着器ユニットを交換してください。（309 ページ）
−	テイチャクキ コウカン シ゛ュンヒ゛	定着器ユニットの交換時期が近づいています。定着器ユニットを準備してください。
−	ヘ゛ルト コウカン シ゛ュンヒ゛	ベルトユニットの寿命が近づいています。ベルトユニットを準備してください。（306 ページ）
−	ヘ゛ルト シ゛ュミョウ	「アタラシイ ベルトヲ イレテクダサイ」表示の後、トップカバーを開閉するとこの表示で少し印刷できますが、すみやかにベルトユニットを交換してください。
−	ヨウシアツ キテイカ゛イ	用紙厚センサーの測定値が規定外です。定着が正常に行われないことがあります。再度印刷を行い、繰り返し発生するようであればお客様相談センター（345 ページ）へご連絡ください。もしくはマニュアルモードでご使用ください。
−	ヨウシセンサ キテイカ゛イ	用紙厚センサーの自動初期化時にエラーが発生しました。定着が正常に行われないことがあります。再度印刷を行い、繰り返し発生するようであればお客様相談センター（345 ページ）へご連絡ください。もしくはマニュアルモードでご使用ください。
−	ロク゛ハ゛ッファフル . インサツトリケシ	プリントジョブアカウンティングで「データ クリアチュウ（バッファフル）」によりジョブがキャンセルされた後、表示されます。④（オンライン）スイッチを押すまで表示され続けます。
−	オンラインスイッチ ヲ オシテクタ゛サイ ムコウテ゛ータ	無効データを受信しました。④（オンライン）スイッチを押してください。
−	ｍｍｍ ヲ ＭＰ トレイニ イレテ オンライン スイッチヲ オシテクタ゛サイ	手差し印刷を行います。表示されているサイズの用紙をマルチパーパストレイに入れて、④（オンライン）スイッチを押してください。

エラーコード nnn	操作パネル表示	内　容
310	カハ゛ーヲ シメテクタ゛サイ 310 ：トッフ゜ カハ゛ーオーフ゜ン	カバーが開いています。印刷をするときはカバーを閉めてください。
311	カハ゛ーヲ シメテクタ゛サイ 311 ：サイト゛ カハ゛ーオーフ゜ン	カバーが開いています。印刷をするときはカバーを閉めてください。
312	カハ゛ーヲ シメテクタ゛サイ 312 ：トレイ2 カハ゛ーオーフ゜ン	カバーが開いています。印刷をするときはカバーを閉めてください。
313	カハ゛ーヲ シメテクタ゛サイ 313 ：トレイ3 カハ゛ーオーフ゜ン	カバーが開いています。印刷をするときはカバーを閉めてください。
314	カハ゛ーヲ シメテクタ゛サイ 314 ：トレイ4 カハ゛ーオーフ゜ン	カバーが開いています。印刷をするときはカバーを閉めてください。
315	カハ゛ーヲ シメテクタ゛サイ 315 ：トレイ5 カハ゛ーオーフ゜ン	カバーが開いています。印刷をするときはカバーを閉めてください。
320	テイチャクキヲ セットシナオシテクタ゛サイ 320 ：テイチャクキ エラー	定着器ユニットが正しく取り付けられていません。取り付け直してください。（309 ページ）
321	テ゛ンケ゛ンヲキリ シハ゛ラク オマチクタ゛サイ 321 ：MOTOR OVERHEAT	モータ過熱エラーです。電源を切り、しばらく放置してください。
325	カハ゛ーカイヘイ シテクタ゛サイ 325 ：ヨウシアツ エラー	用紙厚センサーエラーです。トップカバーを開閉してください。規定外の用紙厚さを検出しました。用紙を確認してください。
326	カハ゛ーカイヘイ シテクタ゛サイ 326 ：ヨウシアツ エラー	用紙厚センサエラーです。トップカバーを開閉してください。極厚い紙印刷中に規定外の用紙厚さを検出しました。用紙を確認してください。
330	ヘ゛ルトヲ セットシナオシテクタ゛サイ 330 ：ヘ゛ルト エラー	ベルトユニットが正しく取り付けられていません。取り付け直してください。（306 ページ）
340	ト゛ラムヲ セットシナオシテクタ゛サイ 340 ：イエロー ト゛ラム エラー	イエローイメージドラムカートリッジが正しく取り付けられていません。取り付け直してください。（303 ページ）
341	ト゛ラムヲ セットシナオシテクタ゛サイ 341 ：マセ゛ンタ ト゛ラム エラー	マゼンタイメージドラムカートリッジが正しく取り付けられていません。取り付け直してください。（303 ページ）
342	ト゛ラムヲ セットシナオシテクタ゛サイ 342 ：シアン ト゛ラム エラー	シアンイメージドラムカートリッジが正しく取り付けられていません。取り付け直してください。（303 ページ）
343	ト゛ラムヲ セットシナオシテクタ゛サイ 343 ：フ゛ラック ト゛ラム エラー	黒イメージドラムカートリッジが正しく取り付けられていません。取り付け直してください。（303 ページ）

エラーコード nnn	操作パネル表示	内　容
350	アタラシイ ト゛ラムヲ イレテクタ゛サイ 350 ：イエロー ト゛ラム シ゛ュミョウ	イエローイメージドラムカートリッジの寿命です。新しいイメージドラムカートリッジを入れてください。（303 ページ）
351	アタラシイ ト゛ラムヲ イレテクタ゛サイ 351 ：マセ゛ンタ ト゛ラム シ゛ュミョウ	マゼンタイメージドラムカートリッジの寿命です。新しいイメージドラムカートリッジを入れてください。（303 ページ）
352	アタラシイ ト゛ラムヲ イレテクタ゛サイ 352 ：シアン ト゛ラム シ゛ュミョウ	シアンイメージドラムカートリッジの寿命です。新しいイメージドラムカートリッジを入れてください。（303 ページ）
353	アタラシイ ト゛ラムヲ イレテクタ゛サイ 353 ：フ゛ラック ト゛ラム シ゛ュミョウ	黒イメージドラムカートリッジの寿命です。新しいイメージドラムカートリッジを入れてください。（303 ページ）
355	アタラシイ　ヘ゛ルトヲ　イレテクダサイ 355：ヘ゛ルト ジュミョウ	ベルトユニットの交換時期です。ベルトユニットを交換してください。（306 ページ）
356	アタラシイ　ヘ゛ルトヲ　イレテクダサイ 356：ヘ゛ルト ジュミョウ	ベルトユニットの交換時期です。ベルトユニットを交換してください。（306 ページ）
360	リョウメンインサツ ユニットヲ イレテクタ゛サイ 360 ：リョウメンインサツ ユニットカ゛アイテイマス	両面印刷ユニットが正しくセットされていません。正しくセットし直してください。
370	チェック DUPLEX 370 ：ヨウシ シ゛ャム	両面印刷ユニット付近で紙づまりが発生しました。つまった用紙を取り除いてください。左側付近に用紙があります。
371	チェック DUPLEX 371 ：ヨウシ シ゛ャム	両面印刷ユニット付近で紙づまりが発生しました。つまった用紙を取り除いてください。中心付近に用紙があります。
372	チェック DUPLEX 372 ：ヨウシ シ゛ャム	両面印刷ユニット付近で紙づまりが発生しました。つまった用紙を取り除いてください。右側付近に用紙があります。
380	サイド カハ゛ーヲ アケテクタ゛サイ 380：ヨウシ シ゛ャム	用紙走行中に紙づまりが発生しました。サイドカバーを開けてつまっている用紙を取り除いてください。MP トレイ付近で紙づまりが発生している場合もあります。
381	トップ カハ゛ーヲ アケテクタ゛サイ 381：ヨウシ シ゛ャム	用紙走行中に紙づまりが発生しました。トップカバーを開けてつまっている用紙を取り除いてください。ドラムの下に用紙があります。
382	トップ カハ゛ーヲ アケテクタ゛サイ 382：ヨウシ シ゛ャム	用紙走行中に紙づまりが発生しました。トップカバーを開けてつまっている用紙を取り除いてください。定着器付近に用紙があります。

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ nnn	操作パネル表示	内　容
383	トップ カハ゛ーヲ アケテクタ゛サイ 383：ヨウシ シ゛ャム	用紙走行中に紙づまりが発生しました。トップカバーを開けてつまっている用紙を取り除いてください。定着器から両面印刷ユニット入り口付近に用紙があります。
390	チェック MP トレイ 390 ：ヨウシ シ゛ャム	トレイからの給紙中に紙づまりが発生しました。つまった用紙を取り除いてください。
391	チェック トレイ 1 391 ：ヨウシ シ゛ャム	トレイからの給紙中に紙づまりが発生しました。つまった用紙を取り除いてください。
392	チェック トレイ 2 392 ：ヨウシ シ゛ャム	トレイからの給紙中に紙づまりが発生しました。つまった用紙を取り除いてください。
393	チェック トレイ 3 393 ：ヨウシ シ゛ャム	トレイからの給紙中に紙づまりが発生しました。つまった用紙を取り除いてください。
394	チェック トレイ 4 394 ：ヨウシ シ゛ャム	トレイからの給紙中に紙づまりが発生しました。つまった用紙を取り除いてください。
395	チェック トレイ 5 395 ：ヨウシ シ゛ャム	トレイからの給紙中に紙づまりが発生しました。つまった用紙を取り除いてください。
400	トップカハ゛ーヲ アケテクタ゛サイ 400 ：ヨウシサイス゛ エラー	用紙のサイズが違っています。トップカバーを開けて用紙を取り除き、正しいサイズの用紙を入れてください。
401	トップカハ゛ーヲ アケテクタ゛サイ 401 ：ヨウシ シ゛ュウソウ	用紙が何枚か重なって給紙されています。トップカバーを開けて用紙を取り除いてください。
410	トナーヲ イレテクタ゛サイ 410 ：イエロー	イエロートナーがなくなりました。トナーカートリッジを交換してください。そのまま印刷を続けるとイメージドラムカートリッジの故障の原因になります。　（303 ページ）
411	トナーヲ イレテクタ゛サイ 411 ：マセ゛ンタ	マゼンタトナーがなくなりました。トナーカートリッジを交換してください。そのまま印刷を続けるとイメージドラムカートリッジの故障の原因になります。　（303 ページ）
412	トナーヲ イレテクタ゛サイ 412 ：シアン	シアントナーがなくなりました。トナーカートリッジを交換してください。そのまま印刷を続けるとイメージドラムカートリッジの故障の原因になります。　（303 ページ）
413	トナーヲ イレテクタ゛サイ 413 ：フ゛ラック	黒トナーがなくなりました。トナーカートリッジを交換してください。そのまま印刷を続けるとイメージドラムカートリッジの故障の原因になります。　（303 ページ）

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ nnn	操作パネル表示	内　容
420	メモリーヲ ツイカシテクタ゛サイ 420 ：メモリーオーハ゛ーフロー	メモリ不足です。　（オンライン）スイッチを押してください。必要に応じて増設メモリをお求めください。
430	カセットヲ イレテクタ゛サイ 430 ：トレイ 1 カ゛ アリマセン	トレイのカセットがセットされていません。カセットを入れてください。
431	カセットヲ イレテクタ゛サイ 431 ：トレイ 2 カ゛ アリマセン	トレイのカセットがセットされていません。カセットを入れてください。
432	カセットヲ イレテクタ゛サイ 432 ：トレイ 3 カ゛ アリマセン	トレイのカセットがセットされていません。カセットを入れてください。
433	カセットヲ イレテクタ゛サイ 433 ：トレイ 4 カ゛ アリマセン	トレイのカセットがセットされていません。カセットを入れてください。
434	カセットヲ イレテクタ゛サイ 434 ：トレイ 5 カ゛ アリマセン	トレイのカセットがセットされていません。カセットを入れてください。
440	カセットヲ イレテクタ゛サイ 440 ：トレイ 1 カ゛ アイテイマス	トレイのカセットがセットされていません。カセットを入れてください。
441	カセットヲ イレテクタ゛サイ 441 ：トレイ 2 カ゛ アイテイマス	トレイのカセットがセットされていません。カセットを入れてください。
442	カセットヲ イレテクタ゛サイ 442 ：トレイ 3 カ゛ アイテイマス	トレイのカセットがセットされていません。カセットを入れてください。
443	カセットヲ イレテクタ゛サイ 443 ：トレイ 4 カ゛ アイテイマス	トレイのカセットがセットされていません。カセットを入れてください。
450	ヨウシヲ トリノソ゛イテクタ゛サイ 450 ：トレイ 1 キテイカ゛イ サイス゛	トレイで使用できないサイズの用紙がセットされています。用紙ガイドを所定の位置にセットしてください。
451	ヨウシヲ トリノソ゛イテクタ゛サイ 451 ：トレイ 2 キテイカ゛イ サイス゛	トレイで使用できないサイズの用紙がセットされています。用紙ガイドを所定の位置にセットしてください。
452	ヨウシヲ トリノソ゛イテクタ゛サイ 452 ：トレイ 3 キテイカ゛イ サイス゛	トレイで使用できないサイズの用紙がセットされています。用紙ガイドを所定の位置にセットしてください。
453	ヨウシヲ トリノソ゛イテクタ゛サイ 453 ：トレイ 4 キテイカ゛イ サイス゛	トレイで使用できないサイズの用紙がセットされています。用紙ガイドを所定の位置にセットしてください。
454	ヨウシヲ トリノソ゛イテクタ゛サイ 454 ：トレイ 5 キテイカ゛イ サイス゛	トレイで使用できないサイズの用紙がセットされています。用紙ガイドを所定の位置にセットしてください。

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ nnn	操作パネル表示	内　容
460	mmm／ppp ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ 460 :MP ﾄﾚｲ ｻｲｽﾞｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ	用紙のサイズが違っています。表示されているサイズの用紙を入れてください。
460	mmm／ppp ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ 460 :MP ﾄﾚｲ ﾖｳｼｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ	用紙のメディアタイプが違います。表示されているメディアタイプの用紙を入れてください。
461	mmm／ppp ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ 461 :ﾄﾚｲ1 ｻｲｽﾞｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ	用紙のサイズが違っています。表示されているサイズの用紙を入れてください。
461	mmm／ppp ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ 461 :ﾄﾚｲ1 ﾖｳｼｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ	用紙のメディアタイプが違います。表示されているメディアタイプの用紙を入れてください。
462	mmm／ppp ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ 462 :ﾄﾚｲ2 ｻｲｽﾞｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ	用紙のサイズが違っています。表示されているサイズの用紙を入れてください。
462	mmm／ppp ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ 462 :ﾄﾚｲ2 ﾖｳｼｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ	用紙のメディアタイプが違います。表示されているメディアタイプの用紙を入れてください。
463	mmm／ppp ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ 463 :ﾄﾚｲ3 ｻｲｽﾞｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ	用紙のサイズが違っています。表示されているサイズの用紙を入れてください。
463	mmm／ppp ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ 463 :ﾄﾚｲ3 ﾖｳｼｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ	用紙のメディアタイプが違います。表示されているメディアタイプの用紙を入れてください。
464	mmm／ppp ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ 464 :ﾄﾚｲ4 ｻｲｽﾞｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ	用紙のサイズが違っています。表示されているサイズの用紙を入れてください。
464	mmm／ppp ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ 464 :ﾄﾚｲ4 ﾖｳｼｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ	用紙のメディアタイプが違います。表示されているメディアタイプの用紙を入れてください。
465	mmm／ppp ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ 465 :ﾄﾚｲ5 ｻｲｽﾞｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ	用紙のサイズが違っています。表示されているサイズの用紙を入れてください。
465	mmm／ppp ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ 465 :ﾄﾚｲ5 ﾖｳｼｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ	用紙のメディアタイプが違います。表示されているメディアタイプの用紙を入れてください。
480	ﾖｳｼｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ 480 :ｽﾀｯｶｰ ﾌﾙ	フェイスダウンスタッカ（トップカバーの上）が用紙でいっぱいです。用紙を取り除いてください。
490	mmm ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ 490 :MP ﾄﾚｲ ﾖｳｼｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	トレイに用紙がありません。表示されているサイズの用紙を入れてください。
491	mmm ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ 491 :ﾄﾚｲ1 ﾖｳｼｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	トレイに用紙がありません。表示されているサイズの用紙を入れてください。
492	mmm ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ 492 :ﾄﾚｲ2 ﾖｳｼｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	トレイに用紙がありません。表示されているサイズの用紙を入れてください。
493	mmm ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ 493 :ﾄﾚｲ3 ﾖｳｼｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	トレイに用紙がありません。表示されているサイズの用紙を入れてください。
494	mmm ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ 494 :ﾄﾚｲ4 ﾖｳｼｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	トレイに用紙がありません。表示されているサイズの用紙を入れてください。
495	mmm ｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ 495 :ﾄﾚｲ5 ﾖｳｼｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	トレイに用紙がありません。表示されているサイズの用紙を入れてください。
520	ｶｾｯﾄｦｾｯﾄｼﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 520:ﾄﾚｲ1 ﾘﾌﾄｱｯﾌﾟ ｴﾗｰ	印刷しようとしていたトレイで用紙を給紙位置まで持ち上げられませんでした。用紙を入れ過ぎていないか確認して、カセットを入れ直してください。
521	ｶｾｯﾄｦｾｯﾄｼﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 521:ﾄﾚｲ2 ﾘﾌﾄｱｯﾌﾟ ｴﾗｰ	印刷しようとしていたトレイで用紙を給紙位置まで持ち上げられませんでした。用紙を入れ過ぎていないか確認して、カセットを入れ直してください。
522	ｶｾｯﾄｦｾｯﾄｼﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 522:ﾄﾚｲ3 ﾘﾌﾄｱｯﾌﾟ ｴﾗｰ	印刷しようとしていたトレイで用紙を給紙位置まで持ち上げられませんでした。用紙を入れ過ぎていないか確認して、カセットを入れ直してください。
523	ｶｾｯﾄｦｾｯﾄｼﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 523:ﾄﾚｲ4 ﾘﾌﾄｱｯﾌﾟ ｴﾗｰ	印刷しようとしていたトレイで用紙を給紙位置まで持ち上げられませんでした。用紙を入れ過ぎていないか確認して、カセットを入れ直してください。
524	ｶｾｯﾄｦｾｯﾄｼﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ 524:ﾄﾚｲ5 ﾘﾌﾄｱｯﾌﾟ ｴﾗｰ	印刷しようとしていたトレイで用紙を給紙位置まで持ち上げられませんでした。用紙を入れ過ぎていないか確認して、カセットを入れ直してください。
530	ﾖﾌﾞﾝﾅﾖｳｼｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ 530:ﾄﾚｲ1 ﾖｳｼｲﾚｽｷﾞ	印刷しようとしていたトレイで用紙入れすぎが発生しています。適正な枚数に減らしてください。
531	ﾖﾌﾞﾝﾅﾖｳｼｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ 531:ﾄﾚｲ2 ﾖｳｼｲﾚｽｷﾞ	印刷しようとしていたトレイで用紙入れすぎが発生しています。適正な枚数に減らしてください。
532	ﾖﾌﾞﾝﾅﾖｳｼｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ 532:ﾄﾚｲ3 ﾖｳｼｲﾚｽｷﾞ	印刷しようとしていたトレイで用紙入れすぎが発生しています。適正な枚数に減らしてください。
533	ﾖﾌﾞﾝﾅﾖｳｼｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ 533:ﾄﾚｲ4 ﾖｳｼｲﾚｽｷﾞ	印刷しようとしていたトレイで用紙入れすぎが発生しています。適正な枚数に減らしてください。

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ nnn	操作パネル表示	内　容
537	ﾖﾌﾞﾝﾅﾖｳｼｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ 534：ﾄﾚｲ5 ﾖｳｼｲﾚｽｷﾞ	印刷しようとしていたトレイで用紙入れすぎが発生しています。適正な枚数に減らしてください。
	ﾌﾟﾘﾝﾀｦ ｻｲｷﾄﾞｳ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ ｎｎｎ：ｴﾗｰ ｻｰﾋﾞｽ ｺｰﾙ ｎｎｎ：ｴﾗｰ	プリンタに異常が発生してます。プリンタの電源をOFF/ON してください。復旧しない場合は、お客様相談センターへご連絡ください。 ｎｎｎ が下記の場合は、次の処置も行ってください。 030　スロット1のメモリチェックエラーです。 031　スロット2のメモリチェックエラーです。 032　スロット3のメモリチェックエラーです。 030～032 の場合、メモリを取り付け直してください。増設メモリは純正品を使用してください。
		035　スロット1のメモリが規定と異なります。 036　スロット2のメモリが規定と異なります。 037　スロット3のメモリが規定と異なります。 035 ～037 の場合、増設メモリは純正品を使用してください。
		065　イーサネットボードの規格が異なっています。正しいものを取り付けてください。
		111　別機種用の両面印刷ユニットが検出されました。電源をOFF にしてユニットを取り外し、正しいものを取り付けてください。
		112～115　別機種用のトレイユニット2～5 が検出されました。電源をOFF にしてユニットを取り外し、正しいものを取り付けてください。
		123　湿度センサーエラーです。電源を入れ直してください。

ｴﾗｰｺｰﾄﾞ nnn	操作パネル表示	内　容
	ﾌﾟﾘﾝﾀｦ ｻｲｷﾄﾞｳ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ ｎｎｎ：ｴﾗｰ ｻｰﾋﾞｽ ｺｰﾙ ｎｎｎ：ｴﾗｰ	127　定着FAN エラーです。電源を入れ直してください。
		130　電源をOFF にし、しばらく放置してください。（24 ページ）
		140　イエローのイメージドラムカートリッジを取り付け直してください。
		141　マゼンタのイメージドラムカートリッジを取り付け直してください。
		142　シアンのイメージドラムカートリッジを取り付け直してください。
		143　ブラックのイメージドラムカートリッジを取り付け直してください。
		171　定着器が正しくセットされていない可能性があります。定着器を取り付け直してください。（309 ページ）
		173　定着器が正しくセットされていない可能性があります。定着器を取り付け直してください。（309 ページ）
		175　定着器が正しくセットされていない可能性があります。定着器を取り付け直してください。（309 ページ）
		177　定着器が正しくセットされていない可能性があります。定着器を取り付け直してください。（309 ページ）
		181　両面印刷ユニットを取り付け直してください。 182～185 オプションのセカンド/サードトレイユニットまたは大容量トレイユニットを取り付け直してください。
		300　ネットワーク機能の初期化エラーです。ネットワーク機能を初期化してください。（266 ページ）

故障かな？と思ったとき

電源をONにしても「オンライン」にならない。	
電源コードが抜けています。	☞ 電源をOFFにしてから、電源コードをしっかり差し込んでください。
停電しています。	☞ コンセントに電気がきているか、停電していないか確認してください。

印刷処理を開始しない。	
エラーが表示されています。	☞ プリンタの操作パネルにエラーが表示されている場合は「操作パネルのメッセージ」をご覧ください。（325ページ）
プリンタケーブルが外れています。	☞ プリンタケーブルを差し込んでください。
プリンタケーブルに問題があります。	☞ 予備のプリンタケーブルがあれば取り替えてみてください。
プリンタケーブルが規格に合っていない可能性があります。	☞ IEEEstd1284-1994準拠のパラレルケーブルまたはUSB2.0仕様のUSBケーブルを使用してください。
プリンタの印刷機能に問題がある可能性があります。	☞ プリンタのメニューマップ印刷ができるか確認してください。（25ページ）
インタフェースが無効になっています。	☞ プリンタのメニュー設定で、使用しているインタフェースを［ユウコウ］にしてください。（115ページ）
プリンタドライバが選択されていません。	☞ プリンタドライバを選択してください。Windowsの場合は［通常使うプリンタ］にしてください。
プリンタドライバの出力ポートが間違っています。	☞ プリンタケーブルを接続した出力ポートを選択してください。

印刷処理が中断する。	
プリンタケーブルが断線しています。	☞ プリンタケーブルを取り替えてください。
コンピュータのタイムアウトにかかっています。	☞ タイムアウトを長く設定してください。

異常音がする。	
プリンタが傾いています。	☞ 安定した水平な場所に設置してください。
プリンタ内部に用紙くずや異物があります。	☞ プリンタ内部を点検し、取り除いてください。
トップカバーが開いています。	☞ トップカバーの左右を押して閉じてください。

すぐに印刷を開始しない。印刷を開始するのに時間がかかる。	
省電力モードから復帰するためにウォーミングアップを行っています。	☞ プリンタのメニュー設定で、［パワーセーブ］を［ムコウ］にすると、ウォーミングアップ時間を短くできる場合があります。（127ページ）
イメージドラムカートリッジのクリーニング動作を行っていることがあります。	☞ 印刷品質を保つための動作です。しばらくお待ちください。
定着器の温度を調整しています。	☞ しばらくお待ちください。
他のインタフェースからのデータを処理しています。	☞ 印刷処理が中断するまでお待ちください。

用紙送りがおかしい

紙づまりがよく起きる。複数枚同時に引き込まれる。斜めに引き込まれる。	
プリンタが傾いています。	☞ 安定した水平な場所に設置してください。
用紙が薄すぎるか厚すぎます。	☞ プリンタに適した用紙を使用してください。（96ページ）
用紙が湿気が含んでいたり、静電気を帯びています。	☞ 適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。（101ページ）
用紙に折り目やシワや反りがあります。	☞ プリンタに適した用紙を使用してください。反りがある場合は修正してください。（96ページ）
裏面が印刷された用紙を使用しています。	☞ 一度印刷した用紙は用紙カセットからは印刷できません。マルチパーパストレイから印刷してください。（107ページ）
用紙がそろっていません。	☞ 用紙の上下左右をそろえてからセットしてください。
用紙を1枚だけセットしています。	☞ 用紙は複数枚でセットしてください。
用紙カセット、マルチパーパストレイに用紙が入ったまま追加しています。	☞ 先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
用紙がまっすぐにセットされていません。	☞ 用紙カセットの用紙ストッパと用紙ガイドを用紙に合わせてください。マルチパーパストレイの手差しガイドを用紙に合わせてください。
はがきや封筒のセット方向が間違っています。	☞ 正しくセットしてください。（196、198ページ）
封筒、ラベル紙を用紙カセットにセットできません。	☞ 封筒、ラベル紙は用紙カセットから印刷できません。マルチパーパストレイにセットし、フェイスアップスタッカへ排出してください。（102ページ）
給紙ローラが汚れています。	☞ 水でしめらせた柔らかい布等で拭き取ってください。
給紙ローラが摩耗しています。	☞ 給紙ローラを交換してください。（311ページ）

用紙が送られない。	
プリンタドライバの［給紙方法］の選択が間違っています。	☞ 用紙をセットしてある給紙方法を選択してください。
プリンタドライバの［給紙方法］で［手差し］を選択しています。	☞ マルチパーパストレイに用紙をセットして、④（オンライン）スイッチを押してください。または［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択してください。（107ページ）

つまった用紙を取り除いても復旧しない。	
用紙を取り除くだけでは復旧しません。	☞ トップカバーを開閉してください。

用紙がまるまってしまう。シワが出る。	
用紙が湿気を含んでいたり、静電気を帯びています。	☞ 適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。（101ページ）
薄い用紙を使用しています。	☞ プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］を1つ薄い紙の値にしてください。（194ページ）

定着器ユニットのローラへ用紙が巻きつく。	
用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	☞ プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］［メディアタイプ］を適切な値にしてください。（194ページ）
薄い紙を使用しています。	☞ より厚手の用紙を使用してください。
A4、B5、レターサイズの用紙を横送りしています。	☞ 縦送りにしてみてください。
推奨紙以外のOHPシートを使用しています。	☞ 推奨紙を使用してください。推奨紙以外を使用すると種類によっては定着器ユニットのローラに巻きつく可能性があります。（96ページ）
用紙先端部にベタに近い塗りつぶしがあります。	☞ 用紙先端部に余白を入れてみてください。両面印刷の場合、後端部にも余白を入れてみてください。

Windowsから印刷できない

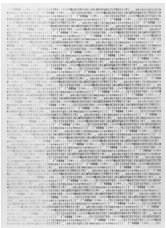
アプリケーションに関する問題については、各アプリケーションの発売元へお問い合わせください。

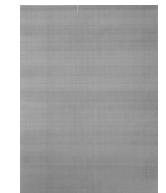
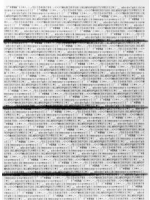
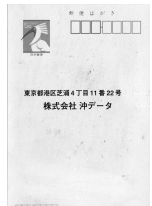
ネットワークで接続できない。（OKI LPR Utility）	
WindowsMe/98/95でセットアップできません。	☞ ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］-［ネットワーク］-［ネットワークの設定タブ］-［現在のネットワークコンポーネント］で［TCP/IP→***］（***はアダプタ名）が表示されていることを確認します。［TCP/IP→***］の［プロパティ］でIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが正しいか確認します。
WindowsXP/2000/Server2003でセットアップできません。	☞ ［スタート］-［設定］-［ネットワークとダイアルアップ接続］-［ローカルエリア接続］をダブルクリックし、［プロパティ］に［インターネットプロトコル（TCP/IP）］が表示されていることを確認します。［インターネットプロトコル（TCP/IP）］の［プロパティ］でIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイが正しいか確認します。
WindowsNT4.0でセットアップできません。	☞ ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］-［ネットワーク］をダブルクリックし、［プロトコル］タブ-［ネットワークプロトコル］で［TCP/IPプロトコル］が表示されていることを確認します。［TCP/IPプロトコル］の［プロパティ］でIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイが正しいか確認します。
プリンタドライバの出力ポートが間違っています。	☞ プリンタドライバの［プロパティ］-［ポート］タブの［ポート］で［OKILPR***］にチェックがついていることを確認します。
ネットワークのIPアドレスのつけ方が分かりません。	☞ 小規模ネットワークの場合、次のように設定してください。 ［IPアドレス］ Windows 192.168.0.3 　プリンタ 192.168.0.2 ［サブネットマスク］ Windows 255.255.255.0 　プリンタ 255.255.255.0 ［ゲートウェイ］ Windows 使用しません 　プリンタ 0.0.0.0 （38、45ページ）
ネットワークのIPアドレスのつけ方が分かりません。（WindowsXP/2000/Server2003）	☞ セットアップ時にIPアドレスの値は「192.169.1.2」のように入力し、先頭が「0」にならないよう設定します。「192.169.001.002」のように設定すると正しく印刷することが出来ません。
プリンタが反応しません。	☞ ・「OKILPRユーティリティ」画面の「状態」を確認します。「停止中」になっている場合は、停止中のプリンタを選択し、［リモートプリント］メニュー-［一時停止］のチェックを外します。 ・「OKILPRユーティリティ」画面で使用しているプリンタを選択してから［リモートプリント］メニュー-［プリンタの再設定］を選択し、［IPアドレス］がプリンタのIPアドレスと一致しているか確認します。

「LPT1：に出力するときにエラーがみつかりました」が表示されます。	☞ 「OKILPRユーティリティ」画面の「状態」を確認します。「未接続」になっている場合は、未接続中のプリンタを選択し、［リモートプリント］メニュー-［プリンタの再設定］でプリンタに設定したIPアドレスを入力して［OK］をクリックします。（［検索］ボタンで接続されているプリンタを検索することもできます。）
接続できないエラーが表示されます。	☞ IPフィルタリングが有効に設定されている可能性があります。［無効］に設定するか、ネットワーク管理者に確認ください。詳しくは「セキュリティ機能を使います」の「IPアドレスでのアクセス制限機能（IPフィルタ）を使います」（282ページ）をご覧ください。
セットアップを中断しました。	☞ もう一度初めからセットアップしてください。（35ページ）
ネットワークケーブルが規格に合っていない可能性があります。	☞ イーサネットケーブルカテゴリ5、ツイストペアケーブル、ストレートケーブルとハブを用意してください。
インタフェースが無効になっています。	☞ プリンタのメニュー設定で［TCP/IP］、［NETWARE］、［NETBEUI］などの使用プロトコルを［ENABLE］にしてください。（115ページ）
セットアップ手順が間違っています。	☞ 2章「ネットワーク接続でWindowsにセットアップします」をご覧ください。（35ページ）
ネットワークケーブルに問題があります。	☞ 予備のネットワークケーブルがあれば取り替えてみてください。
ハブの設定に問題があります。	☞ スイッチングハブとの相性により、まれに通信が安定しない場合があります。プリンタのメニュー設定で［HUB LINK SETTING］-［10BASE-T HALF］に設定して改善するか確認します。 また、ハブ側で動作モードを［自動切替］にしている場合には［10BASE-T HALF］に設定して通信が安定するか確認します。ハブの設定方法についてはハブに付属のマニュアルをご覧ください。
ハブに問題があります。	☞ 予備のクロスケーブルがあれば、パソコンとプリンタを直接接続してみます。また別のハブがあれば、ハブを交換してみてください。
ハブのLINKランプが点灯しません。	☞ ハブの違うポートに接続し、解決しない場合はハブを交換してハブの問題かどうか確認します。
不完全な印刷となったり、印刷がキャンセルされます。	☞ プリンタとパソコンの間の通信が正しく行われていない可能性があります。あればストレートケーブルを用いて印刷を確認し、ケーブルやハブの問題か確認します。

プリンタが反応しません。	☞ ・ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類が存在します。ハブとの接続にはストレートケーブルを使用します。 ・ケーブルを接続してから、プリンタの電源をONにします。ケーブルを接続しなせずにプリンタの電源をONにするとネットワークで接続できないことがあります。 ・Webブラウザでプリンタを検出できるか確認します。Webブラウザを起動し、アドレスにURL「http://プリンタのIPアドレス」を入力し、Enterをクリックします。プリンタのステータス画面が表示されるか確認してください。
LINK100Mランプ（緑）または10Mランプ（緑）が消灯しています。	☞ ネットワークが正常に動作していません。ケーブルが正しく接続されているか、またネットワークに関する設定（IPアドレスなど）を見直します。
STATUSランプ（橙）が点滅しません。	☞ データを受信していると点滅します。「一定間隔（1秒あるいは0.1秒）で点滅」、「常に点灯」、「常に消灯」している場合はネットワークが正常に動作していない状態です。ケーブルが正しく接続されているか、またネットワークに関する設定（IPアドレスなど）を見直します。
印刷が自動的にキャンセルされます。	☞ プリントジョブアカウンティングを使用している場合、プリントジョブアカウンティングの印刷制限または、プリンタのログバッファがいっぱいになってる可能性があります。詳しくは、「プリントジョブアカウンティング　ユーザーズマニュアル」をご覧ください。

USB接続でセットアップできない。	
Windows95/NT4.0でセットアップできません。	☞ USB接続できるのWindowsMe/98/2000/XP/Server 2003です。Windows95/NT4.0はパラレルで接続してください。（79ページ）
Windows95/3.1からアップグレードしたWindowsMe/98を使用しています。	☞ 動作保証できません。WindowsMe/98をクリーンインストールしたコンピュータを使用してください。
プリンタドライバの出力ポートが間違っています。	☞ プリンタドライバの［プロパティ］-［ポート］タブの［ポート］を確認します。WindowsXP/2000/Server2003の場合は［USBxxx］に、WindowsMe/98の場合は［OP1USB］にチェックが付いていることを確認します。
コンピュータがUSBインタフェースに対応していません。	☞ デバイスマネージャでUSBコントローラが表示されるか確認してください。
USBケーブルが規格に合っていない可能性があります。	☞ USB2.0仕様のUSBケーブルを使用してください。
インタフェースが無効になっています。	☞ プリンタのメニュー設定で［USB］を［ユウコウ］にしてください。（115ページ）
セットアップ手順が間違っています。	☞ 3章「USB接続でWindowsにセットアップします」をご覧ください。（55ページ）
USBケーブルに問題があります。	☞ 予備のUSBケーブルがあれば取り替えてみてください。
USBで動作する他のプリンタドライバがインストールされています。	☞ 他のプリンタドライバを削除してみてください。
USBハブを使用しています。	☞ プリンタとコンピュータを直接接続してみてください。
セットアップの途中で画面に［検索場所の指定］、［場所の指定］が表示されます。	☞ 「プリンタソフトウェアCD-ROM」の中のプリンタドライバのディレクトリを指定してください。 （例：「E:¥WIN9598¥PCL¥JPN」） （59、60、61、65、67ページ）
セットアップを中断しました。	☞ もう一度初めからセットアップしてください。（55ページ）
WindowsXP/Me/98で「新しいハードウェアの追加ウィザード」や「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されません。	☞ 3章「USB接続でWindowsにセットアップします」をご覧ください。（55ページ）

パラレル接続でセットアップできない。	
WindowsNT4.0でプラグアンドプレイでセットアップできません。	☞ プラグアンドプレイでセットアップできるのはWindowsMe/98/ 95/2000/XP/Server2003です。WindowsNT4.0はセットアッププログラムからセットアップしてください。（86ページ）
プリンタドライバの出力ポートが間違っています。	☞ プリンタドライバの［プロパティ］-［ポート］タブの［ポート］で［LPT1］にチェックが付いていることを確認します。
コンピュータが双方向パラレルインタフェースをサポートしていません。	☞ 双方向パラレルインタフェースをサポートしているコンピュータを使用してください。
パラレルケーブルが規格に合っていない可能性があります。	☞ IEEEstd1284-1994準拠の双方向パラレルケーブルを使用してください。
インタフェースが無効になっています。	☞ プリンタのメニュー設定で［セントロ］を［ユウコウ］にしてください。（115ページ）
セットアップ手順が間違っています。	☞ 4章「パラレル接続でWindowsにセットアップします」をご覧ください。（79ページ）
パラレルケーブルに問題があります。	☞ 予備のパラレルケーブルがあれば取り替えてみてください。
双方向パラレルで動作する他のプリンタドライバがインストールされています。	☞ 他のプリンタドライバを削除してみてください。
切替器、バッファ、延長ケーブルなどを使用しています。	☞ プリンタとコンピュータを直接接続してみてください。
セットアップの途中で画面に［検索場所の指定］、［場所の指定］が表示されます。	☞ 「プリンタソフトウェアCD-ROM」の中のプリンタドライバのディレクトリを指定してください。（例：「E:¥WIN9598¥PCL¥JPN」）（83、84、85ページ）
セットアップを中断しました。	☞ もう一度初めからセットアップしてください。（79ページ）

印刷できない。	
プリンタの電源がOFFになっています。	☞ プリンタの電源をONにしてください。
プリンタケーブルが外れています。	☞ プリンタケーブルを差し込んでください。
他のインタフェースからの印刷を処理しています。	☞ 処理が完了するまでお待ちください。
プリンタドライバが［通常使うプリンタ］になっていません。	☞ ［通常使うプリンタ］にしてください。

メモリ不足になる。	
複数のアプリケーションを同時に起動してます。	☞ 使用していないアプリケーションを終了してください。

印刷が遅い。	
印刷処理をコンピュータ側でも行っています。	☞ 処理速度の速いコンピュータを使用してください。
［印刷オプション］の［きれい］を選択しています。	☞ プリンタドライバの［印刷オプション］で［ふつう］または［はやい］を指定してください。
印刷データが複雑です。	☞ 印刷データを簡単にしてください。
パラレルインタフェースで接続しています。	☞ コンピュータのパラレルポートのBIOS設定を「ECP」モードに変更してみてください。

印刷が不鮮明なとき

縦方向に白いスジが入る。

	原因	対処
	LEDヘッドが汚れています。	☞ LEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。(314ページ)
	トナーが残り少なくなっています。	☞ トナーカートリッジを交換してください。(300ページ)
	異物がつまっています。	☞ イメージドラムカートリッジを交換してください。(303 ページ)

縦方向にかすれる。

	原因	対処
	LEDヘッドが汚れています。	☞ LEDレンズクリーナまたは柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。(314ページ)
	トナーが残り少なくなっています。	☞ トナーカートリッジを交換してください。(300ページ)
	用紙がプリンタに適していません。	☞ 推奨紙を使用してください。(96 ページ)

印刷が薄い。

	原因	対処
	トナーカートリッジが正しくセットされていません。	☞ トナーカートリッジを取り付け直してください。(300ページ)
	トナーが残り少なくなっています。	☞ トナーカートリッジを交換してください。(300ページ)
	用紙が湿気を含んでいます。	☞ 適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。(101ページ)
	用紙がプリンタに適していません。	☞ 推奨紙を使用してください。(96 ページ)
	用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	☞ プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］［メディアタイプ］を適切な値にしてください。または、［メディアウェイト］を1つ厚い紙の値にしてください。(194ページ)
	A4、B5、レターサイズの用紙を横送りしています。	☞ 縦送りにしてください。
	再生紙を使用しています。	☞ プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］を1つ厚い紙の値にしてください。(194ページ)

部分的にかすれる。ベタを印刷すると白い点や線が現れる。

	原因	対処
	用紙が湿気を含んでいるか、乾燥しています。	☞ 適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。(101ページ)
	［セッティング］の設定が不適切です。	☞ プリンタのメニュー設定で［フツウシ　ブラック　セッティング］または［フツウシ　カラー　セッティング］の値を変更してみてください。 OHPシートに印刷している場合は、［OHP　ブラック　セッティング］または［OHP　カラー　セッティング］の値を変更してみてください。(115ページ)

縦方向にスジが入る。		
	イメージドラムカートリッジに傷がついています。	☞ イメージドラムカートリッジを交換してください。（303ページ）
	トナーが残り少なくなっています。	☞ トナーカートリッジを交換してください。（300ページ）

横方向にスジや点が周期的に入る。		
	約94mm周期の場合は、イメージドラム（緑の筒の部分）に傷または汚れがついています。	☞ 柔らかいティッシュペーパーで軽く拭き取ってください。傷がついていたら、イメージドラムカートリッジを交換してください。（303ページ）
	約44mm周期の場合は、イメージドラムカートリッジ内にゴミが混入しています。	☞ トップカバーの開閉を行い、イニシャル動作を繰り返してください。
	約141mm周期の場合は、定着器ユニットに傷がついています。	☞ 定着器ユニットを交換してください。（309ページ）
	イメージドラムカートリッジが光にさらされました。	☞ イメージドラムカートリッジをプリンタの内部に戻し、数時間プリンタを使用しないでください。それでも直らない場合は、イメージドラムカートリッジを交換してください。（303ページ）

白地の部分が薄く汚れる。		
	用紙が静電気を帯びています。	☞ 適切な湿度、湿度に保管した用紙を使用してください。（101ページ）
	厚い用紙を使用しています。	☞ より薄手の用紙を使用してください。
	トナーが残り少なくなっています。	☞ トナーカートリッジを交換してください。（300ページ）

文字の周辺がにじむ。		
	LEDヘッドが汚れています。	☞ LEDレンズクリーナまた柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。（314ページ）

はがき、封筒または光沢紙（コート紙）を印刷すると全体的に薄く汚れる。擦ると文字の周辺が汚れる。		
	はがき、封筒に印刷すると、全体的にトナーが付着（かぶり）することがあります。	☞ プリンタの故障ではありません。
	光沢紙（コート紙）に印刷すると薄くトナーが付着（かぶり）することがあります。	☞ プリンタの故障ではありません。光沢紙（コート紙）はなるべく使用しないでください。

擦るとトナーがとれる。	
用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	☞ ［メディアウェイト］を［ジドウ］に設定するか、プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］［メディアタイプ］を適切な値にしてください。または、［メディアウェイト］を1つ厚い紙の値にしてください。（194ページ）
再生紙を使用しています。	☞ プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］を1つ厚い紙の値にしてください。（194ページ）

光沢にムラが出る。	
用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	☞ ［メディアウェイト］を［ジドウ］に設定するか、プリンタのメニュー設定で［メディアウェイト］［メディアタイプ］を適切な値にしてください。または、［メディアウェイト］を1つ薄い紙の値にしてください。（194ページ）

思った色合いで印刷されない。	
トナーが残り少なくなっています。	☞ トナーカートリッジを交換してください。（300ページ）
［黒の生成方法］の設定がアプリケーションに合っていません。	☞ プリンタドライバの［黒の生成］で［CMYKトナーで生成］または、［黒トナーのみで生成］を選択してみてください。
カラー調整を変更しています。	☞ プリンタ内蔵のカラーマッチングにしてください。詳しくは「簡単にカラーマッチングしたい」をご覧ください。（232ページ）
カラーバランスがとれていません。	☞ プリンタの操作パネルで濃度補正を実行してください。
色ずれが起こっています。	☞ トップカバーを開閉してください。または、プリンタの操作パネルで色ずれ補正調整をしてください。（245ページ）

WindowsXP Service Pack 2に関する制限事項

Windows ファイアウォールの設定による制限事項について

Windows XP Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載では、Windowsファイアーウォールの機能が強化されておりますが、それに伴いプリンタドライバ・ユーティリティに以下の制限事項が生じる場合があります。

項　目	発生する制限事項	詳細、回避方法
プリンタドライバ全般	PC ネットワーク共有時、印刷ができません。	サーバ側で［Windows ファイアウォール］-［例外］を開き、「ファイルとプリンタの共有」にチェックを入れてください。
プリンタドライバインストーラ	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題あ りません。プリンタの検索ができない場合でも、「TCP/IP 接続」画面で「IP アドレス」を選択し、IP アドレスを直接入力することで設定で きます。
AdminManager	プリンタ検索、NIC の設定が行えません。	ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索、NIC の設定ができなく なります。 同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません。 ルータを超えるプリンタの検索、NIC の設定を行う場合は、［Windows ファイアウォール］-［例外］-［プログラムの追加］を開き、AdminManager を追加し、チェックを入れてください。
OKILPR ユーティリティ	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません 。プリンタの検索ができない場合でも、「プリンタの追加」や「プリンタの再設定」画面で IP アドレスを直接入力することで設定できます 。
OKI ストレージデバイスマネージャ	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェッ クがついている場合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタ は問題ありません。プリンタの検索ができない場合でも、「プリンタ」-「プリンタの追加 / 削除」で、プリンタ名（任意）と IP アドレスを 入力し、OK ボタンをクリックすることでプリンタウィンドウにプリンタが表示されます。

項　目	発生する制限事項	詳細、回避方法
Print Job Accounting	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません 。プリンタの検索ができない場合でも、ログ取得プリンタの追加ウィザードで「プリンタを接続先で指定する」を選択し、「接続先」で「 TCP/IP ネットワーク」を選択し、IP アドレスを直接入力することで設定できます。
	ログ取得スケジュールに従ってログが取得されていません。また、「プリンタ」－「ログを直ちに取得」を行っても、「ログ取得 スケジュールに従って、ログを取得中のためできません。」が表示され、取得ができません。	WindowsXP Service Pack 1 以前に、プリン トジョブアカウンティングにプリンタを登録し、ログの取得を開始している状態で、WindowsXP Service Pack2 にアップデートを行うと、左 記の現象が発生する場合があります。このような場合は、Windows を再起動します。
Print Super Vision	リモート PC からアクセスできません。	［Windows ファイアウォール］-［例外］-［ポートの追加］を開き、PrintSuperVision がインストールされている Web サイトのポート番号を追加してください。 ※設定方法は、［すべてのプログラム］-［沖データ］-［PrintSuperVision］-［お読みください］を参照してください。
	ポップアップウインドウがブロックされます。	※設定方法は、［すべてのプログラム］-［沖データ］-［PrintSuperVision］-［お読みください］を参照してください。
Web Driver Installer	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場 合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません 。プリンタの検索ができない場合でも、グループの検索範囲の 4 桁目を *（例：192.168.0.*）にすると、検索できます。
	リモート PC からアクセスできません。	［Windows ファイアウォール］-［例外］-［ポートの追加］を開き、Web Driver Installer がインストールされている Web サイトのポート番号を追加し、［管理ツール］-［コンポーネント サービス］で Web Driver Installer 用コンポーネントのアクセス権を変更してください。 ※設定方法は、［すべてのプログラム］-［沖データ］-［Web Driver Installer］-［お読みください］を参照してください。

※ 詳細は弊社ホームページ「http://www.okidata.co.jp/support/winXP/WinXPSP2.html」をご覧ください。

付　録

消耗品・メンテナンスユニット・オプション一覧

付録

消耗品・メンテナンスユニット・オプション一覧

これらの消耗品、メンテナンスユニット、オプションは、お近くの販売店またはサービス拠点（346ページ）でお求めください。

品　名	型　名	内　容
MLカラーOHPシート	MLOHP01	専用OHPシート
カラーA3ノビ用紙	CP-500HG-A3W	1000枚包
カラーA3ノビ両面用紙	MLA3WC-DU	1000枚包
トナーカートリッジ　ブラック	TNR-C3DK1	トナーカートリッジ LEDレンズクリーナ クリーニングペーパ
トナーカートリッジ　イエロー	TNR-C3DY1	
トナーカートリッジ　マゼンタ	TNR-C3DM1	
トナーカートリッジ　シアン	TNR-C3DC1	
イメージドラムカートリッジ　ブラック	ID-C3DK	イメージドラムカートリッジ
イメージドラムカートリッジ　イエロー	ID-C3DY	
イメージドラムカートリッジ　マゼンタ	ID-C3DM	
イメージドラムカートリッジ　シアン	ID-C3DC	
ベルトユニット	MLBLT-C3A	ベルトユニット
定着器ユニット	MLFUS-C3A	定着器ユニット
ML64MB増設メモリ	MLMEM64A	増設メモリ
ML128MB増設メモリ	MLMEM128A	増設メモリ
ML256MB増設メモリ	MLMEM256A	増設メモリ
ML512MB増設メモリ	MLMEM512A	増設メモリ
内蔵ハードディスク	MLHDD-C1A	内蔵ハードディスク
セカンド/サードトレイユニット	MLTRY-C3A1	セカンド/サードトレイユニット
キャスタ付セカンド/サードトレイユニット	MLTRY-C3A2	キャスタ付セカンド/サードトレイユニット
大容量トレイユニット	MLTRY-C3A3	大容量トレイユニット
給紙ローラセット	MLRS-C3A	給紙ローラ3個
プリントジョブアカウンティング	MLSFT-PJA01	プリントジョブアカウンティングソフトウェア

- 消耗品、メンテナンスユニット、オプションは、商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）
- トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジは、開封後1年以上経過すると印刷品位が低下しますので、新しい消耗品を準備してください。
- ご使用になるまで、開封しないでください。
- 直射日光をさけ、温度：0～35˚C、湿度：20～85%RH範囲にある場所で保管してください。
- 周囲の温度や湿度が高すぎたり、急激に変化したりする場所では保管しないでください。
- 幼児の手が届かない所に保管してください。

プリントジョブアカウンティングの使用について

オプションのプリントジョブアカウンティングが必要です。

メモ

プリンタがプリントジョブアカウンティングに追加されている場合は、メニューマップ印刷で「JobAccounting = ON」と印刷されます。

ハードディスクおよびフラッシュメモリに最低限必要な空き容量

プリントジョブアカウンティングを使用するためには、ハードディスクの「キョウツウ」パーティション（ハードディスクを搭載しているときのみ）およびフラッシュメモリの「MIX」パーティションの空き容量が以下の条件を満たす必要があります。この条件のとき、ユーザIDの登録可能数とログの保存可能数は以下のとおりです。

ハードディスク *1			フラッシュメモリ	登録可能ユーザID	保存可能ログ数
有/無	「キョウツウ」パーティション		「MIX」パーティション		
	サイズ	空き容量	空き容量		
無	―	―	1MB以上	5000ID *2	約240ログ *2
有	10%以上	2MB以上	500KB以上	5000ID	約500ログ

*1 ハードディスクは「PCL」、「キョウツウ」、「キョウツウ」の3つのパーティションに分割されており、出荷時またはハードディスク初期化時には各パーティションのサイズは下記のように割り当てられます。

PCL　= 20%
キョウツウ　= 50%
キョウツウ　= 30%

*2 ハードディスクを搭載していない場合は、ユーザIDとログは保存領域が同じため、両方の最大値まで保存できるわけではありません。

最大登録可能なユーザID数、および最大保存可能ログ数と必要なメモリ条件

ユーザIDの最大登録可能数およびログの最大保存可能数とそのときに必要なハードディスクの「キョウツウ」パーティションおよびフラッシュメモリの「MIX」パーティションのサイズは以下のとおりです。

ハードディスク *1			フラッシュメモリ	登録可能ユーザID	保存可能ログ数
有/無	「キョウツウ」パーティション		「MIX」パーティション		
	サイズ	空き容量	空き容量		
無	―	―	4MB以上	5000ID	約1700ログ
有	10%以上	2MB以上	500KB以上	5000ID	約5000ログ

プリントジョブアカウンティングで「ログを格納するのに十分な領域がありません。」とエラーが表示された場合は以下を行ってください。

- ハードディスクの「キョウツウ」パーティションおよびフラッシュメモリの「MIX」パーティションの空き容量を確認します。空き容量を確認する方法は、「ハードディスクやフラッシュメモリの空き容量を確認したい」（134ページ）をご覧ください。
- 上記のハードディスクおよびフラッシュメモリに最低限必要な空き容量を満たしていない場合は、ハードディスクの「キョウツウ」パーティションおよびフラッシュメモリの空き容量を確保します。空き容量を確保する方法は、「ハードディスクやフラッシュメモリの空き容量を確保したい」（135ページ）をご覧ください。

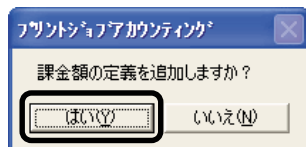
課金額の定義の追加

各消耗品の標準価格と寿命枚数から算出した課金額の定義を追加するには、プリントジョブアカウンティングのサーバソフトウェアがインストールされているコンピュータで以下を行ってください。

❶プリントジョブアカウンティングのサーバソフトウェアが起動していたら終了します。

❷「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❸[スタート]-[ファイル名を指定して実行]を選択します。

❹[名前]に「D:¥UTILITY¥PRINTJA¥CPADD」(CD-ROMドライブがD: のとき)を入力し、[OK]をクリックします。

❺確認画面で[はい]をクリックします。

❻完了画面で[はい]をクリックします。

❼プリントジョブアカウンティングのサーバソフトウェアを起動します。

❽[プリンタ]メニューから[課金額の定義]を選択します。

❾課金額の定義一覧に「9150」が追加されていることを確認します。

ユーザサポートサービスについて

保証について

- 本製品には「保証書」が入っています。
- 「保証書」は、お買い上げの販売店が所定事項を記入してお渡しします。記入内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 保証期間中に万一故障が生じたときは、「保証書」に記載されている当社保証規定に基づき無償で修理します。無償保証期間は「保証書」に記載されています。
- 「保証書」に所定事項が記入されていない場合や紛失した場合は、保証期間中であっても、保証が無効となる場合があります。
- 保証期間経過後は、修理によって本プリンタの性能が維持できる場合、お客様のご要望により有償にて修理します。詳しくは、お客様相談センターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接・間接の損害については、当社はその責任を負わないものとします。

最新版のプリンタソフトウェアを入手したい

ダウンロードサービス

沖データホームページから入手できます。
http://www.okidata.co.jp

プリンタのご相談と修理について

プリンタの操作方法がわからない、故障かもしれない、修理をして欲しい、商品について聞きたいなど、プリンタに関するお問い合わせをお受けします。次の「お問い合わせチェックシート」に記入してからお電話ください。

お客様相談センター　0120-654-632
（携帯電話からは03-5833-5710）

受付時間　9 : 00 ～ 20 : 00 月曜日～金曜日
9 : 00 ～ 17 : 00 土曜日
(但し　祝日を除く)

※ 月曜日～金曜日の17:30～20:00及び土曜日のお問い合わせで、訪問修理が必要な場合は、 翌営業日に改めてご連絡をさしあげます。
※ 上記以外にも弊社都合によりお休みをいただくことがあります。

◆プリンタのサポートサービスは(株)沖電気カスタマアドテック(OCA)とそのグループ会社が担当しております。

― お問い合わせに回答できない場合について ―

1. UNIX 環境でのお問い合わせ
2. アプリケーションの使い方
3. 問題解決に必要な情報が不足している場合
4. お客様固有のシステム環境のアドバイスやコンサルティング
5　プリンタの非公開仕様に関するお問い合わせ

お問い合わせチェックシート

具体的な症状

プリンタ環境
機種名：＿＿＿＿＿＿　製造番号：＿＿＿＿＿＿　購入月：＿＿年＿＿月
追加オプション：　なし　・　あり（　　　　　　　）

コンピュータ環境
□Windows　バージョン：＿＿＿＿＿＿
□Mac OS　バージョン：＿＿＿＿＿＿

接続方法
□パラレル　□USB　□ネットワーク
□TCP/IP　□IPX/SPX　□EtherTalk　□NetBEUI

プリンタドライバ
プリンタドライバ名：＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿

アプリケーションソフト
アプリケーションソフト名：＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿
使用フォント名：＿＿＿＿＿＿

エラー表示（正確に）
コンピュータの画面に表示される内容　：＿＿＿＿＿＿
プリンタの操作パネルに表示される内容：＿＿＿＿＿＿

その他
他のアプリケーションからの印刷：□正常　□印刷できない
他のコンピュータからの印刷　　：□正常　□印刷できない

消耗品を購入したい

プリンタをお買い上げいただいた販売店、またはお近くのサービス拠点へお電話でご連絡ください。

(株)沖北海道サービス(札幌)　〒060-0031　札幌市中央区北一条東8-2-18(北一条OKIビル)
011-261-3261

(株)沖東北サービス(仙台)　〒980-0802　仙台市青葉区二日町3-10(グランシャリオビル3F)
022-212-5167

(株)沖情報機器サービス(新潟)〒950-0082新潟市東万代町1-30
(新潟第一生命戸田建設共同ビル)
025-241-6838

(株)沖関東サービス(秋葉原)　〒111-0052　台東区柳橋2-19-6(秀和柳橋ビル9F)
03-3865-6599

(株)沖北関東サービス(新宿)　〒160-0022　新宿区新宿2-19-1(ビックス新宿ビル3F)
03-3225-3131

(株)沖中部サービス(名古屋)　〒453-0861　名古屋市中村区岩塚本通2-1-2(MSビル5F)
052-413-6510

(株)沖電気カスタマアドテック(金沢)
〒921-8163　金沢市横川7-35-1(大洋不動産ビル7F)
076-242-3300

(株)沖関西サービス(大阪)　〒550-0004　大阪市西区靱本町1-4-12(本町富士ビル)
06-6459-0120

(株)沖中国サービス(広島)　〒731-0138　広島市安佐南区祇園2-9-31
082-871-2601

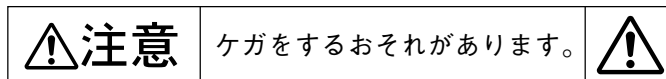
(株)沖四国サービス(高松)　〒761-8058　高松市勅使町632-4
087-868-3040

(株)沖九州サービス(福岡)　〒815-0035　福岡市南区向野2-9-21
092-512-4197

※　各サービス拠点の住所、電話番号は変更される場合がありますので、ご了承ください。
※　弊社ホームページでは最新の住所、電話番号を記載しておりますので、こちらもご覧ください。
http://www.okidata.co.jp

プリンタを廃棄したい

お買い上げいただいたプリンタの廃棄の際、事業所でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に委託してください。一般家庭でお使いの場合は、お客様がお住まいの地方自治体の条例に従って廃棄してください。
なお、詳しくは各自治体にお問い合わせください。

⚠注意	ケガをするおそれがあります。	

このプリンタは重量が約78Kgありますので、3人以上で持ち上げてください。

使用済み消耗品の回収について

沖データでは環境保全と再資源化を目的として、使用済みの沖データ製プリンタの消耗品とメンテナンスユニットの無料回収を行っています。
右の用紙をコピーし、必要事項を記入してFAX、もしくは、弊社のホームページ(http://www.okidata.co.jp)よりご連絡いただければ、お客様のところまで指定の宅配業者が回収におうかがいいたします。

（お願い）

- 包装箱やビニール袋は捨てずに保管し、ご使用済みの消耗品およびメンテナンスユニットの回収時に利用してください。
- カートリッジ1本でも回収にうかがいますが、地球環境への負荷をできるだけ低減させるためまとめ回収にご協力ください。
- できましたら、回収品の数が多い場合、不要になったダンボール箱などにまとめて頂くようお願いいたします。

皆様のご協力をお願いします。

FAX 0120-107995

沖データ回収センタ　宛

受付 No.　：
＊ 弊社にて記入いたしますので、お客様の記入は不要です。

西暦　　年　　月　　日

お客様名（会社名）：
ご担当者名　：
ご住所　：
お電話番号　：
回収ご希望日　：　　年　　月　　日

【お断り：受付時間以降にFAXされた場合、回収日がずれる場合があります。】

回収依頼品

イメージドラムカートリッジ	：	個
トナーカートリッジ	：	個
定着器オイルローラ	：	個
廃棄トナーボックス	：	個
転写ベルトユニット	：	個
定着器ユニット	：	個
インクリボンカートリッジ	：	個
その他マイクロライン消耗品	：	個

【*不要となったダンボール箱などにまとめて入れてください。】

まとめた箱の荷姿で合計　：　個口

ご不明な点は下記へご連絡ください。
沖データ回収センタ
TEL 024-594-2185
フリーダイヤル 0120-640991（携帯電話からもご利用いただけます）
受付時間：月～金曜日（祝日、弊社休日を除く）
9：00～12：00、13：00～17：00

仕様

主な仕様

印刷方式	LED(発光ダイオード)を露光光源とする乾式電子写真記録方式
解像度	600ドット/インチ
印刷色	イエロー、マゼンタ、シアン、黒の4色
CPU	PowerPC750プロセッサ(500MHz)
RAM容量*1	64MB(最大1024MB)
HDD容量*2	約10GB(オプション)
印刷言語	PCL5c
対応OS	WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0/Server2003 日本語版　詳しくは動作環境をご覧ください。
内蔵フォント	日本語2書体、欧文80書体
インタフェース	IEEEstd1284-1994準拠パラレル、USB2.0 100BASE-TX/10BASE-T
印刷速度 *3 (マルチパーパストレイを除く)	カラー　：30ページ/分（普通紙、A4ヨコ送りコピーモード時）、10ページ/分（OHPシート）、 15ページ/分（官製はがき・ラベル紙）、28ページ/分（両面印刷時：普通紙、A4ヨコ送り時） モノクロ：37ページ/分（普通紙、A4ヨコ送りコピーモード時）、15ページ/分、（OHPシート）、 15ページ/分（官製はがき・ラベル紙）、32ページ/分（両面印刷時：普通紙、A4ヨコ送り時）
用紙サイズ *4	A3ノビ、A3ワイド、A3、A4、A5、A6、B4、B5、レター、タブロイド、タブロイドエクストラ、 リーガル13インチ、リーガル13.5インチ、リーガル14インチ、エグゼクティブ、カスタム、はがき、 往復はがき、封筒（10種）
用紙種類 *4	普通紙（連量55～172kg）、官製はがき、封筒、ラベル紙、OHPシート
給紙方法 *4	用紙カセットによる自動給紙、マルチパーパストレイによる自動給紙と手差給紙 セカンド/サードトレイユニット（オプション）、大容量トレイユニット(オプション)による自動給紙
給紙容量	用紙カセット　：普通紙550枚／連量70kg　総厚55mm以下（用紙ニアエンド検知機能あり） マルチパーパストレイ　：普通紙100枚／連量70kg　総厚10mm以下　はがき40枚、封筒10枚／坪量85g/m²
排出方法 *4	フェイスアップ（表排出）／フェイスダウン（裏排出）
排出容量	フェイスアップ：約100枚／連量70kg フェイスダウン：約500枚／連量70kg（スタッカフル検知機能あり）
印刷保証範囲	用紙の端から6.35mm以上（封筒などの特殊な用紙は除く）
印刷精度	書き出し位置精度 ±2mm　用紙の斜行 ±1mm/100mm　画像伸縮 ±1mm/100mm（連量70kgの場合）
ｳｫｰﾐﾝｸﾞｱｯﾌﾟ時間	電源投入後160秒以内（25℃）
電源	AC100V±10%、50/60Hz±2Hz
消費電力	動作時　：最大1,600W、平均650W(25℃) 待機時　：最大950W、　平均200W(25℃) 節電モード時　：最大30W
突入電流	80A以下(25℃)
使用環境条件	動作時：10～32℃／20～80%RH（最高湿球温度25℃、最高乾球湿球温度差2℃） 停止時：0～43℃／10～90%RH（最高湿球温度26.8℃、最高乾球湿球温度差2℃）
印刷品質保証条件	温度10℃時　湿度30～73%RH、温度32℃時　湿度30～54%RH、 湿度30%RH時　温度10～32℃、湿度80%RH時　温度10～27℃、 カラー印刷時　温度17～27℃、湿度50～70%RH

標準使用条件	平均電源ON時間　：220H／月　平均印刷枚数　：7,000枚／月
消耗品・ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾕﾆｯﾄ	トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジ、ベルトユニット、定着器ユニット、給紙ローラ
装置寿命	5年または100万枚(平均印刷枚数：16,600枚／月)
総重量 *5/本体重量 *6	約78kg/約68.3kg

*1：最大メモリにするには、標準メモリを取り外す必要があります。
*2：HDD容量は改良のため変更する場合があります。
*3：用紙のサイズ、種類、厚さ、給紙方法により、印刷速度は変わります。
*4：用紙のサイズ、種類、厚さにより、給紙方法、排出方法に制限があります。
*5：本体および消耗品を含みます。オプション、用紙重量は含みません。
*6：本体のみ、消耗品を含みません。

ネットワークインタフェース仕様

基本仕様

ネットワークプロトコル

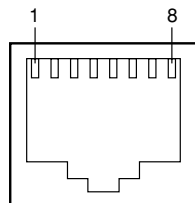
TCP/IP 仕様	ネットワーク層 ARP、RARP、IP、ICMP トランスポート層 TCP、UDP アプリケーション層 LPR、FTP、TELNET、HTTP、IPP、BOOTP、 SMTP、WINS、DHCP、SNMP、POP3
NetBEUI仕様	SMB、NetBIOS
NetWare 仕様	リモートプリンタモード(最大８プリントサーバ) プリントサーバモード(最大８ファイルサーバ・32 キュー) 暗号化パスワードに対応(プリントサーバモード時) NetWare6J/5J/4.1J(NDS、バインダリ) SNMP

コネクタ

100 BASE-TX / 10 BASE-T（自動切り替え、同時使用不可）

ケーブル

RJ-45 コネクタ付き非シールドツイストペアケーブル（Category 5 推奨）

コネクタピン配列

インタフェース信号

ピンNo.	信号名	方　向	機　　能
1	TXD+	FROM PRINTER	送信データ+
2	TXD-	FROM PRINTER	送信データ-
3	RXD+	TO PRINTER	受信データ+
4	—	—	使用していません。
5	—	—	使用していません。
6	RXD-	TO PRINTER	受信データ-
7	—	—	使用していません。
8	—	—	使用していません。

USBインタフェース仕様

基本仕様

USB（Hi-Speed USB をサポート）

コネクタ

プリンタ側　B レセプタクル(メス)アップストリームポート
UBB-4R-D14T-1(日本圧着端子製造株式会社製)相当品
ケーブル側　B プラグ(オス)

ケーブル

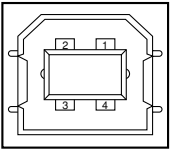
2m 以下の USB2.0 仕様のケーブル
（シールドされているケーブル線を使用してください。）

伝送モード

フルスピード（最大 12Mbps ± 0.25%）
ハイスピード（最大 480Mbps ± 0.05%）

電力制御

セルフパワーデバイス

コネクタピン配列

インタフェース信号

	信号名	機　能
1	Vbus	電源（+5V）（赤）
2	D-	データ転送用（白）
3	D+	データ転送用（緑）
4	GND	信号グランド（黒）
Shell	Shield	

パラレルインタフェース仕様

基本仕様

IEEEstd1284 -1994 準拠パラレルインタフェース

コネクタ

プリンタ側	36 極レセプタクル(メス) 57RE-40360-830B-D29 型(第一電子工業製または相当品)
ケーブル側	36 極プラグ(オス) 57FE-30360 型(第一電子工業製または相当品)

ケーブル

1.8m 以下の IEEEstd 1284-1994 適合ケーブルまたは相当品
(シールドされているケーブル線を使用してください。)

伝送モード

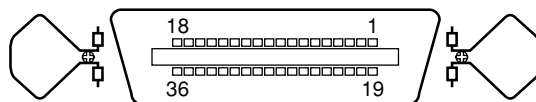
コンパチブル

ニブル

ECP

インタフェースレベル

ローレベル	＋0.0～＋0.8V
ハイレベル	＋2.4～＋5.0V

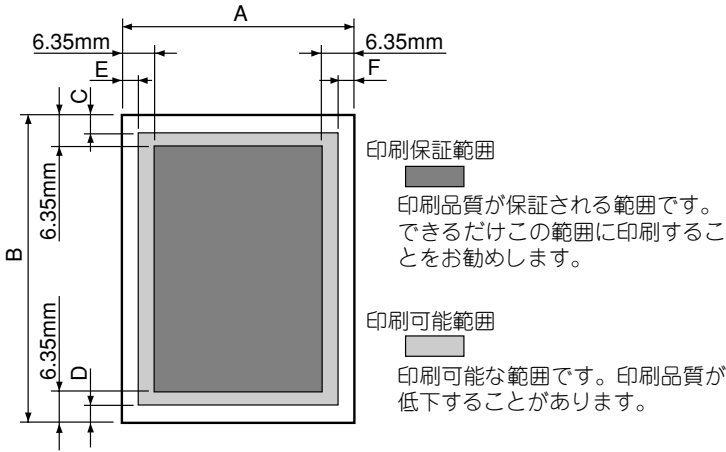
コネクタピン配列

インタフェース信号

ピンNo.	信号名	方　向	機　　能
1	nStrobe (HostClk)	TO PRINTER	データを読み込むためのパルスです。後縁でデータを読み込みます。
2 3 4 5 6 7 8 9	DATA 1 DATA 2 DATA 3 DATA 4 DATA 5 DATA 6 DATA 7 DATA 8	Bi-direction	8ビットのパラレルデータです。ハイレベルが“1”、ローレベルが“0”です。
10	nAck(PtrClk)	FROM PRINTER	データの受信完了を示す信号です。
11	Busy(PtrBusy)	FROM PRINTER	プリンタがデータを受け取れる状態かどうかを示す信号です。ハイレベルのときはデータを受け取れません。
12	PError(AckDataReq)	FROM PRINTER	ハイレベルのときは、用紙のエラーを示します。
13	Select(Xflag)	FROM PRINTER	パラレルインタフェースが有効な場合、常にハイレベルです。
14	nAutoFd(HostBusy)	TO PRINTER	双方向通信で使用します。
15	−	−	使用していません。
16	GND	−	信号グランド
17	FG	−	シャーシグランド
18	+5V	FROM PRINTER	外部へ電源を供給できません。
19～30	GND	−	信号グランド
31	nInit(nInit)	TO PRINTER	ローレベルで、プリンタが初期化されます。
32	nFault(nDataAvail)	FROM PRINTER	プリンタがアラーム状態のときローレベルになります。
33	GND	−	信号グランド
34	−	−	使用していません。
35	HILEVEL	FROM PRINTER	プリンタ内部で3.3KΩで+5Vにプルアップされています。
36	nSelectIn (IEEE1284 active)	TO PRINTER	双方向通信で使用します。コンパチブルモード時はローレベルでなければなりません。

- カッコ内はニブルモードの信号名です。
- コンパチブルモードの機能のみ説明しています。
- 米国電気電子技術者協会が規定するIEEEstd1284-1994のニブルモードをサポートしています。この規格に適合しないコンピュータやケーブルを使用すると、予期しない動作をすることがあります。

印刷範囲と印刷精度

プリンタドライバの印刷範囲は次のとおりです。
実際の印刷範囲は、アプリケーションにより異なることがあります。

- 印刷精度は、書き出し位置 ±2mm、用紙の斜行 ±1mm/100mm、画像伸縮 ±1mm/100mm（連量70kgの場合）です。
- 両面印刷時の表裏の印刷位置精度は±2.5mmです。

単位：mm

用紙サイズ	幅	長さ	上余白	下余白	左余白	右余白
	A	B	C	D	E	F
A4	210	297	4.23	4.23	4.23	4.23
A5	148	210	4.23	4.23	4.23	4.23
A6	105	148	4.23	4.23	4.23	4.23
B4	257	364	4.23	4.23	4.23	4.23
B5	182	257	4.23	4.23	4.23	4.23
A3	297	420	4.23	4.23	4.23	4.23
A3ノビ	328	453	4.23	4.23	4.23	4.23
A3ワイド（SRA3）	320	450	4.23	4.23	4.23	4.23
タブロイド	279.4	431.8	4.23	4.23	4.23	4.23
タブロイドエクストラ	304.8	457	4.23	4.23	4.23	4.23
レター	215.9	279.4	4.23	4.23	4.23	4.23
リーガル（13インチ）	215.9	330.2	4.23	4.23	4.23	4.23
リーガル（13.5インチ）	215.9	342.9	4.23	4.23	4.23	4.23
リーガル（14インチ）	215.9	355.6	4.23	4.23	4.23	4.23
エグゼクティブ	184.2	266.7	4.23	4.23	4.23	4.23
カスタム	76.2～328	127～1200	4.23	4.23	4.23	4.23
はがき	100	148	4.23	4.23	4.23	4.23
往復はがき	148	200	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒1（長形3号）	120	235	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒2（長形4号）	90	205	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒3（洋形4号）	105	235	4.23	4.23	4.23	4.23
封筒4（A4サイズ）	210	297	4.23	4.23	4.23	4.23
Com-9	98.4	225.4	4.23	4.23	4.23	4.23
Com-10	104.8	241.3	4.23	4.23	4.23	4.23
DL	110	220	4.23	4.23	4.23	4.23
C5	162	229	4.23	4.23	4.23	4.23
C4	229	324	4.23	4.23	4.23	4.23
Monarch	98.4	190.5	4.23	4.23	4.23	4.23

外形寸法（プリンタ）

平面図

オプション装着時

索　引

索引

数字

A

B

C

D

E

F

G

H

I

索引

T

U

W

ア

イ

ウ

エ

オ

索引

カ

キ

ク

索引

ス

セ

索引

ソ

タ

ナ

ニ

ネ

ノ

ハ

ヒ

索引

フ

索引

モ

ユ

ヨ

ラ

リ

レ

オキカラーページプリンタ
C9150dn
ユーザーズマニュアル
発行日　2005年 1月　第1版
発行者　株式会社 沖データ
43025801EE
このマニュアルは再生紙を使用しています。